EPSON

Intercolor

LP-1500C

ユーザーズガイド

機能・操作方法など、本機を使用していく上で必要となる情報を詳しく説明しています。

また、各種トラブルの解決方法や、お客様からのお問い合わせの多い項目の対処方法を説明しています。目的に応じて必要な章をお読みください。

4032214-00

ご注意

①本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
②本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
③本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
④運用した結果の影響については、③項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
⑤本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた障害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
⑥エプソン純正品および、エプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。この場合、修理などは有償で行います。

もくじ

使用可能な用紙と給紙 / 排紙

Windows プリンタドライバの機能と関連情報

Macintosh プリンタドライバの機能と関連情報

添付されているフォントについて

オプションと消耗品について

プリンタのメンテナンス

困ったときは

付録

本書中のマーク、画面、表記について

マークについて

本書中では、いくつかのマークを用いて重要な事項を記載しています。マークが付いている記述は必ずお読みください。それぞれのマークには次のような意味があります。

⚠警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、プリンタ本体が損傷したり、プリンタ本体、プリンタドライバやユーティリティが正常に動作しなくなる場合があります。この表示は、本製品をお使いいただく上で必ずお守りいただきたい内容を示しています。



補足説明や知っておいていただきたいことを記載しています。

用語[*1]　用語の説明を記載していることを示しています。



関連した内容の参照ページを示しています。

掲載画面について

- 本書の画面は実際の画面と多少異なる場合があります。また、OS の違いや使用環境によっても異なる画面となる場合がありますので、ご注意ください。
- 本書に掲載するWindowsの画面は、特に指定がない限りWindows 98の画面を使用しています。

Windows の表記について

Microsoft® Windows® 95 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® 98 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System 日本語版
Microsoft® Windows NT® Operating System Version 4.0 日本語版
Microsoft® Windows® 2000 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® XP Professional Operating System 日本語版

本書では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、Windows 95、Windows 98、Windows Me、Windows NT4.0、Windows 2000、Windows XP と表記しています。またこれらを総称する場合は「Windows」、複数の Windows を併記する場合は「Windows 95/98」のようにWindows の表記を省略することがあります。

使用可能な用紙と給紙 / 排紙

ここでは、印刷できる用紙とできない用紙、用紙のセット方法や特殊紙へ印刷する際の諸注意などについて説明しています。

用紙について

印刷できる用紙の種類

EPSON 製の用紙

次の用紙が使用できます。

使用可能な用紙		型 番	説 明
普通紙	EPSON カラーレーザープリンタ用上質普通紙	LPCPPA4（A4）	普通紙への印刷において、最良の印刷品質を得ることができる用紙です。用紙トレイ、用紙カセット（オプション）のどちらからでも給紙できます。
特殊紙	EPSON カラーレーザープリンタ用 OHP シート	LPCOHPS1（A4）	EPSON カラーレーザープリンタ専用の OHP シートです。用紙トレイからのみ給紙できます。
	EPSON カラーレーザープリンタ用コート紙	LPCCTA4（A4）	EPSON カラーレーザープリンタ専用のコート紙です。光沢のある美しい仕上がりの印刷が可能です。カタログ、パンフレットなどにご使用ください。用紙トレイからのみ給紙できます。



上記以外の EPSON 製専用紙は、本機で使用しないでください。プリンタ内部での紙詰まりや故障の原因となります。



EPSON 製上質普通紙およびコート紙の両面に印刷する場合は、用紙の梱包紙の開封面側（包装紙の合わせ目のある側）を先に印刷面として印刷してください。

一般の用紙

EPSON 製の専用紙以外では、ここで紹介する用紙に印刷することができます。これ以外の用紙は使用しないでください。特殊紙への印刷の際は、用紙別にご注意いただく事項が異なりますので以下のページを参照ください。

本書 28 ページ「特殊紙への印刷」

普通紙	コピー用紙	一般の複写機などで使用する用紙です。
	上質紙	紙厚は 60 ～ 90g/m^2 の範囲内のものが使用可能です。
	再生紙 *1	紙厚は 60 ～ 90g/m^2 の範囲内のものが使用可能です。
特殊紙	官製ハガキ *2	官製ハガキが使用可能です。官製往復ハガキの場合は、中央に折り跡のないものをお使いください。
	封筒 *3	使用できる定形サイズの封筒は洋形 0 号 /4 号 /6 号です。紙厚が 105g/m^2 前後のものをお勧めします。
	ラベル紙	レーザープリンタ用またはコピー機用のラベル紙で、台紙全体がラベルで覆われているものをお使いください。
	不定形紙	用紙幅が 92 ～ 216mm、用紙長が 148 ～ 297mm、紙厚が 60 ～ 163g/m^2 の範囲内のものをお使いください。
	厚紙 *4	紙厚が 91 ～ 163g/m^2 の範囲内の用紙(ケント紙を含む)をお使いください。

*1 再生紙は、一般の室温環境下(温度 15 ～ 25 度、湿度 40 ～ 60% の環境)以外でご使用になると、印刷品質が低下したり、紙詰まりなどの不具合が発生することがありますのでご注意ください。また、再生紙の使用において給紙不良や紙詰まりが発生しやすい場合は、用紙を裏返して使用することにより症状が改善されることがあります。

*2 絵入りのハガキなどを給紙すると、絵柄裏移り防止用の粉が給紙ローラに付着して給紙できなくなる場合がありますので、ご注意ください。また、四面連刷ハガキは使用できません。

本書286 ページ「給紙ローラのクリーニング」

*3 封筒の紙種、保管および印刷環境、印刷方法によっては、しわが目立つ場合がありますので、事前に試し印刷をすることをお勧めします。

*4 厚紙の用紙厚は 90g/m^2 を超えて 163g/m^2 以下のものを指しますが、本書では「91 ～163g/m^2」という記載をしています。



- 紙の種類によっては特に印刷面の指定がない場合でも、印刷する面によって排紙後の用紙の状態に差が出ることがあります。
- 用紙がカールなどしてきれいに排紙されない場合は印刷面を替えて用紙をセットしてください。
- 用紙を大量に購入する場合は、必ず事前に試し印刷をして印刷の状態をご確認ください。

裏面印刷について

本機で印刷した用紙を裏返して、もう一度給紙装置にセットすることで、用紙の両面に印刷することができます。



裏面印刷できる用紙は、本機で一度印刷した用紙のみ です。他のプリンタや複写機で印刷した用紙は使用できません。



オプションの両面印刷ユニットを使用すると、自動的に用紙の両面に印刷することができますが、印刷できる用紙のサイズや種類に制限があります。
本書 27 ページ「両面印刷ユニット（オプション）について」

裏面印刷時の注意事項

厚紙や官製ハガキ / 官製往復ハガキ、専用コート紙の裏面に印刷する場合は、プリンタドライバの［用紙種類］を以下のように設定して印刷してください。

用紙	裏面印刷時の［用紙種類］の設定
厚紙（91 ～ 163g/㎡）	厚紙（裏面）
官製ハガキ、官製往復ハガキ	ハガキ（裏面）
専用コート紙	コート紙（裏面）

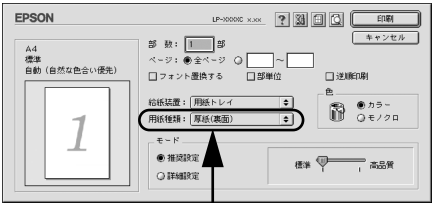
Windows：本書 43 ページ「［基本設定］ダイアログ」
Macintosh：本書 158 ページ「［プリント］ダイアログ」

Windows



選択します

Macintosh



選択します

印刷できない用紙

プリンタ（給紙ローラ、感光体、定着器）の故障の原因となる用紙

- インクジェットプリンタ用特殊紙（スーパーファイン紙、光沢紙、光沢フィルム、官製ハガキなど）
- アイロンプリント紙
- モノクロレーザープリンタ、カラーレーザープリンタ、熱転写プリンタ、インクジェットプリンタなどのプリンタや、複写機で印刷したプレプリント紙
- 他のプリンタで一度印刷した後の裏紙
- 他のカラーレーザープリンタやカラー複写機専用OHPシート
- モノクロレーザープリンタ用またはモノクロコピー機用以外のラベル紙
- カーボン紙、ノンカーボン紙、感熱紙、感圧紙、酸性紙、和紙
- 糊、ホチキス、クリップなどが付いた用紙
- 表面に特殊コートが施された用紙、表面加工されたカラー用紙
- バインダ用の穴が開いている用紙

給紙不良、紙詰まりを起こしやすい用紙

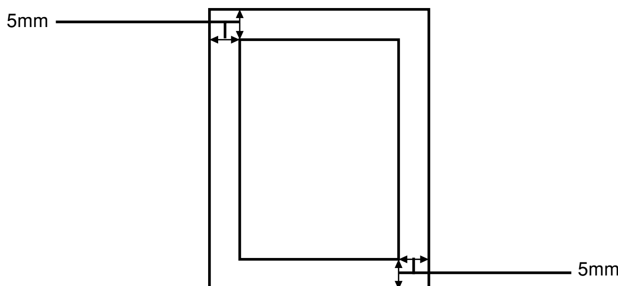
- 薄すぎる（59g/m^2 以下）用紙、厚すぎる（官製ハガキ（190g/m^2）以外の164g/m^2 以上）用紙
- 濡れている（湿っている）用紙
- 表面が平滑すぎる（ツルツル、スベスベしすぎる）用紙、粗すぎる用紙
- 表と裏で粗さが大きく異なる用紙
- 折り跡、カール、破れのある用紙
- 形状が不規則な用紙、裁断角度が直角でない用紙
- ミシン目のある用紙
- 簡単にはがれてしまうラベル紙

耐熱温度約 180 度以下で変質、変色する用紙

- 表面に特殊コート（またはプレプリント）が施された用紙

印刷できる領域

印刷保証領域は、印刷の実行と印刷結果の画質を保証する領域です。用紙の各端面から 5mm を除く領域の印刷を保証します。




ポイント

アプリケーションソフトによっては印刷可能領域が上記より小さくなる場合があります。

用紙の保管

用紙は以下の点に注意して保管してください。

- 直射日光を避けて保管してください。
- 湿気の少ない場所に保管してください。
- 用紙を濡らさないでください。
- 用紙を立てたり、斜めにしないで、水平な状態で保管してください。
- ほこりがつかないよう、包装紙などに包んで保管してください。

給紙装置と用紙のセット方法

各給紙装置にセットできる用紙サイズと容量

本機の給紙装置で使用できる用紙の種類は次の通りです。特殊紙を使用する場合は、必ず用紙トレイにセットしてください。また、特殊紙は用紙別にセット方法や注意事項が異なりますので以下のページを参照してください。

本書 28 ページ「特殊紙への印刷」

給紙方法		用紙種類		用紙サイズ	紙 厚	容 量[*1]
標準装備の給紙装置	用紙トレイ	普通紙 EPSONカラーレーザープリンタ用上質普通紙		A4、A5、B5、Letter（LT）、Half-Letter（HLT）、Executive（EXE）、Government Letter（GLT）	60 ～ 90g/m^2	200 枚（または総厚23mm）
		特殊紙	官製ハガキ	100 × 148mm	190g/m^2	50 枚
			官製往復ハガキ	148 × 200mm		
			封筒[*2]	洋形 0 号､洋形 4 号､洋形 6 号	105 g/m^2 前後を推奨	10 枚
			ラベル紙	A4、Letter	91 ～ 163g/m^2	50 枚
			厚紙	A4、A5、B5、Letter（LT）、Half-Letter（HLT）、Executive（EXE）、Government Letter（GLT）		
			不定形紙[*3]	幅：92 ～ 216mm 長さ：148 ～ 297mm	60 ～ 90 g/m^2	200 枚
					91 ～ 163g/m^2	50 枚
			EPSONカラーレーザープリンタ用コート紙	A4	105g/m^2	50 枚
			EPSONカラーレーザープリンタ用OHP シート	A4	140g/m^2	50 枚
オプション	増設カセットユニット（LPA4CZ1CU1）	普通紙 EPSONカラーレーザープリンタ用上質普通紙		A4	60 ～ 90g/m^2	500 枚（または総厚57mm）

[*1] セットできる用紙の高さは用紙ガイドの最大枚数（三角マーク表示）までです。三角マークを超えてセットした場合は、給紙不良などの原因となります。

[*2] 封筒は必ずフラップ（封筒の閉じ口）を閉じ、フラップを奥側にセットしてください。封筒の詳細については、以下のページをを参照してください。

本書31 ページ「封筒への印刷」

[*3] 用紙長が 210mm 未満の場合、普通紙でも印刷速度が遅くなります（厚紙と同じ印刷速度）。

用紙トレイへの用紙のセット

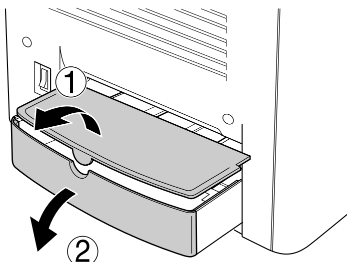
用紙トレイへの用紙のセット方法を説明します。



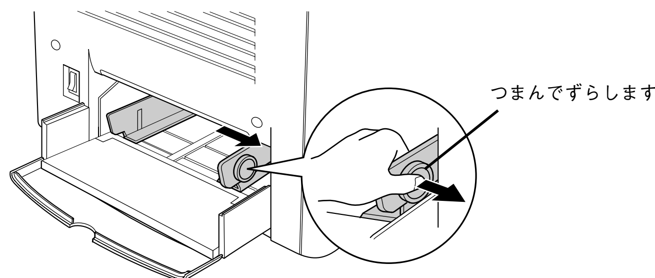
用紙トレイにセットできる用紙についての詳細は、以下のページを参照してください。

本書 16 ページ「各給紙装置にセットできる用紙サイズと容量」

1 **用紙トレイの上カバーを取り外して、用紙トレイの前カバーを開けます。**



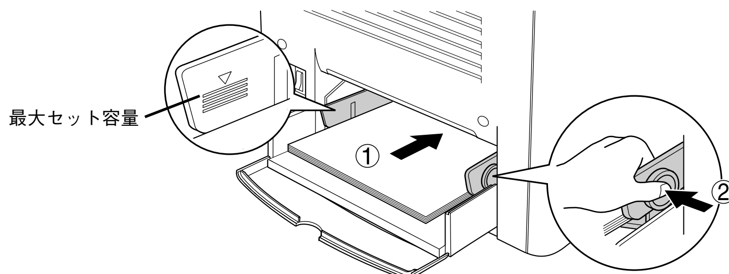
2 **右側の用紙ガイドをつまんで（ロックを解除して）、外側へずらします。**



3 **用紙を用紙トレイにセットします。**

① 印刷面を上にし、給紙方向に対して縦長にセットします。

② 用紙ガイドを用紙サイズに合わせます。

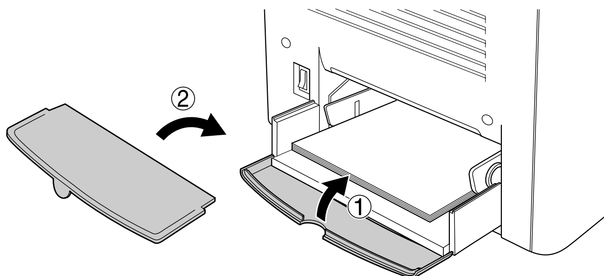


⚠注意　用紙をセットするときは用紙の側面で手をこすってけがをしないように注意してください。薄い用紙の側面は鋭利な状態になっていて危険です。


ポイント

- 用紙の四隅をそろえ、印刷する面を上に向けてセットします。
- 用紙は最大 200 枚（普通紙 64g/m^2）までセットできます。最大枚数（三角マーク表示）を超えて用紙をセットすると、正常に給紙できない場合があります。

4 **用紙トレイの前カバーを閉じてから、上カバーを取り付けます。**



5 **用紙トレイにセットした用紙のサイズをプリンタドライバで設定します。**

☞ 本書 19 ページ「トレイ用紙サイズの設定」


ポイント

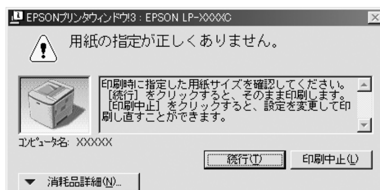
工場出荷時は、［A4］サイズに設定されています。

トレイ用紙サイズの設定

用紙トレイは、自動的に用紙のサイズを検知することができません。そのため、用紙トレイにセットする用紙のサイズを変更した場合は、以下の方法でプリンタドライバから用紙トレイの用紙サイズを設定してください。



- 設定に誤りがあるとプリンタは用紙サイズエラーを発生して、以下の画面を表示します。[続行] ボタンをクリックするとプリンタは、印刷を再開します。ただし、画面上と異なる配置で印刷される場合があります。



- プリンタは、用紙を通紙することで、用紙サイズを認識して自動的に [トレイ用紙サイズ] を変更します。次回印刷時からは、エラーを発生することなく正常に印刷できます。

Windows でトレイ用紙サイズを設定するには



Windows NT4.0/2000 の場合は管理者権限（Administrators グループ）のあるユーザーとして、Windows XP の場合は「コンピュータの管理者」アカウントのユーザーとしてログオンする必要があります。

1 プリンタの電源がオンになっていることを確認します。

2 Windows の [スタート] メニューから [プリンタ]/ [プリンタとFAX] を開きます。

- **Windows 95/98/Me/NT4.0/2000 の場合**

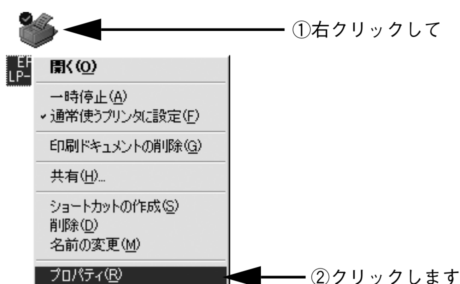
  [スタート] ボタンをクリックして [設定] にカーソルを合わせ、[プリンタ] をクリックします。

- **Windows XP の場合**

① [スタート] ボタンをクリックして [コントロールパネル] をクリックします。
[スタート] メニューに [プリンタとFAX] が表示されている場合は、[プリンタとFAX] をクリックして、3 へ進みます。
② [プリンタとその他のハードウェア] をクリックします。
③ [プリンタとFAX] をクリックします。

3 **本機のプリンタドライバの設定画面を開きます。**

［LP-1500C］アイコンを右クリックして、メニュー内の［プロパティ］をクリックします。



4 **［プリンタ設定］ダイアログを開きます。**

［環境設定］タブをクリックしてから、［プリンタ設定］ボタンをクリックします。

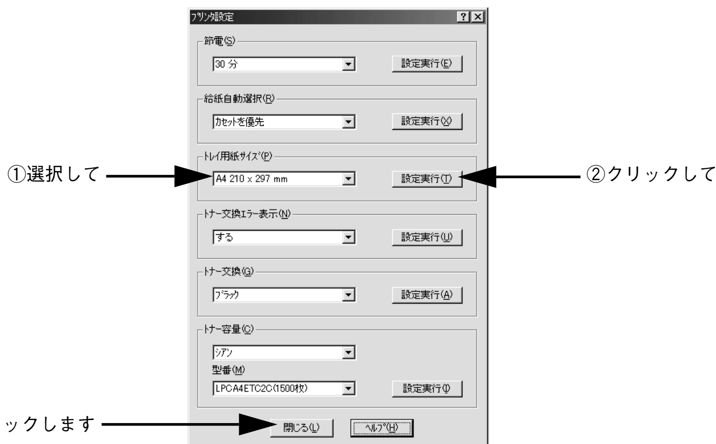


5 プリンタが印刷中でないことを確認してから、用紙トレイにセットした用紙のサイズを選択します。

［トレイ用紙サイズ］のリストボックスから、セットしてある用紙のサイズを選択します。［設定実行］ボタンをクリックしてから［閉じる］ボタンをクリックします。



プリンタ印刷中に［設定実行］ボタンをクリックしないでください。
正常に設定されない場合があります。





その他の項目については、ヘルプまたは以下のページをご覧ください。
本書 77 ページ「［プリンタ設定］ダイアログ」

6 ［OK］ボタンをクリックして画面を閉じます。

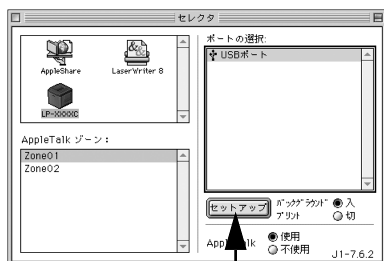
選択したサイズがプリンタに設定されます。以上でトレイ用紙サイズの設定は終了です。

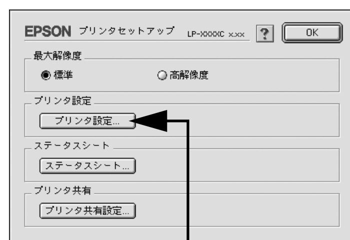
Macintosh でトレイ用紙サイズを設定するには

1. **プリンタの電源がオンになっていることを確認します。**

2. **セレクタを開いて、本機を選択します。**
   プリンタの選択方法の詳細は、以下のページをご覧ください。
   ☞ スタートアップガイド 44 ページ「プリンタドライバの選択」

3. **[プリンタ設定]ダイアログを開きます。**
   [セットアップ]ボタンをクリックしてから、[プリンタ設定]ボタンをクリックします。



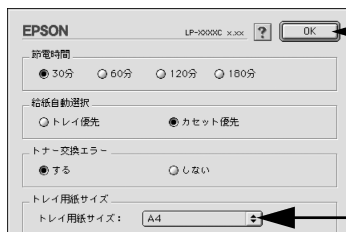


4. **プリンタが印刷中でないことを確認してから、用紙トレイにセットした用紙のサイズを選択します。**
   [トレイ用紙サイズ]のメニューから、セットしてある用紙のサイズを選択します。



注 意

プリンタの印刷中に[OK]ボタンをクリックしないでください。
正常に設定されない場合があります。





ポイント

その他の項目については、以下のページをご覧ください。
☞ 本書 182 ページ「[プリンタセットアップ]ダイアログ」

5. **[OK]ボタンをクリックして画面を閉じます。**
   選択したサイズがプリンタに設定されます。以上でトレイ用紙サイズの設定は終了です。

増設カセットユニットへの用紙のセット

ここでは、オプションの増設カセットユニットへの用紙のセット方法を説明します。増設カセットユニットの取り付け方法は以下のページを参照してください。

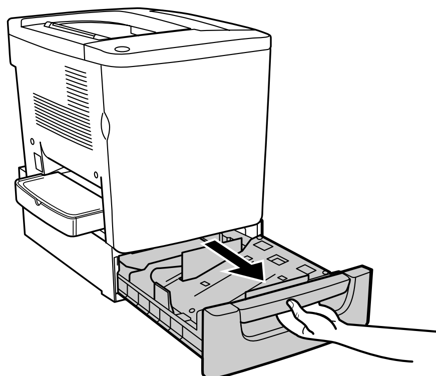
本書 240 ページ「増設カセットユニットの取り付け」



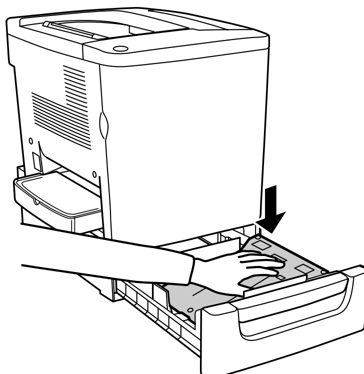
増設カセットユニットにセットできる用紙についての詳細は、以下のページを参照してください。

本書 16 ページ「各給紙装置にセットできる用紙サイズと容量」

1 用紙カセットをユニットから引き出します。

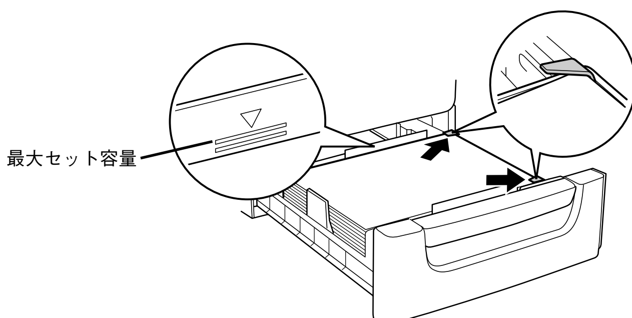


2 カセット底部の金属板を押し下げて固定します。



3 **用紙を用紙カセットにセットします。**

印刷面を上にして、前後のツメの下に差し込むように用紙をセットします。

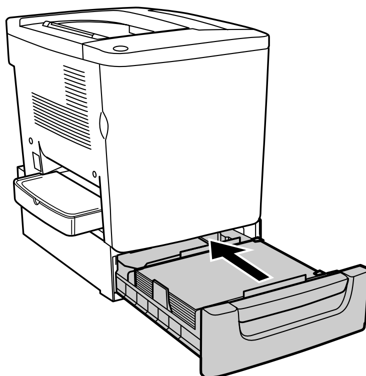


⚠注意　用紙をセットするときは用紙の側面で手をこすってけがをしないように注意してください。薄い用紙の側面は鋭利な状態になっていて危険です。


ポイント

- 用紙の四隅をそろえ、印刷する面を上に向けてセットします。
- 用紙は最大 500 枚（普通紙 64g/m²）までセットできます。最大枚数（三角マーク表示）を超えて用紙をセットすると、正常に給紙できない場合があります。

4 **用紙カセットを元通りに閉じます。**



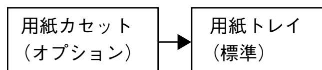

ポイント

増設カセットユニットにセットできる用紙サイズは A4 サイズだけのため、プリンタドライバで用紙サイズを設定する必要はありません。

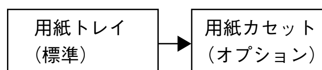
給紙装置の優先順位

プリンタドライバの設定で［給紙装置］を［自動選択］（初期設定）にすると、プリンタはドライバで設定された用紙サイズが一致する用紙がセットされている給紙装置を次の順序で検索し、給紙します。

- ［給紙自動選択］の設定が［カセットを優先］になっている場合



- ［給紙自動選択］の設定が［トレイを優先］になっている場合



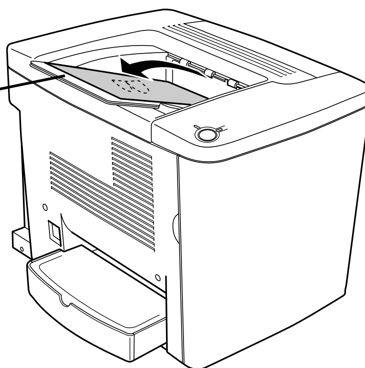
Windows：本書 77 ページ「［プリンタ設定］ダイアログ」
Macintosh：本書 185 ページ「［プリンタ設定］ダイアログ」



- オプションの増設カセットユニットと用紙トレイに A4 サイズの用紙をセットすると、最大 700 枚の連続給紙ができます。
- 給紙装置を固定したい場合は、［給紙装置］の設定を［用紙トレイ］または［用紙カセット］にします。
Windows：本書 43 ページ「［基本設定］ダイアログ」
Macintosh：本書 158 ページ「［プリント］ダイアログ」
- 用紙トレイにセットした用紙のサイズは［プリンタ設定］ダイアログで設定します。
Windows：本書 77 ページ「［プリンタ設定］ダイアログ」
Macintosh：本書 185 ページ「［プリンタ設定］ダイアログ」

排紙方法について

印刷された用紙は、印刷面を下（フェイスダウン）にしてプリンタ上部の排紙部に排紙されます。普通紙（用紙厚 64g/m² の場合）の場合で 200 枚まで排紙できます。



両面印刷ユニット（オプション）について

オプションの両面印刷ユニットの取り付け方法については、以下のページを参照してください。

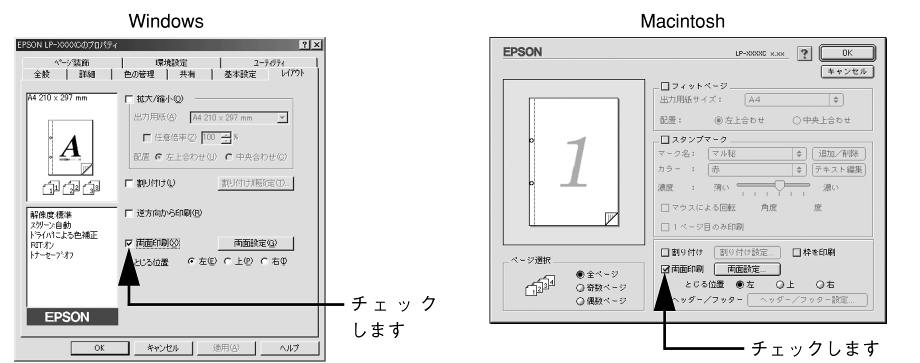
☞ 本書 247 ページ「両面印刷ユニットの取り付け」

オプションの両面印刷ユニットは、以下の用紙の両面に自動印刷できます。

用紙種類	普通紙（用紙厚 60 ～90g/m²）、EPSON製カラーレーザープリンタ用上質普通紙
用紙サイズ	A4、Letter

両面印刷ユニットを使って自動両面印刷を行う場合は、プリンタドライバの［レイアウト］ダイアログを開いて、［両面印刷］をチェックします。

☞ Windows：本書 56 ページ「［レイアウト］ダイアログ」
☞ Macintosh：本書 169 ページ「［レイアウト］ダイアログ」



両面印刷ユニット使用時の制限事項

- 用紙の表面に印刷するデータと用紙の裏面に印刷するデータの、用紙サイズの設定が異なる場合、両面印刷はできません。この場合、両方とも用紙の表面に印刷して出力します。
- A4/Letter 以外のサイズの用紙および特殊紙には自動両面印刷できません。

特殊紙への印刷

ここでは、ハガキなど、特殊紙への印刷方法について説明します。



- 特殊紙は、用紙トレイにセットしてください。用紙カセットからの特殊紙の印刷はできません。
- 特殊紙に印刷すると、通常の印刷に比べて印刷速度が遅くなります。これは、特殊紙への良好な印刷を行うために、プリンタ内部で印刷速度の調整を行っているためです。印刷速度については、以下のページを参照してください。
  本書 356 ページ「プリント速度」

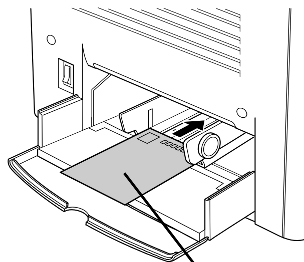
ハガキへの印刷

ハガキに印刷する前に、同サイズの用紙で試し印刷をして印刷位置や印刷方向などの確認をしてください。

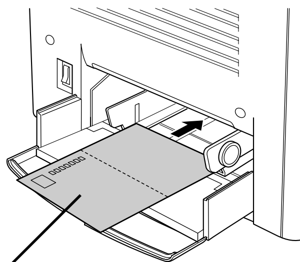


以下のハガキは使用しないでください。故障や印刷不良などの原因になります。
- インクジェットプリンタ用の専用ハガキ
- 表面に特殊コート、糊付けが施されたハガキ、圧着ハガキ
- 熱転写プリンタ、インクジェットプリンタで印刷した後のハガキ
- 中央に折り跡のあるハガキ
- 四面連刷ハガキ、私製ハガキ、絵ハガキなどの厚い（250g/m^2 以上）ハガキ
- 箔押し、エンボス加工など表面に凹凸のあるハガキ
- 他のプリンタや複写機で一度印刷したハガキ
- 大きく反っているハガキ（反りを修正してご使用ください。）
- 絵入りハガキを給紙すると、絵柄裏移り防止用の粉が給紙ローラに付着して給紙できなくなる場合があります。万一給紙できなくなった場合は、以下のページを参照して給紙ローラをクリーニングしてください。
  本書 286 ページ「給紙ローラのクリーニング」

・官製ハガキ



・官製往復ハガキ



・ハガキで宛名印字をする場合
　宛名面を上にします。
・セット可能枚数 50 枚



- 印刷する面を上に向けてセットしてください。
- 奥までしっかりセットしても給紙されなかった場合は、先端を数ミリ上に反らせてセットしてください。

プリンタドライバの設定		ダイアログ	項目	設定値
官製ハガキ	Windows	基本設定	用紙サイズ	［ハガキ 100 × 148mm］
			給紙装置	［用紙トレイ］
			用紙種類	［厚紙］*1、［ハガキ（裏面）］*2
	Macintosh	用紙設定	用紙サイズ	［ハガキ］
		プリント	給紙装置	［用紙トレイ］
			用紙種類	［厚紙］*1、［ハガキ（裏面）］*2
官製往復ハガキ	Windows	基本設定	用紙サイズ	［往復ハガキ 148 × 200mm］
			給紙装置	［用紙トレイ］
			用紙種類	［厚紙］*1、［ハガキ（裏面）］*2
	Macintosh	用紙設定	用紙サイズ	［往復ハガキ］
		プリント	給紙装置	［用紙トレイ］
			用紙種類	［厚紙］*1、［ハガキ（裏面）］*2

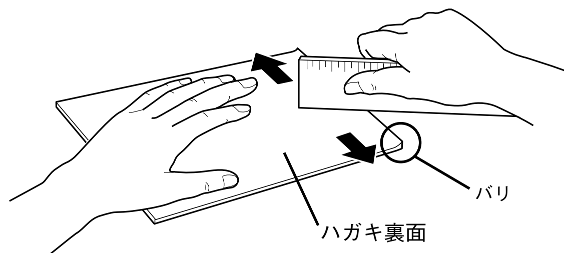
*1 官製ハガキ / 官製往復ハガキの片面に印刷する場合は、［用紙種類］を［厚紙］に設定しなくても印刷できます（［用紙サイズ］が［ハガキ］/［往復ハガキ］に設定されていれば、プリンタは自動的に［厚紙］として認識します）。

*2 片面印刷後さらにもう一方の面に印刷する場合は、［用紙種類］を［ハガキ（裏面）］に設定してください。

ハガキの「バリ」除去について

ハガキによっては、裏面に「バリ」(裁断時のかえり)が大きいために、給紙できない場合があります。印刷する前にハガキ裏面を確認し「バリ」がある場合には以下の方法に従って除去してください。

ハガキを水平な所に置いて、定規などを「バリ」がある部分に垂直にあてて矢印方向に1〜2回こすり、「バリ」を除去します。





「バリ」除去の際に発生した紙粉をよく払ってから給紙してください。ハガキに紙粉が付着したまま給紙すると、用紙が給紙できなくなるおそれがあります。万一用紙を給紙しなくなった場合は、給紙ローラをクリーニングしてください。
本書 286 ページ「給紙ローラのクリーニング」

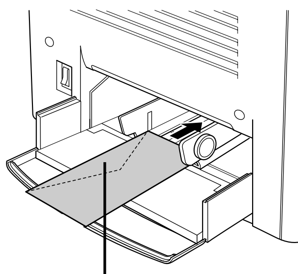
封筒への印刷

封筒の品質は、製造メーカーによって異なります。封筒の紙種、保管および印刷環境、印刷方法によっては、しわが目立つ場合がありますので、事前に試し印刷することをお勧めします。また、大量の封筒を購入する前にも、必ず試し印刷をして、印刷の状態を確認してください。



以下の封筒は使用しないでください。故障や印刷不良などの原因になります。特に糊付け加工が施されている封筒は、致命的な故障の原因になる場合がありますので絶対に使用しないでください。

- 封の部分に糊付け加工が施されている封筒
- 箔押し、エンボス加工など表面に凹凸のある封筒
- リボン、フックなどが付いている封筒
- 他のプリンタや複写機で一度印刷した封筒
- 二重封筒
- 窓付きの封筒
- 耐熱温度約 180 度以下で変質する可能性のあるインクで印刷がされた封筒



・フラップ（封）を閉じ、印刷面を上にして
　セットします。
・セット可能枚数10 枚

プリンタドライバの設定	ダイアログ	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	［洋形 0］［洋形 4］［洋形 6］
		給紙装置	［用紙トレイ］
Macintosh	用紙設定	用紙サイズ	［洋形 0］［洋形 4］［洋形 6］
	プリント	給紙装置	［用紙トレイ］



- 封筒の定形サイズは、洋形0 号、洋形4 号、洋形6 号の3 つ（洋形封筒のみ）です。
- 長形、角形などの封筒はご使用になれません。
- 封筒のフラップ（封）を閉じた状態で、フラップを奥側にしてセットしてください。
- 奥までしっかりセットしても給紙されなかった場合は、先端を数 mm 上に反らせてセットしてください。

厚紙への印刷

本機では、厚紙は厚さ 91 ～ 163g/m² の用紙に印刷することができます。厚紙の品質は、製造メーカーによって異なります。大量の厚紙を購入する前には、必ず試し印刷をして、印刷の状態をご確認ください。



厚紙への印刷時は、プリンタドライバの［用紙種類］を必ず［厚紙］に設定してください。また、厚紙の両面に印刷する場合は、裏面印刷時に［厚紙（裏面）］に設定してください。

Windows：本書 43 ページ「［基本設定］ダイアログ」
Macintosh：本書 158 ページ「［プリント］ダイアログ」

プリンタドライバの設定	ダイアログ	項　目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	印刷データで設定した用紙のサイズを設定
		給紙装置	［用紙トレイ］
		用紙種類	［厚紙］、［厚紙（裏面）］
Macintosh	用紙設定	用紙サイズ	印刷データで設定した用紙のサイズを設定
	プリント	給紙装置	［用紙トレイ］
		用紙種類	［厚紙］、［厚紙（裏面）］



紙厚 163g/m² 以下のものを使用してください。

ラベル紙への印刷

ラベル紙の品質は、製造メーカーによって異なります。大量のラベル紙を購入する前には、必ず試し印刷をして、印刷の状態を確認してください。



以下のラベル紙は使用しないでください。故障の原因になります。

- 簡単にはがれてしまうラベル紙
- 一部がはがれているラベル紙
- 糊がはみ出しているラベル紙
- 台紙全体がラベルで覆われていない（台紙がむき出しになっている）ラベル紙
- インクジェットプリンタ用のラベル紙

プリンタドライバの設定	ダイアログ	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	印刷データで設定した用紙のサイズを設定
		給紙装置	［用紙トレイ］
Macintosh	用紙設定	用紙サイズ	印刷データで設定した用紙のサイズを設定
	プリント	給紙装置	［用紙トレイ］



- ラベルが貼ってある面を上に向けてセットしてください。
- レーザープリンタ用またはコピー機用のものを使用してください。

コート紙への印刷

本機ではEPSON製カラーレーザープリンタ用コート紙（型番：LPCCTA4）のみ印刷可能です（以下、「専用コート紙」と記載）。



- 用紙は密閉可能な袋もしくは容器に入れ、湿気の多い場所、乾燥し過ぎた場所での保管は避けてください。
- 湿気の多い場所、乾燥し過ぎた場所での使用は避けてください。画像不良や、重送などの給紙不良を起こす場合があります。印刷に使用する分だけプリンタにセットしてください。
- 両面に印刷する場合は、梱包紙の開封面側（梱包紙の合わせ目のある側）を印刷面として先に印刷してください。
- 本用紙は表面に特殊な加工を施しているため、使用する温湿度条件によっては重送などの給紙不良を起こす場合があります。このような場合は、用紙トレイから1枚ずつ給紙してください。

プリンタドライバの設定	ダイアログ	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	A4
		給紙装置	[用紙トレイ]
		用紙種類	[コート紙]、[コート紙（裏面）]
Macintosh	用紙設定	用紙サイズ	A4
	プリント	給紙装置	[用紙トレイ]
		用紙種類	[コート紙]、[コート紙（裏面）]

OHP シートへの印刷

本機では EPSON 製カラーレーザープリンタ用 OHP シート（型番：LPCOHPS1）のみ印刷可能です（以下、「専用 OHP シート」と記載）。



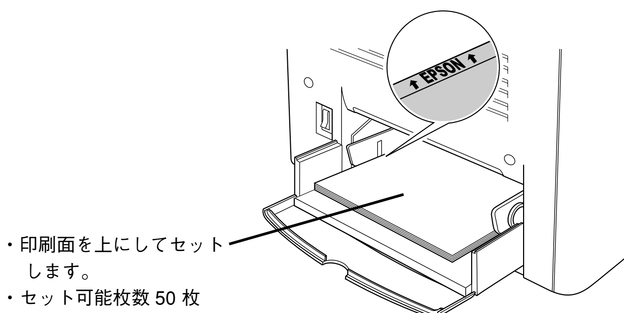
注 意

- OHP シートへの印刷時は、プリンタドライバの［用紙種類］を必ず［OHP シート］に設定してください。
  Windows ：本書 43 ページ「［基本設定］ダイアログ」
  Macintosh ：本書 158 ページ「［プリント］ダイアログ」
- 専用OHPシート以外のOHPシートは使用しないでください。紙詰まりや定着器への巻き込みの原因となります。
- OHP シートは、手の脂が付かないように、手袋をはめるなどしてお取り扱いください。OHP シートに手の脂が付着すると、印刷不良の原因になる場合があります。
- 印刷直後の OHP シートは熱くなっていますのでご注意ください。

プリンタドライバの設定	ダイアログ	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	[A4]
		給紙装置	[用紙トレイ]
		用紙種類	[OHP シート]
Macintosh	用紙設定	用紙サイズ	[A4]
	プリント	給紙装置	[用紙トレイ]
		用紙種類	[OHP シート]

専用OHP シート(型番:LPCOHPS1)をセットする場合、次の点を必ず守ってください。

- 用紙トレイにセットしてください（オプションの増設カセットユニットからの給紙はできません）。
- 専用 OHP シートの目印のある箇所を、下図のようにセットしてください。



「OHP シートの設定が正しくありません」と表示された場合

次の場合、EPSON プリンタウィンドウ !3 が「OHP シートの設定が正しくありません」と表示して、印刷しないで排紙したあとに停止します。

- プリンタドライバの［用紙種類］が［OHP シート］に設定されていて、OHP シート以外の用紙を給紙した場合
- プリンタドライバの［用紙種類］が［OHP シート］以外に設定されていて、OHP シートを給紙した場合

［印刷中止］ボタンをクリックしてからプリンタドライバの設定あるいは OHP シートのセット方法をチェックし、印刷し直すことをお勧めします。OHP シートが紙詰まりしている場合もありますので、詰まっている OHP シートを取り除いてから再印刷を行ってください。

☞ 本書 308 ページ「用紙が詰まったときは」

不定形紙への印刷

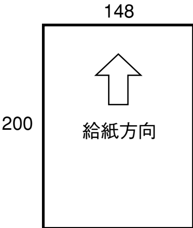
本機では、用紙幅92～216mm、用紙長148～297mmの範囲の不定形紙に印刷することができます。大量の不定形紙を購入する前には、必ず試し印刷をして、印刷の状態をご確認ください。

プリンタドライバの設定	ダイアログ	項　目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	印刷データで設定した用紙のサイズを設定
		給紙装置	［用紙トレイ］
Macintosh	用紙設定	用紙サイズ	印刷データで設定した用紙のサイズを設定
	プリント	給紙装置	［用紙トレイ］

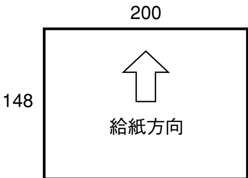


- アプリケーションソフトで任意の用紙サイズを指定できない場合は、不定形紙への印刷はできません。
- 用紙のセット方向は、プリンタドライバのユーザー定義サイズで設定した通りにプリンタにセットしてください。

<例>ユーザー定義サイズを「用紙幅148mm×用紙長200mm」に設定した場合



<例>ユーザー定義サイズを「用紙幅200mm×用紙長148mm」に設定した場合



- 用紙長が210mm未満の場合、普通紙でも印刷速度が遅くなります（厚紙と同じ印刷速度）。

Windows プリンタドライバの機能と関連情報

プリンタドライバの詳細説明と、Windows でお使いの際に関係する情報について説明しています。

プロパティの開き方

印刷に関する各種の設定は、プリンタドライバのプロパティを開いて変更します。プロパティの開き方は、大きく分けて 2 通りあります。この開き方によって、設定できる項目が異なります。異なる点については、各設定項目の説明を参照してください。

アプリケーションソフトからの開き方

通常の印刷時は、アプリケーションソフトからプリンタドライバのプロパティを開いて設定します。アプリケーションソフトからプリンタドライバのプロパティを開く方法は、ソフトウェアによって異なります。各ソフトウェアの取扱説明書を参照してください。以下 Windows 98 に添付の「ワードパッド」の場合を説明します。

1 **アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］をクリックして［印刷］ダイアログを表示させます。**



2 **プリンタ名にEPSON LP-1500Cが選択されていることを確認して［プロパティ］（Windows XPの場合は［詳細設定］）ボタンをクリックします。**





Windows 2000 の「ワードパッド」のように、［印刷］ダイアログ内で直接プリンタのプロパティを操作できる場合があります。

[プリンタ] / [プリンタと FAX] フォルダからの開き方

[プリンタ]（Windows XP の場合は [プリンタと FAX]）フォルダでは、コンピュータにインストールされているプリンタの設定・管理と、新しいプリンタの追加が実行できます。


ポイント

[プリンタ] / [プリンタと FAX] フォルダからプリンタドライバのプロパティを開いた場合の設定値は、アプリケーションソフトから開いた際の初期値になります。日常的に使う設定値は以下の手順であらかじめ設定しておいてください。

[プリンタ] / [プリンタと FAX] フォルダからプリンタドライバのプロパティを開いて、プリンタドライバを設定する方法はいくつもあります。以下代表的な手順を説明します。

1 Windows の [スタート] メニューから [プリンタ]/ [プリンタと FAX] を開きます。

- **Windows 95/98/Me/NT4.0/2000 の場合**

  [スタート] ボタンをクリックして [設定] にカーソルを合わせ、[プリンタ] をクリックします。

- **Windows XP の場合**

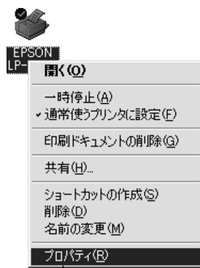
① [スタート] ボタンをクリックして [コントロールパネル] をクリックします。
[スタート] メニューに [プリンタと FAX] が表示されている場合は、[プリンタと FAX] をクリックして、2 へ進みます。
② [プリンタとその他のハードウェア] をクリックします。
③ [プリンタと FAX] をクリックします。



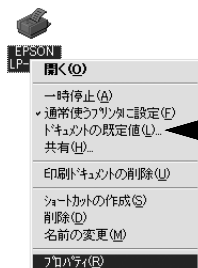
2 **LP-1500Cのプリンタアイコンを右クリックして、表示されたメニューで［プロパティ］をクリックします。**

Windows NT4.0の場合は［ドキュメントの既定値］または［プロパティ］を、Windows 2000/XPの場合は［印刷設定］または［プロパティ］をクリックでき、設定できる機能が異なります。異なる点については、各設定項目の説明を参照してください。

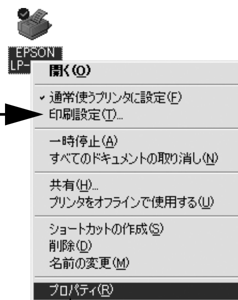
Windows 95/98/Meの場合



Windows NT4.0 の場合



Windows 2000 の場合



Windows 95/98/Meの場合は、すべての印刷設定や機能設定をプロパティで行います。

印刷の基本的な設定（プリンタドライバの設定）を行います。

Windowsのプリンタ使用環境を設定します。

Windows XP の場合



プリンタに対するタスクリストから［印刷設定の選択］または［プリンタのプロパティの設定］をクリックして実行することもできます。

印刷の基本的な設定（プリンタドライバの設定）を行います。

Windows のプリンタ使用環境を設定します。

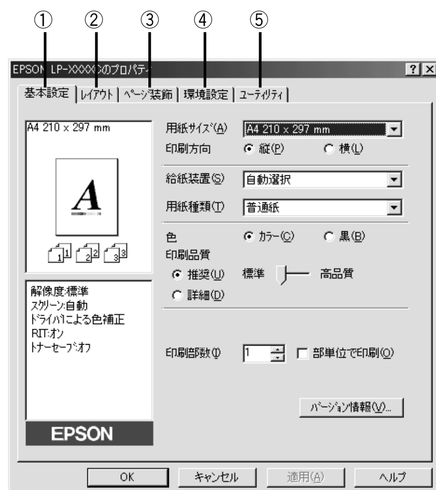

ポイント

- プリンタを選択して、［ファイル］メニューから操作することもできます。
- Windows NT4.0/2000/XPの場合、接続先のポートを変更するときには、［プロパティ］を選択します。プリンタドライバの設定値を変更するときは、［ドキュメントの既定値］または［印刷設定］を選択します。

プリンタドライバで設定できる項目

プリンタドライバで設定できる項目の概要は以下の通りです。詳細は参照先のページをご覧ください。

< 例 > Windows 98 でアプリケーションソフトから開いた場合



①印刷の基本設定

用紙サイズ、給紙方法、印刷方法など、印刷に関わる基本的な設定を行います。

本書 43 ページ「[基本設定]ダイアログ」

②レイアウトの設定

拡大 / 縮小印刷や割り付け印刷など、レイアウトに関する設定を行います。

本書 56 ページ「[レイアウト]ダイアログ」

③ページ装飾

スタンプマークを重ねて印刷したり、日付やユーザー名を入れて印刷します。

本書 65 ページ「[ページ装飾]ダイアログ」

④プリンタの環境設定

プリンタの動作環境を設定したり、ステータスシートを印刷します。

本書 73 ページ「[環境設定]ダイアログ」

⑤ユーティリティの起動

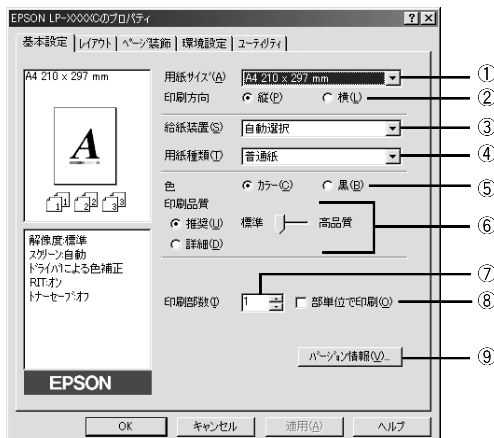
プリンタの状態をモニタする EPSON プリンタウィンドウ !3 を起動します。

本書 83 ページ「[ユーティリティ]ダイアログ」

［基本設定］ダイアログ

プリンタドライバの［基本設定］ダイアログでは、印刷に関わる基本的な設定を行います。

<例> Windows 98 でアプリケーションソフトから開いた場合



①用紙サイズ

アプリケーションソフトで設定した印刷データの用紙サイズを選択します。目的の用紙サイズが表示されていない場合は、スクロールバーの矢印［▲］［▼］をクリックして表示させてください。



- アプリケーションソフトで設定した用紙サイズとプリンタドライバの［用紙サイズ］は必ず一致させてください。サイズが異なる場合、アプリケーションソフトによっては、間違ったサイズで印刷したり、印刷できない場合があります。
- Windows NT4.0/2000/XP の場合は､本機のサポートしないサイズが表示されます。本機がサポートしないサイズは選択しないでください。
  本書 16 ページ「各給紙装置にセットできる用紙サイズと容量」

自動縮小印刷：

プリンタがサポートするサイズより大きい A2 などを選択した場合､以下の画面が表示されます。［出力用紙］のリストボックスで選択した用紙サイズに合わせて、自動縮小して印刷します。



ユーザー定義サイズ：

任意の用紙サイズを設定するには、リスト内の［ユーザー定義サイズ］を選択します。

用紙ｻｲｽﾞ定義

用紙ｻｲｽﾞ　ﾕｰｻﾞｰ定義ｻｲｽﾞ

用紙ｻｲｽﾞ名　ﾕｰｻﾞｰ定義ｻｲｽﾞ

用紙幅の範囲 ：（ 921 .. 2159）

用紙長さの範囲：（1480 .. 2970）

用紙幅(W) ： 2100

用紙長さ(L)： 2970

単位　0.1ﾐﾘ(M)　0.01ｲﾝﾁ(I)

保存(S)　削除(D)

OK　ｷｬﾝｾﾙ　ﾍﾙﾌﾟ(H)

設定できるサイズは以下の通りです。

用紙幅：92.1 ～ 215.9mm（3.63 ～ 8.50 インチ）

用紙長：148.0 ～ 297.0mm（5.83 ～ 11.69 インチ）

本書 54 ページ「任意の用紙サイズを登録するには」

②印刷方向

印刷する用紙の方向を、［縦］・［横］のいずれかクリックして選択します。アプリケーションソフトで設定した印刷の向きに合わせます。

③給紙装置

給紙装置を選択します。

項目	説明
自動選択	印刷実行時に、［用紙サイズ］で選択したサイズの用紙がセットされている給紙装置を探し給紙します。
用紙トレイ	用紙トレイから給紙します。
用紙カセット 1	オプションの増設カセットユニットにセットしている用紙カセットから給紙します。



- 選択した給紙装置に指定された用紙サイズがセットされていない場合や正しく検知されない場合は、エラー（用紙サイズチェック機能有効時）が発生します。
  本書 79 ページ「［拡張設定］ダイアログ」
- ［自動選択］を選択して拡大 / 縮小印刷を行うと、［レイアウト］ダイアログの［出力用紙］で設定したサイズの用紙がセットされている給紙装置を自動的に選択して給紙します。
- 用紙トレイはセットした用紙サイズを自動的に検知できませんので、必ず［プリンタ設定］ダイアログで用紙サイズを設定してください。
  本書 19 ページ「トレイ用紙サイズの設定」

④用紙種類

印刷に使用する用紙種類を選択します。

項　目	説　明
普通紙	普通紙タイプの用紙に印刷する場合に選択します。
コート紙	コート紙に印刷する場合に選択します。［給紙装置］には［用紙トレイ］が選択されます。
コート紙（裏面）	表面を印刷したコート紙の裏面に印刷する場合に選択します。［給紙装置］には［用紙トレイ］が選択されます。
OHP シート	専用 OHP シートに印刷する場合に選択します。［給紙装置］には［用紙トレイ］が選択されます。
厚紙	厚紙に印刷する場合に選択します。紙厚が 90 ～ 163g/m^2 の場合に選択します。［給紙装置］には［用紙トレイ］が選択されます。
厚紙（裏面）	表面を印刷した厚紙の裏面に印刷する場合に選択します。［給紙装置］には［用紙トレイ］が選択されます。
封筒	洋形 0/4/6 号以外の封筒に印刷する場合に選択します。［給紙装置］には［用紙トレイ］が選択されます。
ハガキ（裏面）	表面を印刷した官製ハガキ、官製往復ハガキの裏面に印刷する場合に選択します。［給紙装置］には［用紙トレイ］が選択されます。



厚紙や官製ハガキ / 官製往復ハガキ、専用コート紙の両面に印刷する場合に、片面の印刷後もう一方の面を印刷するときは［用紙種類］を［厚紙（裏面）］、［ハガキ（裏面）］、［コート紙（裏面）］に設定してください（両面印刷時のみ設定します）。

⑤色

カラー印刷を行うときは、［カラー］を、モノクロ印刷を行うときは［黒］を選択します。［色］の設定によって、次の［印刷品質］の設定は異なります。

⑥印刷品質

印刷の品質を決定するさまざまな機能を設定します。

項目	説明
推奨	一般的に推奨できる条件で印刷します。ほとんどの場合、この［推奨］でよい印刷結果が得られます。［標準］（300dpi）または［高品質］（600dpi）どちらかを選択できます。通常は［標準］の設定で十分な印刷品質が得られます。［高品質］は、印刷品質を最優先にして印刷を行うときに選択してください。
詳細	［詳細］をクリックすると、プリセットメニューのリストボックスと［設定変更］/［保存/削除］ボタンが有効になります。

カラー印刷時には、以下のプリセットメニューをご利用いただけます。

プリセットメニュー	用途
推奨（標準）	一般的なデータを印刷するのに適した設定です。印刷速度を重視した設定で印刷します。
ワープロ / グラフ	グラフや表を含むデータを印刷する場合に選択してください。この部分を鮮やかに印刷して読みやすくします。印刷速度を重視した設定で印刷します。
グラフィック /CAD	グラフィック画像や CAD による描画を印刷する場合に選択してください。細線までくっきりと鮮やかに印刷します。印刷速度を重視した設定で印刷します。
写真	写真を中心としたデータを印刷する場合に選択してください。印刷速度を重視した設定で印刷します。
オートフォトファイン !4	EPSON独自の画像補正技術オートフォトファイン!4を使用し､印刷データ内の画像を高画質化して印刷します。
ICM	Windows の ICM(Image Color Matching) 機能（Windows NT4.0 を除く）を使用してスキャナから取り込んだ画像と、プリンタの印刷結果の色合いを合わせて印刷します。
sRGB	スキャナやディスプレイなどの機器が sRGB に対応している場合、それぞれの機器とカラーマッチングを行って印刷します。ご利用の機器が sRGB に対応しているかは、機器のメーカーにお問い合わせください。
推奨（高品質）	一般的なデータを印刷するのに適した設定です。印刷品質を重視した設定で印刷します。
高品質ワープロ / グラフ	グラフや表を含むデータを印刷する場合に選択してください。この部分を鮮やかに印刷して読みやすくします。印刷品質を重視した設定で印刷します。
高品質グラフィック /CAD	グラフィック画像や CAD による描画を印刷する場合に選択してください。細線までくっきりと鮮やかに印刷します。印刷品質を重視した設定で印刷します。
高品質写真	写真を中心としたデータを印刷する場合に選択してください。印刷品質を重視した設定で印刷します。

項目	説明
［設定変更］ボタン	［設定変更］ボタンをクリックすると［詳細設定］ダイアログが開き、詳細な設定ができます。 本書 49 ページ「［詳細設定］ダイアログ」
［保存 / 削除］ボタン	［詳細設定］ダイアログで設定した内容を保存 / 削除できます。 本書 53 ページ「ユーザー設定の保存方法」 保存したユーザー設定は、プリセットメニューから選択できます。

⑦印刷部数

印刷する部数（1～999）を設定します。

⑧部単位で印刷

2部以上印刷する場合に1ページ目から最終ページまでを1部単位にまとめて印刷します。印刷する部数は、⑦の［印刷部数］で指定します。


ポイント

アプリケーションソフト側で部単位印刷の設定ができる場合は、アプリケーションソフト側の設定をオフ（部単位印刷しない）にしてから、プリンタドライバで設定してください。

⑨［バージョン情報］ボタン

プリンタドライバのバージョン情報を示すダイアログが開きます。

［詳細設定］ダイアログ

［基本設定］ダイアログで［印刷品質］の［詳細］をクリックして、さらに［設定変更］ボタンをクリックすると、印刷条件の詳細な設定ができます。





①色

カラー印刷を行うときは、［カラー］を、モノクロ印刷を行うときは［黒］を選択します。［色］の設定によって、設定できるほかの印刷条件は異なります。

②解像度

印刷の解像度を［標準］(300dpi) または［高品質］(600dpi) のどちらかに設定できます。［高品質］を選択すると、きめ細かく印刷できますが印刷時間は長くなります。品質より印刷速度を優先する場合は、［標準］に設定してください。



印刷できない場合や、メモリ関連のエラーメッセージが表示される場合は、解像度を［標準］に設定してください。

③スクリーン（カラー印刷のみ）

スクリーン線数（lpi）を選択します。

項　目	説　明
自動	スクリーン線数を自動的に設定します。
階調優先	階調を優先して印刷します。色調や色の濃淡が無段階に変化する連続階調、写真やグラデーションのあるデータの印刷時に選択してください。
解像度優先	解像度を優先して印刷します。細い線や細かい模様のあるデータの印刷時に選択してください。



［基本設定］－［用紙種類］で［OHP シート］を選択している場合は、OHP シート専用のスクリーンが用いられるので設定できません。

④トナーセーブ

印刷濃度を抑えることでトナーを節約（トナーセーブ）します。カラー印刷時は色の表現力を低く抑えて印刷します。試し印刷をするときなど、印刷品質にこだわらない場合にご利用ください。



カラー印刷の場合、色の濃度を低くして印刷するため、薄い色や細かい線などは印刷されない場合があります。

⑤RIT

RIT[*1]（Resolution Improvement Technology）を有効にすると大きな文字がきれいに印刷できたり、写真画像の斜線補正や輪郭補正などに効果があります。

*1　RIT：斜線や曲線などのギザギザをなめらかに印刷する EPSON 独自の印刷機能。



- RIT 機能を有効にしてグラデーション（無段階に変化する階調）のある画像を印刷すると、意図した印刷結果が得られないことがあります。この場合は RIT 機能を使用しないでください。
- カラー印刷の場合、③の［スクリーン］の設定またはデータ上の色によって RIT 機能が有効にならない場合があります。

⑥ ドライバによる色補正

プリンタドライバによるカラー調整を行います。[ドライバによる色補正]を選択した場合は、以下の設定でカラーを調整できます。

ガンマ：

ガンマ値は、画像階調の入力値と出力値の関係を表すときに使用する単位で、この値を変更することで中間調の明るさの見え方が変わります。この設定は、[ドライバによる色補正]を選択した場合にのみ有効です（モノクロ印刷では設定できません）。

[1.5]	従来の EPSON カラーレーザープリンタ（LP-8000C/8200C）の色合いに近付けて印刷します。
[1.8]	通常はこの設定で印刷してください。ガンマ値 1.5 に比べ立体感がありメリハリのある画像を印刷することができます。
[2.2]	sRGB 対応製品と色合わせして印刷する場合に選択してください。⑨の[sRGB]を選択しても同様の結果が得られます。

色補正方法：

色の補正方法を選択できます（モノクロ印刷では設定できません）。

[自動（自然な色合い優先）]	文字を鮮やかな色合いに、グラフィックとイメージを自然な色合いになるようにカラー調整します。
[自動（鮮やかさ優先）]	文字とグラフィックを鮮やかな色合いに、イメージを自然な色合いになるようにカラー調整します。
[自然な色合い]	より自然な発色になるようにカラー調整します。
[鮮やかな色合い]	より鮮やかな発色になるようにカラー調整します。
[色補正なし]	カラー調整しません。ICM 用プロファイルを作成する際の基準色を印刷するときに選択します。通常は、選択しないでください。

明度：

画像全体の明るさを調整します。

コントラスト：

画像全体のコントラスト（明暗比）を調整します。コントラストを上げると、明るい部分はより明るく、暗い部分はより暗くなります。逆にコントラストを落とすと、画像の明暗の差が少なくなります。

彩度：

画像全体の彩度（色の鮮やかさ）を調整します。彩度を上げると、色味が強くなります。彩度を落とすと、色味がなくなり、無彩色化されてグレーに近くなります（モノクロ印刷では設定できません）。

シアン、マゼンタ、イエロー：

各色の強さを調整します（モノクロ印刷では設定できません）。

	-25	← 0 → +25
シアン	赤みが強くなります。	青緑（シアン）が強くなります。
マゼンタ	緑色が強くなります。	赤紫（マゼンタ）が強くなります。
イエロー	青色が強くなります。	黄色（イエロー）が強くなります。

⑦オートフォトファイン !4（カラー印刷のみ）

EPSON 独自のオートフォトファイン !4 機能を使って、画像を高画質化します。ビデオ、デジタルカメラ、フィルムスキャナ、スキャナなどから取り込んだ画像や Photo CD のデータなどを自動的に補正して印刷します。



項目	説明
色調	印刷する際の画像の色調の補正方法を、[標準][硬調][セピア][鮮やか][モノクロ][色調補正なし] の項目から選択することができます。それぞれの効果は各項目を選択した際の右側の画像の変化で確認してください。
効果	印刷する際に画像に特殊効果を加えて印刷します。[なし][シャープネス][ソフトフォーカス][キャンバス][和紙] の中から選択することができます。リスト下のスライドバーは、加える効果の強弱（[ハード]、[ソフト]）を調整することができます。それぞれの効果は各項目を選択した際の右側の画像の変化で確認してください。
デジタルカメラ用補正	デジタルカメラで撮影した画像に対して、最適な補正をして印刷します。


ポイント

- 画像のサイズやコンピュータの性能によっては印刷時間が多少長くなります。
- オートフォトファイン !4 は、1677 万色（24bit）の色情報を持った画像データに対して最も有効に機能します。256 色などの少ない色情報の画像データには有効に機能しません。
- EPSON 製デジタルカメラの画像転送ソフトにおいてオートフォトファインを使用した画像データには、プリンタドライバのオートフォトファイン !4 は使用しないでください。

⑧ICM（カラー印刷のみ）

Windows の ICM（Image Color Matching）機能（Windows NT4.0 を除く）を使用して、スキャナから取り込んだ画像とプリンタの印刷結果の色合いを合わせるときに選択します。

⑨sRGB*1（カラー印刷のみ）

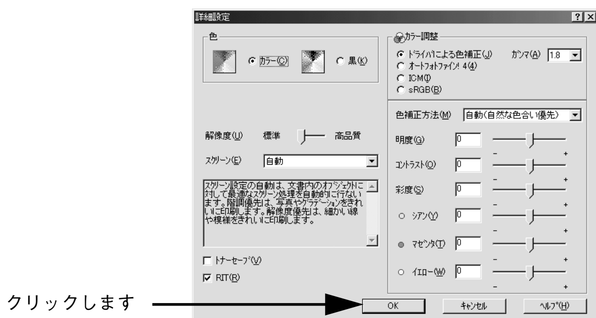
スキャナやディスプレイなどが sRGB に対応している場合、それぞれの機器とカラーマッチング（色合わせ）を行って印刷します（プリンタドライバでの調整項目はありません）。ご利用の機器が sRGB に対応しているかは、機器のメーカーにお問い合わせください。

*1　sRGB：Microsoft 社とヒューレットパッカード社が共同で制定したRGB の色の規格。

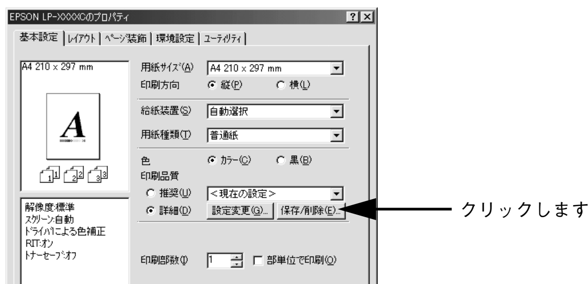
ユーザー設定の保存方法

ここでは、[詳細設定]ダイアログの設定を保存する方法、また、以前に保存した設定を削除する方法を説明します。

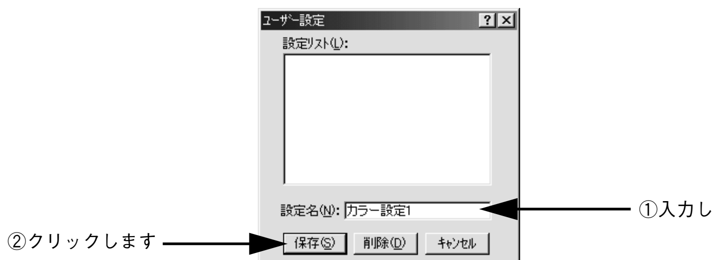
1 [詳細設定]ダイアログで各項目を設定し、[OK]ボタンをクリックします。



2 [保存 / 削除]ボタンをクリックします。



3 [設定名]に任意の名称を入力し、[保存]ボタンをクリックします。



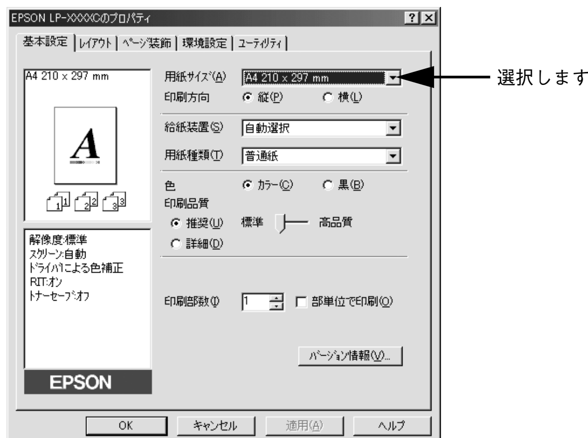
- 設定を削除する場合は、[設定リスト]から削除する設定名をクリックして選択し、[削除]ボタンをクリックします。
- 10 件まで登録することができます。

[基本設定]ダイアログのプリセットメニューに設定が追加されました。
以上でユーザー設定の保存は終了です。

任意の用紙サイズを登録するには

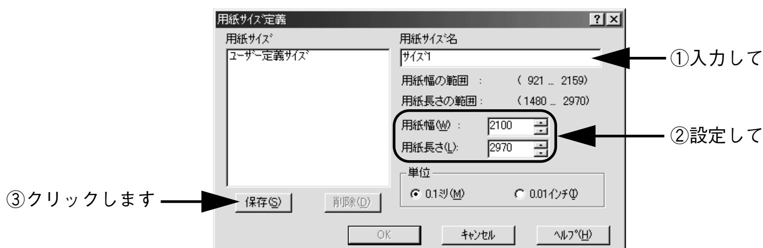
［用紙サイズ］リストにあらかじめ用意されていない用紙サイズを［ユーザー定義サイズ］として登録することができます。

1 **プリンタドライバの［基本設定］ダイアログを開き、［用紙サイズ］リストから［ユーザー定義サイズ］を選択します。**



2 **登録名を［用紙サイズ名］に入力し、登録したい［用紙幅］と［用紙長さ］を入力してから、［保存］ボタンをクリックします。**

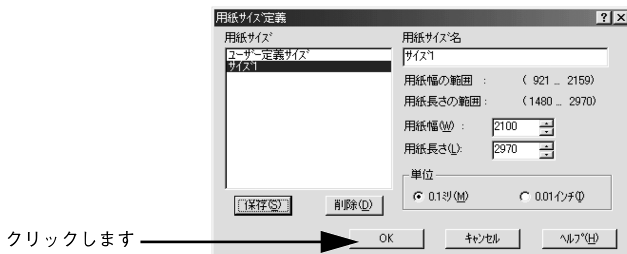
- 数値の単位は、［0.1 ミリ］または［0.01 インチ］のどちらかを選択できます。
  設定できるサイズの範囲は次の通りです。
  用紙幅：92.1 ～ 215.9mm（3.63 ～ 8.50 インチ）
  用紙長：148.0 ～ 297.0mm（5.83 ～ 11.69 インチ）




ポイント

- 登録できる用紙サイズの数は 20 件までです。
- すでに登録している用紙サイズを変更する場合は、［用紙サイズ］リストから変更したい用紙サイズを選択して保存し直します。
- すでに登録されている用紙サイズを削除する場合は、［用紙サイズ］リストからサイズ名をクリックして選択し、［削除］ボタンをクリックします。
- プリンタドライバを再インストールした場合でも、登録された用紙サイズは保持されます。

3 ［OK］ボタンをクリックします。



これで、定義した用紙サイズが［用紙サイズ］リストから選択できるようになります。

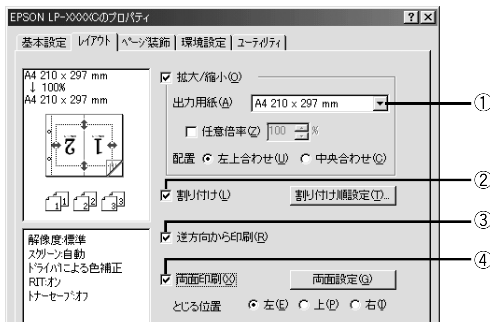

ポイント

不定形紙への印刷は、いくつかご注意いただく点があります。以下のページを参照してから印刷を実行してください。
本書 37 ページ「不定形紙への印刷」

［レイアウト］ダイアログ

プリンタドライバの［レイアウト］ダイアログでは、印刷するページのレイアウトに関わる設定を行います。

< 例 > Windows 98 でアプリケーションソフトから開いた場合



① 拡大 / 縮小

拡大または縮小して印刷することができます。

☞ 本書 57 ページ「拡大 / 縮小して印刷するには」

② 割り付け

2 ページまたは 4 ページ分の連続したデータを 1 枚の用紙に自動的に縮小割り付けして印刷します。割り付けるページ数と順序を設定するには、［割り付け順設定］ボタンをクリックします。

☞ 本書 59 ページ「1 ページに複数ページのデータを印刷するには」

③ 逆方向から印刷

印刷データを 180 度回転して印刷します。

④ 両面印刷

オプションの両面印刷ユニットを装着している場合に選択でき、両面印刷を行います。製本印刷の設定も行えます。

☞ 本書 61 ページ「両面印刷 / 製本印刷をするには」



両面印刷を行う場合、次の点に注意してください。
- 両面印刷の製本機能と割り付け機能を同時に設定することはできません。
- 用紙カセットの用紙ガイドは、用紙サイズの目盛りに正しく合わせてください。また、用紙トレイにセットした用紙のサイズを正しく設定してください。用紙サイズが正しく検知されないと、両面印刷ができない場合があります。



ポイント

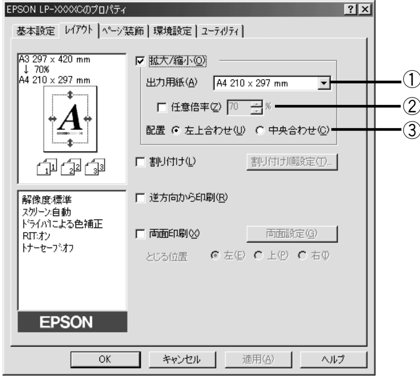
両面印刷ユニットを使って自動両面印刷できる用紙については以下のページを参照してください。

☞ 本書 27 ページ「両面印刷ユニット（オプション）について」

拡大 / 縮小して印刷するには

［レイアウト］ダイアログで［拡大 / 縮小］のチェックボックスをチェックすると、拡大 / 縮小機能が有効になり、以下の項目が設定できます。［基本設定］ダイアログで設定した用紙サイズの原稿を、指定したサイズに拡大または縮小して印刷します。

<例> Windows 98でアプリケーションソフトから開いた場合



①出力用紙

プリンタにセットした用紙サイズに合わせて自動的に拡大 / 縮小（フィットページ）印刷するには、用紙サイズをリストから選択します。設定した情報を画面左側に表示します。

②任意倍率

50 ～ 200% までの任意の倍率を 1% 単位で設定できます。この場合は、フィットページ印刷は行われません。

③配置

フィットページ印刷する場合、ページのどこに印刷するかを選択します。

項目	説明
左上合わせ	用紙の左上を基準にしてフィットページ印刷を行います。
中央合わせ	用紙の中央を基準にしてフィットページ印刷を行います。

フィットページ印刷の手順

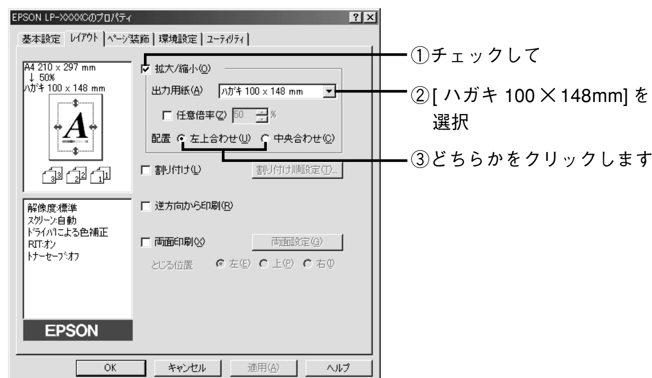
フィットページ機能を使って用紙サイズA4の印刷データをハガキサイズに縮小印刷する手順は以下の通りです。

1 プリンタにハガキサイズの用紙がセットされていることを確認します。

2 ［基本設定］ダイアログを開いて、［用紙サイズ］が［A4］になっていることを確認します。



3 ［レイアウト］ダイアログを開いて、各項目を設定します。



4 ［OK］ボタンをクリックして［レイアウト］ダイアログを閉じ、［OK］ボタンをクリックして印刷を実行します。

1 ページに複数ページのデータを印刷するには

［レイアウト］ダイアログで［割り付け］のチェックボックスをチェックして［割り付け順設定］ボタンをクリックすると、［割り付け順設定］ダイアログが開いて以下の項目が設定できます。



①割り付けページ数

1 枚の用紙に割り付けるページ数を選択します。

②割り付け順序

割り付けたページを、どのような順番で配置するのか選択します。［印刷方向］（縦・横）と［割り付けページ数］によって、選択できる割り付け順序は異なります。

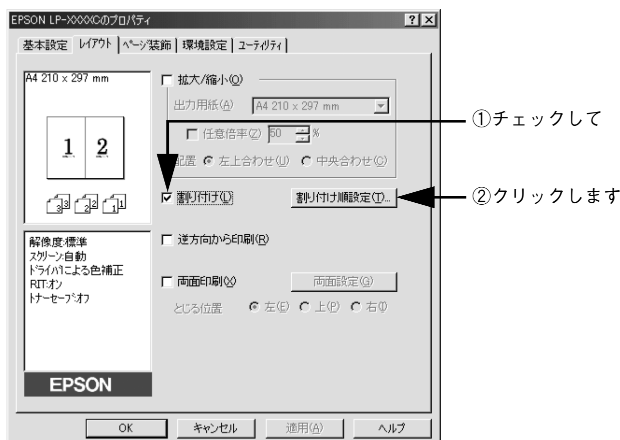
③枠を印刷

割り付けたページの周りに枠線を印刷します。

割り付け印刷の手順

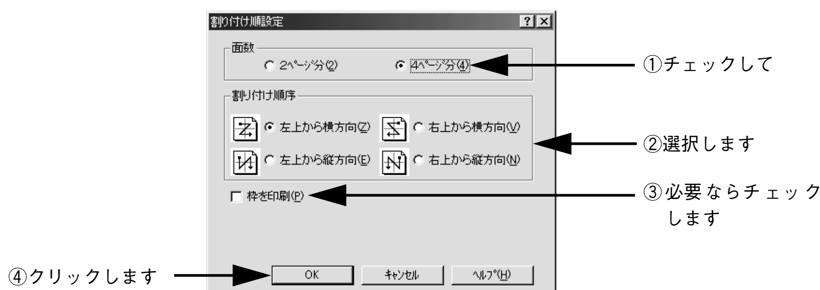
4 ページ分の連続したデータを 1 枚の用紙に印刷する場合の手順は以下の通りです。

1. ［レイアウト］ダイアログを開いてから［割り付け順設定］ダイアログを開きます。



2. ［4 ページ分］を選択して、［割り付け順設定］ダイアログの各項目を設定します。

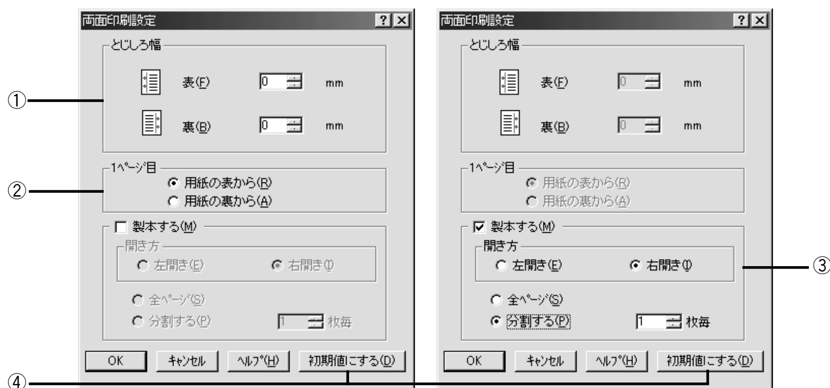
割り付けたページの周りに枠線を入れたいときは［枠を印刷］のチェックボックスをチェックします。



3. ［OK］ボタンをクリックして［レイアウト］ダイアログを閉じ、［OK］ボタンをクリックして印刷を実行します。

両面印刷 / 製本印刷をするには

［レイアウト］ダイアログで［両面設定］ボタンをクリックすると、［両面印刷設定］ダイアログが表示され、以下の項目が設定できます。



①とじしろ幅

両面印刷するときのとじしろ幅（余白）を、用紙の表と裏でそれぞれ設定します。

②1 ページ目

両面印刷する場合、印刷データの 1 ページ目を用紙の表から印刷するか裏から印刷するかを選択します。

③製本する

［基本設定］ダイアログの［印刷方向］に応じて製本した場合の開き方を選択できます。

- ［印刷方向］が［縦］の場合は、［左開き］か［右開き］かを選択できます。
- ［印刷方向］が［横］の場合は、［下開き］のみ設定できます。

さらに、製本するページの単位を設定できます。

- ［全ページ］を選択すると、すべてのページをまとめて製本します。
- ［分割する］を選択して用紙枚数を指定すると、指定枚数ごとに製本します。最大 10 枚毎まで分割することができます。



- ［製本する］をチェックすると、両面印刷の［とじる位置］と［とじしろ幅］の設定は無効になります。
- 部単位での印刷になります。

④［初期値にする］ボタン

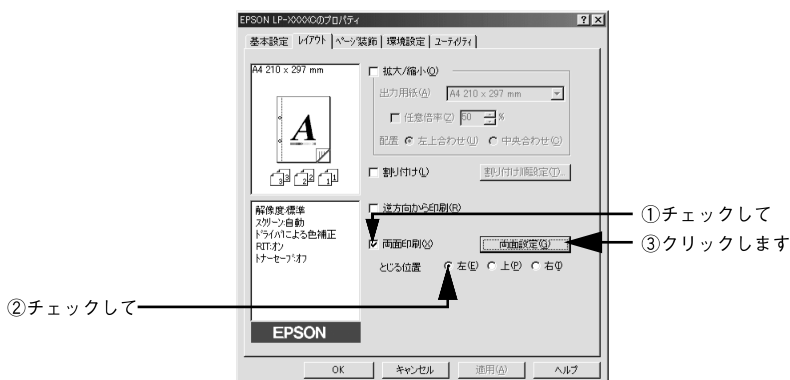
両面印刷の設定を初期状態に戻します。

両面印刷の手順

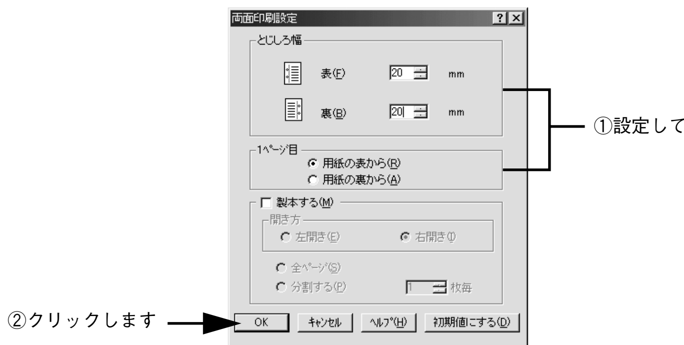
A4 サイズ（縦長）の印刷データを用紙の左側をとじられるように両面印刷する場合の手順は以下の通りです。

1. **プリンタに両面印刷が可能なサイズの用紙（ここではA4）がセットされていることを確認します。**

2. **［レイアウト］ダイアログを開いて、以下の項目を設定します。**
［両面印刷］と［とじる位置］の［左］をチェックして、［両面設定］ボタンをクリックします。



3. **［両面印刷設定］ダイアログの各項目を設定します。**
各項目を設定してから、［OK］ボタンをクリックします。



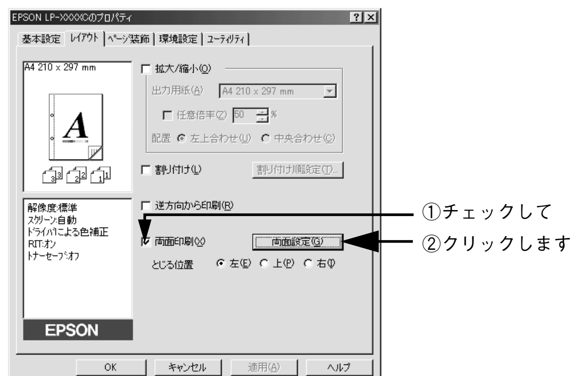
4. **［OK］ボタンをクリックして［レイアウト］ダイアログを閉じ、［OK］ボタンをクリックして印刷を実行します。**

製本印刷の手順

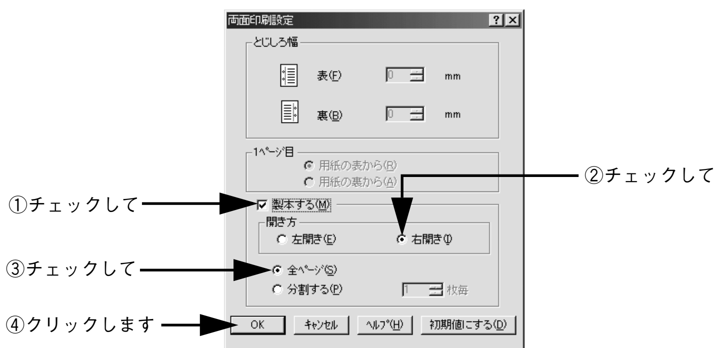
8 ページの印刷データ（縦長）を右開きになるように製本印刷する場合の手順は以下の通りです。

1. **プリンタに両面印刷が可能なサイズの用紙がセットされていることを確認します。**

2. **［レイアウト］ダイアログを開いて、以下の項目を設定します。**
［両面印刷］をチェックして、［両面設定］ボタンをクリックします。

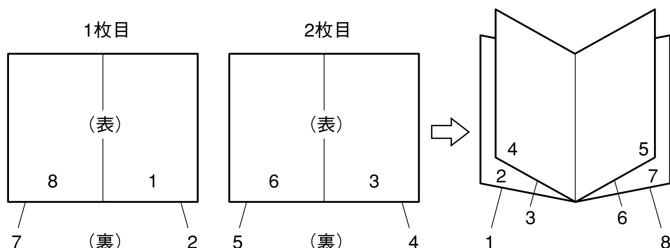


3. **［両面印刷設定］ダイアログの以下の項目を設定します。**
［製本する］と［開き方］の［右開き］、［全ページ］をチェックして、［OK］ボタンをクリックします。



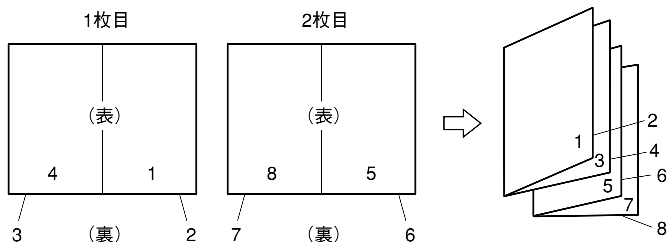
4 ［OK］ボタンをクリックして［レイアウト］ダイアログを閉じ、［OK］ボタンをクリックして印刷を実行します。

以下のように印刷されますので、2 枚の用紙をまとめて2つ折りにしてとじてください。





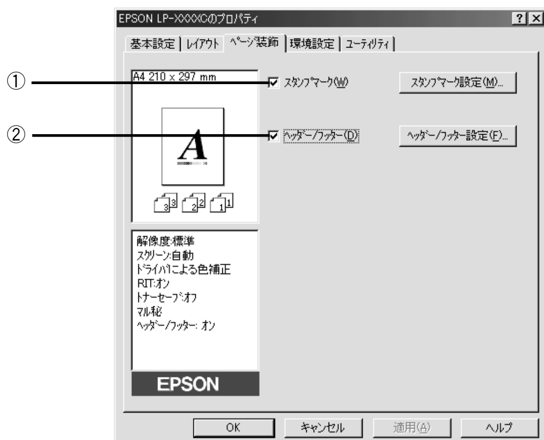
［製本する］の［分割する］を選択する（例：分割数 =1 枚毎）と、以下のように印刷されます。この場合は、1 枚ずつ 2 つ折りにしてからまとめてとじます。



［ページ装飾］ダイアログ

［ページ装飾］ダイアログは、スタンプマーク印刷、ヘッダー / フッター印刷を行う場合に設定するダイアログです。

< 例 > Windows 98 でアプリケーションソフトから開いた場合



①スタンプマーク

印刷データに ㊙ などの画像や「重要」などのテキストを重ね合わせて印刷します。

☞ 本書 66 ページ「スタンプマークを印刷するには」

②ヘッダー / フッター

ユーザー名や印刷日時など、印刷に関する情報を用紙のヘッダー（上部）/ フッター（下部）に印刷します。印刷するヘッダー / フッターを設定するには、［ヘッダー / フッター設定］ボタンをクリックします。



［ヘッダー / フッター設定］ダイアログでは、印刷位置に対応するリストから印刷したい項目（なし・ユーザー名・コンピュータ名・日付・日付 / 時刻・部番号*）を選択して、［OK］ボタンをクリックします。

* 部単位で印刷する場合に何部目であるかを示す番号



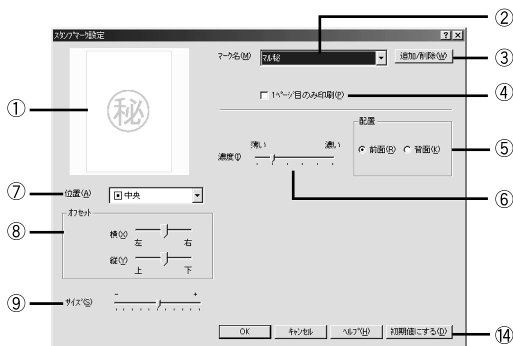
Windows NT4.0/2000/XP の場合、［ヘッダー / フッター］の設定は［動作環境設定］ダイアログでの［ドキュメント設定］の影響を受けます。

☞ 本書 81 ページ「［動作環境設定］ダイアログ」

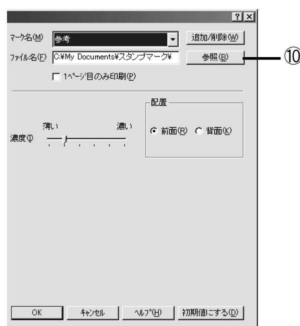
スタンプマークを印刷するには

［ページ装飾］ダイアログで［スタンプマーク］のチェックボックスをチェックして［スタンプマーク設定］ボタンをクリックすると、［スタンプマーク設定］ダイアログが開きます。

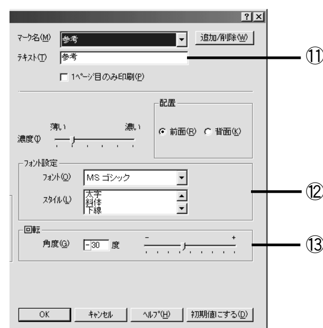
ビットマップマーク選択時



登録したビットマップマーク選択時



登録したテキストマーク選択時



①プレビュー部

選択しているスタンプマークが表示されます。

②マーク名

印刷するスタンプマークをリストボックスから選択します。

③［追加 / 削除］ボタン

オリジナルのビットマップ (BMP[*1] 画像) マークやテキスト（文字）マークを登録したり削除します。

本書 69 ページ「オリジナルスタンプマークの登録方法」

*1　BMP：画像ファイルを保存する際のファイル形式の 1 つ。

④ 1 ページ目のみ印刷

用紙の 1 ページ目のみにスタンプマークを印刷します。

⑤配置
スタンプマークを文書の［前面］または［背面］どちらに配置するかを選択します。［前面］に配置すると、印刷データの文字やグラフィックスがスタンプマークにかくれてしまう場合があります。

⑥濃度
スタンプマークの印刷濃度（薄い・濃い）を調整します。

⑦位置
スタンプマークの印刷位置をリストボックスから選択します。

⑧オフセット
スタンプマークの印刷位置をスライドバーで調整できます。



［サイズ設定］、［位置］、［オフセット］を設定する場合、スタンプマークが印刷可能領域を超えないように注意してください。

⑨サイズ
印刷するスタンプマークのサイズを調整します。スライドバーを［－］側に移動するとより小さく、［＋］側に移動するとより大きくスタンプマークが印刷されます。

⑩ファイル名（登録したビットマップマーク選択時のみ）
登録したビットマップマークを［マーク名］で選択した場合は、登録したビットマップのファイル名が表示されます。登録したビットマップファイルを変更する場合は、［参照］ボタンをクリックしてファイルを選択し直してください。

⑪テキスト（登録したテキストマーク選択時のみ）
登録したテキストマークを［マーク名］で選択した場合は、登録した文字列が表示されます。一時的に文字を追加して変更することもできます。登録した文字を変更する場合は、［追加 / 削除］ボタンをクリックして同一マーク名で上書きしてください。

⑫フォント設定（登録したテキストマーク選択時のみ）
テキストマークを選択した場合は、登録したテキストのフォントおよびスタイル（形状）を、リストボックスの中から選択することができます。

⑬回転（登録したテキストマーク選択時のみ）
テキストマークを選択した場合は、テキストマークの角度を設定できます。入力欄に角度を直接入力するか、スライドバーをスライドしてください。

⑭［初期値にする］ボタン
［スタンプマーク］ダイアログの設定を初期値に戻します。

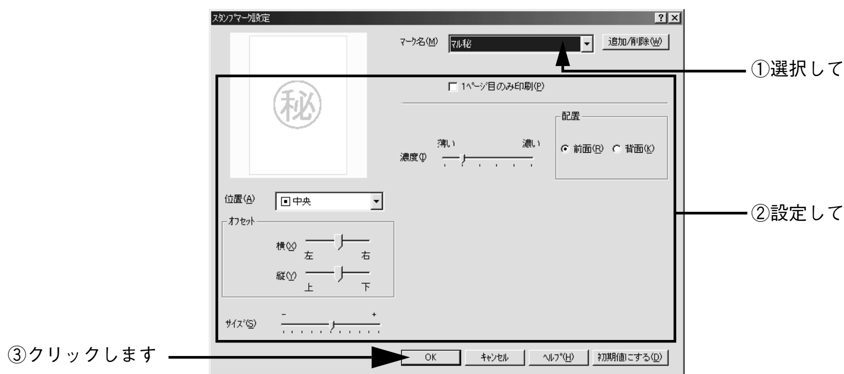
スタンプマーク印刷の手順

スタンプマークを印刷する場合の手順は以下の通りです。

1. ［ページ装飾］ダイアログを開いて、以下の項目を設定します。



2. 印刷したいスタンプマークを選択して、各項目を設定します。



3. ［OK］ボタンをクリックして［ページ装飾］ダイアログを閉じ、［OK］ボタンをクリックして印刷を実行します。

オリジナルスタンプマークの登録方法

すでに登録されているスタンプマークのほかに、テキスト（文字）マークやビットマップ（画像）マークが登録できます。登録するマークの種類に合わせて、それぞれの手順をお読みください。



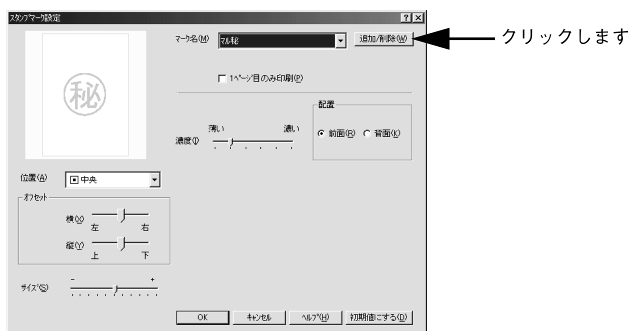
オリジナルスタンプマークは 10 件まで登録することができます。

テキストマークの登録方法

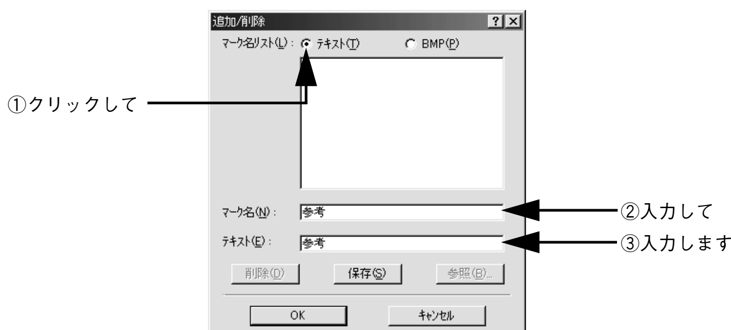
1 ［ページ装飾］ダイアログを開いてから、［スタンプマーク設定］ダイアログを開きます。



2 ［追加 / 削除］ボタンをクリックします。



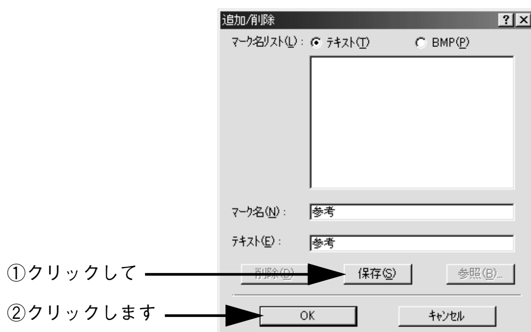
3 ［テキスト］をクリックし、［マーク名］に任意の登録名を入力してから、［テキスト］に登録したい文字を入力します。




ポイント

直接［テキスト］に文字を入力すると、同じ文字が自動的に［マーク名］に入力されます。入力した文字と同じマーク名を付けたい場合に便利です。

4 ［保存］ボタンをクリックして、［OK］ボタンをクリックします。



これで［スタンプマーク設定］ダイアログの［マーク名］リストにオリジナルのテキストマークが登録されました。


ポイント

登録したスタンプマークを削除するには、削除したいスタンプ名を［マーク名リスト］から選んで［削除］ボタンをクリックします。［削除］ボタンをクリックした後、［スタンプマーク設定］ダイアログとプリンタプロパティのダイアログを［OK］ボタンをクリックして必ず一旦閉じてください。

5 ［スタンプマーク設定］ダイアログで［OK］ボタンをクリックします。

画面左側のプレビュー部で、登録したスタンプマークを確認できます。

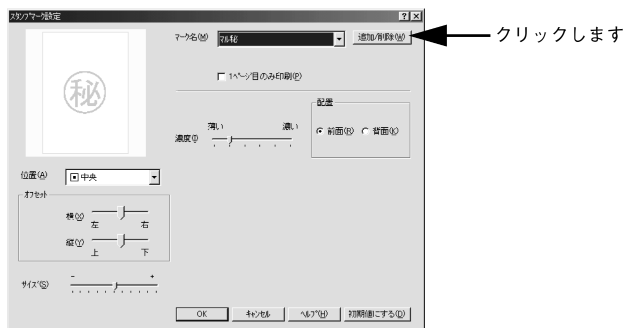
ビットマップマークの登録方法

1. アプリケーションソフトでスタンプマークを作成し、BMP 形式で保存します。

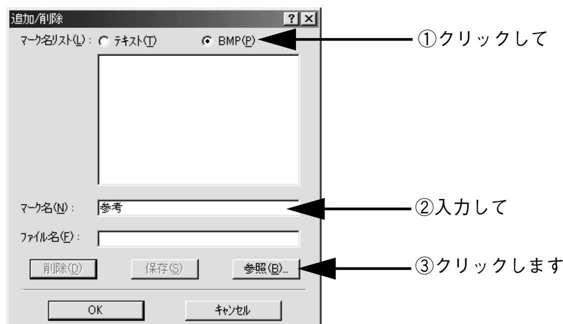
2. ［ページ装飾］ダイアログを開いてから、［スタンプマーク設定］ダイアログを開きます。



3. ［追加 / 削除］ボタンをクリックします。



4. ［BMP］をクリックし、［マーク名］に任意の登録名を入力してから、［参照］ボタンをクリックします。



5 **❶ でスタンプマークを保存したフォルダを選択し、登録するスタンプマークのファイル名をクリックしてから、［OK］ボタンをクリックします。**



6 **［保存］ボタンをクリックして、［OK］ボタンをクリックします。**



これで［スタンプマーク設定］ダイアログの［マーク名］リストにオリジナルのビットマップマークが登録されました。



登録したスタンプマークを削除するには、削除したいスタンプ名を［マーク名リスト］から選んで［削除］ボタンをクリックします。［削除］ボタンをクリックした後、［スタンプマーク設定］ダイアログとプリンタプロパティのダイアログを［OK］ボタンをクリックして必ず一旦閉じてください。

7 **［スタンプマーク設定］ダイアログで［OK］ボタンをクリックします。**

画面左側のプレビュー部で、登録したスタンプマークを確認できます。

［環境設定］ダイアログ

［環境設定］ダイアログは、お使いの OS や開き方によって画面のイメージや設定できる項目が異なります。

［プリンタ］フォルダから開いた場合

設定項目	Windows 95/98/Me	Windows NT4.0/2000/XP 管理者	Windows NT4.0/2000/XP 管理者以外	Windows NT4.0/2000/XP 管理者	Windows NT4.0/2000/XP 管理者以外
		ドキュメントの既定値 / 印刷設定		プロパティ	
ステータスシート印刷	○	○	○	○	○
プリンタ設定	○	ー	ー	○	△
拡張設定	○	○	○	ー	ー
動作環境設定	○	△	△	○	△

アプリケーションソフトから開いた場合

設定項目	Windows 95/98/Me	Windows NT4.0/2000/XP 管理者	Windows NT4.0/2000/XP 管理者以外
ステータスシート印刷	○	○	○
プリンタ設定	ー	ー	ー
拡張設定	○	○	○
動作環境設定	△	△	△

○ :選択可（ダイアログを開いて設定できます）
△ :確認のみ（選択できますが、設定できません）
ー :非表示（選択・設定できません）

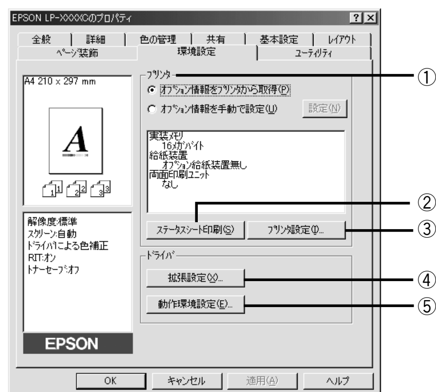

ポイント

Windows NT4.0/2000 の場合は管理者権限（Power Users 以上の権限）のあるユーザーまたはアクセス許可を与えられた Users のみが、Windows XP の場合は「コンピュータの管理者」アカウントのユーザーが設定を変更でき、［プロパティ］または［ドキュメントの既定値］/［印刷設定］のどちらで［環境設定］ダイアログを開くかによって、設定できる項目（［拡張設定］または［動作環境設定］）が異なります。ダイアログの開き方については、以下のページを参照してください。

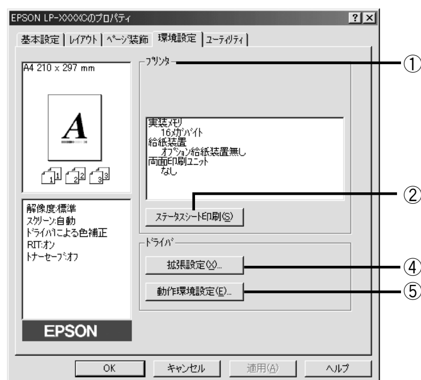
本書 39 ページ「プロパティの開き方」

以下に代表的な画面を掲載して項目の説明をします。

＜例＞ Windows 95/98/Me

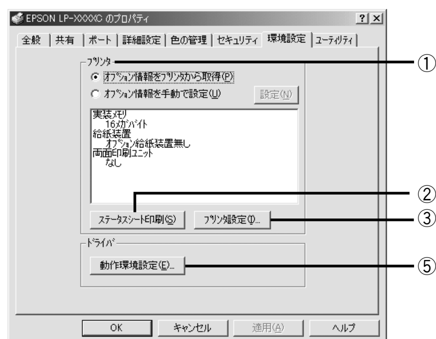


［プリンタ］フォルダから［プロパティ］を選択して開いた場合

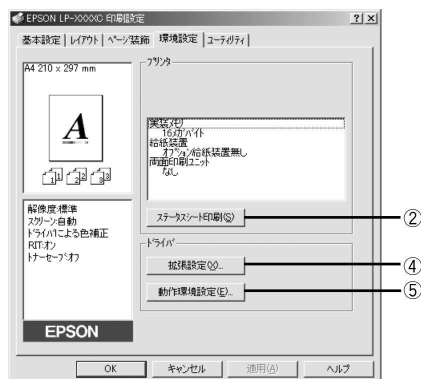


アプリケーションソフトから開いた場合

＜例＞ Windows NT4.0/2000



［プリンタ］フォルダから［プロパティ］を選択して開いた場合



［プリンタ］フォルダから［ドキュメントの既定値］または［印刷設定］を選択して開いた場合
（アプリケーションソフトから開いた場合）

①プリンタ（オプション情報）

［プリンタ］フォルダから［環境設定］ダイアログを開くと、プリンタに装着しているオプションの最新情報を表示します。本機では、実装しているメモリ容量とオプション（給紙装置など）の有無を表示します。オプション情報は、次のいずれかの方法で取得します。

オプション情報をプリンタから取得	［プリンタ］フォルダから［プロパティ］を選択してプリンタドライバを開いた時に、オプション情報を自動的に取得します。
オプション情報を手動で設定	［設定］ボタンをクリックして［実装オプション設定］ダイアログを開き、取り付けているメモリの容量やオプションを手動で設定します。 本書76ページ「［実装オプション設定］ダイアログ」


ポイント

アプリケーションソフトからプリンタドライバのプロパティを開いた場合（Windows NT4.0の場合は［ドキュメントの既定値］、Windows 2000 /XPの場合は［印刷設定］を選択したとき）は、最新のオプション情報は表示されません。［設定］ボタンも表示されません。

②［ステータスシート印刷］ボタン

プリンタの状態や設定値を記載したステータスシートを印刷します。

③［プリンタ設定］ボタン

このボタンをクリックすると［プリンタ設定］ダイアログが開き、節電機能やトレイ用紙サイズが設定できます。

本書77ページ「［プリンタ設定］ダイアログ」

④［拡張設定］ボタン

印刷位置のオフセット値、白紙節約機能、ページエラー回避などの設定を行うときにクリックします。

本書79ページ「［拡張設定］ダイアログ」

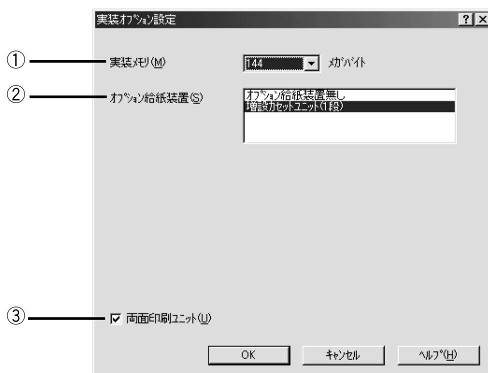
⑤［動作環境設定］ボタン

印刷データを一時的に保存するためのフォルダを指定します。

本書81ページ「［動作環境設定］ダイアログ」

［実装オプション設定］ダイアログ

［プリンタ］フォルダから［環境設定］ダイアログを開き、［オプション情報を手動で設定］をクリックして［設定］ボタンをクリックすると、［実装オプション設定］ダイアログが開きます。





設定を変更した場合は［OK］ボタンをクリックすることで有効になります。

①実装メモリ

標準メモリ（16MB）と増設したメモリの容量の合計（最大 144MB）を、リストから選択します。単位はメガバイト（MB）です。

②オプション給紙装置

オプション給紙装置を装着していない場合は、［オプション給紙装置無し］をクリックして選択します。オプション給紙装置を装着している場合は、装着した給紙装置名をクリックして選択します。選択を解除するには、再クリックします。

③両面印刷ユニット

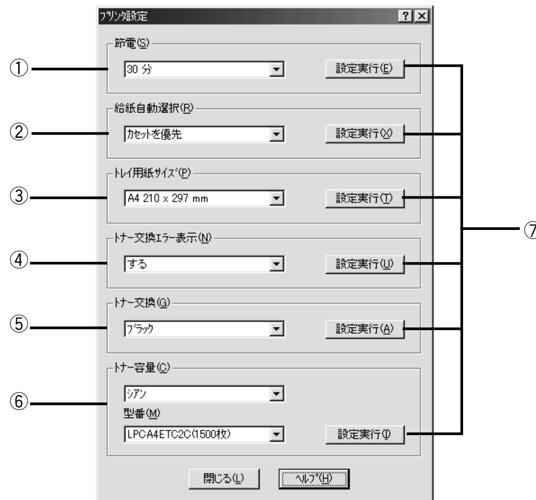
オプションの両面印刷ユニットを装着した場合は、チェックマークを付けます。

[プリンタ設定] ダイアログ

[プリンタ] フォルダ内の本機のプリンタアイコンを右クリックして、表示されたメニューから [プロパティ] をクリックします。[環境設定] ダイアログを開き、[プリンタ設定] ボタンをクリックすると、[プリンタ設定] ダイアログが開きます。



Windows NT4.0 の [ドキュメントの既定値] と Windows 2000/XP の [印刷設定] から [環境設定] ダイアログを開いた場合は、[プリンタ設定] ボタンは表示されません。また、[プロパティ] から [環境設定] ダイアログを開いた場合でも、管理者権限 (Power Users 以上の権限) のあるユーザー以外には、[プリンタ設定] ボタンが表示されません。



① 節電

節電状態に入るまでの時間 *1 (30 分、60 分、120 分、180 分) を設定します。頻繁に印刷することがない場合は、本機能により印刷待機時の消費電力を節約することができます。最後の印刷が終了してから、指定した時間 (初期設定 30 分) が経過すると節電状態になります。節電状態のときは、印刷するデータを受け取るとまずウォーミングアップを行ってから、印刷を開始します。

*1　OFF (節電しない) の設定はできません。

② 給紙自動選択

[基本設定] ダイアログの [給紙装置] が [自動選択] に設定され、用紙カセットと用紙トレイにセットした用紙サイズが同じ場合、どちらを優先して給紙するかを設定できます。

[カセットを優先]	用紙カセットから先に給紙します。(初期設定)
[トレイを優先]	用紙トレイから先に給紙します。

③トレイ用紙サイズ
用紙トレイにセットした用紙のサイズを指定します。設定が異なったまま印刷を実行すると印刷はできますが用紙交換エラーまたは用紙サイズエラーが発生し、画面上にメッセージが表示されます。

④トナー交換エラー表示
ET カートリッジのトナーがなくなった場合の対応を設定できます。

［する］	トナーがなくなると印刷を停止し、交換を促すメッセージを表示します。（初期設定）
［しない］	トナーがなくなっても交換を促すメッセージを表示しません。

⑤トナー交換
ET カートリッジを強制的に交換したいときに、ET カートリッジを交換位置まで移動させます。

本書 264 ページ「ET カートリッジの強制交換」



トナーがなくなった場合は、交換が必要な ET カートリッジは自動的に交換位置に移動しますので、［トナー交換］を実行する必要はありません。たとえば、大量の印刷に備えて事前に新しい ET カートリッジに交換したい場合など、必要に応じて強制交換を行ってください。

⑥トナー容量
1,500 枚用カラーET カートリッジを取り付けた場合に、プリンタや EPSON プリンタウィンドウ !3 が正しくトナー残量を認識できるように、トナーの色とカートリッジの型番を選択します。

本書 257 ページ「ET カートリッジの交換手順」



4,500 枚用 ET カートリッジを取り付けた場合は、設定する必要がありません。

⑦［設定実行］ボタン
［プリンタ設定］ダイアログの設定を変更した場合に、設定した内容を有効にするときにクリックします。プリンタの印刷中は、クリックしないでください。



印刷中に［設定実行］ボタンをクリックしないでください。正常に設定されない場合があります。

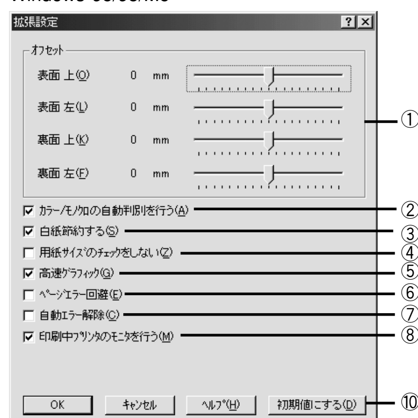
［拡張設定］ダイアログ

［環境設定］ダイアログで［拡張設定］ボタンをクリックすると、［拡張設定］ダイアログが開きます。

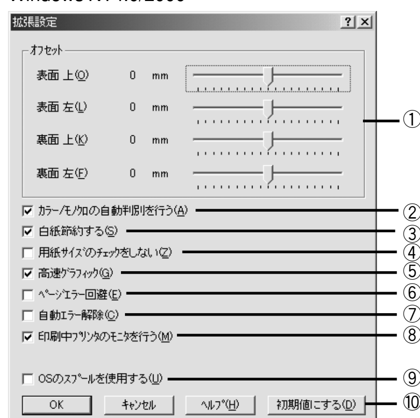


Windows NT4.0/2000/XP で、［プリンタ］フォルダ（XP の場合は［プリンタと FAX］フォルダ）からプリンタドライバのプロパティを開いた場合は表示されません。［プリンタ］フォルダ（XP の場合は［プリンタと FAX］フォルダ）の［ファイル］メニューから［ドキュメントの既定値］/［印刷設定］を選択するか、アプリケーションソフトからプリンタドライバのプロパティを開いてください。

Windows 95/98/Me



Windows NT4.0/2000



①オフセット

印刷開始位置のオフセット値を表面 / 裏面それぞれに対して［上］（垂直位置）と［左］（水平位置）で設定します。1mm 単位で、次の範囲で設定できます。

上（垂直位置）: -9mm（上方向）～ 9mm（下方向）

左（水平位置）: -9mm（左方向）～ 9mm（右方向）

②カラー / モノクロの自動判別を行う

印刷データがカラーデータであるかモノクロデータであるかを自動判別して、データに適した設定で印刷します。

③白紙節約する

白紙ページを印刷するかしないかを選択します。白紙ページを印刷しないことで用紙を節約することができます。

④用紙サイズのチェックをしない

プリンタドライバで設定した用紙サイズとプリンタにセットしてある用紙のサイズが合っているか確認しません。それぞれの用紙サイズが異なってもエラーを発生することなく印刷します。

⑤高速グラフィック

グラフィック（円や短形などを重ねて描いた図形）を高速で印刷できます。



グラフィックが正常に印刷されなかった場合は、チェックボックスのチェックを外してください。

⑥ページエラー回避

チェックすると、印刷品質を落として印刷するため、ページエラーが発生しにくくなります。印刷データに問題が発生した場合にチェックしてください。

⑦自動エラー解除

以下の状態のときに発生するエラーを自動的に解除して印刷を続行します。

- プリンタにセットしてある用紙サイズと印刷データの用紙のサイズが異なる場合
- 印刷データの用紙サイズがプリンタのサポートしていないサイズの場合
- 印刷に必要なメモリが足りない場合

⑧印刷中プリンタのモニタを行う

必ずチェックマークを付けてください。印刷時にプリンタを監視して、プリンタがエラー状態になるとポップアップウィンドウを表示します。



チェックマークを外すと、印刷に影響が出る可能性があります。

⑨OS のスプールを使用する（Windows NT4.0/2000/XP）

Windows のスプール機能を使用します。アプリケーションソフトによっては、画面と異なる印刷結果になる印刷時間が長くなるなどの問題が発生することがあります。この場合は、チェックを外してください。

⑩［初期値にする］ボタン

［拡張設定］ダイアログ内の設定を初期値に戻します。

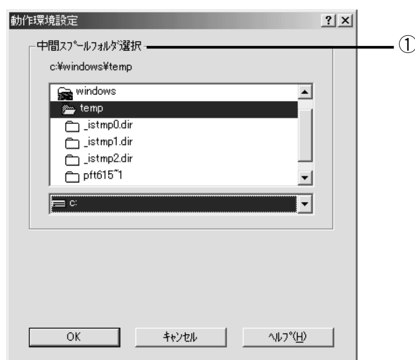
［動作環境設定］ダイアログ

［環境設定］ダイアログで［動作環境設定］ボタンをクリックすると、［動作環境設定］ダイアログが開きます。


ポイント

Windows NT4.0 の［ドキュメントの既定値］と Windows 2000/XP の［印刷設定］から［動作環境設定］ダイアログを開いた場合は、現在の設定状態を表示するだけで設定はできません。設定を変更する場合は、プリンタフォルダから表示する［プロパティ］から［動作環境設定］ダイアログを開いてください。

Windows 95/98/Me



Windows NT4.0/2000



① 中間スプールフォルダ選択

スプールファイルや部数印刷する際の印刷データを一時的に保存するフォルダを指定します。通常は、設定を変更する必要はありません。


ポイント

- Windows NT4.0/2000/XP で中間スプールフォルダを選択する場合は、選択するフォルダのアクセス権（またはアクセス許可）の設定がすべてのユーザーで「変更」または「フルコントロール」になっていることを確認してから選択してください。
- 印刷データを一時的に保存するフォルダの空き容量が少ないと、扱うデータによっては印刷できない場合があります。このようなときに空き容量の大きなドライブにある任意のフォルダを選択することにより印刷ができるようになります。

② ドキュメント設定（Windows NT4.0/2000/XP）

ヘッダー/ フッターの印刷を設定できます。[ページ装飾] ダイアログのヘッダー/ フッターの設定は、ここでの設定によって下表のように影響を受けます。

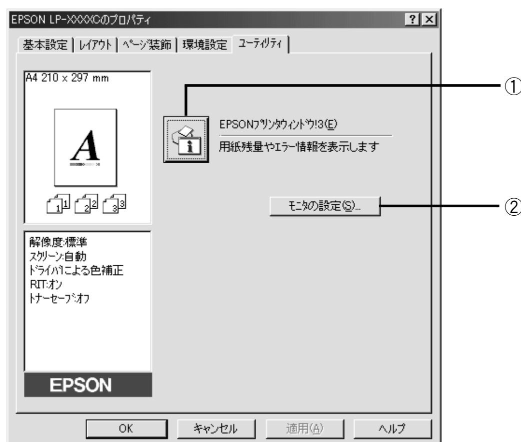
	［ヘッダー / フッターの設定を許可しない］		
	チェックなし	チェックあり	
	ー	［ヘッダー / フッターの印刷］	
		チェックなし	チェックあり
［ページ装飾］ダイアログの［ヘッダー / フッター］チェックボックス	設定を変更できます。	チェックなしのまま設定は変更できません。	チェックありのまま設定は変更できません。
［ページ装飾］ダイアログの［ヘッダー / フッター設定］ボタン	設定を変更できます。	ボタンはクリックできません（設定変更不可）。	ボタンをクリックしてヘッダー / フッターの印刷内容を確認できますが、設定は変更できません。
説明	ヘッダー / フッターの印刷は［ページ装飾］ダイアログで設定できます。管理者権限のないユーザー（Windows NT4.0/2000）または「コンピュータの管理者」アカウントではないユーザー（Windows XP）でも自由にヘッダー / フッターの印刷を設定できます。	ヘッダー / フッターは印刷できません。	ヘッダー / フッターの印刷は［動作環境設定］ダイアログで設定します。［標準設定］ボタンをクリックして［ヘッダー / フッター設定］ダイアログを開き、印刷位置に対応するリストから印刷したい項目（なし・ユーザー名・日付・日付 / 時刻・部番号）を選択してください。



- Windows NT4.0 の［ドキュメントの既定値］と Windows 2000/XP の［印刷設定］から［動作環境設定］ダイアログを開いた場合は設定できません。設定を変更する場合は、［プロパティ］から［動作環境設定］ダイアログを開いてください。
- 管理者権限のあるユーザー（Windows NT4.0/2000）または「コンピュータの管理者」アカウントのユーザー（Windows XP）しか設定できません。ヘッダー / フッター印刷を管理する必要がある場合はここで設定してください。

［ユーティリティ］ダイアログ

プリンタドライバの［ユーティリティ］ダイアログでは、ユーティリティソフトのEPSON プリンタウィンドウ !3 に関わる設定を行います。



①EPSON プリンタウィンドウ !3
中央のアイコンボタンをクリックすると、プリンタの状態やトナー残量が監視できるEPSON プリンタウィンドウ !3 が起動します。
本書 84 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 とは」

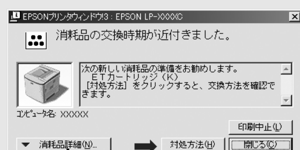
②［モニタの設定］ボタン
EPSON プリンタウィンドウ !3 の動作環境を設定する場合にクリックします。
本書 86 ページ「［モニタの設定］ダイアログ」

EPSON プリンタウィンドウ !3 とは

プリンタの状態を表示します

ポップアップウィンドウ

印刷を実行すると、プリンタのモニタを開始し、エラー発生時にはプリンタの状態を表示します。



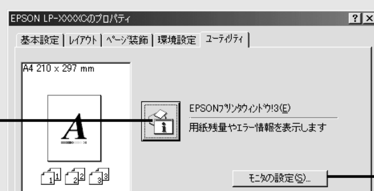
［プリンタ詳細］ウィンドウ

プリンタの状態やトナー、用紙などの消耗品の残量をコンピュータのモニタ上で確認することができます。



EPSON プリンタウィンドウ !3 の画面を開くには

- ［ユーティリティ］ダイアログから



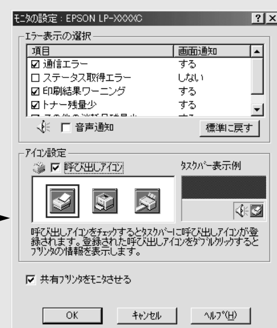
- タスクバーの呼び出しアイコンから



動作環境を設定するには

［モニタの設定］ダイアログ

どのような状態をエラーとして表示するかなど、EPSON プリンタウィンドウ !3 の動作環境を設定することができます。



EPSON プリンタウィンドウ !3 をお使いいただく前に

EPSON プリンタウィンドウ !3 をお使いいただく上での注意事項と制限事項について説明します。

- **Windows 95/98/Me で共有プリンタを監視する場合の注意事項**
  サーバ側とクライアント側において、コントロールパネルのネットワークおよび現在のネットワーク構成に、IPX/SPX 互換プロトコルあるいは TCP/IP プロトコルが設定されている必要があります。

- **Windows XP をご使用時の制限事項**
  Windows XP のリモートデスクトップ機能[*1] を利用して、移動先のコンピュータに直接接続されたプリンタへ印刷することはできません。EPSON プリンタウィンドウ !3 に通信エラーが発生します。

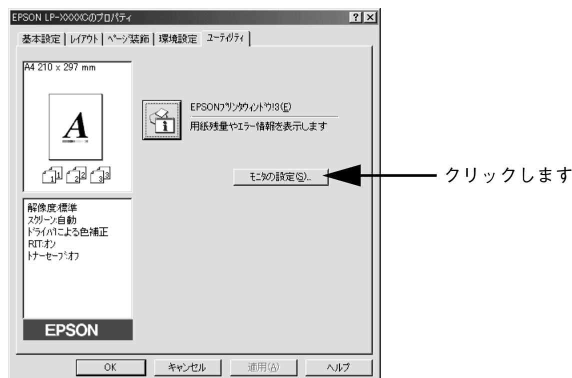
  *1 移動先のモバイルコンピュータなどからオフィスネットワーク内のコンピュータ上にあるアプリケーションやファイルへアクセスし、操作することができる機能

モニタの設定

EPSON プリンタウィンドウ !3 のモニタ機能を設定します。どのような場合にエラー表示するか、音声通知するか、共有プリンタをモニタさせるかなどを設定します。［モニタの設定］ダイアログを開く方法は、2 通りあります。

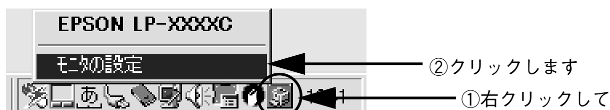
［方法 1］

プリンタのプロパティを開き、［ユーティリティ］の［モニタの設定］ボタンをクリックします。



［方法 2］

上記［方法 1］のモニタ設定時に呼び出しアイコンを設定した場合は、Windows のタスクバーにある EPSON プリンタウィンドウ !3 の呼び出しアイコンを、マウスの右ボタンでクリックして、メニューから［モニタの設定］をクリックします。



[モニタの設定] ダイアログ

<例> Windows XP の場合



①エラー表示の選択

選択項目にあるエラーまたはワーニングを通知するかを選択します。通知が必要な項目は、リスト内のエラー状況にチェックを付けます。チェックマークを付けたエラーまたはワーニングが発生したときにポップアップウィンドウが現れ、対処方法が表示されます。

②音声通知

エラー発生時に音声でも通知します。



お使いのコンピュータにサウンド機能がない場合、音声通知機能は使用できません。

③[標準に戻す] ボタン

[エラー表示の選択] を標準（初期）設定に戻します。

④アイコン設定

[呼び出しアイコン] にチェックマークを付けると、EPSONプリンタウィンドウ!3の呼び出しアイコンをタスクバーに表示します。表示するアイコンは、お使いのプリンタに合わせてクリックして選択できます。



タスクバーに設定したアイコンをマウスの右ボタンでクリックすると、メニューが表示されて [モニタの設定] ダイアログを開くことができます。

⑤共有プリンタをモニタさせる

ほかのコンピュータ（クライアント）から共有プリンタをモニタさせることができます。

本書 92 ページ「プリンタを共有するには」


ポイント

共有プリンタに設定した場合は、必ずチェックマークを付けてください。チェックしないと、印刷に支障が出る場合があります。

⑥複数のユーザーでプリンタをモニタする（Windows XP）

Windows XP のマルチユーザー機能を使用してプリンタをモニタする場合にチェックします。

プリンタの状態を確かめるには

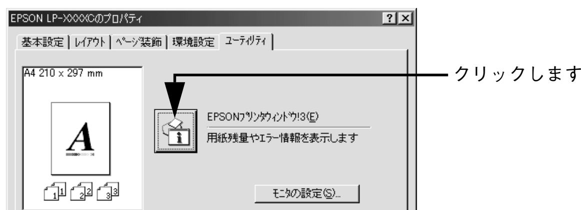
EPSON プリンタウィンドウ!3 でプリンタの状態を確かめるために、次の 2 通りの方法で［プリンタ詳細］ウィンドウを開くことができます。この［プリンタ詳細］ウィンドウは、消耗品などの詳細な情報も表示します。さらに、印刷中にエラーが発生した場合も［プリンタ詳細］ウィンドウを表示することができます。

本書 89 ページ「[プリンタ詳細］ウィンドウ」

［方法 1］

プリンタのプロパティを開き、［ユーティリティ］の［EPSON プリンタウィンドウ !3］アイコンをクリックします。プリンタプロパティの開き方は、以下のページをご覧ください。

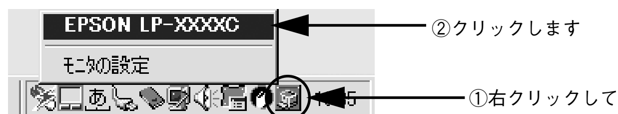
本書 39 ページ「プロパティの開き方」



［方法 2］

［方法 1］の画面にある［モニタの設定］内の［アイコン設定］機能により、EPSON プリンタウィンドウ !3 の呼び出しアイコンを、Windows のタスクバーに表示させることができます。タスクバー上の呼び出しアイコンをダブルクリックするか、マウスの右ボタンで呼び出しアイコンをクリックしてからプリンタ名をクリックします。

本書 85 ページ「モニタの設定」





ポイント

アプリケーションソフトから印刷を実行中にエラーが発生した場合、プリンタの状態を示すポップアップウィンドウがコンピュータのモニタ上に表示されます。

- ［消耗品詳細］ボタンをクリックすると［プリンタ詳細］ウィンドウに切り替わります。
- エラーが発生して［対処方法］ボタンが表示された場合は、ボタンをクリックすると対処方法を説明するダイアログが表示されます。



［プリンタ詳細］ウィンドウ

EPSON プリンタウィンドウ !3 の［プリンタ詳細］ウィンドウは、プリンタの詳細な情報を表示します。



①アイコン / メッセージ

プリンタの状態に合わせてアイコンが表示され状況をお知らせします。

②プリンタ / メッセージ

プリンタの状態を表示したり、エラーが発生した場合にその状況や対処方法をメッセージでお知らせします。

本書 90 ページ「対処が必要な場合は」

③コンピュータ名

現在印刷中のコンピュータ名を表示します。非印刷時には表示されません。

④［印刷中止］ボタン

現在処理中の印刷を中止して、データを削除します。プリンタが印刷動作を続行している時にクリックすると、他の印刷データを削除する場合がありますので注意してください。

⑤［閉じる］ボタン

ウィンドウを閉じます。

⑥用紙残量

給紙装置にセットされている用紙サイズと用紙残量の目安を表示します。

⑦トナー残量

ET カートリッジの型番と、トナー残量の目安を表示します。

⑧感光体ライフ

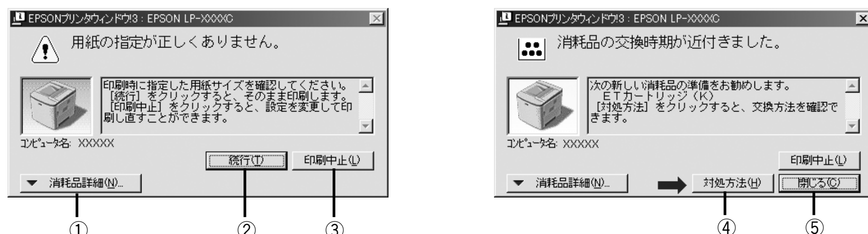
感光体ユニットがあとどれくらい使用できるか、寿命（ライフ）の目安を表示します。

⑨廃トナーボックス

廃トナーボックスの空き容量が少なくなるとアイコンが点滅します。

対処が必要な場合は

プリンタに何らかの問題が起こった場合は、EPSON プリンタウィンドウ !3 のポップアップウィンドウがコンピュータの画面上に現れ、メッセージを表示します。メッセージに従って対処してください。エラーが解消されると、自動的に閉じます。



①［消耗品詳細］ボタン

［プリンタ詳細］ウィンドウに切り替わり、消耗品の詳細な情報を表示します。

本書 89 ページ「［プリンタ詳細］ウィンドウ」

②［続行］ボタン

表示されているエラーを無視して印刷を続行します。続行すると画面と異なる状態で印刷されたり、エラーの発生したページが印刷されないことなどがあります。

③［印刷中止］ボタン

現在処理中の印刷を中止して、データを削除します。プリンタが印刷動作を続行している時にクリックすると、他の印刷データを削除する場合がありますので注意してください。

④［対処方法］ボタン

順を追って対処方法を説明します。

⑤［閉じる］ボタン

ポップアップウィンドウを閉じます。メッセージを読んでからウィンドウを閉じてください。

共有プリンタを監視できない場合は

以下の設定がされているかを確認してください。

- 共有プリンタを提供しているコンピュータ（プリントサーバ）上のネットワークコンピュータのプロパティを開き、ネットワークコンポーネントに Microsoft ネットワーク共有サービスが設定されていること。
- 共有プリンタを提供しているコンピュータ（プリントサーバ）に、対応するプリンタのドライバがインストールされ、かつ、そのプリンタの共有設定がされていて、EPSON プリンタウィンドウ !3 の［モニタの設定］ダイアログで［共有プリンタをモニタさせる］にチェックマークが付いていること。

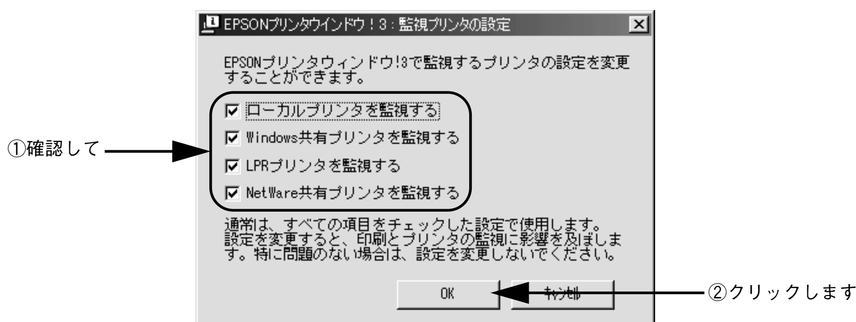
監視プリンタの設定

［監視プリンタの設定］ユーティリティは、EPSON プリンタウィンドウ !3 で監視するプリンタの設定を変更するためのユーティリティで、EPSON プリンタウィンドウ !3 とともにインストールされます。通常は設定を変更する必要はありません。何らかの理由で監視するプリンタの設定を変更したい場合のみご使用ください。

1. **監視プリンタの設定ユーティリティを起動します。**

   Windows の［スタート］ボタンをクリックし、［プログラム］から［Epson］にカーソルを合わせてから、［監視プリンタの設定］をクリックします。

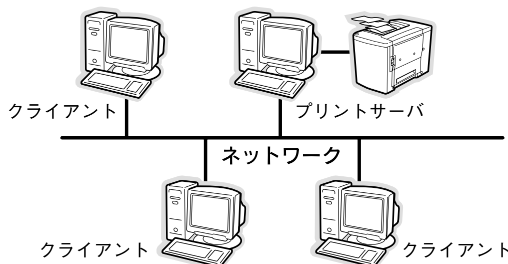
2. **監視しないプリンタのチェックボックスをクリックしてチェックマークを外し、［OK］ボタンをクリックして、ダイアログを閉じます。**



以上で設定は終了です。

プリンタを共有するには

Windows のネットワーク環境では、コンピュータに直接接続したプリンタをほかのコンピュータから共有することができます。ネットワークで共有するプリンタをネットワークプリンタと呼びます。プリンタを直接接続するコンピュータは、プリンタの共有を許可するプリントサーバの役割をはたします。ほかのコンピュータはプリントサーバに印刷許可を受けるクライアントになります。クライアントは、プリントサーバを経由してプリンタを共有することになります。



Windows のバージョンとアクセス権（Windows NT4.0/2000/XP）によって、ネットワークプリンタの設定方法（プリンタドライバのインストール方法）が異なります。設定を始める前に、必ず以下のページを参照してください。

スタートアップガイド 32 ページ「Windows のプリンタ共有機能を使用したネットワークプリンタのセットアップ」

ここでは、プリンタを共有させるためのプリントサーバと、共有プリンタを利用するクライアントそれぞれの設定方法を説明します。お使いの Windows のバージョンに応じた設定手順に従ってください。また、ここではプリントサーバにはすでに本機のプリンタドライバがインストールされているものとして説明します。

- プリントサーバ側の設定
  本書 93 ページ「Windows 95/98/Me プリントサーバの設定」
  本書 96 ページ「Windows NT4.0/2000/XP プリントサーバの設定と代替/追加ドライバのインストール」
- クライアント側の設定
  本書 109 ページ「Windows 95/98/Me クライアントでの設定」
  本書 113 ページ「Windows NT4.0 クライアントでの設定」
  本書 115 ページ「Windows 2000/XP クライアントでの設定」



- 共有プリンタのプリントサーバ側で必ず共有プリンタをモニタできるように EPSON プリンタウィンドウ !3 を設定してください。
  本書 85 ページ「モニタの設定」
- 本章の設定方法は、ネットワーク環境が構築されていること、プリントサーバとクライアントが同一ネットワーク管理下にあることが前提となります。
- 画面は Microsoft ネットワークの場合です。

プリントサーバの設定

Windows 95/98/Me プリントサーバの設定

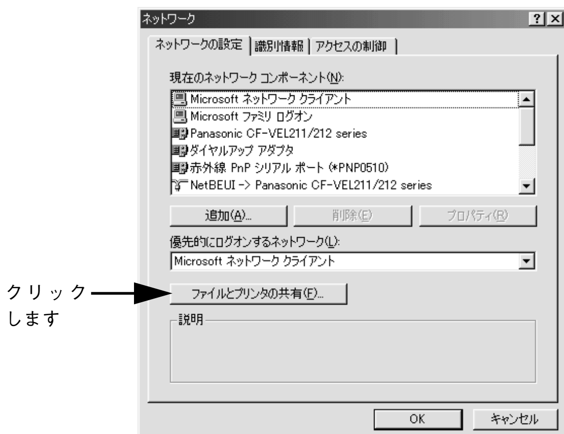
Windows 95/98/Me が稼働するプリントサーバを設定する場合は､以下の手順に従ってください。

1. Windows の［スタート］ボタンをクリックして、カーソルを［設定］に合わせ、［コントロールパネル］をクリックします。

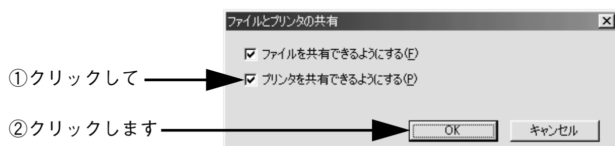
2. ［ネットワーク］アイコンをダブルクリックします。



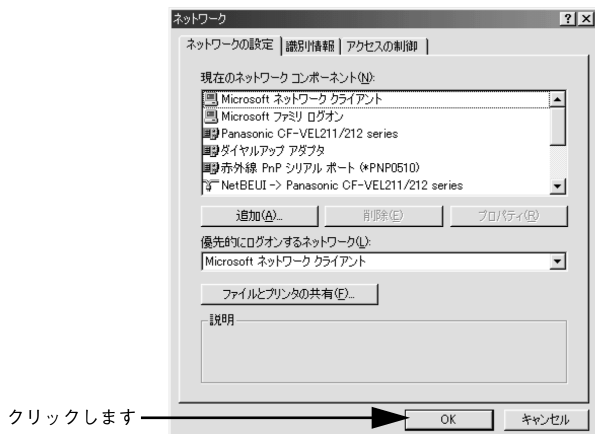
3. ［ファイルとプリンタの共有］ボタンをクリックします。



4 ［プリンタを共有できるようにする］のチェックボックスをクリックしてチェックマークを付け、［OK］ボタンをクリックします。



5 ［OK］ボタンをクリックします。




ポイント

- ［ディスクの挿入］メッセージが表示された場合は、Windows 95/98/Me のCD-ROM をコンピュータにセットし、［OK］ボタンをクリックして画面の指示に従ってください。
- 再起動を促すメッセージが表示された場合は、再起動してください。その後、1 の手順でコントロールパネルを開いて 6 から設定してください。

6 コントロールパネル内の［プリンタ］アイコンをダブルクリックします。

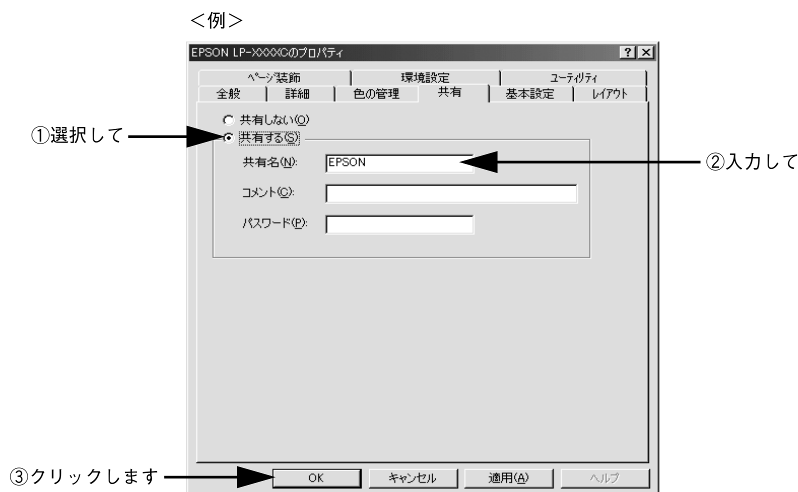


7 LP-1500C のアイコンを選択して、[ファイル] メニューの [共有] をクリックします。



8 [共有する] を選択して、[共有名] を入力し、[OK] ボタンをクリックします。
必要に応じて、[コメント] と [パスワード] を入力します。

<例>





エラーが発生する場合がありますので共有名には□（スペース）やー（ハイフン）を使用しないでください。

9 EPSON プリンタウィンドウ !3 の[モニタの設定]ダイアログで [共有プリンタをモニタさせる] をチェックします。
本書 85 ページ「モニタの設定」

これでプリンタを共有させるためのプリントサーバの設定が完了しました。続いて各クライアント側の設定を行ってください。
本書 109 ページ「クライアントの設定」

Windows NT4.0/2000/XP プリントサーバの設定と代替 / 追加ドライバのインストール

Windows NT4.0/2000/XP が稼働するコンピュータをプリントサーバとして設定する場合は、以下の手順に従ってください。また、代替 / 追加ドライバをプリントサーバにインストールする手順も同時に説明します。



ポイント

- 代替/追加ドライバは、クライアントのプリンタドライバインストール作業を簡略化するためのものです。クライアント用の代替 / 追加ドライバをプリントサーバにインストールしておくと、クライアントごとに EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM を用意しなくてもプリンタドライバのインストールが自動的に行えるようになります。
- Windows NT4.0/2000 の場合は管理者権限（Administrators）のあるユーザーとして、Windows XP の場合は「コンピュータの管理者」アカウントのユーザーとしてログオンする必要があります。
- Windows NT4.0で代替 /追加ドライバ機能を使用する場合は、Windows NT4.0 Service Pack 4 以降が対象となります。
- 代替 / 追加ドライバ機能は、Windows NT4.0 では「代替ドライバ」、Windows 2000/XP では「追加ドライバ」と表示されます。
- クライアントとサーバが同じ OS の場合は、代替 / 追加ドライバをインストールする必要がありません。

1 **Windows の［スタート］メニューから［プリンタ］/［プリンタと FAX］を開きます。**

- **Windows NT4.0/2000 の場合**

［スタート］ボタンをクリックして［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。

- **Windows XP の場合**

① ［スタート］ボタンをクリックして［コントロールパネル］をクリックします。
［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、2 へ進みます。

② ［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。

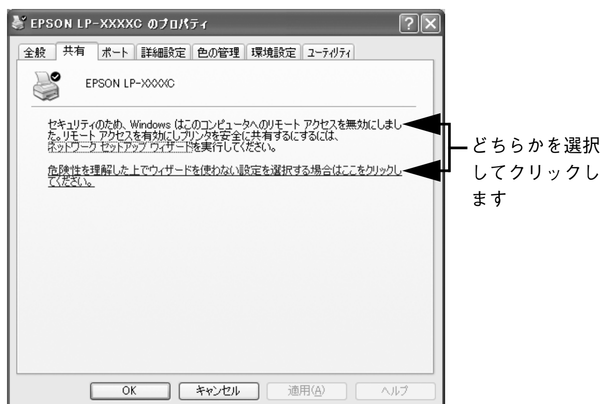
③ ［プリンタと FAX］をクリックします。

2 LP-1500C のアイコンを選択して、［ファイル］メニューの［共有］をクリックします。



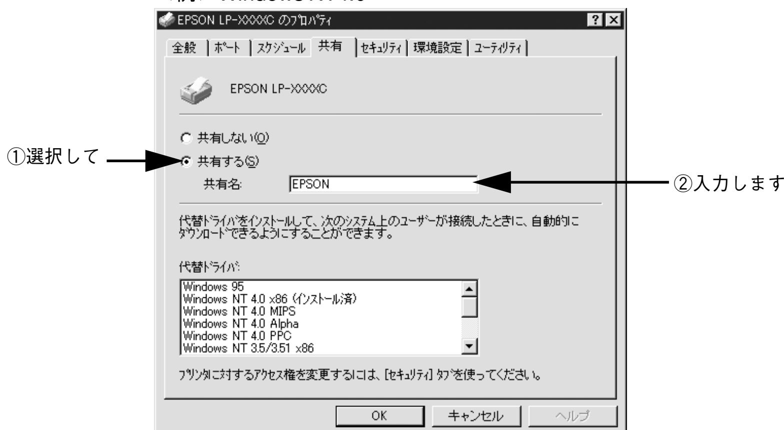


Windows XP で以下のダイアログが表示された場合は、どちらかを選択し、画面の指示に従ってプリンタ共有の準備をします。



3 **［共有する］/［このプリンタを共有する］を選択して、［共有名］を入力します。**

Windows XP の場合は、［このプリンタを共有する］を選択して［共有名］を入力します。





エラーが発生する場合がありますので共有名には□（スペース）やー（ハイフン）を使用しないでください。

- 代替 / 追加ドライバをインストールする場合は、次の 4 へ進んでください。
- 代替 / 追加ドライバをインストールしない場合は、[OK] ボタンをクリックして、以下のページへ進んで各クライアント側の設定を行ってください。

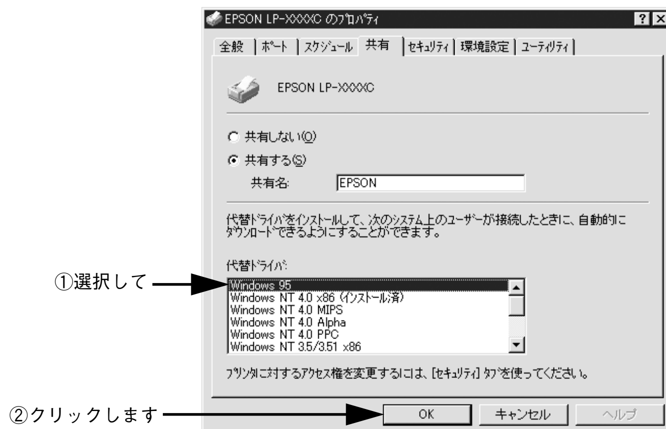
☞ 本書 109 ページ「Windows 95/98/Me クライアントでの設定」
☞ 本書 113 ページ「Windows NT4.0 クライアントでの設定」
☞ 本書 115 ページ「Windows 2000/XP クライアントでの設定」
☞ 本書 121 ページ「クライアントでEPSON プリンタソフトウェア CD-ROM が必要な場合　（インストールの続き）」

4 **クライアント用にインストールする代替 / 追加ドライバを選択します。**

- **Windows NT4.0 プリントサーバの場合：**

① クライアントの Windows バージョンを選択します（クリックして、ハイライトさせます）。
Windows 95/98/Me クライアント用の代替 / 追加ドライバをインストールする場合は、［Windows 95］をクリックして選択します。

② ［OK］ボタンをクリックします。



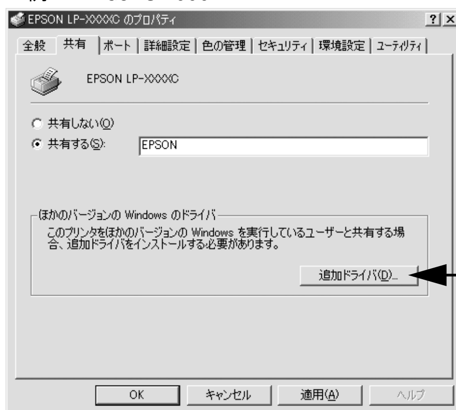


- Windows NT4.0 クライアント用の代替 /追加ドライバ［Windows NT 4.0 x86］はインストール済みのため、選択する必要はありません。
- ［Windows 95］以外の代替 / 追加ドライバは選択しないでください。本機のプリンタドライバが対応していない OS の代替ドライバはインストールできません。

- **Windows 2000/XP サーバの場合：**

①［追加ドライバ］ボタンをクリックします。

＜例＞Windows 2000

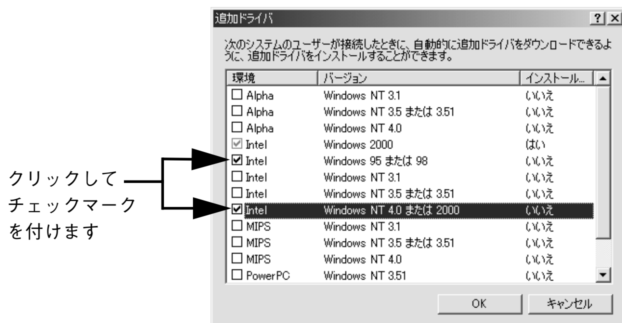


クリックします

② クライアントの Windows バージョンを選択します（チェックボックスをクリックしてチェックマークを付けます）。

サーバ OS	クライアント OS	選択項目
Windows 2000	Windows 95/98/Me	Intel Windows 95 または 98
	Windows NT4.0	Intel Windows NT 4.0 または2000
Windows XP	Windows 95/98/Me	Intel Windows 95、98、および Me
	Windows NT4.0	Intel Windows NT4.0 または 2000

＜例＞Windows 2000



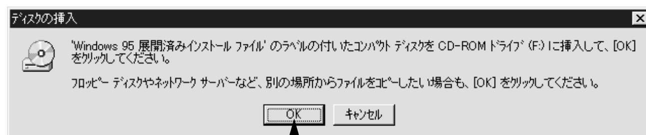


- Windows 2000/XP 専用のプリンタドライバ［Intel Windows 2000］/［Intel Windows 2000 または XP］はインストール済みのため、選択する必要はありません。
- 指定以外の追加ドライバは選択しないでください。本機のプリンタドライバが対応していない OS の追加ドライバはインストールできません。

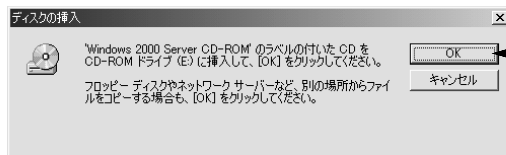
③［OK］ボタンをクリックします。

5 以下のメッセージが表示されたら、本機のEPSONプリンタソフトウェアCD-ROMをコンピュータにセットして［OK］ボタンをクリックします。

＜例＞Windows NT4.0 の場合



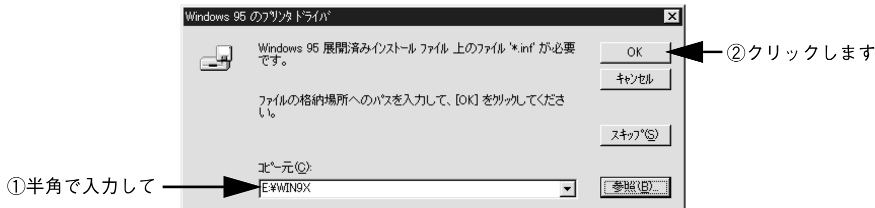
＜例＞Windows 2000 の場合



*CD-ROM ドライブの記号は環境によって異なります。

6 メッセージに表示されたクライアント用のプリンタドライバが収録されているドライブ名とディレクトリ名を半角文字で入力し、［OK ］ボタンをクリックします。

4 で複数のクライアントを選択した場合は、5 へ戻ります。

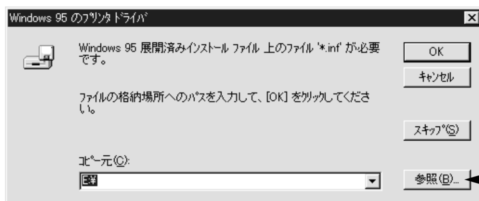


* クライアント OS によってメッセージは多少異なります。

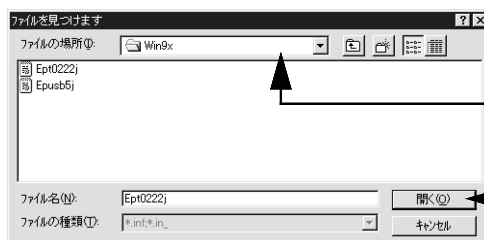
クライアントの OS	Windows 95/98/Me	Windows NT4.0	Windows 2000/XP
セット先ドライブ例	D ドライブ E ドライブ		
入力例	D:¥WIN9X E:¥WIN9X	D:¥WINNT40 E:¥WINNT40	D:¥WIN2000 E:¥WIN2000


ポイント

- 入力方法がわからない場合は、以下の手順で指定することができます。
  ①［参照］ボタンをクリックします。



  ②入力例に記載されているご利用の OS フォルダを［ファイルの場所］から選択します。



- Windows 2000/XP をご使用の場合は［デジタル署名が見つかりませんでした］といったメッセージを表示するダイアログが表示されることがあります。この場合は［はい］または［続行］をクリックして、そのままインストール作業を進めてください。本機に添付のプリンタドライバであれば問題なくお使いいただけます。

7 **Windows 2000/XPの場合は、[閉じる]ボタンをクリックしてプロパティを閉じます。**

Windows NT4.0 の場合は、代替 / 追加ドライバがインストールされるとプロパティは自動的に閉じます。


ポイント

ネットワークプリンタに対するセキュリティ（クライアントのアクセス許可）を設定してください。印刷が許可されないクライアントは、プリンタを共有できません。詳しくは Windows のヘルプを参照してください。

8 **EPSON プリンタウィンドウ !3 の[モニタの設定]ダイアログで［共有プリンタをモニタさせる］をチェックします。**

本書 85 ページ「モニタの設定」

これでプリンタを共有させるためのプリントサーバの設定が完了しました。続いて各クライアント側の設定を行ってください。ただし Windows XP の場合は、その前に中間スプールフォルダを必ず設定してください。

本書 103 ページ「Windows XP 中間スプールフォルダの設定」
本書 109 ページ「クライアントの設定」

Windows XP 中間スプールフォルダの設定

プリントサーバに Windows XP を使ってプリンタを共有する場合は、プリンタの中間スプールフォルダを以下のように設定する必要があります。
① 任意のフォルダを作成します
② そのフォルダを、どのユーザーの印刷データでも処理できるようにします
③ そのフォルダを、中間スプールフォルダとして設定します

これにより、クライアントから送られた印刷データをプリントサーバでスプール（一時的に保存）して共有プリンタで印刷できるようになります。なお、Windows XP Professional と Home Edition とでは、設定の手順が異なります。Home Edition では、上記①、②の操作は不要です。お使いの OS に合った手順に従ってください。


ポイント

次の操作は、Windows XP の「コンピュータの管理者」アカウントのユーザーとしてログオンする必要があります。

Windows XP Professional での中間スプールフォルダ設定

Windows XP Professional をプリントサーバにする場合は、以下の手順に従って中間スプールフォルダを設定してください。中間スプールフォルダは、任意の場所に、任意の名称で作成可能ですが、ここでは例として共有ドキュメントフォルダに作成する方法を説明します。

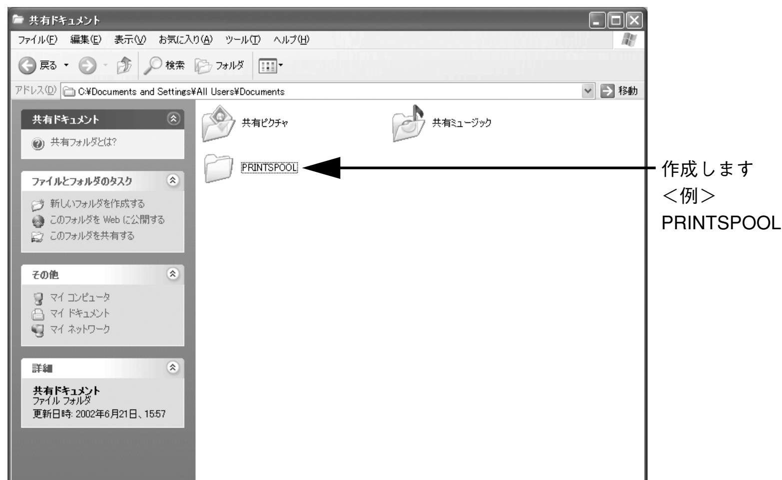
1. Windows の［スタート］－［マイコンピュータ］の順にクリックします。

2. 画面に表示された共有ドキュメントをダブルクリックして、共有ドキュメントフォルダを開きます。



3 **画面左側の［新しいフォルダを作成する］をクリックし、フォルダを作成します。**

フォルダ名は任意に設定できます。⑭ で中間スプールフォルダに設定するとき、ここで設定したフォルダ名を指定します。



4 **③ で作成したフォルダを右クリックして、［プロパティ］を選択します。**

5 **［セキュリティ］タブをクリックします。**

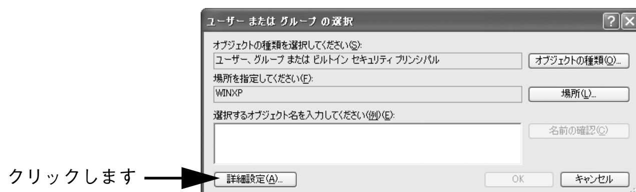
ここで、［グループ名またはユーザー名］に［Everyone］がすでに表示されている場合は、⑨へ進みます。［Everyone］がない場合、画面中央の［追加］ボタンをクリックします。





［セキュリティ］タブが表示されない場合は、③ の［共有ドキュメント］ウィンドウに戻り［ツール］－［フォルダオプション］をクリックします。フォルダオプションウィンドウの［表示］タブをクリックし、［簡易ファイルの共有を使用する］のチェックマークを外してから、再度 ④ でフォルダのプロパティを開きます。

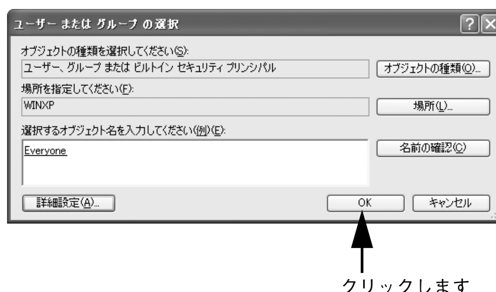
6 ［詳細設定］ボタンをクリックします。



7 ［今すぐ検索］ボタンをクリックし、表示される名前の中から［Everyone］を選択して［OK］ボタンをクリックします。



8 ［OK］ボタンをクリックしてダイアログを閉じます。



9 ［セキュリティ］タブの［グループ名またはユーザー名］から［Everyone］を選択して、［Everyone のアクセス許可］の中から［読み取り］と［書き込み］の項目を［許可］に設定します。

［Everyone］の［読み取り］と［書き込み］がすでに許可（チェック）されていれば、設定を変更しないでそのまま 10 へ進みます。

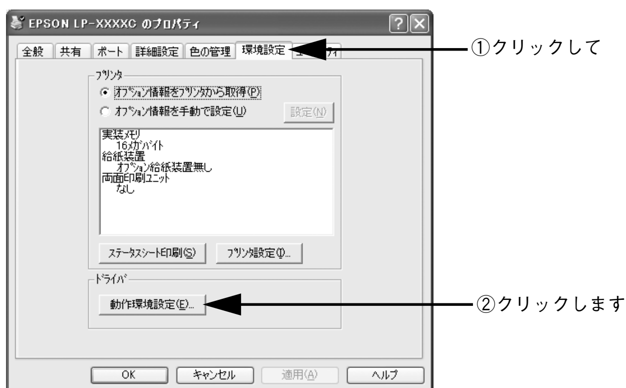


10 ［OK］ボタンをクリックしてダイアログを閉じます。

11 ［スタート］－［コントロールパネル］－［プリンタとその他のハードウェア］－［プリンタと FAX］の順にクリックします。

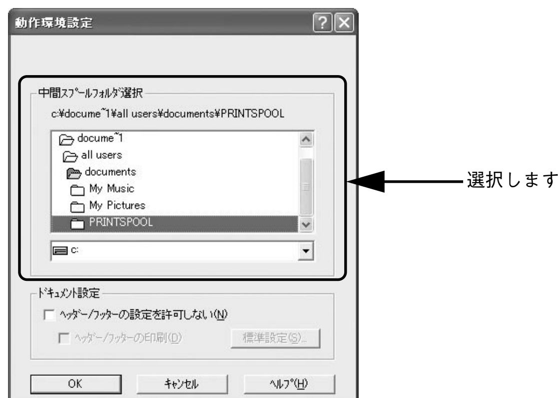
12 お使いのプリンタのアイコンを右クリックして、［プロパティ］を選択します。

13 ［環境設定］タブをクリックし、［動作環境設定］ボタンをクリックします。



14 ❸ で作成したフォルダを、中間スプールフォルダに設定します。

＜例＞



15 ［OK］ボタンをクリックします。

以上で中間スプールフォルダの設定は終了です。続いて各クライアント側の設定を行ってください。
☞ 本書 109 ページ「クライアントの設定」

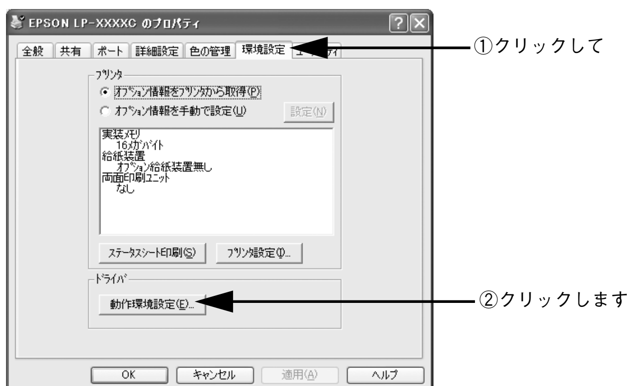
Windows XP Home Edition での中間スプールフォルダ設定

Windows XP Home Edition をプリントサーバにする場合は、以下の手順に従って中間スプールフォルダを設定してください。

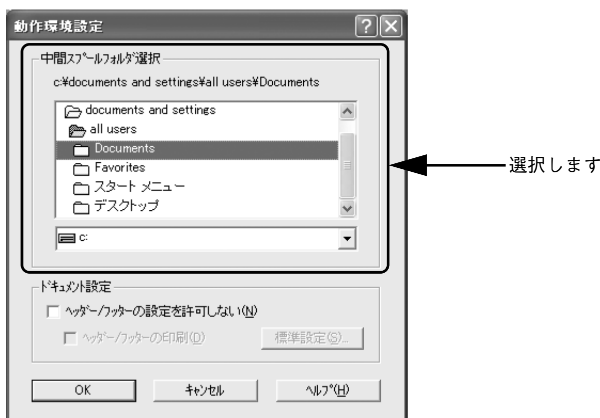
1 ［スタート］－［コントロールパネル］－［プリンタとその他のハードウェア］－［プリンタと FAX］の順にクリックします。

2 お使いのプリンタのアイコンを右クリックして、［プロパティ］を選択します。

3 ［環境設定］タブをクリックし、［動作環境設定］ボタンをクリックします。



4 中間スプールフォルダを［c:¥documents and settings¥all users ¥Documents (Windows XP が C ドライブにインストールされている場合)］に設定します。



5 ［OK］ボタンをクリックします。

以上で中間スプールフォルダの設定は終了です。続いて各クライアント側の設定を行ってください。

本書 109 ページ「クライアントの設定」

クライアントの設定

ここでは、ネットワーク環境が構築されている状態で、ネットワークプリンタに接続してプリンタドライバをインストールする方法を説明します。


ポイント

- Windows でプリンタを共有する場合は、プリントサーバを設定する必要があります。プリントサーバ側の設定については、以下のページを参照してください。
  スタートアップガイド 32 ページ「Windows のプリンタ共有機能を使用したネットワークプリンタのセットアップ」
  本書 93 ページ「プリントサーバの設定」
- ここでは、サーバを使用した環境での一般的な（Microsoft ワークグループ）接続方法について説明します。ご利用の環境によっては以下の手順で接続できない場合もあります。その場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。
- ここでは、[プリンタ] フォルダからネットワークプリンタに接続してプリンタドライバをインストールする方法を説明します。Windows デスクトップ上の [ネットワークコンピュータ] や [マイネットワーク] からネットワークプリンタへ接続してプリンタドライバをインストールすることもできます。最初の接続方法が異なるだけで、基本的な設定方法はここでの説明と同じです。

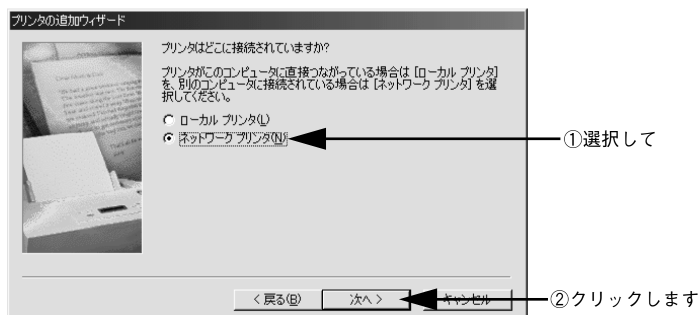
Windows 95/98/Me クライアントでの設定

Windows 95/98/Me が稼働するクライアントを設定する場合は、以下の手順に従ってください。

1. Windows の [スタート] ボタンをクリックし、[設定] にカーソルを合わせ [プリンタ] をクリックします。

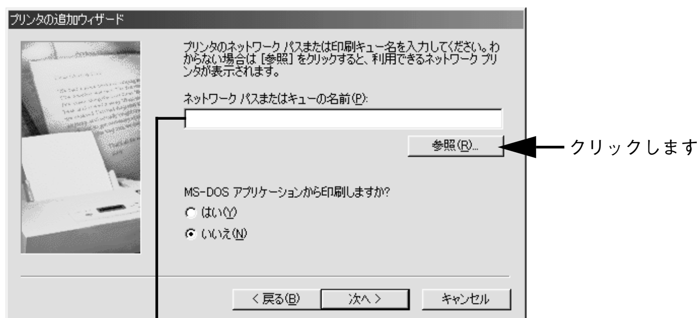
2. [プリンタの追加] アイコンをダブルクリックし、[次へ] ボタンをクリックします。

3. [ネットワークプリンタ] を選択してから、[次へ] ボタンをクリックします。

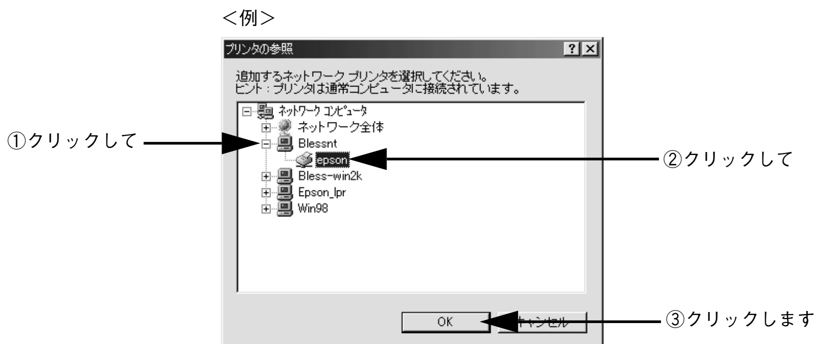


4 ［参照］ボタンをクリックします。

ご利用のネットワーク構成図が表示されます。



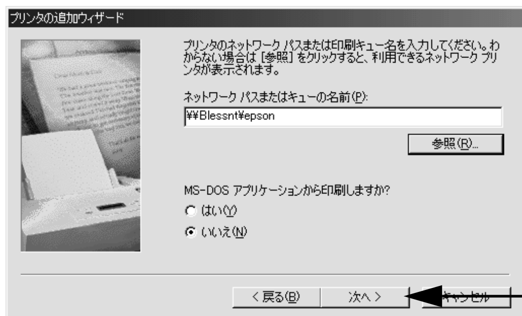
5 プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）の［+］をクリックし、ネットワークプリンタの名前をクリックして［OK］ボタンをクリックします。





プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）が、プリンタの名称を変更している場合があります。ご利用のネットワークの管理者にご確認ください。

6 ［次へ］ボタンをクリックします。



クリックします

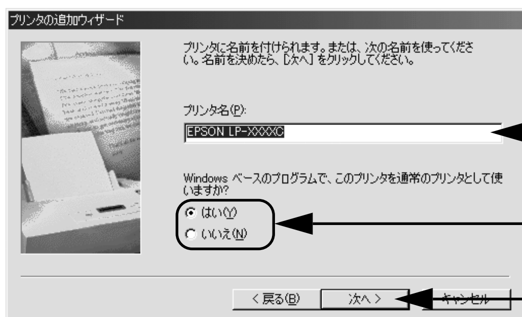


すでにプリンタドライバをインストールしている場合は、既存のプリンタドライバを使用するか、新しいプリンタドライバを使用するか選択する必要があります。選択を促すダイアログが表示されたら、メッセージに従って選択してください。

- プリントサーバがWindows 95/98/Meの場合や、Windows NT4.0/2000/XPプリントサーバにWindows 95/98/Me用の代替 / 追加ドライバをインストールしている場合は、次の 7 へ進みます。
- Windows NT4.0/2000/XPプリントサーバに代替/ 追加ドライバをインストールしていない場合は、以下のページへ進みます。

☞ 本書121ページ「クライアントでEPSONプリンタソフトウェアCD-ROMが必要な場合 （インストールの続き）」

7 接続するネットワークプリンタ名を確認し、通常使うプリンタとして使用するかどうかを選択して、［次へ］ボタンをクリックします。



①確認して

②選択して

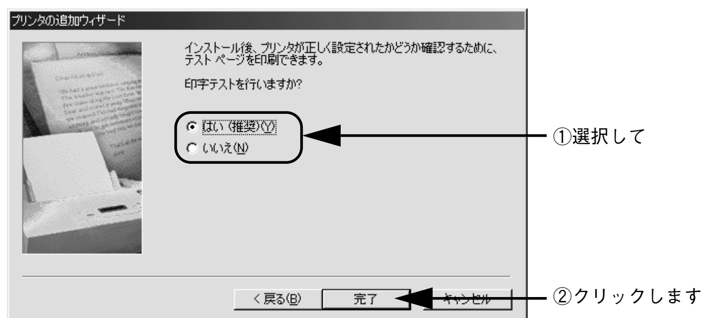
③クリックします



プリンタ名を変更することができます。変更したプリンタ名は、クライアントコンピュータ上での名前となります。

8 **テストページを印刷するかどうかを選択して［完了］ボタンをクリックします。**

印字テストを行う場合は、プリンタドライバのインストールが終了すると自動的に印字テストを行います。印字テストの終了ダイアログが表示されたら、正しくテストページが印刷されたかどうか確認して、［はい］または［いいえ］ボタンをクリックして対処してください。



以上でクライアントの設定は終了です。

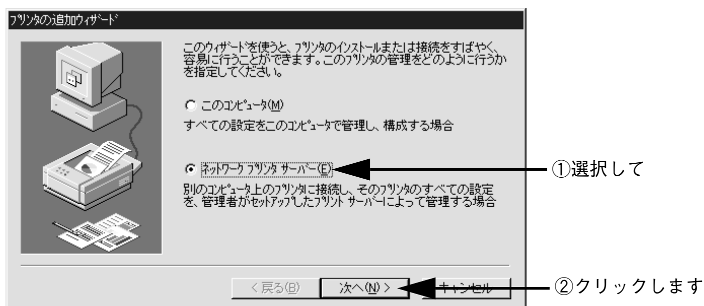
Windows NT4.0 クライアントでの設定

Windows NT4.0 が稼働するクライアントを設定する場合は、以下の手順に従ってください。

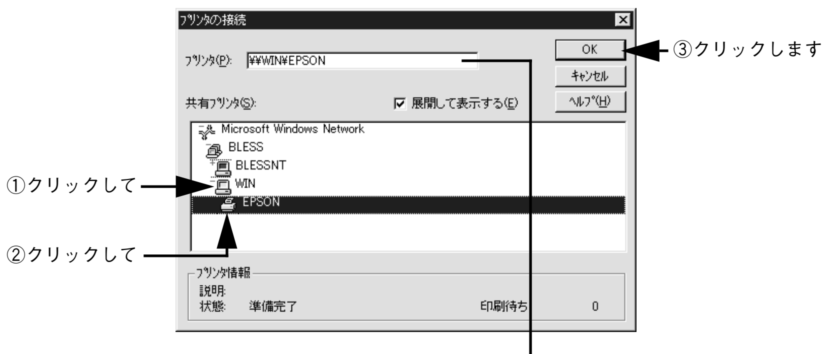
1. Windows の［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ［プリンタ］をクリックします。

2. ［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックします。

3. ［ネットワークプリンタサーバ］を選択してから、［次へ］ボタンをクリックします。



4. プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）をクリックし、ネットワークプリンタの名前をクリックして［OK］ボタンをクリックします。



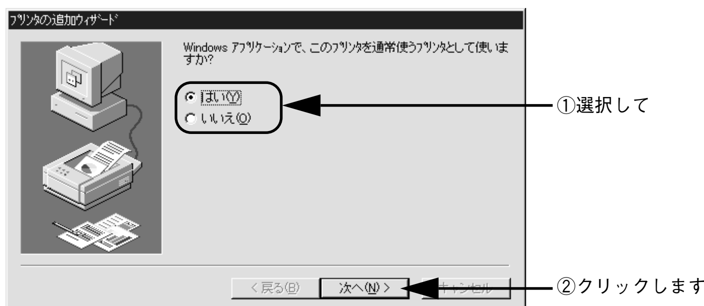
入力欄に以下の書式で直接入力（半角文字）することもできます。
¥¥ 目的のプリンタが接続されているコンピュータ名 ¥ 共有プリンタ名



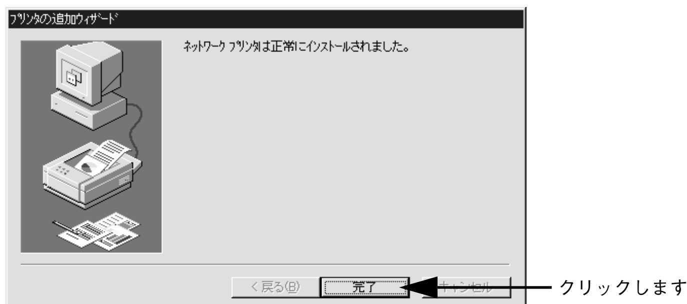
- プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）が、プリンタの名称を変更している場合があります。ご利用のネットワークの管理者にご確認ください。
- すでにプリンタドライバをインストールしている場合は、既存のプリンタドライバを使用するか、新しいプリンタドライバを使用するか選択する必要があります。選択を促すダイアログが表示されたら、メッセージに従って選択してください。

- プリントサーバOS がWindows NT4.0/2000/XP で代替/追加ドライバ機能が使用できる場合は、次の 5 へ進みます。
- 代替 / 追加ドライバ機能が使用できない場合は、以下のページへ進みます。
  本書 121 ページ「クライアントで EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM が必要な場合 （インストールの続き）」

5 通常使うプリンタとして使用するかどうかを選択して、［次へ］ボタンをクリックします。



6 ［完了］ボタンをクリックします。



以上でクライアントの設定は終了です。

Windows 2000/XP クライアントでの設定

Windows 2000/XP が稼働するクライアントを設定する場合は、以下の手順に従ってください。



ポイント

クライアント OS にログオンするユーザーのアクセス権によって、インストール方法が異なります。詳しくは以下のページを参照してください。

スタートアップガイド 33 ページ「クライアント側でのインストール方法」

1 Windows の［スタート］メニューから［プリンタ］/［プリンタと FAX］を開きます。

- **Windows 2000 の場合**

［スタート］ボタンをクリックして［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。

- **Windows XP の場合**

① ［スタート］ボタンをクリックして［コントロールパネル］をクリックします。
［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、2 へ進みます。

② ［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。

③ ［プリンタと FAX］をクリックします。



ポイント

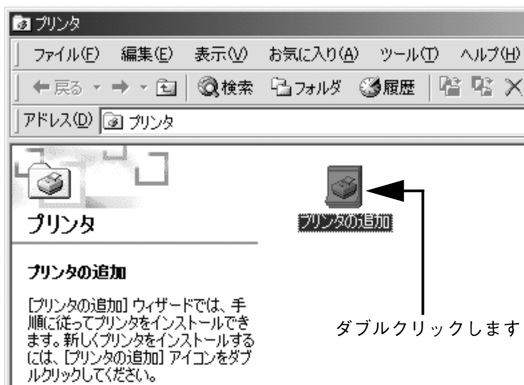
Windows XP の場合は［プリンタとその他のハードウェア］画面で［プリンタを追加する］をクリックしてプリンタの追加ウィザードを起動することもできます。起動後最初に表示された［プリンタの追加ウィザードの開始］画面で［次へ］をクリックして、3 へ進んでください。



2 プリンタの追加ウィザードを起動します。

- Windows 2000 の場合

①［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックします。



②［プリンタの追加ウィザードの開始］画面で［次へ］ボタンをクリックします。

- Windows XP の場合

①［プリンタのタスク］の［プリンタのインストール］をクリックします。

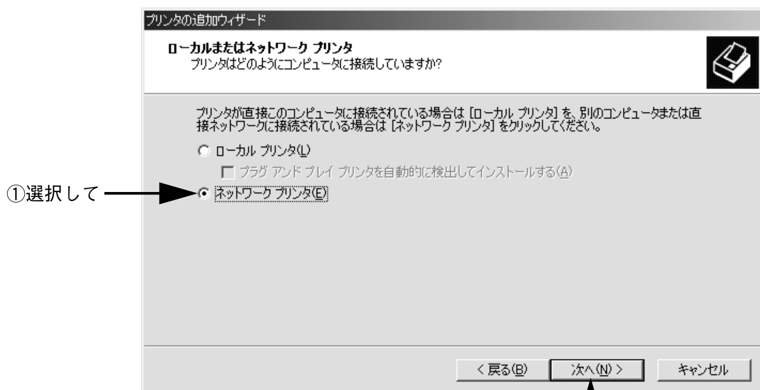


②［プリンタの追加ウィザードの開始］画面で［次へ］ボタンをクリックします。

3 使用する共有プリンタを探します。

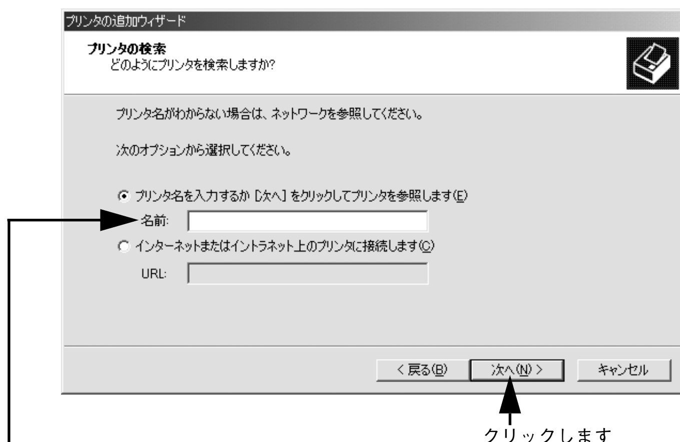
- Windows 2000 の場合

① [ネットワークプリンタ] を選択して [次へ] ボタンをクリックします。



②クリックします

② [プリンタ名を入力するか [次へ] をクリックしてプリンタを参照します] が選択されていることを確認して、[次へ] ボタンをクリックします。



入力欄に以下の書式で直接入力（半角文字）することもできます。
¥¥ 目的のプリンタが接続されているコンピュータ名 ¥ 共有プリンタ名


ポイント

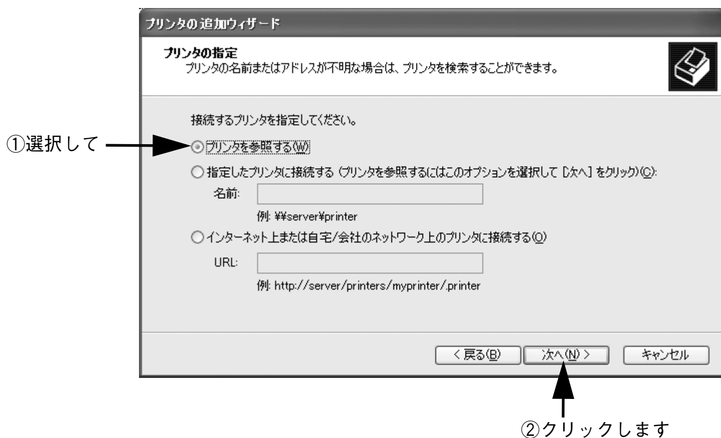
ネットワーク上のプリンタの位置がわかっている場合は [名前] ボックスに直接入力できますが、ここではわからないことを前提に説明を進めます。

- **Windows XP の場合**

①［ネットワークプリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ］を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。



②［プリンタを参照する］を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。

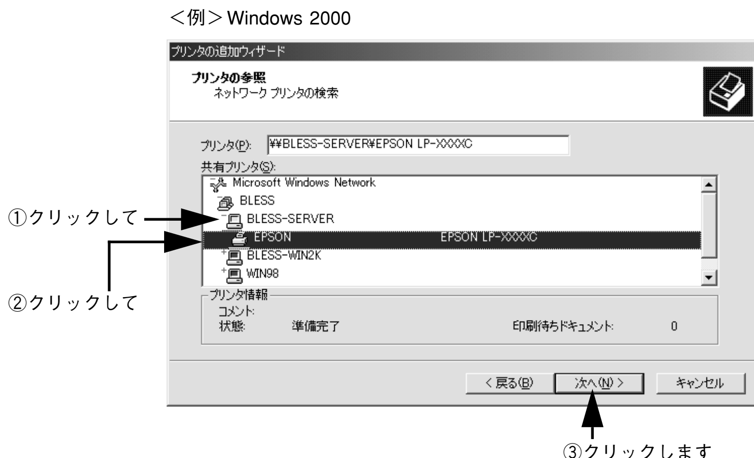




ネットワーク上のプリンタの位置がわかっている場合は、［指定したプリンタに接続する］をクリックして［名前］ボックスに直接入力できますが、ここではわからないことを前提に説明を進めます。

4 プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）をクリックし、ネットワークプリンタの名前をクリックして［次へ］ボタンをクリックします。

＜例＞Windows 2000



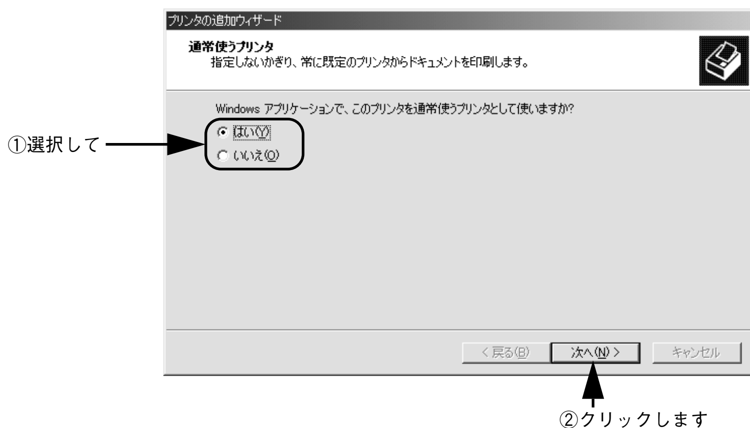


ポイント

- プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）が、プリンタの名称を変更している場合があります。ご利用のネットワークの管理者にご確認ください。
- すでにプリンタドライバをインストールしている場合は、既存のプリンタドライバを使用するか、新しいプリンタドライバを使用するか選択する必要があります。選択を促すダイアログが表示されたら、メッセージに従って選択してください。

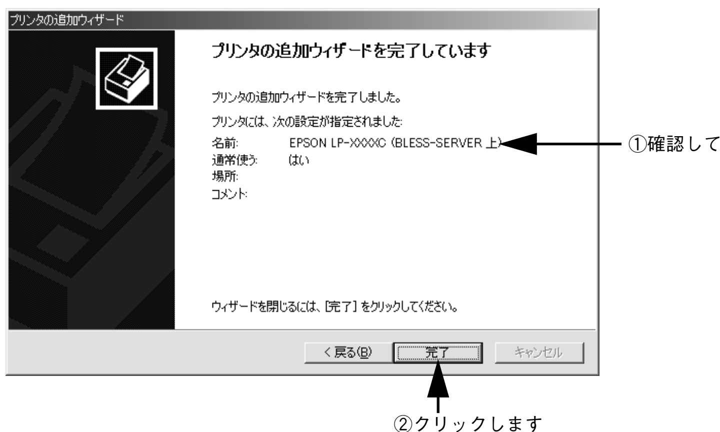
- プリントサーバOSがWindows 2000/XPで、代替/追加ドライバ機能が使用できる場合は、次の 5 へ進みます。
- 代替/追加ドライバ機能が使用できない場合は、以下のページへ進みます。
  本書 121 ページ「クライアントでEPSONプリンタソフトウェアCD-ROMが必要な場合 （インストールの続き）」

5 Windows 2000/XP の場合、通常使うプリンタとして利用するかどうかを選択して、［次へ］ボタンをクリックします。



6 設定内容を確認して［完了］ボタンをクリックします。

＜例＞Windows 2000



以上でクライアントの設定は終了です。

クライアントで EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM が必要な場合（インストールの続き）

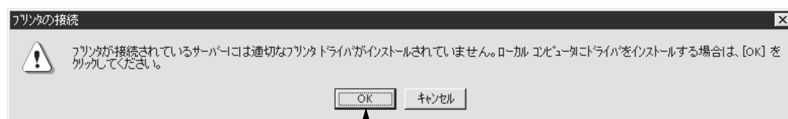
Windows NT4.0/2000/XP プリントサーバに代替 / 追加ドライバをインストールしていない場合や、Windows 95/98/Me プリントサーバと Windows NT4.0/2000/XP クライアントの組み合わせの場合は、クライアントでネットワークプリンタに接続してから以下の手順を続けてください。Windows のバージョンによって画面が多少異なりますが、基本的な手順は同じです。



- Windows NT4.0/2000 の場合は管理者権限（Administrators）のあるユーザーとして、Windows XP の場合は「コンピュータの管理者」アカウントのユーザーとしてログオンする必要があります。
- 代替/追加ドライバをインストールしている場合や、プリントサーバとクライアントで稼働する Windows が同じバージョンの場合は、プリンタドライバは自動的にインストールされますので、以降の手順は必要ありません。

1. **ネットワークプリンタに接続して以下のような画面が表示されたら、［OK］ボタンをクリックします。**

＜例＞Windows NT4.0 の場合



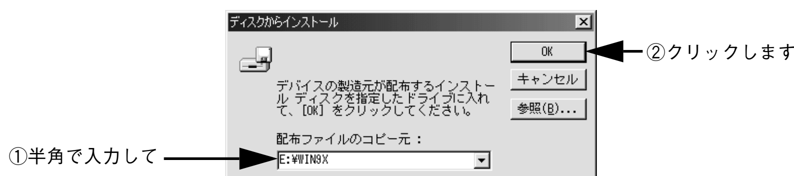
2. **［ディスク使用］ボタンをクリックします。**

同梱の EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM からプリンタドライバをインストールします。



3. **EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。**

4 プリンタドライバが収録されているドライブ名とディレクトリ名を半角文字で入力し、[OK] ボタンをクリックします。

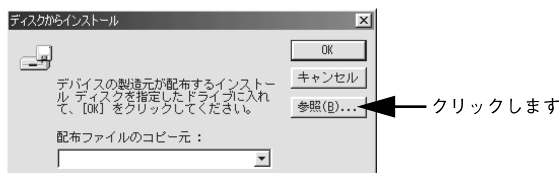


クライアントの OS	Windows 95/98/Me	Windows NT4.0	Windows 2000/XP
セット先ドライブ例	D ドライブ E ドライブ		
入力例	D:¥WIN9X E:¥WIN9X	D:¥WINNT40 E:¥WINNT40	D:¥WIN2000 E:¥WIN2000

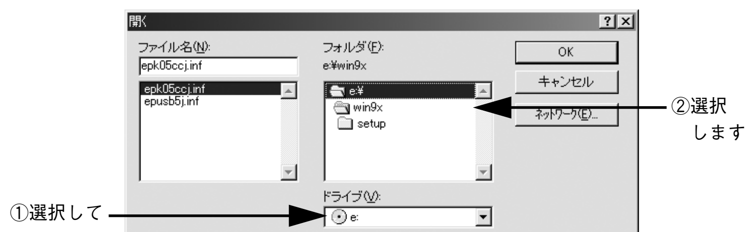


- 入力方法がわからない場合は、以下の手順で指定することができます。

①[参照] ボタンをクリックします。

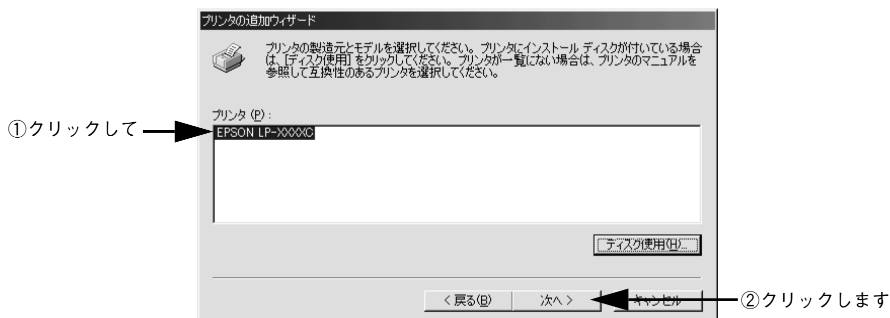


②[ドライブ] または [ファイルの場所] から [CD-ROM] のアイコンを選択し、入力例に記載されているご利用の OS フォルダを選択します。



- Windows 2000/XP をご使用の場合は［デジタル署名が見つかりませんでした］というメッセージを表示するダイアログが表示されることがあります。この場合は［はい］をクリックして、そのままインストール作業を進めてください。本機に添付のプリンタドライバであれば問題なくお使いいただけます。

5 お使いのプリンタの機種名（LP-1500C）をクリックして、［次へ］ボタンをクリックします。



6 この後は、画面の指示に従って設定してください。

プリンタ接続先の変更

プリンタを接続しているコンピュータ側のポートを、必要に応じて追加または変更できます。コンピュータにローカル接続している場合は、プリンタドライバをインストールしたままの設定で使用できますので変更は不要です。

Windows NT4.0/2000/XP プリントサーバに代替 / 追加ドライバをインストールしていない場合や、Windows 95/98/Me プリントサーバと Windows NT4.0/2000/XP クライアントの組み合わせの場合は、クライアントにプリンタドライバをインストールしてから、以下の手順を続けてください。



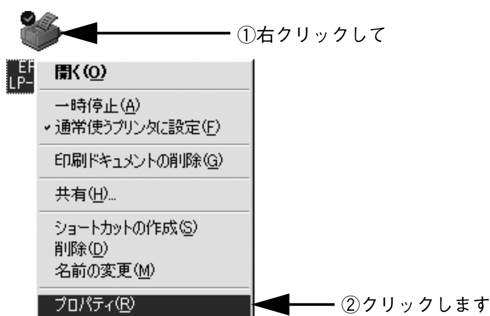
プリンタの接続先を変更すると、プリンタの機能設定が変更されることがあります。プリンタの接続先を変更した場合は、必ず各機能の設定を確認してください。

Windows 95/98/Me の場合

ネットワークパスを指定してポートを追加することで、ネットワーク上に接続された本機に接続することができます。

1. Windows の［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ［プリンタ］をクリックします。

2. LP-1500C のアイコンを右クリックして、［プロパティ］をクリックします。



3 ［詳細］タブをクリックして［ポートの追加］ボタンをクリックします。

- すでに登録されているポートを指定する場合は、［印刷先のポート］から選択します。USB 接続の場合は［EPUSBx］を、パラレル接続の場合は［LPT1］を選択して、［OK］ボタンをクリックします。
- ネットワークプリンタのポートを追加する場合は 4 に進みます。





［印刷先のポート］はポート名をリスト表示します。必要なポートがすでにあれば、リストからポート名を選択して、［OK］ボタンをクリックします。表示されるポートの種類はご利用のコンピュータによって異なります。以下に代表的なポートを説明します。

- PRN：EPSON PCシリーズ/NEC PCシリーズ標準の14ピンプリンタポートに接続している場合の設定です。PRN が表示されない場合は LPT1 を選択します。
- LPTx：通常のプリンタポートの設定です。DOS/V シリーズなどの標準パラレルプリンタポートに接続している場合は、この中の「LPT1」を選択します（最後の x には数字が表示されます）。
- EPUSBx：USB ポートです。Windows 98/Me をご利用で本機を USB ケーブルで接続した場合に選択します。EPSON プリンタ用の USB デバイスドライバがインストールされているときのみ表示されます（最後の x には数字が表示されます）。
- FILE：印刷データをプリンタではなくファイルに出力します。

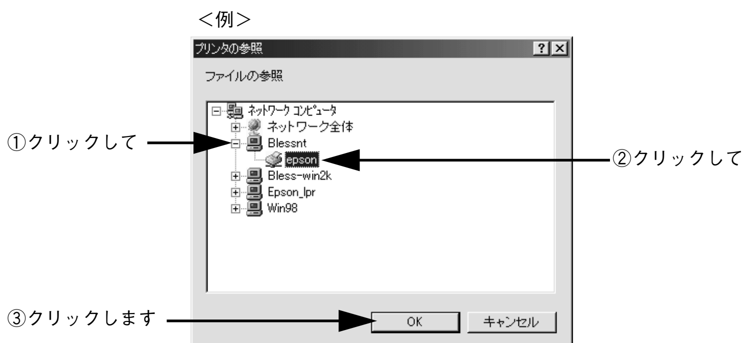
4 **［ネットワーク］をクリックし、［プリンタへのネットワーク パス］を入力して［OK］ボタンをクリックします。**

［プリンタへのネットワーク パス］は以下のように入力します。
¥¥ 目的のプリンタが接続されたコンピュータ名 ¥ 共有プリンタ名

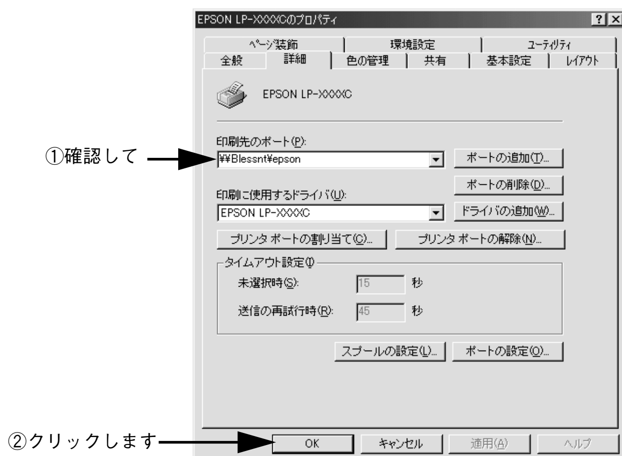




ネットワークプリンタへのパスがわからない場合は、［参照］ボタンをクリックして、以下のダイアログで目的のプリンタをクリックして［OK］ボタンをクリックします。



5 追加したポート名が［印刷先のポート］で選択されていることを確認してから、［OK］ボタンをクリックします。



以上でプリンタ接続先の変更は終了です。

Windows NT4.0/2000/XP の場合

ネットワークパスを指定してポートを追加することで、ネットワーク上に接続された本機に接続することができます。

1 Windows の［スタート］メニューから［プリンタ]/［プリンタと FAX］を開きます。

- Windows NT4.0/2000 の場合

  ［スタート］ボタンをクリックして［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。

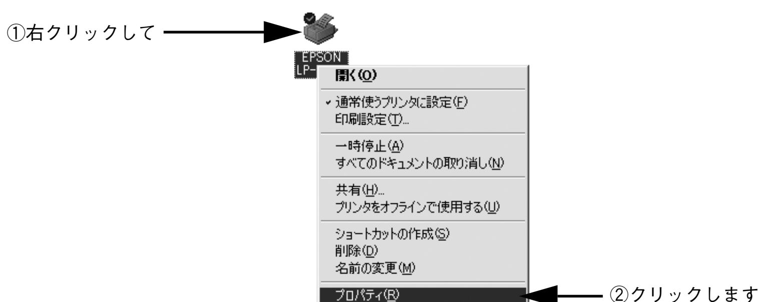
- Windows XP の場合

① ［スタート］ボタンをクリックして［コントロールパネル］をクリックします。
［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、2 へ進みます。

② ［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。

③ ［プリンタと FAX］をクリックします。

2 LP-1500C のアイコンを右クリックして、［プロパティ］をクリックします。



3 ［ポート］タブをクリックして［ポートの追加］ボタンをクリックします。

すでに登録されているポートを指定する場合は、リスト内から選択してチェックマークを付けます。




ポイント

［印刷するポート］はポート名をリスト表示します。必要なポートがすでにあれば、リストからポート名を選択して、［OK］ボタンをクリックします。表示されるポートの種類はご利用のコンピュータによって異なります。以下に代表的なポートを説明します。

- LPTx：通常のプリンタポートの設定です。DOS/V シリーズなどの標準パラレルプリンタポートに接続している場合は、この中の「LPT1」を選択します（最後の x には数字が表示されます）。
- USBx：USB ポートです。Windows 2000/XP をご利用で本機を USB ケーブルで接続した場合に選択します（最後の x には数字が表示されます）。
- FILE：印刷データをプリンタではなくファイルに出力します。

4 ［プリンタポート］ダイアログが表示されたら、［Local Port］を選択して［新しいポート］ボタンをクリックします。

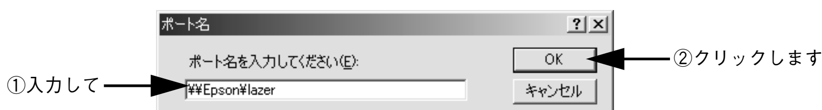


5 ポート名を入力して［OK］ボタンをクリックします。

ポート名は以下のように入力します。

¥¥ 目的のプリンタが接続されたコンピュータ名 ¥ 共有プリンタ名

＜例＞



6 ［プリンタポート］ダイアログの画面に戻りますので、［閉じる］ボタンをクリックします。

7 ポートに設定した名前が追加され、選択されていることを確認してから［OK］ボタンをクリックします。



以上でプリンタ接続先の変更は終了です。

印刷を高速化するには

本機をパラレルインターフェイスケーブルで接続している場合、印刷データの転送方法としてDMA転送を利用することで、印刷を高速化することができます。

DMA転送とは

通常、印刷データはコンピュータのCPU（Central Processing Unit）を経由してプリンタへ送られます。しかし、CPUは同時にいくつもの処理をこなしているため、この方法ではCPUに負担がかかり、効率よくプリンタへ印刷データを送れません。

ECP[*1] コントローラチップを搭載したコンピュータの場合は、印刷データの流れを変更することで､CPUを経由しないでプリンタへ直接印刷データを送ることができます。その結果印刷速度が向上することになります。このような、データ転送の方法をDMA（Direct Memory Access）転送と呼びます。

*1　ECP：Extended Capability Portの略。パラレルポートの拡張仕様の一つ。

DMA転送を設定する前に

プリンタドライバでDMA転送を行う前に、以下の項目の確認と設定が必要です。

- **ご利用のコンピュータはDOS/V機でECPコントローラチップが搭載されていますか？**
  ご利用のコンピュータの取扱説明書を参照いただくか、コンピュータメーカーにお問い合わせください。

- **ご利用のコンピュータでDMA転送が可能ですか？**
  ご利用のコンピュータの取扱説明書を参照していただくか、コンピュータメーカーにお問い合わせください。

- **BIOSセットアップでパラレルポートの設定が［ECP］または［ENHANCED］になっていますか？**
  ご利用のコンピュータの取扱説明書を参照していただき、BIOS　を設定してください。



この BIOS の設定は､一旦本機のプリンタソフトウェアを削除（アンインストール）してから行ってください。BIOS 設定後、再度プリンタソフトウェアをインストールしてください。

本書 141 ページ「プリンタソフトウェアの削除」
スタートアップガイド 29 ページ「セットアップ」

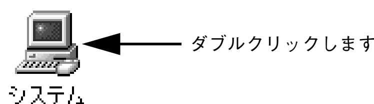
- **エプソン純正のパラレルケーブルでプリンタとコンピュータを接続していますか？**

以上の確認と設定が済みましたら、お使いのOSごとの説明に進んでください。

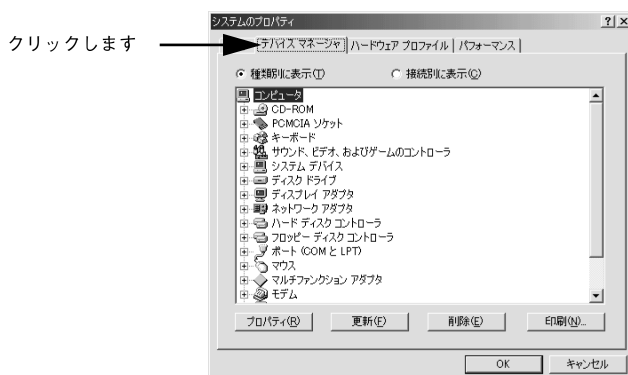
Windows 95/98/Me の設定確認

1. **Windows の［コントロールパネル］を開きます。**
［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ、［コントロールパネル］をクリックします。

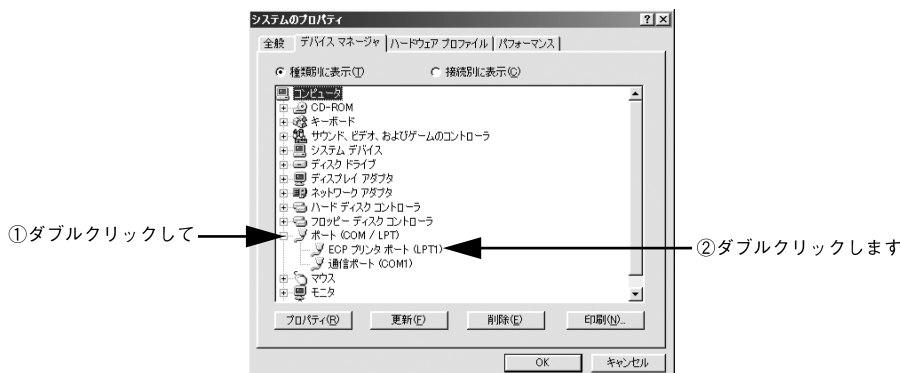
2. **［システム］アイコンをダブルクリックします。**



3. **［デバイスマネージャ］タブをクリックします。**



4. **［ポート（COM/LPT）］をダブルクリックして開き、本機が接続されているポートをダブルクリックします。**
プリンタの接続先を変更していない場合は［ECP プリンタポート（LPT1）］を選択します。



5 ［リソース］タブをクリックし、［自動設定］にチェックが付いていること、［競合するデバイス］に競合がないことを確認します。





競合するデバイスが表示された場合は､以下の手順で設定を変更してください。
①すべての I/O ポートアドレスをメモ用紙に控えて、［自動設定］のチェックボックスをクリックして外します。
②［基にする設定］または［設定の登録名］リストでメモに控えた I/O ポートアドレスと［DMA］、［IRQ］（割り込み要求）の設定が表示される基本設定を探して選択します。



競合デバイスが解消しない場合は、お使いのコンピュータメーカーにお問い合わせください。

6 ［OK］ボタンをクリックします。

以上で DMA 転送の設定確認は終了です。



一部のコンピュータでは､上記の設定をしたにもかかわらず､DMA 転送がご利用になれない場合があります。お使いのコンピュータのメーカーに DMA 転送が可能かどうかお問い合わせください。

Windows NT4.0 の設定確認

Windows NT4.0 をご利用の場合は、BIOS のパラレルポート設定を ECP モードに設定した上で、本機のプリンタドライバをインストールしてください。そのまま DMA 転送をご利用いただくことができます。ここでは、設定が確実にされているかを確認します。

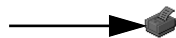


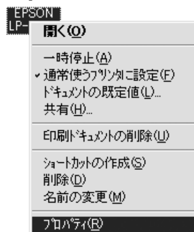
- BIOSの設定方法については、ご利用のコンピュータの取扱説明書を参照してください。
- BIOS のパラレルポート設定を行う場合は、BIOS を設定する前に本機のプリンタドライバを一旦削除してください。そして、BIOS の設定後に再度プリンタドライバをインストールしてください。
- DMA 転送をご利用になる場合、本機のプリンタドライバは以下のページの手順に従ってインストールされていることが必要です。
  セットアップガイド 30 ページ「コンピュータと直接接続したプリンタのセットアップ」
- DMA転送で印刷できないなどの問題が発生した場合は、手順4 の［DMA を使用する］のチェックを外してください。

1 Windows の［プリンタ］フォルダを開きます。

［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ［プリンタ］をクリックします。

2 LP-1500C のアイコンを右クリックして［プロパティ］をクリックします。



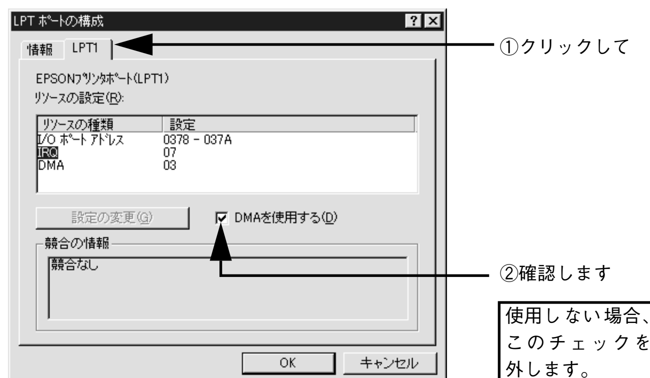


3 ［ポート］のタブをクリックし、［ポートの構成］ボタンをクリックします。



4 本機が接続されているポートのタブをクリック、［DMA を使用する］のチェックボックスにチェックが付いていることを確認します。

チェックされていれば DMA を使用する設定になっています。コンピュータの LPT1 ポートにプリンタを接続している場合は、［LPT1］を選択します。





コンピュータの拡張スロットに LPT ボードが装着されている場合、［LPT2］や［LPT3］が表示されます。

- LPT2やLPT3の構成情報には、拡張ボードで設定されているI/Oアドレスが表示されます。
- IRQ と DMA は、拡張ボードの設定を手動で設定する必要があります。設定方法は、［IRQ］と［DMA］をクリックして、［設定の変更］ボタンをクリックして設定してください。

以上で DMA 転送の設定確認は終了です。

Windows 2000/XP の設定

Windows 2000/XP をご利用の場合は、BIOS のパラレルポート設定を ECP モードに設定した上で、添付のプリンタソフトウェア CD-ROM から EPSON プリンタポートをインストールしてください。


ポイント

- BIOSの設定方法については、ご利用のコンピュータの取扱説明書を参照してください。
- BIOS のパラレルポート設定を行う場合は、BIOS を設定する前に本機のプリンタソフトウェアを一旦削除してください。そして、BIOS の設定後に再度プリンタソフトウェアをインストールしてください。
- EPSONプリンタポートをインストールおよび設定するには、Windows 2000 の場合は管理者権限（Administrators）のあるユーザーとして、Windows XP の場合は「コンピュータの管理者」アカウントのユーザーとしてログオンする必要があります。
- 添付の Readme ファイルを必ず一読してからインストールを行ってください。Readme ファイルには、注意事項やトラブル発生時の対処方法などの情報が掲載されています。

1. EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。

2. 以下の画面が表示されたら［LPT 接続時の印刷の高速化］をクリックして［次へ］ボタンをクリックします。

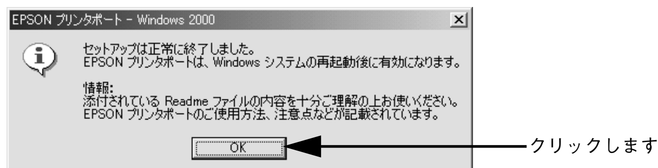


3 ［はじめにお読みください］をダブルクリックして参考情報をお読みいただいてから、［EPSON プリンタポートのインストール］をクリックして［次へ］ボタンをクリックします。



4 使用許諾契約書の画面が表示されたら内容を確認し、［同意する］をクリックします。

5 インストールが終了したら［OK］ボタンをクリックします。



6 Windows を再起動します。



設定した内容を有効にするために、必ず Windows を再起動させてから以降の作業に進んでください。

7 **本機のプロパティ画面を表示します。**

- **Windows 2000 の場合**

①［スタート］ボタンをクリックして［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。

②LP-1500C のプリンタアイコンを右クリックし、表示されたメニューから［プロパティ］をクリックします。

- **Windows XP の場合**

①［スタート］ボタンをクリックして［コントロールパネル］をクリックします。
［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、8 へ進みます。

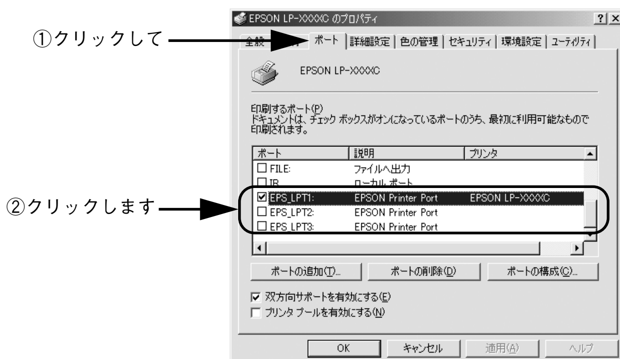
②［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。

③［プリンタと FAX］をクリックします。

④LP-1500C のプリンタアイコンを右クリックし、表示されたメニューから［プロパティ］をクリックします。

8 **［ポート］タブをクリックし、使用するパラレルポートを選択します。**

［印刷するポート］の中から、使用する［EPS_LPTx:］のチェックボックスをクリックしてチェックをつけます。

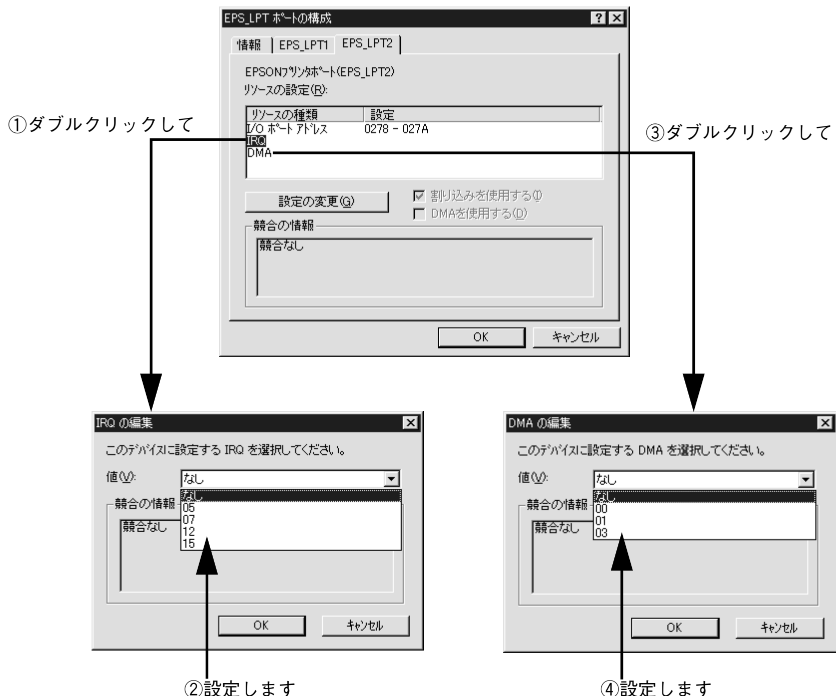


- EPS_LPT1：コンピュータ内蔵のパラレルポート専用
［EPS_LPT1］を使用する場合は、以上で EPSON プリンタポートの設定は終了です。［閉じる］ボタンをクリックして、［プロパティ］画面を閉じます。
- EPS_LPT2：市販のパラレルポート拡張ボード用
次の 9 へ進みます。
- EPS_LPT3：市販のパラレルポート拡張ボード用
次の 9 へ進みます。

9 **EPS_LPT2/3 を使用する場合は、以下の手順でIRQ、DMA の設定を行ってからコンピュータを再起動させます。**

① [ポートの構成] ボタンをクリックし、使用する EPS_LPT2 または EPS_LPT3 のタブをクリックします（拡張ボードが装着されている場合のみ EPS_LPT2、EPS_LPT3 が表示されます）。

② [IRQ]、[DMA] の設定を行います。[リソースの設定] から [IRQ]、[DMA] をダブルクリックし、拡張ボードで設定した値を設定します。



③ [OK] ボタンをクリックして [ダイアログ] 画面を閉じます。設定が変更された場合には、コンピュータの再起動を促すメッセージが表示されます。[プロパティ] 画面を閉じてから再起動してください。

これで EPS_LPT2/3 の設定が完了し、接続されているプリンタへの EPS_LPTx ポートの割り当てができるようになります。

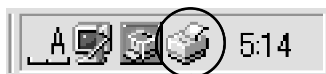


プリンタドライバを再インストールした場合には、7 〜 9 に従って EPSON プリンタポートの再設定を行ってください。

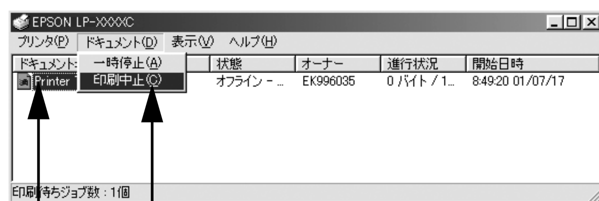
印刷の中止方法

プリンタドライバからの中止方法

1 画面右下のタスクバー上のプリンタアイコンをダブルクリックします。



2 中止したい印刷データをクリックして選択し、［ドキュメント］メニューの［印刷中止］または［キャンセル］をクリックします。



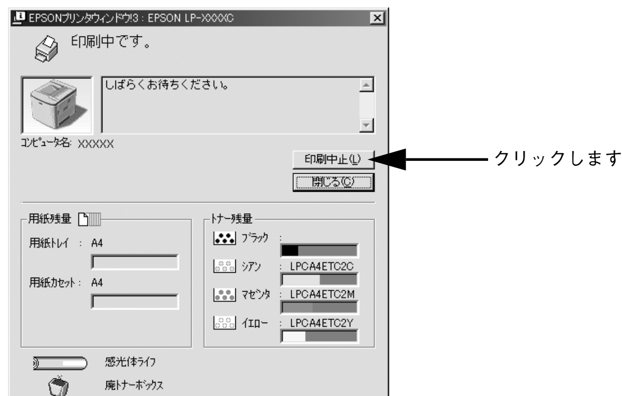
処理済みのデータが印刷されてから表示が消え、印刷が中止されます。

EPSON プリンタウィンドウ !3 からの中止方法

1. プリンタドライバの［ユーティリティ］画面を開きます。

2. ［EPSON プリンタウィンドウ !3］ボタンをクリックします。

3. ［EPSON プリンタウィンドウ !3］画面の［印刷中止］ボタンをクリックします。





印刷を中止するタイミングによっては、他の印刷データ を消してしまうことがありますのでご注意ください。

プリンタソフトウェアの削除

プリンタドライバを再インストールする場合やバージョンアップする場合は、すでにインストールされているプリンタソフトウェアを削除（アンインストール）する必要があります。

プリンタソフトウェアを削除するには

Windows の標準的な方法でプリンタソフトウェア（プリンタドライバ /EPSON プリンタウィンドウ !3/USB プリンタデバイスドライバ）を削除する手順を説明します。



- USBプリンタデバイスドライバは、Windows 98/Me で本製品を USB接続している場合にインストールされるデバイスドライバです。
- EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットして表示される画面からも削除することができます。

1 起動しているアプリケーションソフトをすべて終了します。

2 Windows の［スタート］メニューから［コントロールパネル］を開きます。

- Windows 95/98/Me/NT4.0/2000

  ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせて、［コントロールパネル］をクリックします。

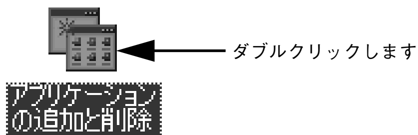
- Windows XP

  ［スタート］ボタンをクリックし、［コントロールパネル］をクリックします。

3 ［アプリケーションの追加と削除］/［プログラムの追加と削除］を開きます。

- Windows 95/98/Me/NT4.0/2000 の場合

［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックします。



- Windows XP の場合

［プログラムの追加と削除］をクリックします。



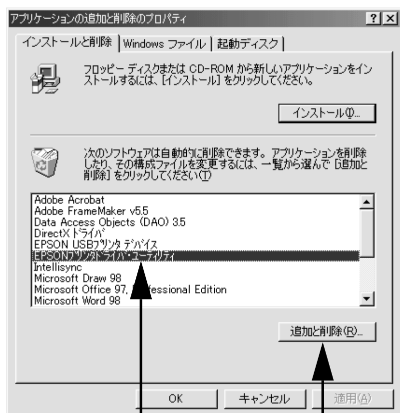
4 **削除するソフトウェアを選択して［追加と削除］ボタンをクリックします。**

Windows 2000/XP の場合は［プログラムの変更と削除］をクリックしてから、削除対象となる項目をクリックして［変更 / 削除］ボタンをクリックします。

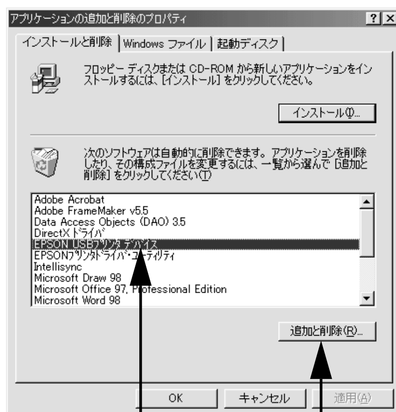
- **プリンタドライバと EPSON プリンタウィンドウ !3 を削除する場合：**

  ［EPSON プリンタドライバ・ユーティリティ］をクリックして、以下のページへ進みます。

  ☞ 本書 145 ページ「プリンタドライバと EPSON プリンタウィンドウ !3 の削除」



- **USB プリンタデバイスドライバを削除する場合：**
  ［EPSON USB プリンタデバイス］は、Windows98/Me で USB 接続をご利用の場合にのみ表示されます。［EPSON USB プリンタデバイス］をクリックして、以下のページへ進みます。
  本書 147 ページ「USB プリンタデバイスドライバの削除」





インストールが不完全なまま終了していると［USB プリンタデバイス］の項目が表示されないことがあります。その場合は、プリンタソフトウェア CD-ROM 内の［Epusbun.exe］ファイルを実行してください。
①コンピュータに「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。
②［エクスプローラ］などで CD-ROM に収録されたファイルを表示させます。
③［Win9x］フォルダをダブルクリックして開きます。
④［Epusbun.exe］アイコンをダブルクリックします。

プリンタドライバと EPSON プリンタウィンドウ !3 の削除

以下の手順から続けて、下記の作業を行ってください。

☞ 143 ページ手順 ❹ から続けてください。

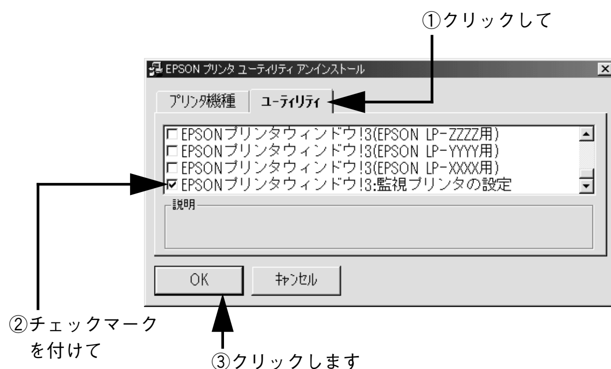
❺ ［プリンタ機種］タブをクリックし、LP-1500C のアイコンを選択して、［OK］ボタンをクリックします。



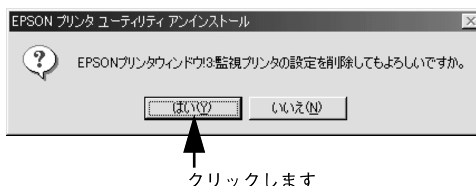


ポイント

EPSON プリンタウィンドウ !3 で監視する特定のプリンタだけを削除することもできます。監視プリンタの設定ユーティリティそのものを削除すると、本機以外の EPSON プリンタウィンドウ !3 に対しても監視プリンタの設定が変更できなくなります。削除の手順は以下の通りです。



［EPSON プリンタウィンドウ !3: 監視プリンタの設定］をチェックして［OK］ボタンをクリックすると、次の確認メッセージが表示されます。［はい］ボタンをクリックすると、監視プリンタの設定ユーティリティの削除が始まります。



6 **削除を確認するメッセージが表示されたら、［はい］ボタンをクリックします。**

プリンタドライバと EPSON プリンタウィンドウ !3 の削除が始まります。




ポイント

- 関連ファイル削除のメッセージが表示されたら［はい］ボタンをクリックします。プリンタドライバに関連するファイルが削除されます。
- 削除したプリンタを［通常使うプリンタ］として設定していた場合は、ほかのプリンタドライバを［通常使うプリンタ］に設定します。メッセージが表示されたら、［OK］ボタンをクリックします。

7 **終了のメッセージが表示されたら、［OK］ボタンをクリックします。**



以上でプリンタドライバと EPSON プリンタウィンドウ !3 の削除（アンインストール）は終了です。


ポイント

プリンタドライバを再インストールする場合は、コンピュータを再起動させてください。

USB プリンタデバイスドライバの削除

Windows98/Me で USB 接続をご利用の場合のみ必要なデバイスドライバです。

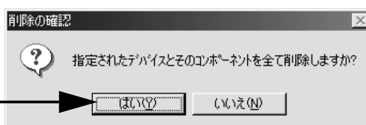


- USB プリンタデバイスドライバを削除する前に、プリンタドライバを削除してください。
- USBプリンタデバイスドライバを削除すると、USB 接続しているほかのエプソン製プリンタも利用できなくなります。

以下の手順から続けて、下記の作業を行ってください。
143 ページ手順 4 から続けてください。

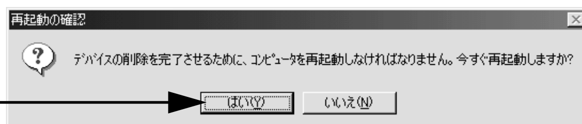
5 ［はい］をクリックします。

USB プリンタデバイスドライバの削除が始まります。



6 ［はい］をクリックします。

コンピュータが再起動します。



以上で USB プリンタデバイスドライバの削除は終了です。

代替 / 追加ドライバを削除するには

Windows 2000/XP プリントサーバにクライアント用の代替 / 追加ドライバをインストールしている場合は、以下の手順で代替 / 追加ドライバを削除（アンインストール）できます。

なお、Windows NT4.0 プリントサーバにインストールされている代替 / 追加ドライバは削除することができません。プリンタドライバ自体を削除しても代替 / 追加ドライバは削除されません。Windows NT4.0 の代替 / 追加プリンタドライバをバージョンアップする場合は、バージョンアップしたプリンタドライバを代替 / 追加ドライバとして再度インストールしてください。上書きインストールされた代替 / 追加ドライバは問題なく動作します。


ポイント

代替 / 追加ドライバ機能は、Windows NT4.0 では「代替ドライバ」、Windows 2000/XP では「追加ドライバ」と表示されます。

1 **起動しているアプリケーションソフトをすべて終了します。**

2 **Windows の［スタート］メニューから［プリンタ］/［プリンタと FAX］を開きます。**

- **Windows 2000 の場合**

［スタート］ボタンをクリックして［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。

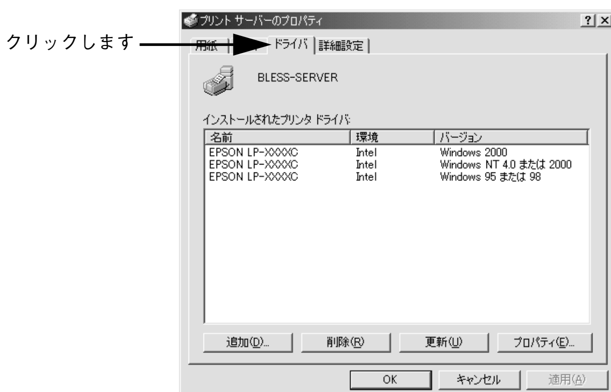
- **Windows XP の場合**

① ［スタート］ボタンをクリックして［コントロールパネル］をクリックします。
［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、3 へ進みます。
② ［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。
③ ［プリンタと FAX］をクリックします。

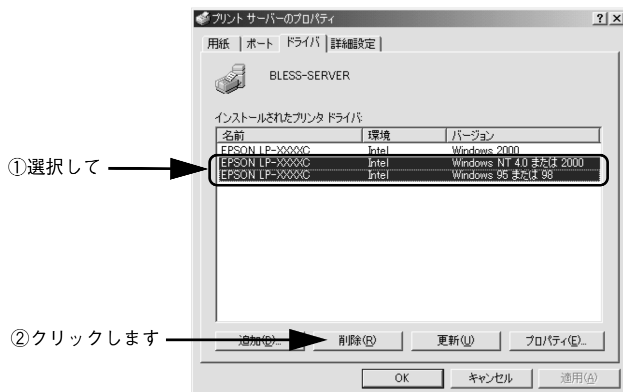
3 ［ファイル］メニューから［サーバーのプロパティ］をクリックします。



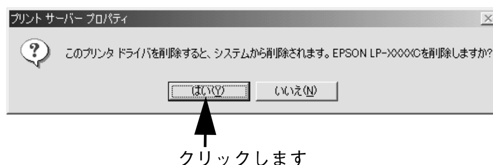
4 ［ドライバ］タブをクリックして、［インストールされたプリンタ ドライバ］リストを開きます。



5 削除したい代替/追加ドライバをクリックして選択し、[削除]ボタンをクリックします。



6 削除を確認するメッセージが表示されたら、[はい] ボタンをクリックします。



7 [閉じる] ボタンをクリックしてプロパティを閉じます。

以上で代替 / 追加ドライバの削除は終了です。

Macintosh プリンタドライバの機能と関連情報

プリンタドライバの詳細説明と、Macintosh でお使いの際に関係する情報について説明しています。

設定ダイアログの開き方

ここでは、Macintosh アプリケーションソフトでの、基本的な印刷手順について説明します。

用紙設定の手順

実際に印刷データを作成する前に、プリンタドライバ上で用紙サイズなどを設定します。ここでは、SimpleText を例に説明します。

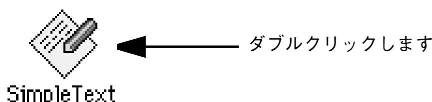


ポイント

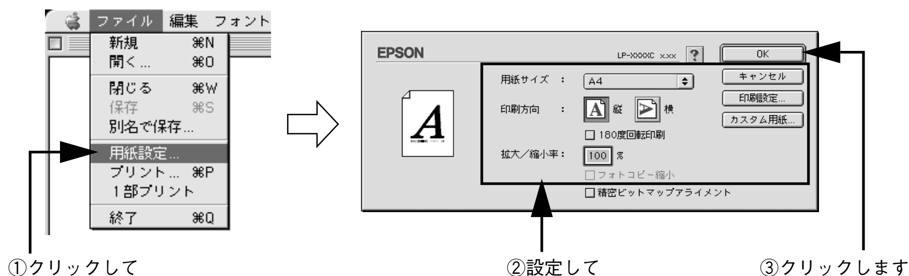
用紙設定をする前にセレクタで LP-1500C 用のプリンタドライバを選択してください。

スタートアップガイド 44 ページ「プリンタドライバの選択」

1 ［SimpleText］アイコンをダブルクリックして起動します。



2 ［ファイル］メニューから［用紙設定］（または［プリンタの設定］など）を選択します。



3 **必要な項目を設定します。**

設定項目やボタンについては、以下のページを参照してください。

本書 154 ページ「［用紙設定］ダイアログ」
本書 156 ページ「任意の用紙サイズを登録するには」

4 ［OK］ボタンをクリックして終了します。

この後、印刷データを作成します。

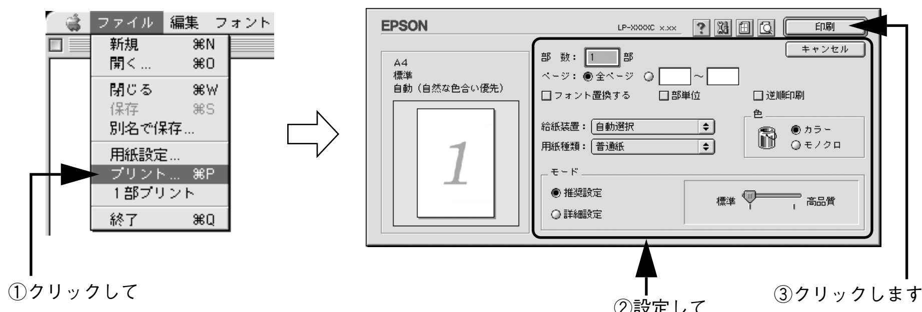
印刷設定の手順

印刷する際に、プリンタドライバ上で印刷部数などを設定します。


ポイント

アプリケーションソフトによっては、独自の印刷ダイアログを表示する場合があります。その場合は、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

1 ［ファイル］メニューから［プリント］（または［印刷］）を選択します。



2 **印刷に必要な項目を設定します。OHP シート、厚紙に印刷する場合は、［用紙種類］から印刷する用紙を選択します。**

通常は、［プリント］ダイアログの各項目を設定するだけで正常に印刷できます。設定項目やボタンについては、以下のページを参照してください。

本書 158 ページ「［プリント］ダイアログ」


ポイント

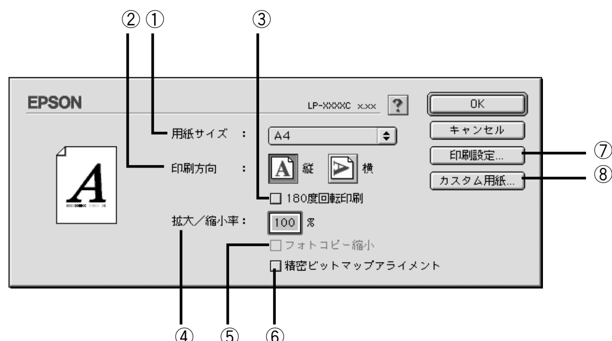
コート紙に印刷する場合の［用紙種類］の設定は、以下のページを参照してください。

本書 159 ページ「④ 用紙種類」

3 ［印刷］ボタンをクリックして、印刷を実行します。

［用紙設定］ダイアログ

［用紙設定］ダイアログでは、用紙に関する基本的な項目を設定します。印刷データを作成する前に設定してください。



①用紙サイズ
印刷する用紙のサイズをポップアップメニューから選択します。



ポイント

本機で印刷できない用紙サイズを選択すると、A4 サイズの用紙にフィットページ印刷を行います。A4 サイズ以外の用紙にフィットページ印刷を行う場合は、［レイアウト］ダイアログで［フィットページ］を設定してください。
本書 169 ページ「［レイアウト］ダイアログ」

②印刷方向
用紙に対する印刷の向きを、［縦］・［横］のいずれかクリックして選択します。

③ 180 度回転印刷
印刷データを 180 度回転して印刷します。

④拡大 / 縮小率
印刷データを拡大 / 縮小して印刷できます。拡大 / 縮小率を 25% ～ 400% まで、1% 単位で指定できます。



ポイント

拡大 / 縮小印刷をすると、カラーの色合いが元データと比べて変わることがあります。

⑤フォトコピー縮小
［拡大 / 縮小率］が 100% 未満の場合に有効になります。指定した縮小率で用紙中央に印刷します。この場合、［精密ビットマップアライメント］は選択できません。

⑥精密ビットマップアライメント

印刷領域を約 4% 縮小して印刷のムラを押さえ、よりきれいに印刷します。この場合、印刷位置は用紙の中央になります。なお、[フォトコピー縮小] を選択している場合は、選択できません。

⑦[印刷設定] ボタン

印刷に関する各種の設定を行います。印刷する直前に [プリント] ダイアログでも同様の項目を設定できます。設定できる項目については、以下のページを参照してください。

本書 158 ページ「[プリント] ダイアログ」

⑧[カスタム用紙] ボタン

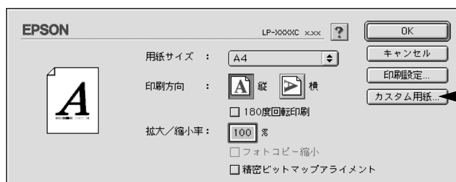
用紙のカスタム（不定形）サイズを設定できます。設定したカスタム用紙サイズは、[用紙設定] ダイアログの [用紙サイズ] メニューから選択できます。

本書 156 ページ「任意の用紙サイズを登録するには」

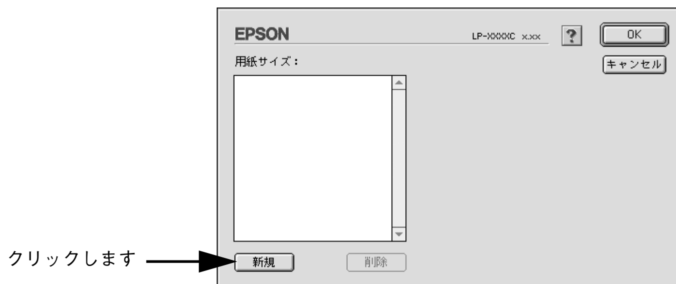
任意の用紙サイズを登録するには

［用紙サイズ］リストにあらかじめ用意されていない用紙サイズを［カスタム用紙］として登録することができます。

1 ［用紙設定］ダイアログを開き、［カスタム用紙］ボタンをクリックします。



2 ［新規］ボタンをクリックします。



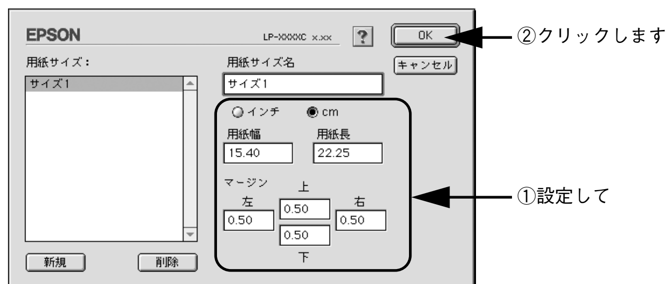


- 登録できる用紙サイズの数は、64 件までです。
- すでに登録している用紙サイズを変更する場合は、［用紙サイズ］一覧から変更したい用紙サイズを選択します。
- 用紙サイズ名をクリックしてから［削除］ボタンをクリックすると、その用紙サイズは削除されます。
- プリンタドライバを再インストールした場合でも、登録した用紙サイズは保持されます。

3 **用紙サイズ名、単位（インチまたは cm）、用紙幅、用紙長、上下左右マージンを設定し、［OK］ボタンをクリックします。**

設定できるサイズの範囲は次の通りです。

- 用紙幅：9.20 ～ 21.60cm（3.62 ～ 8.50 インチ）
- 用紙長：14.80 ～ 29.70cm（5.83 ～ 11.69 インチ）



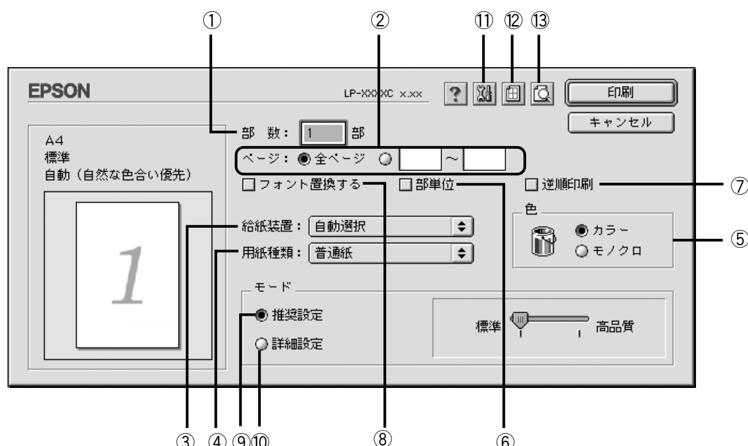
これで定義した用紙サイズが［用紙サイズ］リストから選択できるようになります。


ポイント

不定形紙への印刷は、いくつかご注意いただく点があります。以下のページを参照してから印刷を実行してください。
本書 37 ページ「不定形紙への印刷」

［プリント］ダイアログ

印刷する際、［プリント］ダイアログで印刷に関わる各種の設定を行います。



①部数

1～999の範囲で印刷部数を選択します。通常は1ページごとに指定した部数を印刷しますが、⑥の［部単位］を選択すると1部ごとにまとめて印刷します。

②ページ

すべてのページを印刷する場合は［全ページ］を選択します。一部のページを指定して印刷する場合は、開始ページと終了ページを1～9999の範囲で入力します。

③給紙装置

給紙装置を選択します。

項目	説明
自動選択	印刷実行時に、［用紙サイズ］で選択したサイズの用紙がセットされている給紙装置を探し給紙します。
用紙トレイ	用紙トレイから給紙します。
用紙カセット 1	オプションの増設カセットユニットにセットしている用紙カセットから給紙します。



- 選択した給紙装置に指定された用紙サイズがセットされていない場合や正しく検知されない場合は、エラー（用紙サイズチェック機能有効時）が発生します。
  本書167ページ「［拡張設定］ダイアログ」
- ［自動選択］を選択して拡大/縮小印刷を行うと、［レイアウト］ダイアログの［出力用紙］で設定したサイズの用紙がセットされている給紙装置を自動的に選択して、そこから給紙します。
  本書169ページ「［レイアウト］ダイアログ」

④用紙種類

印刷に使用する用紙種類を選択します。

項　目	説　明
普通紙	普通紙タイプの用紙に印刷する場合に選択します。
コート紙	コート紙に印刷する場合に選択します。［給紙装置］には［用紙トレイ］が選択されます。
コート紙（裏面）	表面を印刷したコート紙の裏面に印刷する場合に選択します。［給紙装置］には［用紙トレイ］が選択されます。
OHP シート	専用 OHP シートに印刷する場合に選択します。［給紙装置］には［用紙トレイ］が選択されます。
厚紙	厚紙に印刷する場合に選択します。紙厚が 90 ～ 163g/m^2 の場合に選択してください。［給紙装置］には［用紙トレイ］が選択されます。
厚紙（裏面）	表面を印刷した厚紙の裏面に印刷する場合に選択します。［給紙装置］には［用紙トレイ］が選択されます。
封筒	洋形 0/4/6 号以外の封筒に印刷する場合に選択します。［給紙装置］には［用紙トレイ］が選択されます。
ハガキ（裏面）	表面を印刷した官製ハガキ、官製往復ハガキの裏面に印刷する場合に選択します。［給紙装置］には［用紙トレイ］が選択されます。


ポイント

厚紙や官製ハガキ / 官製往復ハガキ、専用コート紙の両面に印刷する場合に、片面の印刷後もう一方の面を印刷するときは［用紙種類］を［厚紙（裏面）］、［ハガキ（裏面）］、［コート紙（裏面）］に設定してください（両面印刷時のみ設定します）。

⑤色

カラー印刷を行うときは、［カラー］を、モノクロ印刷を行うときは［モノクロ］を選択します。

⑥部単位

2 部以上印刷する場合に 1 ページ目から最終ページまでを 1 部単位にまとめて印刷します。印刷する部数は、①の［部数］で指定します。

⑦逆順印刷

先頭ページからではなく、最後のページから逆に印刷します。

⑧フォント置換する

細明朝体、中ゴシック体、等幅明朝、等幅ゴシックフォントを、別のフォントに置き換えて印刷します。プリンタドライバは、インストールしてあるフォントの中から、置き換え可能なフォントを自動的に探します。置き換え可能なフォントがない場合は、フォント置き換えを行いません。
フォント置き換え機能を使用する場合は、以下のフォントを使用することできれいに印刷できます。お使いの Macintosh に以下のフォントがインストールされていない場合は、Mac OS の CD-ROM よりインストールしてお使いください。

- リュウミンライトー KL、リュウミンライトー KL ー等幅
- 中ゴシック BBB、中ゴシック BBB ー等幅

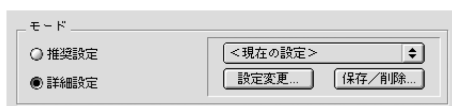
⑨ 推奨設定モード

一般的に推奨できる条件で印刷できます。ほどんどの場合、この［推奨設定］でよい印刷結果が得られます。［推奨設定］を選択している場合は、印刷品質（解像度）を［標準］（300dpi）または［高品質］（600dpi）のどちらかに設定できます。

項目	説明
標準	文字文書の高速印刷（品質より印刷速度を優先する場合）に適しています。
高品質	写真のようにグラデーションのある画像（無段階に色調が変化する画像）の印刷に適しています。

⑩ 詳細設定モード

［詳細設定］をクリックすると、詳細設定メニューと［設定変更］/［保存 / 削除］ボタンが表示されます。



項目	説明
詳細設定メニュー	プリセットメニューおよび［保存 / 削除］ボタンで保存した設定を選択できます。
［設定変更］ボタン	クリックすると、［詳細設定］ダイアログが開きます。 本書 163 ページ「［詳細設定］ダイアログ」
［保存 / 削除］ボタン	クリックすると、［プリント］ダイアログで設定した内容を保存または削除するためのダイアログが表示されます。［ユーザー設定名］を入力して、［登録］ボタンをクリックしてください。 ②クリックします ①入力して 保存した設定を変更または削除できます。 • 設定を変更する場合は、最初に［プリント］ダイアログで設定を変更してから変更の対象となる設定名を［ユーザー設定］リストから選択し、［変更］ボタンをクリックしてください。 • 設定を削除する場合は、削除する設定名を［ユーザー設定］リストから選択して［削除］ボタンをクリックしてください。 ② クリックします（変更時） ② クリックします（削除時） ①選択して

カラー印刷時には、以下のプリセットメニューをご利用いただけます。

プリセットメニュー	用途
推奨（標準）	一般的なデータを印刷するのに適した設定です。印刷速度を重視した設定で印刷します。
ワープロ／グラフ	グラフや表を含むデータを印刷する場合に選択してください。この部分を鮮やかに印刷して読みやすくします。印刷速度を重視した設定で印刷します。
グラフィック／ＣＡＤ	グラフィック画像やCADによる描画を印刷する場合に選択してください。細線までくっきりと鮮やかに印刷します。印刷速度を重視した設定で印刷します。
写真	写真を中心としたデータを印刷する場合に選択してください。印刷速度を重視した設定で印刷します。
オートフォトファイン!4	EPSON独自の画像補正技術オートフォトファイン!4を使用し、印刷データ内の画像を高画質化して印刷します。
ColorSync	ColorSyncによるカラーマッチング（色合わせ）を行うときに適した設定です。
推奨（高品質）	一般的なデータを印刷するのに適した設定です。印刷品質を重視した設定で印刷します。
高品質ワープロ／グラフ	グラフや表を含むデータを印刷する場合に選択してください。この部分を鮮やかに印刷して読みやすくします。印刷品質を重視した設定で印刷します。
高品質グラフィック／CAD	グラフィック画像やCADによる描画を印刷する場合に選択してください。細線までくっきりと鮮やかに印刷します。印刷品質を重視した設定で印刷します。
高品質写真	写真を中心としたデータを印刷する場合に選択してください。印刷品質を重視した設定で印刷します。

⑪ （［拡張設定］アイコン）

印刷位置のオフセット値、白紙節約機能、用紙サイズチェックなどの設定を行います。

本書 167 ページ「［拡張設定］ダイアログ」

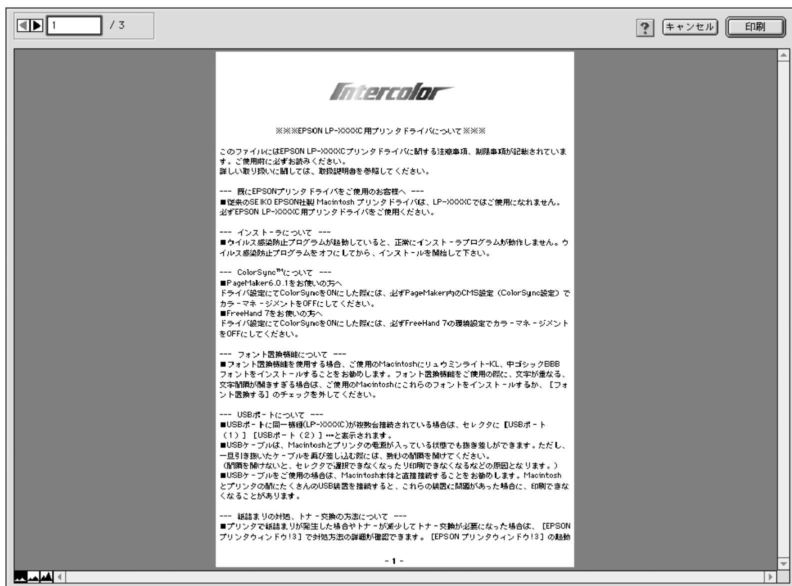
⑫ （［レイアウト］アイコン）

レイアウトに関する設定ができます。

本書 169 ページ「［レイアウト］ダイアログ」

⑬ （[プレビュー] アイコン）

アイコンをクリックすると［印刷］ボタンが［プレビュー］ボタンに変わります。[プレビュー］ボタンをクリックすると、[プレビュー］ウィンドウが表示され、印刷結果をモニタ上で確認できます。





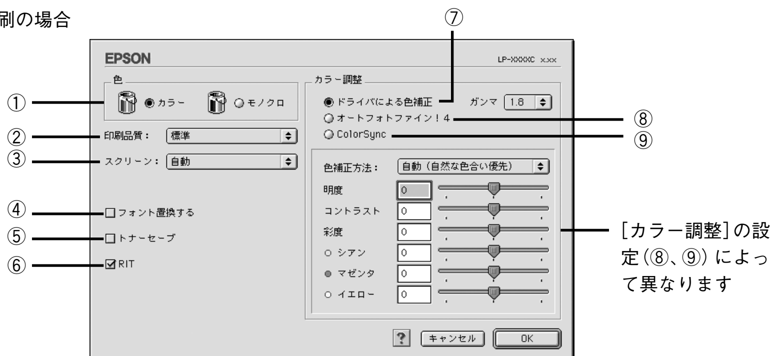
- ［用紙設定］ダイアログで［180 度回転印刷］を設定しても、ページを 180 度回転してプレビュー表示しません。
- 文字が図形より下にあっても、文字が上にプレビュー表示されます。

	:	表示するページを 1 ページごとに切り替えるボタンです。
1 / 3	:	表示させるページ番号を直接入力します。
キャンセル	:	［プレビュー］ダイアログを閉じるボタンです。
印刷	:	印刷を開始するボタンです。
	:	印刷データ（1 ページ単位）の全体を表示します。
	:	印刷結果と同等のサイズで表示します。
	:	印刷データを拡大して表示します。

［詳細設定］ダイアログ

［プリント］ダイアログの［モード設定］で［詳細設定］をクリックして［設定変更］ボタンをクリックすると、［詳細設定］ダイアログが表示されます。印刷に関わるさまざまな機能を詳細に設定できます。

カラー印刷の場合



モノクロ印刷の場合



①色

カラー印刷を行うときは、［カラー］を、モノクロ印刷を行うときは［モノクロ］を選択します。

②印刷品質

印刷品質とは印刷解像度のことで、［標準］（300dpi）または［高品質］（600dpi）のどちらかに設定できます。
［高品質］を選択すると、きめ細かく印刷できますが印刷時間は長くなります。品質より印刷速度を優先する場合は、［標準］に設定してください。



印刷できない場合や、メモリ関連のエラーメッセージが表示される場合は、［印刷品質］を［標準］（解像度 300dpi）に設定してください。

③スクリーン（カラー印刷のみ）

スクリーン線数（lpi）を選択します。ほかに設定した印刷条件によっては、グレー表示して設定できない場合があります。

項　目	説　明
自動	スクリーン線数を自動的に設定します。
解像度優先	解像度を優先して印刷します。細い線や細かい模様のあるデータの印刷時に選択してください。
階調優先	階調を優先して印刷します。色調や色の濃淡が無段階に変化する連続階調、写真やグラデーションのあるデータの印刷時に選択してください。

④フォント置換する

細明朝体、中ゴシック体、等幅明朝、等幅ゴシックフォントを、別のフォントに置き換えて印刷します。プリンタドライバは、インストールしてあるフォントの中から、置き換え可能なフォントを自動的に探します。置き換え可能なフォントがない場合は、フォント置き換えを行いません。

フォント置き換え機能を使用する場合は、以下のフォントを使用することできれいに印刷できます。お使いの Macintosh に以下のフォントがインストールされていない場合は、Mac OS の CD-ROM よりインストールしてお使いください。

- リュウミンライトー KL、リュウミンライトー KL ー等幅
- 中ゴシック BBB、中ゴシック BBB ー等幅

⑤トナーセーブ

印刷濃度を抑えることでトナーを節約（トナーセーブ）します。カラー印刷時は色の表現力を低く抑えて印刷します。試し印刷をするときなど、印刷品質にこだわらない場合にご利用ください。



カラー印刷の場合、トナーセーブ機能を有効にすると、色の濃度を低くして印刷するため、薄い色や細かい線などは印刷されない場合があります。

⑥RIT

RIT[*1]（Resolution Improvement Technology）を有効にすると大きな文字がきれいに印刷できたり、写真画像の斜線補正や輪郭補正などに効果があります。

*1　RIT：斜線や曲線などのギザギザをなめらかに印刷する EPSON 独自の印刷機能。



- RIT 機能を有効にしてグラデーション（無段階に変化する階調）のある画像を印刷すると、意図した印刷結果が得られないことがあります。この場合は RIT 機能を使用しないでください。
- カラー印刷の場合、③の［スクリーン］の関係で RIT 機能が有効にならない場合があります。

⑦ ドライバによる色補正（カラー印刷のみ）

プリンタドライバによるカラー調整を行います。［ドライバによる色補正］を選択した場合は、以下の設定でカラー調整できます。

ガンマ：

ガンマ値は、画像階調の入力値と出力値の関係を表すときに使用する単位で、この値を変更することで中間調の明るさの見え方が変わります。この設定は、［ドライバによる色補正］を選択した場合にのみ有効です。

［1.5］	従来の EPSON カラーレーザープリンタ（LP-8000C/8200C）の色合いに近付けて印刷します。
［1.8］	通常はこの設定で印刷してください。ガンマ値 1.5 に比べ立体感がありメリハリのある画像を印刷することができます。
［2.2］	sRGB 対応製品と色合わせして印刷する場合に選択してください。

色補正方法：

色の補正方法を選択できます（モノクロ印刷では設定できません）。

［自動（自然な色合い優先）］	文字を鮮やかな色合いに、グラフィックとイメージを自然な色合いになるようにカラー調整します。
［自動（鮮やかさ優先）］	文字とグラフィックを鮮やかな色合いに、イメージを自然な色合いになるようにカラー調整します。
［自然な色合い］	より自然な発色になるようにカラー調整します。
［鮮やかな色合い］	より鮮やかな発色になるようにカラー調整します。
［色補正なし］	カラー調整しません。ColorSync 用プロファイルを作成する際の基準色を印刷するときに選択します。通常は、選択しないでください。

明度：

画像全体の明るさを調整します。

コントラスト：

画像全体のコントラスト（明暗比）を調整します。コントラストを上げると、明るい部分はより明るく、暗い部分はより暗くなります。逆にコントラストを落とすと、画像の明暗の差が少なくなります。

彩度：

画像全体の彩度（色の鮮やかさ）を調整します。彩度を上げると、色味が強くなります。彩度を落とすと、色味がなくなり、無彩色化されてグレーに近くなります。

シアン、マゼンタ、イエロー：

各色の強さを調整します

	-25	← 0 →	+25
シアン	赤みが強くなります。		青緑（シアン）が強くなります。
マゼンタ	緑色が強くなります。		赤紫（マゼンタ）が強くなります。
イエロー	青色が強くなります。		黄色（イエロー）が強くなります。

⑧オートフォトファイン!4（カラー印刷のみ）

EPSON 独自のオートフォトファイン!4 機能を使って、画像を調整します。ビデオ、デジタルカメラ、フィルムスキャナ、スキャナなどから取り込んだ画像や Photo CD のデータなどを自動的に補正して印刷します。［オートフォトファイン !4］を選択した場合は、以下の設定でカラーを調整します。



項目	説明
色調	印刷する際の画像の色調の補正方法を、［標準］［硬調］［鮮やか］［セピア］［モノクロ］の項目から選択することができます。それぞれの効果は各項目を選択した際の右側の画像の変化で確認してください。色調を補正しない場合は、チェックボックスをクリックしてチェックマークを外します。
効果	印刷する際に画像に特殊効果を加えて印刷します。［シャープネス］［ソフトフォーカス］［キャンバス］［和紙］の中から選択することができます。それぞれの効果は各項目を選択した際の右側の画像の変化で確認してください。スライドバーでは、加える効果の強弱を調整することができます。効果を加えない場合は、チェックボックスをクリックしてチェックマークを外します。
デジタルカメラ用補正	デジタルカメラで撮影した画像に対して、最適な補正をして印刷します。


ポイント

- 画像のサイズやコンピュータの性能によっては印刷時間が多少長くなります。
- オートフォトファイン !4 は、1677 万色（24bit）の色情報を持った画像データに対して最も有効に機能します。256 色などの少ない色情報の画像データには有効に機能しません。
- EPSON 製デジタルカメラの画像転送ソフトにおいてオートフォトファインを使用した画像データには、プリンタドライバのオートフォトファイン !4 は使用しないでください。

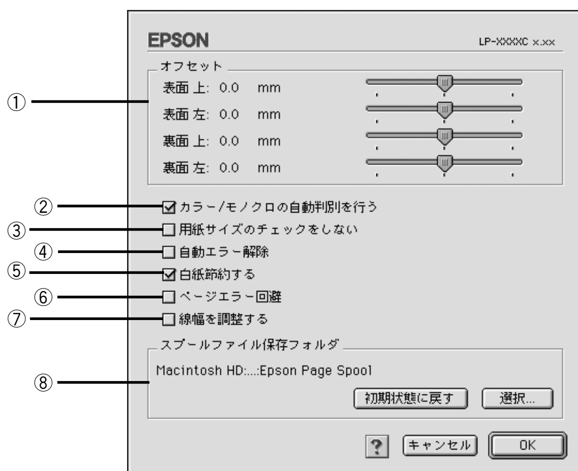
⑨ColorSync（カラー印刷のみ）

ColorSync によるカラーマッチング（色合わせ）を行います。

本書 201 ページ「ColorSync について」

［拡張設定］ダイアログ

［プリント］ダイアログの［拡張設定］アイコンをクリックすると、［拡張設定］ダイアログが表示されます。



①オフセット

印刷開始位置のオフセット値を表面 / 裏面それぞれに対して［上］（垂直位置）と［左］（水平位置）で設定します。0.5mm 単位で、次の範囲で設定できます。
上（垂直位置）: -9mm（上方向）～ 9mm（下方向）
左（水平位置）: -9mm（左方向）～ 9mm（右方向）

②カラー / モノクロの自動判別を行う

印刷データがカラーデータであるかモノクロデータであるかを自動判別して、データに適した設定で印刷します。

③用紙サイズのチェックをしない

プリンタドライバで設定した用紙サイズとプリンタにセットしてある用紙のサイズが合っているか確認しません。それぞれの用紙サイズが異なってもエラーを発生することなく印刷します。

④自動エラー解除

以下の状態のときに発生するエラーを自動的に解除して印刷を続行します。

- プリンタにセットしてある用紙のサイズと印刷データの用紙のサイズが異なる場合
- 印刷データの用紙サイズがプリンタのサポートしていないサイズの場合
- 印刷に必要なメモリが足りない場合

⑤白紙節約する

白紙ページを印刷するかしないかを選択します。白紙ページを印刷しないことで用紙を節約することができます。

⑥ページエラー回避

チェックすると、印刷品質を落として印刷するため、ページエラーが発生しにくくなります。印刷データに問題が発生した場合にチェックしてください。

⑦線幅を調整する

図形の線幅を 1.4 倍にして印刷します。図形を重ね合わせて印刷すると隙間が生じる場合などに隙間を埋めることができます。

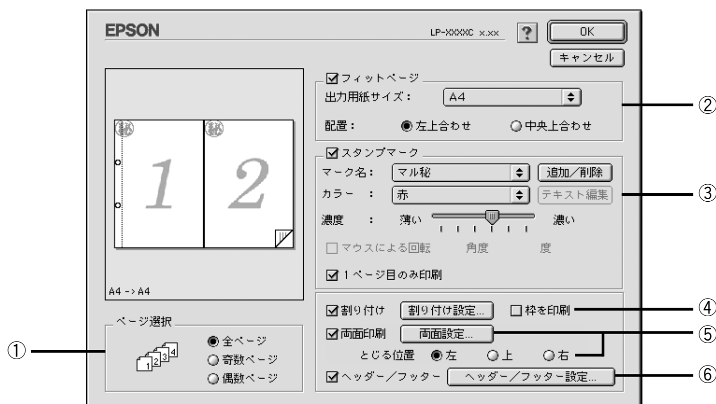
⑧スプールファイル保存フォルダ

印刷処理用のスプールファイルをどこに保存するかを選択できます。

項目	説明
［選択］ボタン	［拡張設定］ダイアログで［選択］ボタンをクリックしてフォルダの選択ダイアログを表示させ、スプールファイルを保存したいフォルダを選択してから［選択］ボタンをクリックします。 ①選択して Epson Page Spool Macintosh HD 取り出し デスクトップ 新規 キャンセル 選択 "Epson Page Spool" 選択 ②クリックします
［初期状態に戻す］ボタン	スプールファイルの保存フォルダを初期状態に戻すには、［拡張設定］ダイアログで［初期状態に戻す］ボタンをクリックします。

［レイアウト］ダイアログ

［プリント］ダイアログで［レイアウト］アイコンをクリックすると、［レイアウト］ダイアログが表示されます。レイアウトに関わるさまざまな設定ができます。



①ページ選択

印刷データの全ページを印刷するか、奇数ページまたは偶数ページのみ印刷するかを選択します。

②フィットページ

印刷する用紙のサイズに合わせて印刷データを自動的に拡大 / 縮小して印刷します。

本書 171 ページ「拡大 / 縮小して印刷するには」


ポイント

- 拡大 / 縮小の倍率は［用紙設定］ダイアログで設定した用紙サイズに対して設定されます。
- ［用紙設定］ダイアログの［拡大 / 縮小率］は無効になります。

③スタンプマーク

印刷データに㊙などの画像や「重要」などのテキストを重ね合わせて印刷します。

本書 173 ページ「スタンプマークを印刷するには」

④割り付け

2 ページまたは 4 ページ分の連続した印刷データを 1 枚の用紙に自動的に縮小割り付けして印刷します。割り付けるページ数、順序、枠線の有無を設定できます。

本書 178 ページ「1 ページに複数ページのデータを印刷するには」

⑤両面印刷

オプションの両面印刷ユニットを装着している場合に選択でき、両面印刷を行います。

☞ 本書 180 ページ「両面印刷をするには」



両面印刷を行う場合、用紙カセットの用紙ガイドは、用紙サイズの目盛りに正しく合わせてください。また、用紙トレイにセットした用紙のサイズを正しく設定してください。用紙サイズが正しく検知されないと、両面印刷ができない場合があります。

⑥ヘッダー / フッター

ユーザー名や印刷日時など、印刷に関する情報を用紙のヘッダー（上部）/ フッター（下部）に印刷します。印刷するヘッダー / フッターを設定するには、[ヘッダー / フッター設定] ボタンをクリックします。

EPSON　LP-XXXXC x.xx

ヘッダー／フッター設定

左上	中央上	右上
ユーザー名	コンピュータ名	日付／時刻

左下	中央下	右下
（なし）	（なし）	部番号

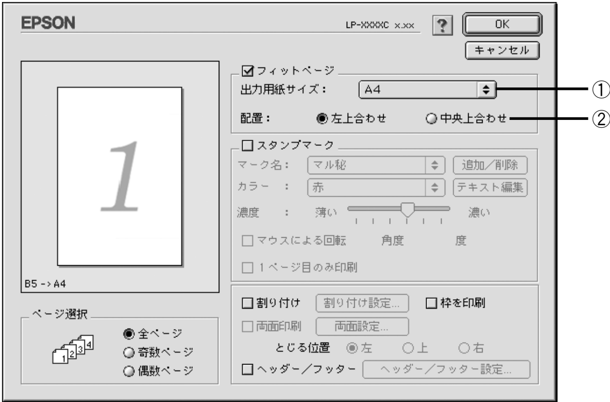
? キャンセル OK

[ヘッダー / フッター設定] ダイアログでは、印刷位置に対応するリストから印刷したい項目（なし・ユーザー名・コンピュータ名・日付・日付 / 時刻・部番号*）を選択して、[OK] ボタンをクリックします。

* 部単位で印刷する場合に何部目であるかを示す番号

拡大 / 縮小して印刷するには

［レイアウト］ダイアログ内のフィットページ機能を使います。フィットページとは、印刷する用紙のサイズに合わせて印刷データを拡大 / 縮小する機能のことです。
［フィットページ］をチェックし、印刷する用紙のサイズを選択してから印刷を実行します。



①出力用紙サイズ

プリンタにセットした用紙サイズに合わせて自動的に拡大 / 縮小（フィットページ）印刷するには、用紙サイズをリストから選択します。

②配置

フィットページ印刷する場合、ページのどこに印刷するかを選択します。

項目	説明
左上合わせ	用紙の左上を基準にしてフィットページ印刷を行います。
中央合わせ	用紙の中央を基準にしてフィットページ印刷を行います。

ポイント

- 拡大 / 縮小の倍率は［用紙設定］ダイアログで設定した用紙サイズに対して設定されます。
- ［用紙設定］ダイアログの［拡大 / 縮小率］は無効になります。

フィットページ印刷の手順

フィットページ機能を使って用紙サイズA4の印刷データをハガキサイズに縮小印刷する手順は以下の通りです。

1. **プリンタにハガキサイズの用紙がセットされていることを確認します。**

2. **[レイアウト] ダイアログを開いて、各項目を設定します。**
   この場合 [用紙設定] ダイアログの [用紙サイズ] は [A4] になります。



3. **[印刷] ボタンをクリックして印刷を実行します。**

スタンプマークを印刷するには

［レイアウト］ダイアログ内のスタンプマーク機能を使います。



①プレビュー部

ダイアログ左側の印刷イメージ上でスタンプマークをドラッグすると、スタンプマークの印刷位置やサイズを変更することができます。

②マーク名

印刷するスタンプマークをリストから選択します。

③［追加 / 削除］ボタン

オリジナルのビットマップ (PICT[*1] 画像) マークやテキスト（文字）マークを登録したり削除します。

*1　PICT：Macintosh の標準グラフィックファイル形式。

本書 175 ページ「オリジナルスタンプマークの登録方法」

④［テキスト編集］ボタン

登録したテキストマークを［マーク名］リストで選択してから［テキスト編集］ボタンをクリックすると、登録時と同じダイアログが表示されて、登録したテキスト、フォント、スタイルを変更することができます。

⑤濃度

スタンプマークの印刷濃度を、［濃度］バーで調整します。バーを［薄い］側に移動するとより薄く、［濃い］側に移動するとより濃くスタンプマークが印刷されます。

⑥マウスによる回転 / 角度

テキストマークを回転するときは、［マウスによる回転］をクリックしてチェックマークを付け、プレビュー部のマークをマウスで回転させるか、［角度］ボックスに回転角度を直接入力します。

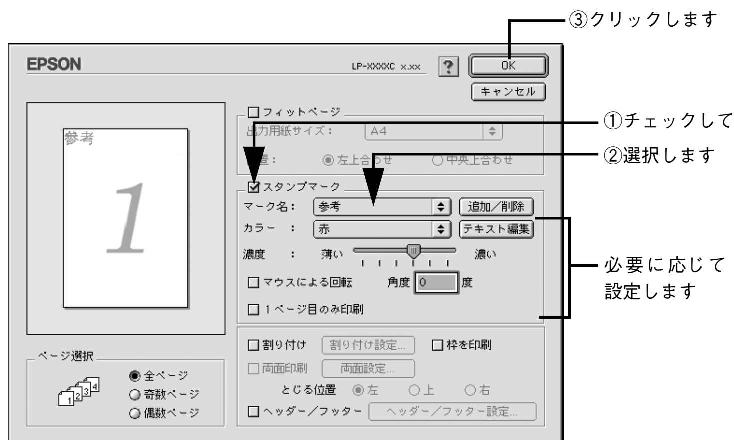
⑦ 1 ページ目のみ印刷

用紙の 1 ページ目のみにスタンプマークを印刷します。

スタンプマーク印刷の手順

スタンプマークを印刷する場合の手順は以下の通りです。

1 ［レイアウト］ダイアログを開いて、以下の項目を設定します。



2 ［印刷］ボタンをクリックして印刷を実行します。

オリジナルスタンプマークの登録方法

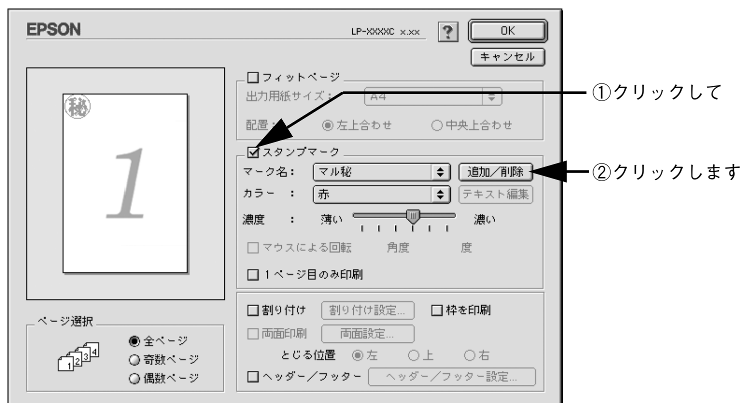
すでに登録されているスタンプマークのほかに、テキスト（文字）マークやビットマップ（画像）マークが登録できます。登録するマークの種類に合わせて、それぞれの手順をお読みください。



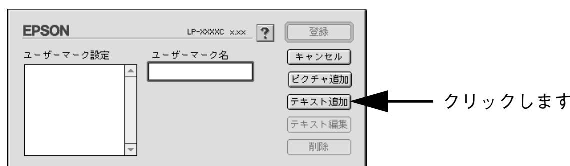
- オリジナルスタンプマークは 32 件まで登録することができます。
- プリンタドライバを再インストールした場合でも、登録されたスタンプマークは保持されます。

テキストマークの登録方法

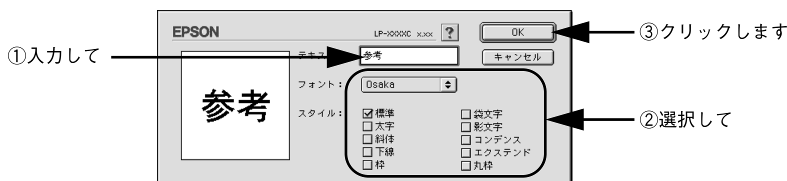
1. ［レイアウト］ダイアログを開いて、［スタンプマーク］をクリックしてチェックマークを付け、［追加 / 削除］ボタンをクリックします。



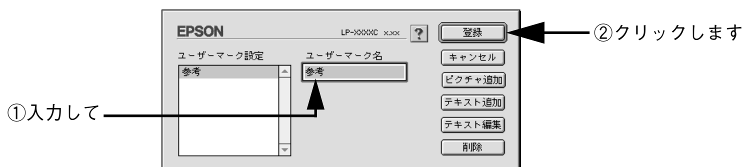
2. ［テキスト追加］ボタンをクリックします。



3. ［テキスト］ボックスに文字を入力し、［フォント］と［スタイル］を選択して、［OK］ボタンをクリックします。



4 ［ユーザーマーク名］を入力して、［登録］ボタンをクリックします。



これで［スタンプマーク］ダイアログの［マーク名］のポップアップメニューにオリジナルのスタンプマークが登録されました。



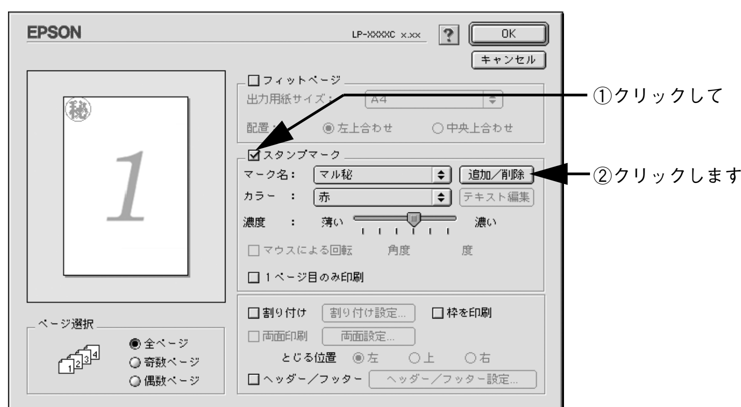
- 登録したテキストマークを変更するには、変更したいテキストマーク名を［ユーザーマーク設定］リストから選んで［テキスト編集］ボタンをクリックします。変更した後、必ず一旦ダイアログを閉じてください。
- 登録したスタンプマークを削除するには、削除したいスタンプ名を［ユーザーマーク設定］リストから選んで［削除］ボタンをクリックします。［削除］ボタンをクリックした後、必ず一旦ダイアログを閉じてください。

5 ［スタンプマーク］ダイアログで［OK］ボタンをクリックします。
画面左側のプレビュー部で登録したスタンプマークを確認できます。

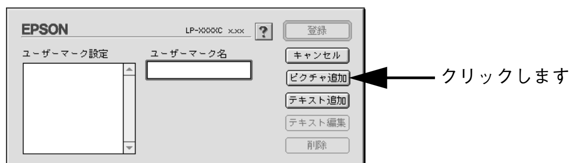
ビットマップマークの登録方法

1 アプリケーションソフトでオリジナルのスタンプマークを作成し、PICT 形式で保存します。

2 ［レイアウト］ダイアログを開いて、［スタンプマーク］をクリックしてチェックマークを付け、［追加 /削除］ボタンをクリックします。

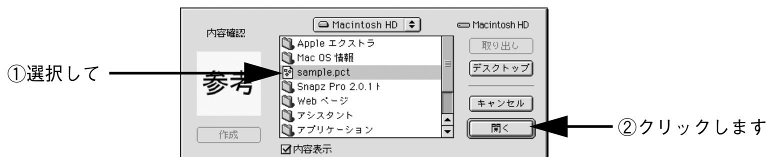


3 ［ピクチャ追加］ボタンをクリックします。



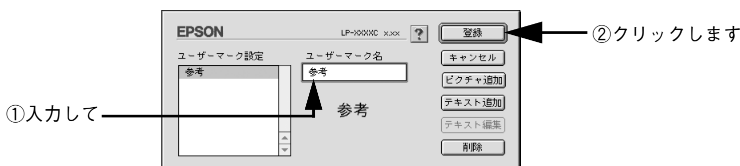
4 ❶ で保存した PICT ファイル名を選択し、［開く］ボタンをクリックします。

［作成］ボタンをクリックすると、ファイルのサンプル画像を表示します。



5 ［ユーザーマーク名］を入力して、［登録］ボタンをクリックします。

これで［スタンプマーク］ダイアログの［マーク名］のポップアップメニューにオリジナルのスタンプマークが登録されました。





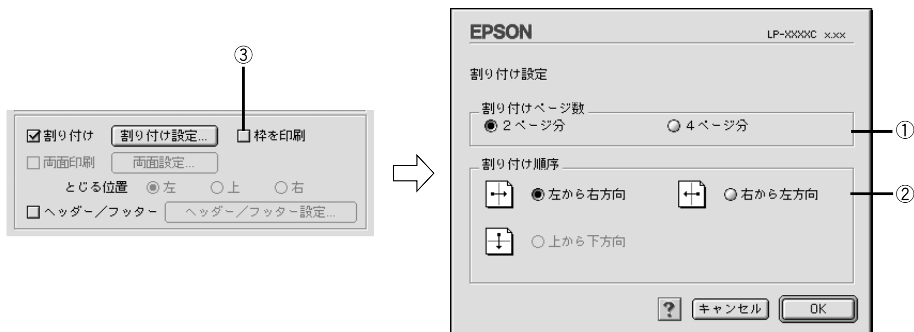
登録したスタンプマークを削除するには、削除したいスタンプ名を［ユーザーマーク設定］リストから選んで［削除］ボタンをクリックします。［削除］ボタンをクリックした後、必ず一旦ダイアログを閉じてください。

6 ［スタンプマーク］ダイアログで［OK］ボタンをクリックします。

画面左側のプレビュー部で登録したスタンプマークを確認できます。

1 ページに複数ページのデータを印刷するには

［レイアウト］ダイアログで［割り付け］をクリックしてチェックマークを付け、［割り付け設定］ボタンをクリックすると、［割り付け設定］ダイアログが開いて以下の項目が設定できます。



①割り付けページ数

1 枚の用紙に割り付けるページ数を選択します。

②割り付け順序

割り付けたページを、どのような順番で配置するのか選択します。［印刷方向］（縦・横）と［割り付けページ数］によって、選択できる割り付け順序は異なります。

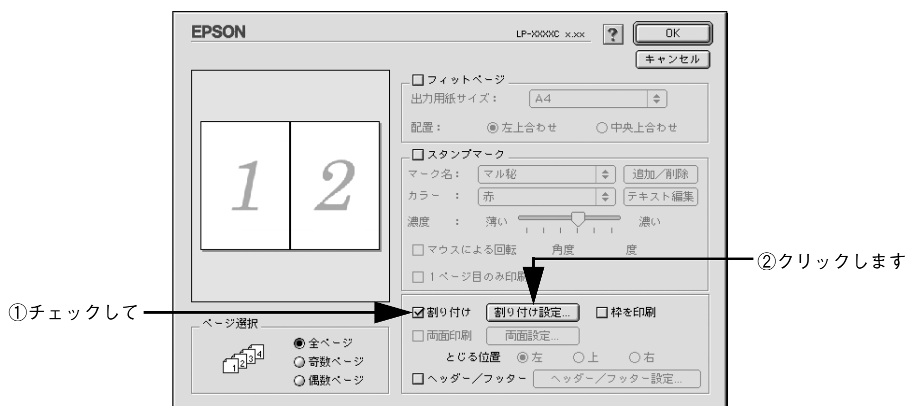
③枠を印刷

割り付けた各ページの周りに枠線を印刷します。

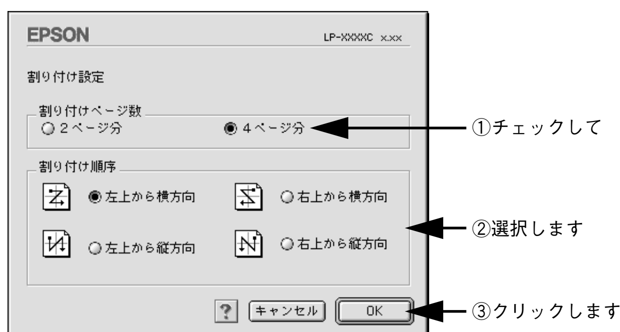
割り付け印刷の手順

4 ページ分の連続したデータを 1 枚の用紙に印刷する場合の手順は以下の通りです。

1. ［レイアウト］ダイアログを開いて、以下の項目を設定します。



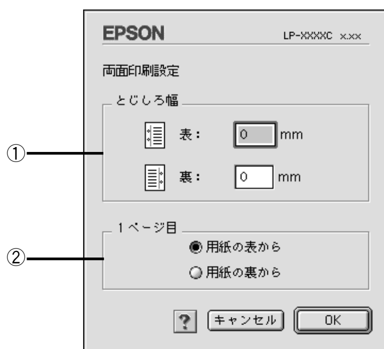
2. ［割り付け設定］ダイアログの以下の項目を設定します。



3. ［OK］ボタンをクリックして［レイアウト］ダイアログを閉じ、［プリント］ダイアログの［印刷］ボタンをクリックして印刷を実行します。

両面印刷をするには

［レイアウト］ダイアログで［両面設定］をクリックしてチェックマークを付け、［両面設定］ボタンをクリックすると、［両面印刷設定］ダイアログが表示され以下の項目が設定できます。



①とじしろ幅

両面印刷するときのとじしろ幅を、用紙の表と裏でそれぞれ設定します。

②1 ページ目

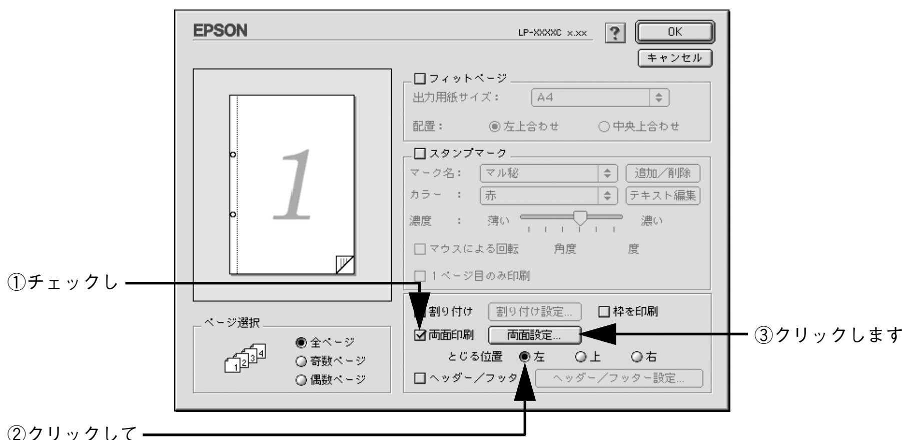
両面印刷する場合、印刷データの 1 ページ目を用紙の表から印刷するか裏から印刷するかを選択します。

両面印刷の手順

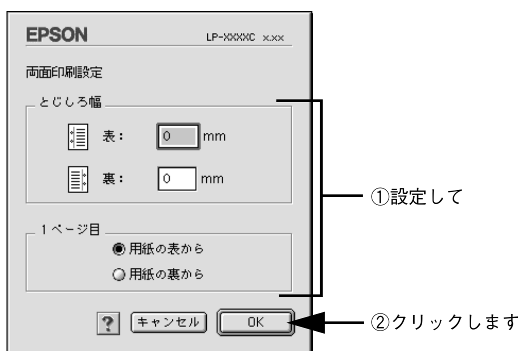
A4 サイズ（縦長）の印刷データを用紙の左側をとじられるように両面印刷する場合の手順は以下の通りです。

1. プリンタに両面印刷が可能なサイズの用紙（ここではA4）がセットされていることを確認します。

2. ［レイアウト］ダイアログを開いて、以下の項目を設定します。



3. ［両面印刷設定］ダイアログの以下の項目を設定します。

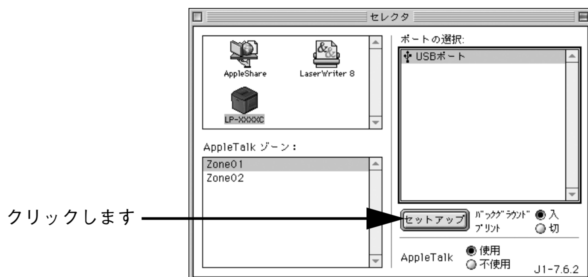


4. ［OK］ボタンをクリックして［レイアウト］ダイアログを閉じ、［プリント］ダイアログの［印刷］ボタンをクリックして印刷を実行します。

［プリンタセットアップ］ダイアログ

［プリンタセットアップ］ダイアログではプリンタの基本的な設定を行います。アップルメニューからセレクタを開いてプリンタを選択したら、［セットアップ］ボタンをクリックして、［プリンタセットアップ］ダイアログを開いて機能を設定してください。詳しくは、以下のページを参照してください。

☞ スタートアップガイド 44 ページ「プリンタドライバの選択」





ポイント

印刷中は設定を変更できません。

本機はネットワーク上で共有することができます。共有を許可する Macintosh 側と共有プリンタを使用する側の Macintosh で、表示されるダイアログが以下のように異なります。



ポイント

Macintosh でプリンタを共有するには、以下のページを参照してください。
☞ 本書 187 ページ「プリンタを共有するには」

共有を許可する側の Macintosh

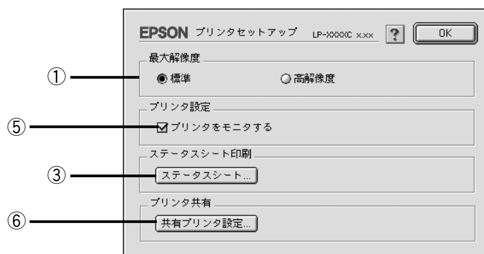




ポイント

本機にオプションのインターフェイスカードを装着してネットワークに接続している場合はそのまま本機を共有できるので、ここで［プリンタ共有］機能を設定することはありません（④の［プリンタ共有設定］ボタンはクリックできません）。

共有プリンタを使用する側の Macintosh





ポイント

本機にオプションのインターフェイスカードを装着してネットワークに接続している場合はそのまま本機を共有できるので、上図の画面は表示されません。

①最大解像度

プリンタが対応できる解像度をアプリケーションソフト側に伝えます。印刷を実行すると、アプリケーションソフトは伝えられた解像度の中から最適な解像度を選択し、データをプリンタドライバに渡します。

項目	説明
標準	本機の解像度を 72dpi/300dpi としてアプリケーションソフト側に伝えます。通常はこの設定で使用してください。
高解像度	本機の解像度を72dpi/300dpi/600dpiとしてアプリケーションソフト側に伝えます。



ポイント

- 本項目は、印刷時の解像度を設定するものではありません。印刷解像度は印刷設定ダイアログの［モード設定］で設定します。
- 本項目は、使用しているアプリケーションソフトが対応している解像度に合わせて設定してください。
- ［プリント］ダイアログで［高品質］（600dpi）に設定して印刷するとエラーが発生することがあります。この場合、本項目を［標準］に設定すると印刷できるようになることがあります。

②［プリンタ設定］ボタン

このボタンをクリックすると［プリンタ設定］ダイアログが開き、プリンタのさまざまな機能が設定できます。

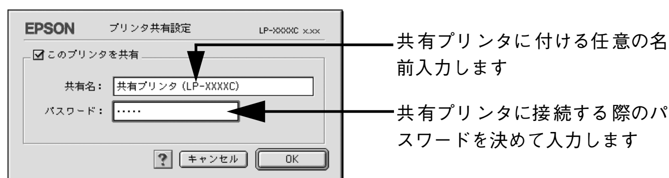
本書 185 ページ「［プリンタ設定］ダイアログ」

③［ステータスシート］ボタン

ステータスシートを印刷する場合にクリックします。プリンタの状態を表すダイアログが表示されますので、そのダイアログで［ステータスシート印刷］ボタンをクリックすると印刷されます。

④［プリンタ共有設定］ボタン

ネットワーク環境で本機を複数のMacintoshで共有するときにクリックします。プリンタ共有を許可する側のMacintoshで［プリンタセットアップ］ダイアログを開いた場合は、［プリンタ共有設定］ボタンをクリックして［プリンタ共有設定］ダイアログを表示させます。ネットワーク上のほかのMacintoshのセレクタから選択できるように、共有するプリンタの［共有名］と、接続する際の［パスワード］を設定してください。



⑤プリンタをモニタする

共有プリンタを利用する側の［プリンタセットアップ］ダイアログで表示されます。EPSONプリンタウィンドウ!3でプリンタの状態を監視するかどうかを選択します。

⑥［共有プリンタ設定］ボタン

ネットワーク環境の共有プリンタを使用するときにクリックできます。ネットワーク上でプリンタの共有を許可される側のMacintoshで［プリンタセットアップ］ダイアログを開いた場合は、［共有プリンタ設定］ボタンをクリックすると［共有プリンタの情報］ダイアログが表示されます。［共有プリンタの情報］ダイアログでは、共有プリンタに関する以下の情報を表示します。情報を確認したら、［OK］ボタンをクリックしてダイアログを閉じてください。

項目	説明
共有プリンタ名	共有プリンタの名前です。
コンピュータ名	プリンタが直接接続されている共有を許可する側のコンピュータ名です。
このプリンタで扱えないフォント	共有プリンタで使用できないフォントのリストを表示します。表示されたフォントは本機では使用できません。

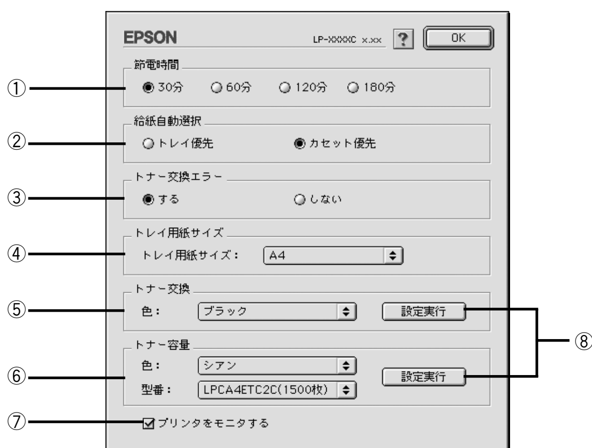




リストに表示されているフォントで文書を作成した場合、別のフォントで印刷され、印刷結果は画面での表示と異なります。

［プリンタ設定］ダイアログ

セレクタから［プリンタセットアップ］ダイアログを開き、［プリンタ設定］ボタンをクリックすると、［プリンタ設定］ダイアログが開きます。





- 設定を変更した場合は、必ず［OK］ボタンをクリックしてダイアログを閉じてください。
- 印刷中に［OK］ボタンをクリックしないでください。正常に設定されない場合があります。

①節電時間

節電状態に入るまでの時間 *1（30 分、60 分、120 分、180 分）を設定します。頻繁に印刷することがない場合は、本機能により印刷待機時の消費電力を節約することができます。最後の印刷が終了してから、指定した時間（初期設定 30 分）が経過すると節電状態になります。節電状態のときは、印刷するデータを受け取るとまず数秒間ウォーミングアップを行ってから、印刷を開始します。

*1　OFF（節電しない）の設定はできません。

②給紙自動選択

［プリント］ダイアログの［給紙装置］が［自動選択］に設定され、用紙トレイと用紙カセットにセットした用紙サイズが同じ場合、どちらを優先して給紙するかを設定できます。

［カセットを優先］	用紙カセットから先に給紙します。（初期設定）
［トレイを優先］	用紙トレイから先に給紙します。

③トナー交換エラー表示

ET カートリッジのトナーがなくなった場合の対応を設定できます。

［する］	トナーがなくなると印刷を停止し、交換を促すメッセージを表示します。（初期設定）
［しない］	トナーがなくなっても交換を促すメッセージを表示しません。

④ トレイ用紙サイズ

用紙トレイにセットした用紙のサイズを指定します。設定が異なったまま印刷を実行すると、印刷はできますが用紙交換エラーまたは用紙サイズエラーが発生し、画面上にメッセージが表示されます。

⑤ トナー交換

ET カートリッジを強制的に交換したいときに、ET カートリッジを交換位置まで移動させます。

本書 264 ページ「ET カートリッジの強制交換」



トナーがなくなった場合は、交換が必要な ET カートリッジは自動的に交換位置に移動しますので、［トナー交換］を実行する必要はありません。たとえば、大量の印刷に備えて事前に新しい ET カートリッジに交換したい場合など、必要に応じて強制交換を行ってください。

⑥ トナー容量

1,500 枚用カラーET カートリッジを取り付けた場合に、プリンタやEPSON プリンタウィンドウ !3 が正しくトナー残量を認識できるように、トナーの色とカートリッジの型番を選択します。

本書 257 ページ「ET カートリッジの交換手順」



4,500 枚用 ET カートリッジを取り付けた場合は、設定する必要がありません。

⑦ プリンタをモニタする

EPSON プリンタウィンドウ !3 でプリンタの状態を監視するかどうかを選択します。



［バックグラウンドプリント］を［切］に設定すると、EPSON プリンタウィンドウ !3 はプリンタの監視をしなくなります。

⑧［設定実行］ボタン

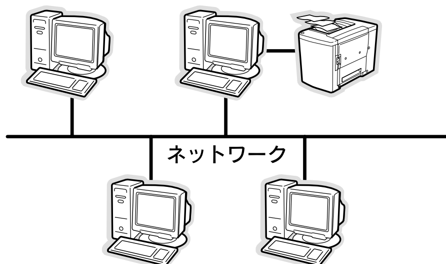
［トナー交換］と［トナー容量］の設定を実行するときにクリックします。



印刷中に［設定実行］ボタンをクリックしないでください。正常に設定されない場合があります。

プリンタを共有するには

プリンタを直接接続した Macintosh がネットワーク環境に接続されていれば、プリンタをほかの Macintosh から共有することができます。





プリンタに装着したオプションのインターフェイスカードを介してネットワーク環境に接続している場合は、ここでの手順に従って設定する必要はありません。ネットワーク上のどの Macintosh からでも直接セレクタからプリンタを選択して印刷することができます。

スタートアップガイド 44 ページ「プリンタドライバの選択」

プリンタを共有するには

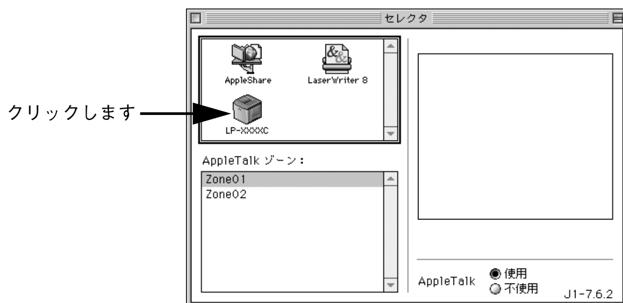
ネットワーク上のほかのユーザーがプリンタを共有できるようにするには、プリンタを直接接続した Macintosh で以下の設定を行ってください。

1. **プリンタの電源をオン (I) にします。**

2. **Macintosh を起動した後、アップルメニューからセレクタをクリックして開きます。**



3 プリンタドライバ［LP-1500C］を選択します。




ポイント

QuickDraw GX は使用できません。プリンタドライバのアイコンが表示されない場合は、QuickDraw GX を使用停止にしてください。
スタートアップガイド 42 ページ「システム条件の確認」

4 USB ポートを選択します。

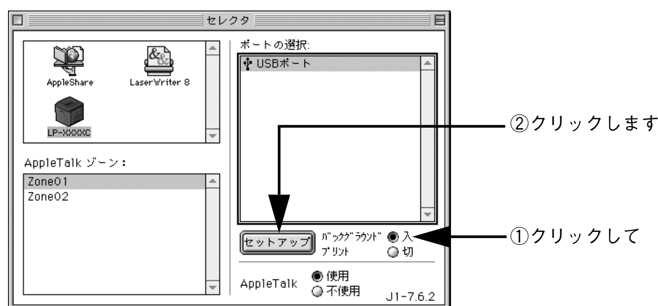
同機種のプリンタが複数接続されている場合は［USB ポート（1）］、［USB ポート（2）］などと表示します。使用するポート番号を選択します。




ポイント

USB 接続で［ポートの選択］に何も表示されない場合は、コンピュータとプリンタの接続状態が正しいか、プリンタの電源がオンになっているかを確認してください。

5 ［バックグラウンドプリント］を［入］設定して、［セットアップ］ボタンをクリックします。



- ［バックグラウンドプリント］については、以下のページを参照してください。
  本書 199 ページ「バックグラウンドプリントを行う」
- ［セットアップ］ボタンをクリックして開く［プリンタセットアップ］ダイアログの詳細については、以下のページを参照してください。
  本書 182 ページ「［プリンタセットアップ］ダイアログ」



プリンタの共有を設定すると、［バックグラウンドプリント］は常に［入］に設定されます。プリンタの共有時は［切］に設定できません。



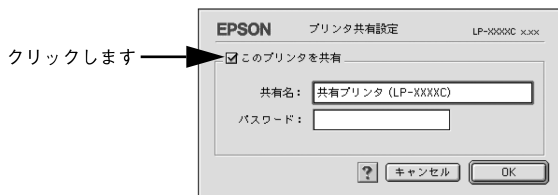
共有プリンタの設定がオンになっているプリンタがあるため、LP-XXXXCはバックグラウンド設定を「切」にできません。
全てのプリンタの共有設定をオフにしてから再度バックグラウンド設定を「切」にしてください。

OK

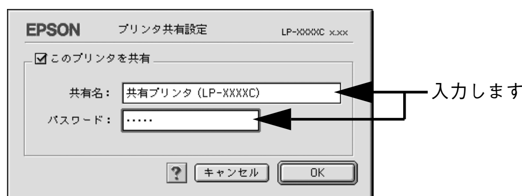
6 ［プリンタ共有設定］ボタンをクリックします。



7 ［このプリンタを共有］をクリックしてチェックマークを付けます。



8 ［共有名］と［パスワード］を入力して、［OK］ボタンをクリックします。





- ここで入力したプリンタの［共有名］が、ネットワーク上のほかのユーザーのセレクタに表示されます。
- 共有プリンタを利用できるユーザーを制限するために、必ず［パスワード］を設定してください。
- 共有プリンタが作成されますので、以下のダイアログが表示されている間はしばらくお待ちください。

「共有プリンタ（LP-XXXXC）」を作成しています。しばらくお待ちください。

9 ［OK］ボタンをクリックして［プリンタセットアップ］ダイアログを閉じます。

10 ［セレクタ］ダイアログ左上のクローズボックスをクリックしてダイアログを閉じます。

共有プリンタを使用するには

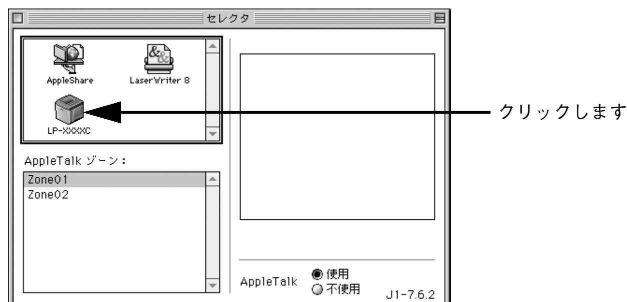
ネットワーク上の共有プリンタを使用するには、各ユーザーの Macintosh から以下の手順に従って共有プリンタに接続してください。

1. ネットワーク上の共有プリンタの電源がオン (I) になっていることを確認します。

2. Macintosh を起動した後、アップルメニューからセレクタをクリックして開きます。



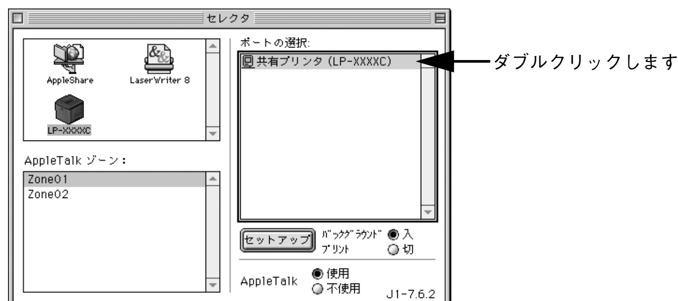
3. プリンタドライバ［LP-1500C］を選択します。




ポイント

QuickDraw GX は使用できません。プリンタドライバのアイコンが表示されない場合は、QuickDraw GX を使用停止にしてください。
☞スタートアップガイド 42 ページ「システム条件の確認」

4 共有プリンタをダブルクリックして選択します。

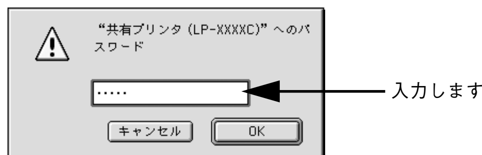


- 共有プリンタのパスワードが変更されている場合は、5 へ進んでください。
- パスワードが変更されていない共有プリンタにすでに一度接続している場合や、共有プリンタにパスワードが設定されていない場合は、6 へ進んでください。



- 共有プリンタの名前は、共有を許可している Macintosh のユーザーにお尋ねください。
- 共有プリンタの名前が表示されない場合や、共有プリンタの名前をダブルクリックしても何も表示されない場合は、コンピュータとプリンタの接続状態が正しいか、プリンタの電源がオンになっているかを確認してください。
- 共有プリンタのパスワードが変更されていない場合は、[セットアップ] ボタンを押すと [プリンタセットアップ] ダイアログが表示されます。6 へ進んでください。

5 共有プリンタへ接続するためのパスワードを入力します。



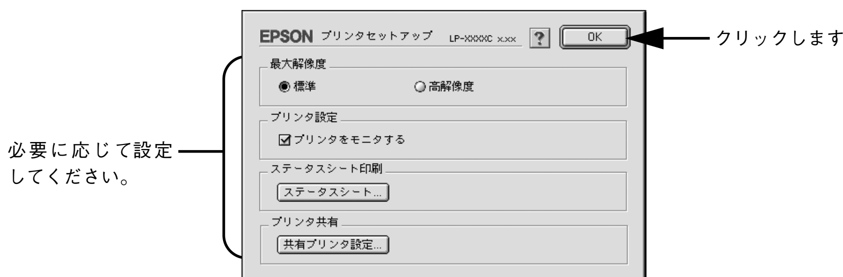


共有プリンタのパスワードは、共有を許可している Macintosh のユーザーにお尋ねください。

6 ［プリンタセットアップ］ダイアログで必要な設定を行ってから、［OK］ボタンをクリックしてダイアログを閉じます。

設定の詳細については、以下のページを参照してください。

本書 182 ページ「［プリンタセットアップ］ダイアログ」



7 ［バックグラウンドプリント］を設定します。

設定の詳細については、以下のページを参照してください。

本書 199 ページ「バックグラウンドプリントを行う」




ポイント

［バックグラウンドプリント］を［入］にすると、印刷しながら Macintosh でほかの作業ができます。ただし、ご使用の Macintosh によってはマウスカーソルが滑らかに動かなくなったり、印刷時間が長くなる場合があります。印刷速度を優先する場合は、［切］を選択してください。

8 ［セレクタ］ダイアログ左上のクローズボックスをクリックしてダイアログを閉じます。

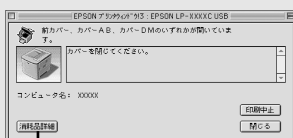
以上で共有プリンタに接続しました。このあとは、通常のプリンタのように［用紙設定］ダイアログや［プリント］ダイアログを設定して印刷してください。

EPSON プリンタウィンドウ !3 とは

プリンタの状態を表示します

ポップアップウィンドウ

印刷を実行すると、プリンタのモニタを開始し、エラー発生時にはプリンタの状態を表示します。



［プリンタ詳細］ウィンドウ

プリンタの状態やトナー、用紙などの消耗品の残量をコンピュータのモニタ上で知ることができます。



EPSON プリンタウィンドウ !3 の画面を開くには

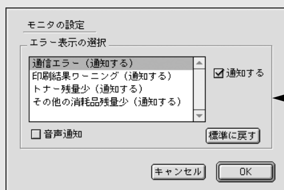
［アップル］メニューのEPSON プリンタウィンドウ !3 から［プリンタ詳細］ウィンドウを開くことができます。



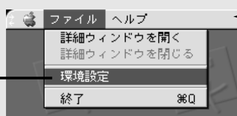
動作環境を設定するには

［モニタの設定］ダイアログ

どのような場合にエラー表示するかなどを設定できます。

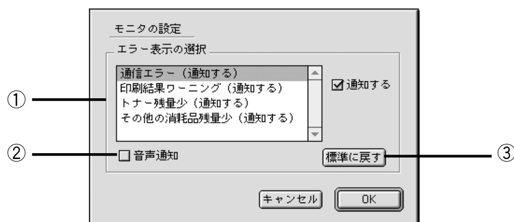


［ファイル］メニューの［環境設定］から［モニタの設定］ダイアログを開くことができます。



［モニタの設定］ダイアログ

EPSON プリンタウィンドウ!3 を起動して、［ファイル］メニューから［環境設定］をクリックすると、［モニタの設定］ダイアログが表示されます。どのような場合にエラー表示するか、音声通知するかなどEPSON プリンタウィンドウ!3 の動作環境を設定できます。



①エラー表示の選択

選択項目にあるエラーまたはワーニングを通知するかを選択します。通知が必要な項目は、リスト内のエラー状況を選択して、［通知する］のチェックボックスをクリックしてチェックマークを付けると、チェックマークを付けたエラーまたはワーニングが発生したときにポップアップウィンドウが現れ、対処方法が表示されます。

②音声通知

エラー発生時に音声でも通知します。



お使いのコンピュータにサウンド機能がない場合、音声通知機能は使用できません。

③［標準に戻す］ボタン

［エラー表示の選択］を標準（初期）設定に戻します。

プリンタの状態を確かめるには

EPSON プリンタウィンドウ !3 でプリンタの状態を確かめるために、次の方法で［プリンタ詳細］ウィンドウを開くことができます。この［プリンタ詳細］ウィンドウは、消耗品などの詳細な情報も表示します。また、印刷中にエラーが発生した場合も［プリンタ詳細］ウィンドウを表示することが可能です。

☞ 本書 197 ページ「［プリンタ詳細］ウィンドウ」



EPSON プリンタウィンドウ !3 を起動する前に、監視したいプリンタが［セレクタ］で選択されているか確認してください。

［プリンタ詳細］ウィンドウの起動方法

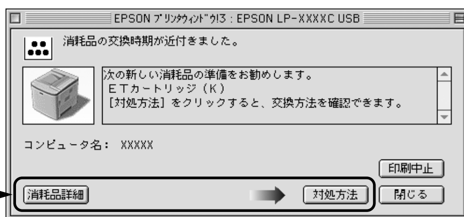
［アップル］メニューから［EPSON プリンタウィンドウ !3］をクリックします。EPSON プリンタウィンドウ !3 が起動し、［プリンタ詳細］ウィンドウが表示されます。





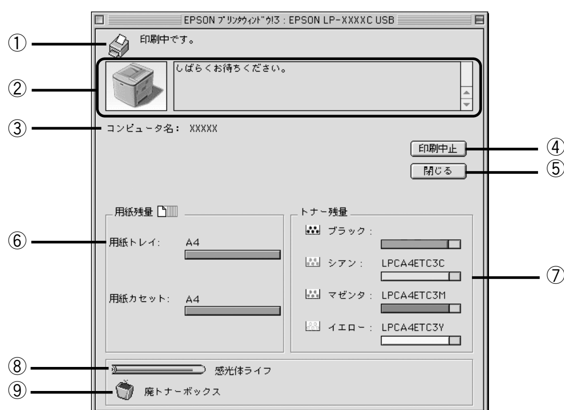
アプリケーションソフトから印刷を実行中にエラーが発生した場合、プリンタの状態を示すポップアップウィンドウがコンピュータのモニタ上に表示されます。

- ［消耗品詳細］ボタンをクリックすると［プリンタ詳細］ウィンドウに切り替わります。
- エラーが発生して［対処方法］ボタンが表示された場合は、ボタンをクリックすると対処方法を説明するダイアログが表示されます。



［プリンタ詳細］ウィンドウ

EPSON プリンタウィンドウ !3 の［プリンタ詳細］ウィンドウは、プリンタの詳細な情報を表示します。



①アイコン / メッセージ

プリンタの状態に合わせてアイコンが表示され、状況をお知らせします。

②プリンタ / メッセージ

プリンタの状態を表示し、エラーが発生した場合にその状況や対処方法をメッセージでお知らせします。

本書 198 ページ「対処が必要な場合は」

③コンピュータ名

現在印刷中のコンピュータ名を表示します。非印刷時には表示されません。

④［印刷中止］ボタン

現在処理中の印刷を中止して、データを削除します。プリンタが印刷動作を続行している時にクリックすると、他の印刷データを削除する場合がありますので注意してください。

⑤［閉じる］ボタン

ウィンドウを閉じます。

⑥用紙残量

給紙装置にセットされている用紙サイズと用紙残量の目安を表示します。

⑦トナー残量

ET カートリッジの型番と、トナー残量の目安を表示します。

⑧感光体ライフ

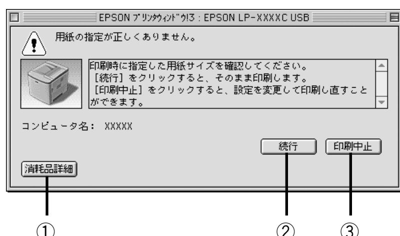
感光体ユニットがあとどれくらい使用できるか、寿命（ライフ）の目安を表示します。

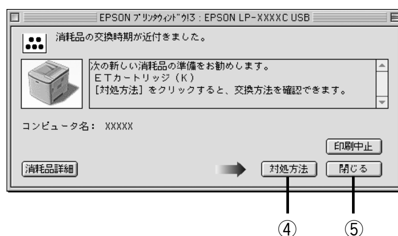
⑨廃トナーボックス

廃トナーボックスの空き容量が少なくなるとアイコンが点滅します。

対処が必要な場合は

セットしている用紙がなくなったり、何らかの問題が起こった場合は、EPSON プリンタウィンドウ!3 のポップアップウィンドウがコンピュータのモニタに現れ、メッセージを表示します。メッセージに従って対処してください。メッセージのエラーが解消されると、自動的に閉じます。





①［消耗品詳細］ボタン：

［プリンタ詳細］ウィンドウに切り替わり、消耗品の詳細な情報を表示します。

☞ 本書 197 ページ「［プリンタ詳細］ウィンドウ」

②［続行］ボタン：

表示されているエラーを無視して印刷を続行します。続行すると画面と異なる状態で印刷されたり、エラーの発生したページが印刷されないことなどがあります。

③［印刷中止］ボタン

現在処理中の印刷を中止して、データを削除します。プリンタが印刷動作を続行している時にクリックすると、他の印刷データを削除する場合がありますので注意してください。

④［対処方法］ボタン：

順を追って対処方法を詳しく説明します。

⑤［閉じる］ボタン：

ポップアップウィンドウを閉じます。メッセージを読んでからウィンドウを閉じてください。

バックグラウンドプリントを行う

バックグラウンドプリントとは、Macintosh がほかの作業を行いながら同時にプリンタで印刷を行うことです。

バックグラウンドプリントを行う場合は、Macintosh ツールバーの一番左の［アップル］メニューから［セレクタ］を選び、［バックグラウンドプリント］の［入］をクリックしてください。





ポイント

［バックグラウンドプリント］を［入］に設定すると、印刷実行中も Macintosh で他の作業ができますが、Macintosh によってはマウスカーソルが滑らかに動かなくなったり、印刷時間が長くなることがあります。印刷速度を優先する場合は、［バックグラウンドプリント］を［切］に設定してください。

印刷状況を表示する

［セレクタ］で［バックグラウンドプリント］を［入］にした場合、印刷実行時に EPSON プリントモニタ !3 が起動します。EPSON プリントモニタ !3 は、印刷中にツールバーの一番右の［アプリケーション］メニューから開くことができます。ウィンドウが閉じているときは、［ファイル］メニューの［開く］を選択します。



①プリント中

現在バックグラウンドで印刷中のファイル名が表示されます。

②プリント待ち

印刷待ちをしている印刷ファイル名が表示されます。

③［プリント中止］ボタン

進行中の印刷（［プリント中］に表示されている印刷ファイルの印刷）を中止します。


ポイント

印刷を一時停止したり再開するには、EPSON プリントモニタ !3 の［ファイル］メニューから［一時停止］や［印刷再開］を選択します。

④［削除］ボタン

印刷待ちをしている印刷ファイルを削除するには、［プリント待ち］に表示されている印刷ファイルをクリックして、［削除］ボタンをクリックします。

ColorSync について

ColorSync とは

例えばスキャナで取り込んだ画像を印刷する場合、原画・ディスプレイ表示・プリンタでの印刷結果の色合いは完全には一致しません。これは、それぞれの機器の色の表現方法の違い、階調表現力の違い、またディスプレイ表示のクセ（偏った色表示をする）などが原因です。

このような場合の原画・ディスプレイ表示・プリンタでの印刷結果の色合いをできるだけ一致（カラーマッチング）させるためのカラーマネージメントシステムとしてMacintosh では ColorSync があります。本機は、この ColorSync 2.0/2.5 に対応しています。



- この ColorSync によるカラーマッチングを行うには、画像入力機器、画像取り込みアプリケーションソフト、画像出力機器、すべてが ColorSync に対応している必要があります。
- カラーマッチングについて説明していますので、詳しくは以下のページを参照してください。
  本書 346 ページ「より高度な色合わせについて」

ColorSync を使用して印刷するには

本機で ColorSync を使用する場合は、次の基本手順に従ってください。

1. **正確な色を再現できるように、ディスプレイのカラー調整（モニタキャリブレーション）を行います。**

ディスプレイの調整が正しく行えない場合や、ディスプレイの劣化により正しく色を再現できない場合は、ディスプレイとプリンタの色を正確に合わせることができません。調整方法は、お使いのディスプレイの取扱説明書を参照してください。

本書 346 ページ「より高度な色合わせについて」

2. **お使いのディスプレイの特性を Macintosh で設定します。**

使用しているディスプレイで再現できる色の特性を定義した ColorSync プロファイルを、[コントロールパネル] の [ColorSync] から選択してください。ColorSync のバージョンによって、設定方法は異なります。

ColorSync2.0 の場合	ColorSync2.5 の場合
①コントロールパネルから [ColorSync システム特性] を選択します。 ②お使いのディスプレイが選択されているか確認します。選択されていない場合は、[特性の設定] ボタンをクリックします。 ③お使いのディスプレイをリストの中から選択し、[選ぶ] ボタンをクリックします。 お使いのディスプレイがリストにない場合は、最適なシステム特性についてディスプレイのメーカーにお問い合わせください。	①コントロールパネルから [ColorSync] を選択します。 ②お使いのディスプレイが [システム特性] の項目で選択されているか確認します。選択されていない場合は、お使いのディスプレイをポップアップメニューから選択します。お使いのディスプレイがポップアップメニューにない場合は、最適なシステム特性についてディスプレイのメーカーにお問い合わせください（そのほかの項目は、設定する必要はありません）。

3. **印刷実行時に、ColorSync を設定します。**

[プリント] ダイアログの [モード] を [詳細設定] に設定して、メニューから [ColorSync] を選択します。

本書 163 ページ「[詳細設定] ダイアログ」


ポイント

- ColorSync を使って印刷する画像をスキャナで取り込むときは、スキャナのドライバ（例 EPSON TWAIN）で ColorSync を選択してから画像を取り込んでください。
- ColorSync を使用する場合は、アプリケーションソフトを RGB モードに設定して作業してください。CMYK や Lab モードでは、正しく色合わせすることができません。
- 一部のアプリケーションソフト（Adobe PageMaker 6.5J、Photoshop 4.0J 以降、Illustrator 7.0J 以降など）では、ソフトウェア上で ColorSync の設定が行えます。この場合は、プリンタドライバの [カラー調整] ダイアログで [ドライバによる色補正] を選択して、[色補正方法] を [色補正なし] に設定してください。

印刷の中止方法

印刷処理を中止するときは、以下の方法でコンピュータ上の印刷データを削除します。

- **コマンド（⌘）キーを押したままピリオド（.）キーを押して、印刷を中止します。**
  アプリケーションソフトによっては、印刷中にダイアログを表示するものがあります。印刷を中止するボタン（[キャンセル] など）をクリックして印刷を強制的に終了します。

- **バックグラウンドプリントを行っている場合は、EPSON プリンタウィンドウ !3 から印刷を中止します。**

① EPSON プリントモニタ !3 を開いて、印刷状況を確かめます。
☞ 本書 200 ページ「印刷状況を表示する」

② EPSONプリントモニタ!3で印刷を中止したり、待機中の印刷ファイルを削除します。
☞ 本書 200 ページ「印刷状況を表示する」



EPSON プリンタウィンドウ !3 上から［印刷中止］ボタンをクリックして印刷を中止することもできます。ただし、印刷を中止するタイミングによっては、他の印刷データを削除することがありますのでご注意ください。

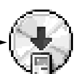
プリンタソフトウェアの削除

何らかの理由でプリンタドライバを再インストールする場合や、プリンタドライバをバージョンアップする場合は、すでにインストールしているプリンタドライバを削除（アンインストール）する必要があります。

1. 起動しているアプリケーションソフトを終了し、Macintosh を再起動します。

2. EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM を Macintosh にセットします。

3. ［インストーラ］をダブルクリックします。

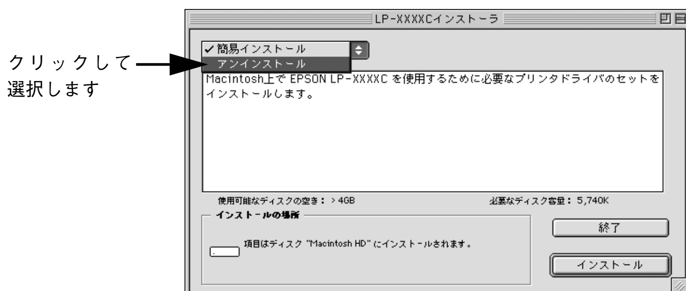


4. ［ドライバ・ユーティリティのインストール］をクリックして［次へ］をクリックします。



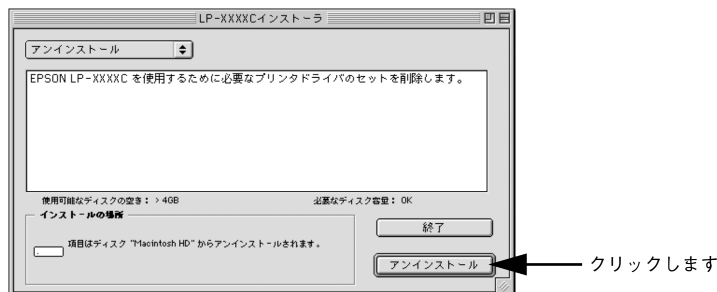
5. 使用許諾契約書の画面が表示されたら［同意］をクリックします。

6 インストーラの画面左上にあるメニューから［アンインストール］を選択します。



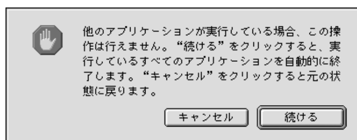
7 ［アンインストール］ボタンをクリックします。

プリンタソフトウェアの削除が始まります。

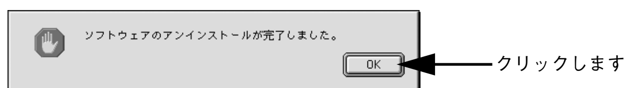




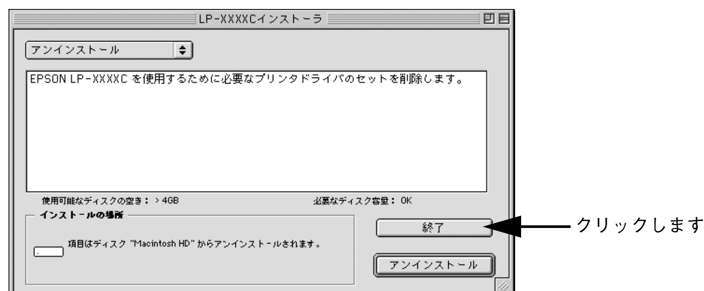
以下の画面が表示された場合、起動しているアプリケーションソフトが強制的に終了されても問題がないかを確認して［続ける］ボタンをクリックします。アプリケーションソフトを強制的に終了すると作成中のデータが消えてしまう場合などは、［キャンセル］ボタンをクリックしてアンインストールを中断し、アプリケーションソフトを終了してから、プリンタソフトウェアをアンインストールしてください。



8 ［OK］ボタンをクリックします。



9 ［終了］ボタンをクリックします。



以上でプリンタソフトウェアの削除は終了です。



添付されているフォントについて

本製品の CD-ROM に収録されているバーコードフォント（Windows のみ）の使い方と、TrueType フォントのインストール方法について説明しています。

EPSON バーコードフォントの使い方（Windows）

通常バーコードを作成するには、データキャラクタ（バーコードに登録する文字）のほかに様々なコードやキャラクタを指定したり、OCR-B[*1] フォント（バーコード下部の文字）を指定する必要があります。EPSON バーコードフォントは、これらのバーコードやキャラクタを自動的に設定し、各バーコードの規格に従ってバーコードシンボルを簡単に作成、印刷することができるフォントです。

[*1] OCR-B：光学的文字認識に用いる目的で開発され JISX9001 に規定された書体の名称。

EPSON バーコードフォントは、次の種類のバーコードをサポートしています。EPSON バーコードフォントは、本機に同梱のプリンタドライバ上でのみ使用可能です。

バーコードの規格	フォント名称	OCR-B	チェックデジット[*2]	備考
JAN	EPSON JAN-8	あり	あり	JAN（短縮バージョン）のバーコードを作成します。
	EPSON JAN-8 Short	あり	あり	JAN（短縮バージョン）の、バーの高さを短くしたバーコードを作成します。日本国内でのみ使用可能です。
	EPSON JAN-13	あり	あり	JAN（標準バージョン）のバーコードを作成します。
	EPSON JAN-13 Short	あり	あり	JAN（標準バージョン）の、バーの高さを短くしたバーコードを作成します。日本国内でのみ使用可能です。
UPC-A	EPSON UPC-A	あり	あり	UPC-A のバーコードを作成します。
UPC-E	EPSON UPC-E	あり	あり	UPC-E のバーコードを作成します。
Code39	EPSON Code39	なし	なし	OCR-B、チェックデジットの有無をフォント名称で指定できます。
	EPSON Code39 CD	なし	あり	
	EPSON Code39 CD Num	あり	あり	
	EPSON Code39 Num	あり	なし	
Code128	EPSON CODE128	なし	あり	Code128のバーコードを作成します。
Interleaved 2of5	EPSON ITF	なし	なし	OCR-B、チェックデジットの有無をフォント名称で指定できます。
	EPSON ITF CD	なし	あり	
	EPSON ITF CD Num	あり	あり	
	EPSON ITF Num	あり	なし	
NW-7（CODABAR）	EPSON NW-7	なし	なし	OCR-B、チェックデジットの有無をフォント名称で指定できます。
	EPSON NW-7 CD	なし	あり	
	EPSON NW-7 CD Num	あり	あり	
	EPSON NW-7 Num	あり	なし	
新郵便番号	EPSON J-Postal Code	なし	あり	新郵便番号に対応したバーコードを作成します。

[*2] チェックデジット：読み取りの正確性を保つために、所定の計算式に基づいて計算されたキャラクタ。

注意事項

プリンタドライバの設定について

バーコードを印刷するには、プリンタドライバで次のように設定してください。

ダイアログ	項目	設定値
［基本設定］-［詳細設定］	［色］	［黒］
	［解像度］	［高品質］
	［トナーセーブ］	チェックマークなし（OFF）
［レイアウト］	［拡大/縮小］	チェックマークなし（OFF）
	［割り付け］	チェックマークなし（OFF）

文字の装飾 / 配置について

- 文字の装飾（ボールド / イタリック / アンダーライン等）、網掛けは行わないでください。
- 背景色は、バーコード部分とのコントラストが低下する色を避けてください。
- 文字の回転を行う場合、回転角度は 90 度、180 度、270 度以外は指定しないでください。
- 文字間隔の変更は行わないでください。
- アプリケーションソフトが文字間隔の自動調整機能や、スペース（空白）部分で単語間隔の自動調整機能を持っている場合、その機能を使用しないように設定してください。
- 文字の縦あるいは横方向のみを拡大 / 縮小しないでください。
- アプリケーションソフトのオートコレクト機能は使用しないでください。
  （例＜＝＞ ⇨ ⟺）

入力時の注意について

- バーコードフォントを選択したままスペースを入力すると、スペースがバーコードの一部となる場合があり、バーコードとして使用できません。
- アプリケーションソフトウェアで改行を示すマークの表示 / 非表示を選択できる場合、バーコードの部分とそうでない部分が区別しやすいよう、改行マークが表示される設定で使用することをお勧めします。
- 入力した文字をバーコードに変換する際に、バーコードとして必要なキャラクタを自動的に追加するため、バーコードの長さは文字入力時よりも長くなる場合があります。バーコードの周囲の文字列がバーコードと重複しないように注意してください。
- バーコードのフォントサイズは、本書「各バーコードについて」の表中に記載されている保証サイズで作成していただくことをお勧めします。保証サイズ以外のサイズで作成した場合、読み取り機で読み取れないことがあります。
  本書 214 ページ「各バーコードの概要」


ポイント

トナーの濃度や紙質によっては、印刷されたバーコードが読み取り機で読み取れない場合があります。お使いの読み取り機で認識テストしてからご利用いただくことをお勧めします。

システム条件

EPSON バーコードフォントをご利用いただくには、Windows でのシステム条件のほかに以下の条件が必要です。

スタートアップガイド 29 ページ「システム条件の確認」

ハードディスク：15 〜 30KB の空き容量（書体ごとに異なります）

バーコードフォントのインストール

1 Windows を起動してから、EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。

2 以下の画面が表示されたら［フォントのインストール］をクリックして［次へ］をクリックします。





上記の画面が表示されない場合は、［マイコンピュータ］－［CD-ROM］－［setup.exe］をダブルクリックしてください。

3 以下の画面が表示されたら［バーコードフォントのインストール］をクリックして［次へ］をクリックします。



4 使用許諾契約書の画面が表示されたら内容を確認し、［同意する］をクリックします。

5 インストールするバーコードフォントをチェックして［セットアップ実行］ボタンをクリックします。

使用しないバーコードフォントは、クリックしてチェックマークを外してください。インストールされません。



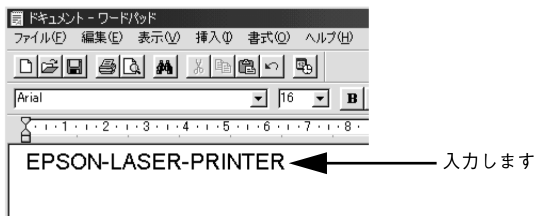
6 インストール終了のダイアログが表示されたら、［OK］ボタンをクリックします。

以上でEPSON バーコードフォントが Windows のフォントフォルダにインストールされました。

バーコードの作成

ここでは Windows 95/98/Me に添付のワードパッドを例に、EPSON バーコードフォントの印刷手順を説明します。

1 **ワードパッドを起動し、バーコード変換する文字を入力します。**

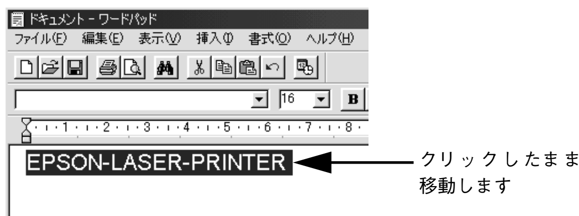




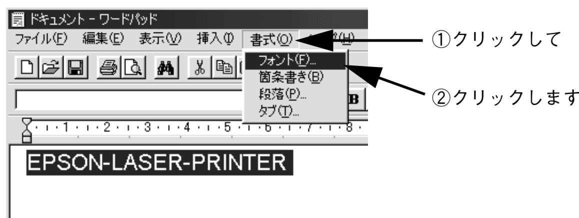
文字はすべて半角（1Byte）で入力してください。

2 **入力した文字をマウスでドラッグして選択します。**

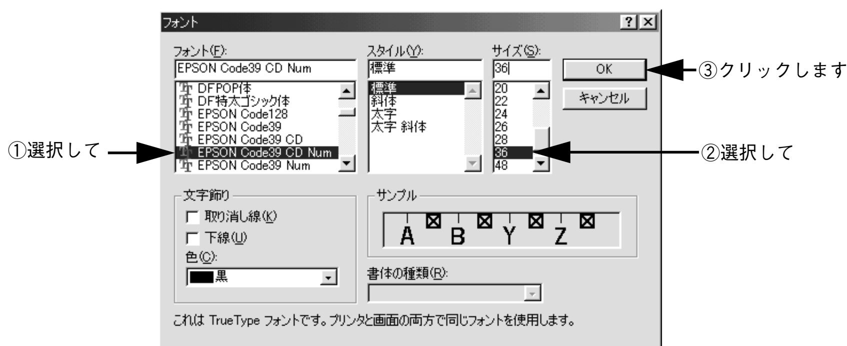
選択した範囲が反転表示になります。



3 **［書式］メニューをクリックし、［フォント］をクリックします。**



4 ［フォント］の一覧から印刷したいEPSON バーコードフォントを選択し［サイズ］でフォントのサイズを設定し、［OK］ボタンをクリックします。




ポイント

Windows NT4.0/2000/XP では 96pt 以上のフォントサイズは使用できません。

5 入力した文字が、モニタ上で次のようにバーコードフォント表示されていることを確認します。



6 印刷を実行します。

入力したデータがバーコードとして印刷されます。


ポイント

入力したデータが不適当な場合などプリンタドライバがエラーと判断した場合は、画面表示と同様のフォントが出力されます。この場合バーコードとして読み取りはできません。

各バーコードの概要

各バーコードの仕様や、入力するデータキャラクタの詳細 / 構成などについては、それぞれのバーコードの規格に関する文献を参照してください。

JAN-8（JAN 短縮バージョン）			
• JAN-8 は「JIS X 0501」として規格化された JAN の短縮バージョン（8 桁）です。 • EPSON バーコードフォントは末尾のチェックキャラクタを自動的に挿入するため、入力するキャラクタは 7 桁です。			
入力可能なキャラクタ	数字（0 〜 9）		
入力するキャラクタの桁数	7 桁		
キャラクタのサイズ	52 〜 130pt（Windows NT/2000/XP は 96pt まで） 保証サイズは 52pt、65pt（標準）、97.5pt、130pt		
次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。 • レフト / ライトマージン • レフト / ライトガードバー • チェックキャラクタ • OCR-B • センターバー			
印刷例	入力時	EPSON JAN-8 に変換	印刷
	1234567	1234567	1234 5670

JAN-8 Short（JAN 短縮バージョン トランケーション）			
• JAN-8 ShortはJAN-8のバーコードの高さを標準ポイントで11mmにしたもので､それ以外はJAN-8と同じ仕様です。 • バーコードを挿入するスペースがせまい場合などに使用します。 • 日本国内でのみ使用可能です。JISX0501 では定められていません。			
入力可能なキャラクタ	数字（0 〜 9）		
入力するキャラクタの桁数	7 桁		
キャラクタのサイズ	36 〜 90pt 保証サイズは 36pt、45pt（標準）、67.5pt、90pt		
次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。 • レフト / ライトマージン • レフト / ライトガードバー • チェックキャラクタ • OCR-B • センターバー			
印刷例	入力時	EPSON JAN-8 Short に変換	印刷
	1234567	1234567	1234 5670

<table>
<tr><th colspan="4">JAN-13（標準バージョン）</th></tr>
<tr><td colspan="4">• JAN-13 は「JIS X 0501」として規格化された JAN の標準バージョン（13 桁）です。
• EPSON バーコードフォントでは末尾のチェックキャラクタを自動的に挿入するため、入力するキャラクタは 12 桁です。</td></tr>
<tr><td>入力可能なキャラクタ</td><td colspan="3">数字（0 〜 9）</td></tr>
<tr><td>入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="3">12 桁</td></tr>
<tr><td>キャラクタのサイズ</td><td colspan="3">60 〜 150pt（Windows NT/2000/XP は 96pt まで）
保証サイズは 60pt、75pt（標準）、112.5pt、150pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
• レフト / ライトマージン　• レフト / ライトガードバー
• チェックキャラクタ　• OCR-B　• センターバー</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON JAN-13 に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>123456789012</td><td>123456789012</td><td>1 234567 890128</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">JAN-13 Short（JAN 短縮バージョン トランケーション）</th></tr>
<tr><td colspan="4">• JAN-13 ShortはJAN-13のバーコードの高さを標準ポイントで11mmにしたもので、それ以外はJAN-13と同じ仕様です。
• バーコードを挿入するスペースがせまい場合などに使用します。
• 日本国内でのみ使用可能です。JISX0501 では定められていません。</td></tr>
<tr><td>入力可能なキャラクタ</td><td colspan="3">数字（0 〜 9）</td></tr>
<tr><td>入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="3">12 桁</td></tr>
<tr><td>キャラクタのサイズ</td><td colspan="3">36 〜90pt
保証サイズは 36pt、45pt（標準）、67.5pt、90pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
• レフト / ライトマージン　• レフト / ライトガードバー
• チェックキャラクタ　• OCR-B　• センターバー</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON JAN-13 Short に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>123456789012</td><td>123456789012</td><td>1 234567 890128</td></tr>
</table>

UPC-A			
・UPC-A は、アメリカの Universal Product Code で制定された UPC-A の Regular タイプです。(UPC Symbol Specification Manual) ・Regular UPC コードのみサポートし、補足コードはサポートしていません。			
入力可能なキャラクタ	数字（0 ～ 9）		
入力するキャラクタの桁数	11 桁		
キャラクタのサイズ	60 ～ 150pt（Windows NT/2000/XP は 96pt まで） 保証サイズは 60pt、75pt（標準）、112.5pt、150pt		
次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。 ・レフト / ライトマージン　・レフト / ライトガードバー ・チェックデジット　・OCR-B　・センターバー			
印刷例	入力時	EPSON UPC-A に変換	印刷
	12345678901	12345678901	1 23456 78901 2

UPC-E			
・UPC-E は、アメリカの Universal Product Code で制定された UPC-A の Zero Suppression（余分な 0 を削除）タイプです。(UPC Symbol Specification Manual)			
入力可能なキャラクタ	数字（0 ～ 9）		
入力するキャラクタの桁数	6 桁		
キャラクタのサイズ	60 ～ 150pt（Windows NT/2000/XP は 96pt まで） 保証サイズは 60pt、75pt（標準）、112.5pt、150pt		
次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。 ・レフト / ライトマージン　・レフト / ライトガードバー ・OCR-B　・チェックデジット　・ナンバーシステム「0」のみ			
印刷例	入力時	EPSON UPC-E に変換	印刷
	123456	123456	0 123456 5

<table>
<tr><th colspan="4">Code39</th></tr>
<tr><td colspan="4">
• Code39 は「JIS X 0503」として規格化されたものです。
• EPSON バーコードフォントはチェックデジットの有無、OCR-B の有無で4 種類のフォントを用意しています。
• 入力したキャラクタの桁数が大きい場合、EPSON バーコードフォントは Code39 の仕様に従ってバーコードの高さがバーコード全長の 15% 以上になるように自動的に調整します。このためバーコードの周囲に文字がある場合、バーコードと重ならないように間隔を開けてください。
• スペースを“__”（アンダーライン）に割り当てています。スペースを表すバーコードを入力したい場合は、“__”（アンダーライン）を入力してください。
• 1 行に2 つ以上のバーコードを入力する場合、バーコード間は TAB で区切ってください。スペースで区切る場合は、バーコードフォント以外のフォントを選択して入力してください。Code39 を選択したままスペースを入力するとスペースがバーコードの一部となりバーコードとして使用できません。
</td></tr>
<tr><td>入力可能なキャラクタ</td><td colspan="3">英数字（A ～ Z、0 ～9）
記号（ー　.　スペース　$　/　＋　%）</td></tr>
<tr><td>入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="3">制限なし</td></tr>
<tr><td>キャラクタのサイズ</td><td colspan="3">OCR-B なしの場合：26pt 以上
保証サイズは 26pt、52pt、78pt、104pt
OCR-B ありの場合：36pt 以上
保証サイズは 36pt、72pt、108pt、144pt（Windows NT/2000/XP は 96pt まで）</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
• 左 / 右クワイエットゾーン　• スタート / ストップキャラクタ　• チェックデジット</td></tr>
<tr><td rowspan="4">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON Code39 に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td rowspan="3">1234567</td><td>1 2 3 4 5 6 7</td><td></td></tr>
<tr><td>EPSON Code39 CDNum に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>1234567</td><td>1 2 3 4 5 6 7 S</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">Code128</th></tr>
<tr><td colspan="4">● Code128 は「JIS X 0504」として規格化されたものです。
● EPSON バーコードフォントはコードセット A、B、C をサポートしています。入力するキャラクタのコードセットが途中で変わった場合、自動的にコードセットの変換コードを挿入します。
● 入力したキャラクタの桁数が大きい場合、EPSON バーコードフォントは Code128 の仕様に従ってバーコードの高さがバーコード全長の 15% になるように自動的に調整します。このためバーコードの周囲に文字がある場合、バーコードと重ならないように間隔を開けてください。
● アプリケーションによっては行末に存在するスペースを削除したり、連続する複数個のスペースをタブなどに置き換えるなどの処理を自動的に行うものがあります。これらのアプリケーションでは、スペースを含むバーコードが正しく印刷されない場合があります。
● 1 行に 2 つ以上のバーコードを入力する場合、バーコード間は TAB で区切ってください。スペースで区切る場合は、バーコードフォント以外のフォントを選択して入力してください。Code128 を選択したままスペースを入力するとスペースがバーコードの一部となりバーコードとして使用できません。</td></tr>
<tr><td>入力可能なキャラクタ</td><td colspan="3">全ての ASCII 文字（95 文字）</td></tr>
<tr><td>入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="3">制限なし</td></tr>
<tr><td>キャラクタのサイズ</td><td colspan="3">26 ～ 104pt（Windows NT/2000/XP は 96pt まで）
保証サイズは 26pt、52pt、78pt、104pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
● 左 / 右クワイエットゾーン
● スタート / ストップキャラクタ
● コードセットの変更キャラクタ
● チェックデジット</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON Code128 に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>1234567</td><td>1234567</td><td></td></tr>
</table>

Interleaved 2of5

- Interleaved 2of5 は、アメリカで規格化されたものです。（USS Interleaved 2-of-5）
- EPSON バーコードフォントはチェックデジットの有無、OCR-B の有無で4 種類のフォントを用意しています。
- 入力したキャラクタの桁数が大きい場合、EPSON バーコードフォントは Interleaved 2of5 の仕様に従ってバーコードの高さがバーコード全長の 15% 以上になるように自動的に調整します。このためバーコードの周囲に文字がある場合、バーコードと重ならないように間隔を開けてください。
- Interleaved 2of5 は、キャラクタを 2 個一組で扱います。キャラクタの合計数が奇数個の場合、EPSON バーコードフォントは自動的にキャラクタの先頭に 0 を追加して偶数個になるようにします。

入力可能なキャラクタ	数字（0 ～ 9）
入力するキャラクタの桁数	制限なし
キャラクタのサイズ	OCR-B の有無により異なります。（Windows NT/2000/XP は 96pt まで） OCR-B なしの場合：26pt 以上 保証サイズは 26pt、52pt、78pt、104pt OCR-B ありの場合：36pt 以上 保証サイズは 36pt、72pt、108pt、144pt

次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。

- 左 / 右クワイエットゾーン
- スタート / ストップキャラクタ
- チェックデジット
- 文字列先頭への 0 の挿入（合計文字数が偶数でない場合のみ）

	入力時	EPSON ITF に変換	印刷
印刷例	1234567	1234567	
		EPSON ITF CD Num に変換	印刷
		1234567	12345670

NW-7（CODABAR）			
● NW-7 は「JIS X 0503」として規格化されたものです。 ● EPSON バーコードフォントはチェックデジットの有無、OCR-B の有無で4 種類のフォントを用意しています。 ● 入力したキャラクタの桁数が大きい場合、EPSON バーコードフォントはNW-7 の仕様に従ってバーコードの高さがバーコード全長の 15% 以上になるように自動的に調整します。このためバーコードの周囲に文字がある場合、バーコードと重ならないように間隔を開けてください。 ● スタート / ストップキャラクタのどちらかを入力すると、EPSON バーコードフォントは残りのスタート / ストップキャラクタが同じになるように自動的に挿入されます。 ● スタート / ストップキャラクタを入力しない場合は、両方とも自動的に A を挿入します。			
入力可能なキャラクタ	数字（0 〜 9）、記号（－　＄　：　／　．　＋）		
入力するキャラクタの桁数	制限なし		
キャラクタのサイズ	OCR-B の有無により異なります。（Windows NT/2000/XP は 96pt まで） OCR-B なしの場合：26pt 以上 保証サイズは 26pt、52pt、78pt、104pt OCR-B ありの場合：36pt 以上 保証サイズは 36pt、72pt、108pt、144pt		
次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。 ● 左 / 右クワイエットゾーン　● スタート / ストップキャラクタ（入力しない場合） ● チェックデジット			
印刷例	入力時	EPSON NW-7 に変換	印刷
	1234567	1 2 3 4 5 6 7	
		EPSON NW-7CDNum に変換	印刷
		1 2 3 4 5 6 7	A 1 2 3 4 5 6 7 4 A

<table>
<tr><th colspan="4">新郵便番号（カスタマ・バーコード）</th></tr>
<tr><td colspan="4">
• バーコードの詳細については、郵政省より発行の資料を参照してください。
• EPSON バーコードフォントで入力する場合、次のように新郵便番号（3 桁）ー新郵便番号（4 桁）ー住所表示番号（バーコードに変換後 13 桁まで）入力します。
• 住所表示番号は入力時は桁数の制限はありませんが､バーコードに変換後 13 桁を超える部分は省略されます。また住所表示番号が 13 桁に満たない場合は、13 桁になるように末尾にコードを挿入します。
• アプリケーションソフトにおいて、印刷領域やレイアウト枠は余裕をもって設定してください。
</td></tr>
<tr><td>入力可能なキャラクタ</td><td colspan="3">数字（0 〜 9）、英文字（A 〜 Z）、記号（ー）</td></tr>
<tr><td>入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="3">制限なし。ただし住所表示番号については、バーコードに変換後
13 桁を超える桁数の文字は省略されます。</td></tr>
<tr><td>キャラクタのサイズ</td><td colspan="3">8 〜 11.5pt
保証サイズは 8pt、9pt、10pt、11.5pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">
次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
• バーコードの上下左右 2mm の空白
• 入力時のー（ハイフン）の削除
• スタート / ストップコード
• 住所表示番号の 13 桁調整
• チェックデジット
</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON J-Postal Code に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>123-4567</td><td>1'2'3'-'4'5'6'7</td><td></td></tr>
</table>

TrueType フォントのインストール方法

ここでは、本製品に添付の TrueType フォントのインストール方法を説明します。本製品に添付のEPSON プリンタソフトウェア CD-ROM にはEPSON TrueType フォントが収録されています。TrueType フォントをインストールすることにより、アプリケーションソフトの書体に追加され、ポップやビジネス文書に表現力豊かな書類を作成することができます。


ポイント

CD-ROM に収録されている OCR-B フォントセットには、OCR-B 規格で規定されている文字以外のものも含まれています。OCR-B フォントとして読み取り用に使用される際は、トナー状況や用紙の種類によって読み取れない場合がありますので、事前に読み取り機で読み取れることを確認してからお使いください。

Windows でのインストール

1 Windowsを起動してから、EPSONプリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。

2 以下の画面が表示されたら、[フォントのインストール] をクリックして [次へ] をクリックします。




ポイント

上の画面が表示されない場合は、[マイコンピュータ] ー [CD-ROM] ー [setup.exe] をダブルクリックしてください。

3 **以下の画面が表示されたら、インストールするフォントをクリックして［次へ］をクリックします。**



4 **使用許諾契約書の画面が表示されたら内容を確認し、［同意する］をクリックします。**

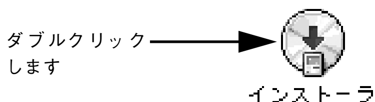
5 **インストール終了のダイアログが表示されたら、［OK］ボタンをクリックします。**

以上でTrueTypeフォントがWindowsのフォントフォルダにインストールされました。

Macintosh でのインストール

1. EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM を Macintosh にセットします。

2. ［インストーラ］をダブルクリックします。



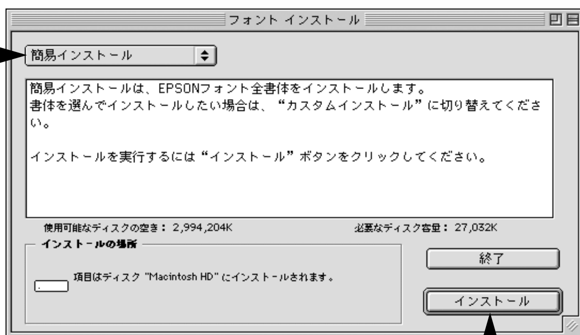
3. ［EPSON TrueType フォント（8 書体）のインストール］をクリックして［次へ］をクリックします。



4. 使用許諾契約書の画面が表示されたら内容を確認し、［同意します］をクリックします。

5 **フォントをインストールします。**

- ［簡易インストール］を選択すると、すべてのフォントがインストールされます。［インストール］ボタンをクリックします。



- ［カスタムインストール］を選択すると、インストールするフォントが選択できます。インストールする書体を選択して、［インストール］ボタンをクリックします。



以上でフォントのインストールは終了です。

オプションと消耗品について

ここでは、オプションと消耗品の紹介と装着方法について説明します。

オプションと消耗品の紹介

本機で使用可能なオプション（別売品）と消耗品の紹介をします。以下の記載内容は2002 年 7 月現在のものです。

パラレルインターフェイスケーブル

使用するパラレルインターフェイスケーブルは、コンピュータによって異なります。主なコンピュータの機種（シリーズ）でご使用いただけるパラレルインターフェイスケーブルは、次の通りです。

メーカー	機種	接続ケーブル
EPSON、IBM、富士通、東芝、他各社	DOS/V 仕様機	PRCB4N
NEC	PC-98NX シリーズ	PRCB4N
NEC	PC-9821 シリーズ*1 （ハーフピッチ 36 ピン）	PRCB5N

*1　双方向通信機能を搭載した機種のみ。ただし、Windows NT4.0/2000/XP ではお使いいただけません。


ポイント

- 双方向通信機能のない NEC PC-98 およびその互換機とは接続できません。
- 推奨ケーブル以外のケーブル、プリンタ切替機、LAN- パラレル変換機、ソフトウェアのコピー防止のためのプロテクタ（ハードウェアキー）などを、コンピュータとプリンタの間に装着すると、プラグアンドプレイやデータ転送が正常にできない場合があります。

接続方法については以下のページを参照してください。
☞ スタートアップガイド 15 ページ「パラレルインターフェイスケーブルの接続」

USB インターフェイスケーブル

USB インターフェイスコネクタ装備のコンピュータと本機を接続する場合は、以下のオプションのケーブルを使用してください。

● EPSON USB ケーブル（型番：USBCB2）


ポイント

USB ハブ（HUB：複数のコンピュータをネットワーク環境へ接続するための中継機）を使用して接続する場合は、コンピュータに直接接続された 1 段目の USB ハブに接続してご使用いただくことをお勧めします。また、お使いのハブによっては動作が不安定になるものがありますので、そのような場合はコンピュータの USB ポートに直接接続してください。

接続方法については以下のページを参照してください。
☞ スタートアップガイド 16 ページ「USB インターフェイスケーブルの接続」

インターフェイスカード

本機をネットワーク環境に接続する場合は、以下のインターフェイスカードを使用してください。設定などについてはインターフェイスカードの取扱説明書を参照してください。

型番	名称	解説
PRIFNW3S[*1]	100BASE-TX/ 10BASE-T マルチプロトコルEthernet I/F カード	TCP/IP[*2]、AppleTalk[*2]、IPX/SPX、NetBEUI に対応しています。 本機を Ethernet 接続するためには、次のいずれかのケーブルが必要です。 • Ethernet 100BASE-TX ツイストペアケーブル(カテゴリー5) • Ethernet 10BASE-T ツイストペアケーブル

*1 PRIFNW3S に添付されているソフトウェアのバージョンが2.1 以降でないとご使用いただけません。詳細は以下の URL を参照してください。
http://www.i-love.epson.co.jp/guide/network/index.htm

*2 本機に装着して使用する場合のプロトコルです。TCP/IP、AppleTalk 以外のプロトコルには対応していません。


ポイント

ネットワーク環境との接続は、Ethernet インターフェイスカードのコネクタとネットワーク側(HUB)とを上記ケーブルで接続します。

取り付け方法は以下のページを参照してください。

本書 233 ページ「インターフェイスカードの取り付け」

増設カセットユニット

用紙カセットが 1 基装備された給紙ユニットです。プリンタ下部に装着することにより、標準の用紙トレイを含めて 2 箇所から給紙できるようになります。

型番	商品名	備考
LPA4CZ1CU1	増設カセットユニット	用紙サイズ:A4 用紙カセット容量:500 枚

取り付け方法および使用方法は以下のページを参照してください。

本書 240 ページ「増設カセットユニットの取り付け」
本書 23 ページ「増設カセットユニットへの用紙のセット」

両面印刷ユニット

A4 サイズの用紙の両面に自動的に印刷するための装置です。

型番	商品名	備考
LPA4CRU1	両面印刷ユニット	使用できる用紙 • 用紙種類：普通紙、EPSON 製カラーレーザープリンタ用上質普通紙 • サイズ：A4、Letter • 用紙厚：60 ～ 90g/㎡

取り付け方法および使用方法は以下のページを参照してください。

本書 247 ページ「両面印刷ユニットの取り付け」
本書 27 ページ「両面印刷ユニット（オプション）について」

増設メモリ

本機は、メルコ社製の以下のメモリを使用することにより、最大 144MB まで内部メモリを増設することができます。メモリを増設することにより、複雑な印刷データも高解像度で印刷できるようになります（64MB 以上の増設を推奨）。増設メモリの入手方法などについては、株式会社メルコのお客様窓口までお問い合わせください。

型番	容量	使用可能なメモリ容量
EP01-16M シリーズ	16MB	32MB
EP01-32M シリーズ	32MB	48MB
EP01-64M シリーズ	64MB	80MB
EP01-128M シリーズ	128MB	144MB

取り付け方法については、以下のページを参照してください。

本書 236 ページ「増設メモリの取り付け」

専用紙

本機には、以下の専用紙があります。

型 番	商品名	備考
LPCPPA4	EPSON カラーレーザープリンタ用 上質普通紙	本機での印刷時､最良の印刷品質を得ることができる用紙（A4 サイズ）です｡用紙トレイ、用紙カセット（オプション）のどちらからでも給紙できます。
LPCOHPS1	EPSON カラーレーザープリンタ用 OHP シート	EPSON 製の､カラーレーザープリンタ専用のOHP シート（A4 サイズ）です｡用紙トレイからのみ給紙できます。
LPCCTA4	EPSON カラーレーザープリンタ用 コート紙	EPSON 製のカラーレーザープリンタ専用のコート紙（A4 サイズ）です。光沢のある美しい仕上がりの印刷が可能です。カタログ、パンフレットなどにご使用ください。用紙トレイからのみ給紙できます。

ET カートリッジ

ET カートリッジは、トナーの色によって 4 種類あり、最大印刷可能枚数によって型番が異なります。本機で使用可能な ET カートリッジは次の通りです。

型番	商品名
LPCA4ETC2C	ET カートリッジ（シアン）1500 枚
LPCA4ETC2M	ET カートリッジ（マゼンタ）1500 枚
LPCA4ETC2Y	ET カートリッジ（イエロー）1500 枚
LPCA4ETC3C	ET カートリッジ（シアン）4500 枚
LPCA4ETC3M	ET カートリッジ（マゼンタ）4500 枚
LPCA4ETC3Y	ET カートリッジ（イエロー）4500 枚
LPCA4ETC3K	ET カートリッジ（ブラック）4500 枚

1 つの ET カートリッジで約 1,500 ページまたは 4,500 ページ（A4 サイズの紙に面積比で約 5% の印刷を行った場合）*1 まで印刷できます。ただし、使用状況や印刷の仕方によりトナー消費量は異なります。

*1 最良の印刷品質を確保するために､A4 サイズの紙に面積比で 5% 未満の印刷を行った場合でも印刷可能ページ数は、それぞれ約 2,000 ページまたは約 6,000 ページとなります。

交換方法については以下のページを参照してください。
本書 255 ページ「ET カートリッジの交換」

感光体ユニット

感光体ユニットは、感光体に電荷を与えて印刷する画像を作る装置です。本機で使用可能な感光体ユニットは次の通りです。

型番	商品名
LPCA4KUT2	感光体ユニット

モノクロ連続印刷時で約 45,000 ページ（モノクロ間欠印刷時で約 10,000 ページ）、カラー連続印刷時で約 11,250 ページ（カラー間欠印刷時で約 7,500 ページ）まで印刷できます。ただし、使用状況や印刷の仕方により寿命は異なり、厚紙などの特殊紙への印刷を繰り返した場合は寿命が短くなります。

交換方法については以下のページを参照してください。
本書 268 ページ「感光体ユニットの交換」

廃トナーボックス

廃トナーボックスは、印刷時に出る余分なトナーを回収するボックスです。本機で使用可能な廃トナーボックスは次の通りです。

型番	商品名
LPCA4HTB2	廃トナーボックス

モノクロ印刷時で約 25,000 ページ、カラー印刷時で約 6,250 ページ（A4 サイズの紙に面積比で約 5% の印刷を行った場合）まで使用できます。ただし、使用状況により廃トナーの回収状況は異なります。

交換方法については以下のページを参照してください。
274 ページ「廃トナーボックスの交換」

転写ベルトユニット

転写ベルトユニットは、印刷する画像に合わせてトナーを用紙に転写する装置です。本機で使用可能な転写ベルトユニットは次の通りです。

型番	商品名
LPCA4TBU2	転写ベルトユニット

モノクロ連続印刷時で約 210,000 ページ（モノクロ間欠印刷時で約 70,000 ページ）、カラー連続印刷時で約 52,500 ページ（カラー間欠印刷時で約 35,000 ページ）まで印刷できます。ただし、使用状況や印刷の仕方により寿命は異なり、厚紙などの特殊紙への印刷を繰り返した場合は寿命が短くなります。

転写ベルトユニットは保守サービス交換部品です。交換が必要になりましたら、本機をお買いあげいただいた販売店または保守サービス実施店にご連絡ください。また、お客様による交換も可能ですので、交換方法については以下のページを参照してください。
本書 278 ページ「転写ベルトユニットの交換」

通信販売のご案内

EPSON 製品の消耗品・オプション品が、お近くの販売店で入手困難な場合には、エプソン OA サプライ株式会社の通信販売をご利用ください。

ご注文方法

インターネットで	ホームページ：http://www.epson-supply.co.jp
お電話で	電話番号：0120 ー 251 ー 528（フリーダイヤル）
	受付時間：月～金曜日　AM9:00 ～ PM6:15 土曜日　AM9:00 ～ PM5:00 （祝祭日、弊社指定休日を除く）

※電話番号のかけ間違いにご注意ください。

お届け方法

当日発送	営業日 PM4:30 までのご注文受付分は、即日発送手配いたします（在庫分のみ）。
お届け予定日	本州・四国…翌日
	北海道・九州…翌々日

お支払い方法

代金引換	商品お受け取り時に、商品と引き換えに宅配便配送員へ代金をお支払いください。
クレジットカード	取り扱いカード ：UC 、JCB 、VISA 、Master 、NICOS
コンビニエンスストア振込（前払い）	ご注文承り後、注文明細入り見積書と請求書、振込用紙をお送りいたします。請求書到着後、2 週間以内にお振り込みください。ご入金確認後、商品を発送させていただきます。利用可能なコンビニエンスストアなどの詳細については、上記のホームページまたは電話にてご確認ください。
銀行振込	法人でのお申し込みに限ります。事前の審査と、ご登録が必要になります。下記にご連絡ください。
	電話番号：0120 ー 251 ー 528（フリーダイヤル）

送料

お買い上げ金額の合計が 4,500 円以上（消費税別）の場合は、全国どこへでも送料は無料です。4,500 円未満（消費税別）の場合は、全国一律 500 円（消費税別）です。

消耗品カタログの送付

プリンタ消耗品・関連商品のカタログをお送りいたします。カタログの配送につきましては、会員登録が必要になります。入会金、年会費は不要です。詳細については、上記のホームページまたは電話にてご確認ください。

インターフェイスカードの取り付け

ここでは、本機にインターフェイスカード（型番：PRIFNW3S）を取り付ける方法について説明します。取り付けは以下の手順に従って行ってください。取り付け作業にはプラスドライバが必要です。



指示されている以外の分解はしないでください。けがや感電、火傷の原因となります。

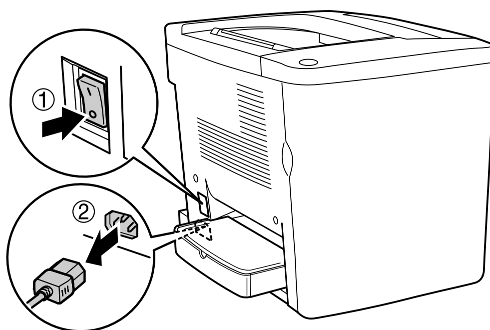


オプションの装着は電源ケーブルを抜いた状態で行ってください。感電の原因となるおそれがあります。



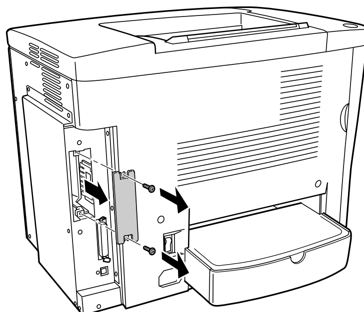
- プリンタの電源がオン（I）の状態でインターフェイスカードを取り付けると、故障の原因になる場合があります。
- インターフェイスカードの取り付けの際、静電気放電によって部品に損傷が生じるおそれがあります。作業の前に必ず、接地されている金属に手を触れるなどして、身体に帯電している静電気を放電してください。

1 プリンタの電源をオフにし、電源ケーブルを取り外します。



2 **プリンタの左奥のコネクタカバーを取り外します。**

コネクタカバーはネジ2個で固定されていますので、ネジを緩めて取り外します。

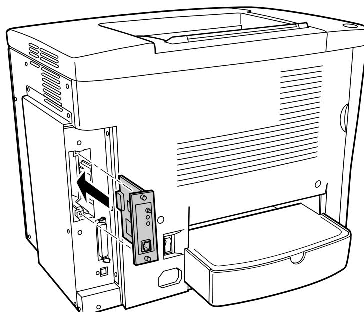




ポイント

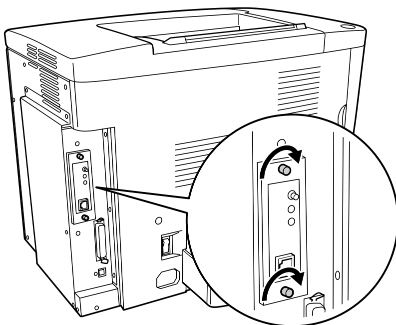
取り外したコネクタカバーとネジは、インターフェイス カードを取り外した際に必要となりますので、大切に保管してください。

3 **インターフェイスカードの上下両側をプリンタ内部の溝に合わせて差し込みます。**



4 **インターフェイスカードに付属のネジ（2 個）で固定します。**

インターフェイスカードのコネクタとプリンタ側のコネクタがしっかりかみ合うまで差し込んでから、ネジを締め付けて固定します。



5 **取り外した電源ケーブルを元通りに取り付けます。**

6 **プリンタドライバのインストール後にステータスシートを印刷して、インターフェイスカードが正しく装着されていることを確認します。**

正しく装着されるとステータスシートの「インターフェイス」に「I/F カード」が追加されて印刷されます。

Windows：スタートアップガイド 34 ページ「ステータスシートの印刷」
Macintosh：スタートアップガイド 45 ページ「ステータスシートの印刷」


ポイント

Windows 環境でお使いの場合、プリンタドライバの［環境設定］ダイアログでオプション情報が正しく表示されていることを確認できます。確認したら、［OK］ボタンをクリックしてダイアログを閉じてください。

本書 73 ページ「［環境設定］ダイアログ」

以上でインターフェイスカードの取り付けは終了です。

増設メモリの取り付け

プリンタの標準搭載メモリは 16MB です。メルコ製の以下のメモリ（1 枚のみ）を増設することができます（2002 年 7 月現在）。快適な印刷環境を得るためには 64MB 以上の増設をお勧めします。

型番	容量	使用可能なメモリ容量
EP01-16M シリーズ	16MB	32MB
EP01-32M シリーズ	32MB	48MB
EP01-64M シリーズ	64MB	80MB
EP01-128M シリーズ	128MB	144MB

使用できるメモリの入手方法などについては、（株）メルコのお客様窓口までお問い合わせください。

取り付けは以下の手順に従って行ってください。取り付け作業にはプラスドライバが必要です。



指示されている以外の分解はしないでください。けがや感電、火傷の原因となります。

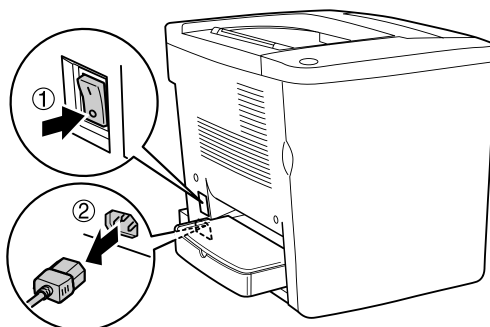


オプションの装着は電源ケーブルを抜いた状態で行ってください。感電の原因となるおそれがあります。

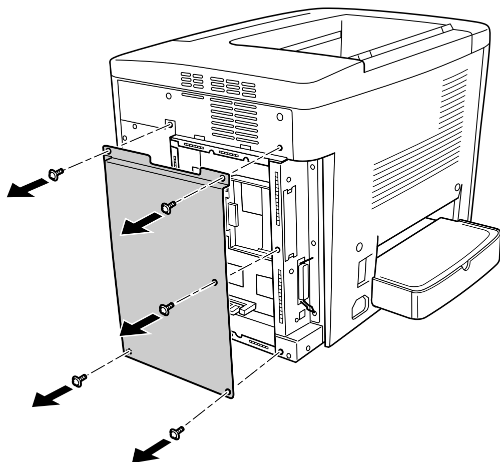


- プリンタの電源がオン（I）の状態でメモリを取り付けると、故障の原因になる場合があります。
- 増設メモリの取り付けの際、静電気放電によって部品に損傷が生じるおそれがあります。作業の前に必ず、接地されている金属に手を触れるなどして、身体に帯電している静電気を放電してください。

1 プリンタの電源をオフにし、電源ケーブルを取り外します。



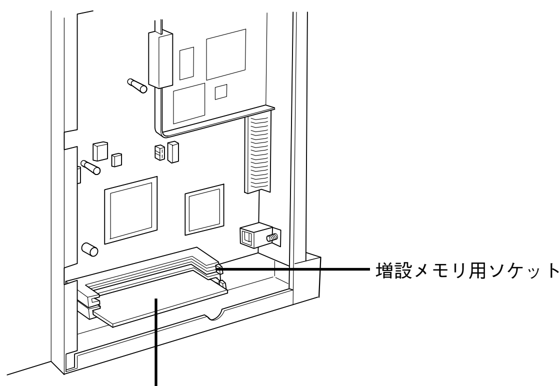
2 プリンタの背面カバーを固定しているネジ（5 個）を取り外し、カバーを外します。





ネジをプリンタ内部へ落としたり紛失しないようにしてください。カバーを固定する際に使用します。

3 下図を参照して、増設メモリ用ソケットの位置を確認します。





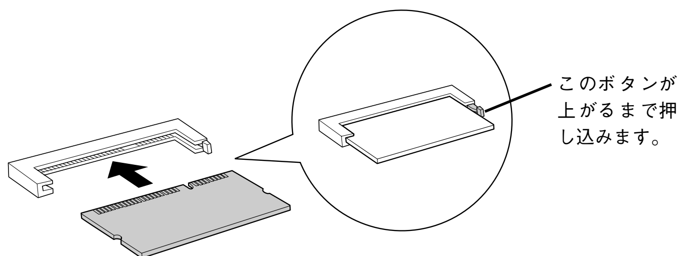
この ROM モジュールは取り外さないでください。プリンタが動かなくなります。

4 **増設メモリを取り付けます（1 枚のみ取り付け可能）。**



- 増設メモリを装着する際に、必要以上に力をかけないでください。部品を損傷するおそれがあります。作業は慎重に行ってください。
- 増設メモリは、逆差ししないように注意してください。

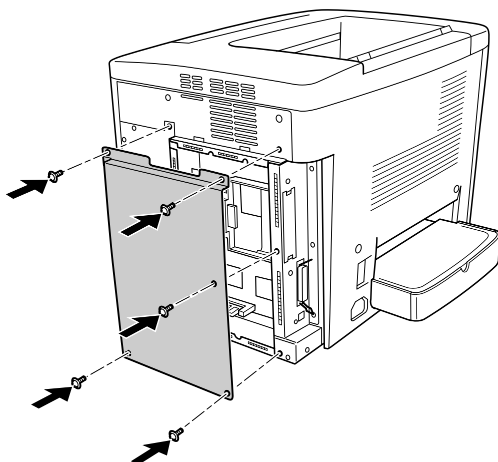
増設メモリ底部のくぼみがソケット内側の凸部分に合うように取り付け位置を決めて、増設メモリの上部を均等にゆっくりと押し込みます。





メモリを無理に押しつけないでください。スロットとメモリの取り付け方向を確認して、メモリが破損しないように、ゆっくりとスロットに押し込んでください。

5 **❷ で取り外したネジ（5 個）で背面カバーを取り付けます。**



6 **取り外した電源ケーブルを元通りに取り付けます。**

7 **プリンタドライバのインストール後に、取り付けたオプションの設定をします。**

8 プリンタドライバのインストール後にステータスシートを印刷して、メモリが正しく装着されていることを確認します。

正しく装着されるとステータスシートの「実装メモリ容量」にメモリ容量の合計が表示されます。

☞ Windows：スタートアップガイド 34 ページ「ステータスシートの印刷」
☞ Macintosh：スタートアップガイド 45 ページ「ステータスシートの印刷」


ポイント

Windows 環境でお使いの場合、プリンタドライバの［環境設定］ダイアログでオプション情報が正しく表示されていることを確認できます。確認したら、［OK］ボタンをクリックしてダイアログを閉じてください。
☞本書 73 ページ「［環境設定］ダイアログ」

以上で増設メモリの取り付けは終了です。

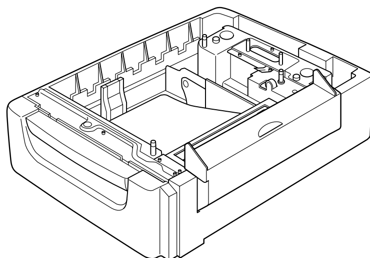
増設カセットユニットの取り付け

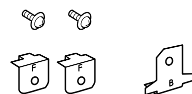
ここでは、増設カセットユニット（型番：LPA4CZ1CU1）を取り付ける方法について説明しています。用紙のセット方法については以下のページを参照してください。

本書 23 ページ「増設カセットユニットへの用紙のセット」



増設カセットユニットには、以下の同梱品が入っています。取り付けの前に同梱品の不足や損傷のないこと、保護材を取り外してあることを確認してから作業を始めてください。





取り付けは以下の手順に従って行ってください。取り付け作業にはプラスドライバが必要です。

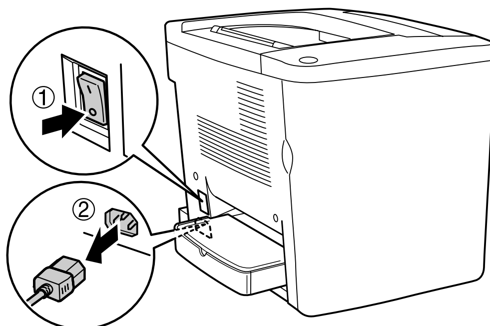


オプションの装着は電源ケーブルを抜いた状態で行ってください。感電の原因となるおそれがあります。

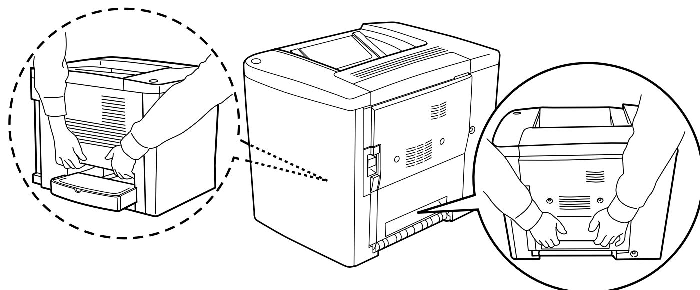


プリンタの電源がオン（I）の状態で増設カセットユニットを取り付けると、故障の原因になる場合があります。

1 **プリンタの電源をオフにし、電源ケーブルを取り外します。**

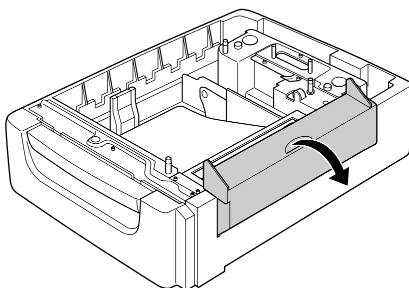


⚠注意 本製品は重いので（約 29kg）、必ず 2 人でプリンタの両側所定の場所に両手を添えて、持ち上げてください。1 人では持ち上げたり移動したりしないでください。



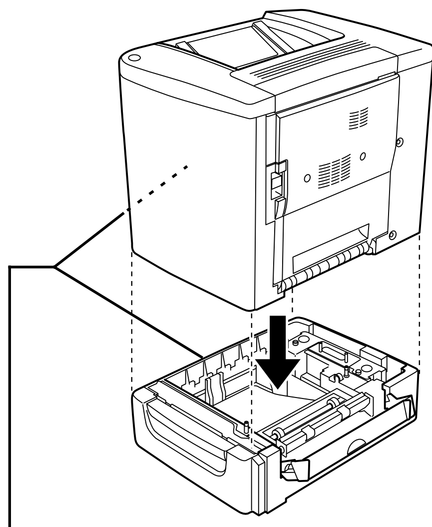
2 **プリンタを一旦別の場所に移動し、増設カセットユニットを設置場所に置きます。**
増設カセットユニットの正面がプリンタの正面と合うように配置します。

3 **増設カセットユニットの右カバーを開けます。**



4 **増設カセットユニットの上にプリンタを置きます。**

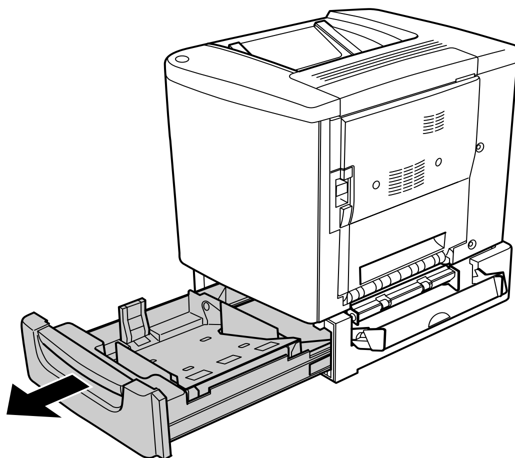
プリンタの四隅と増設カセットユニットの四隅が合うように取り付け位置を合わせてから、プリンタを増設カセットユニットの上に重ねて置きます。



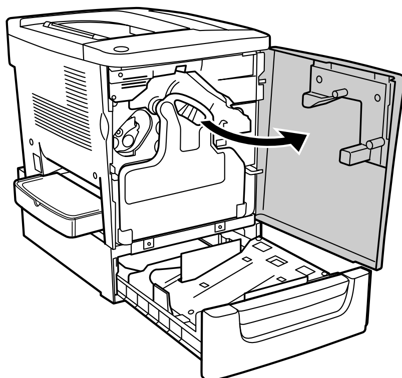

ポイント

左側面を合わせるようにすると重ねやすくなります。

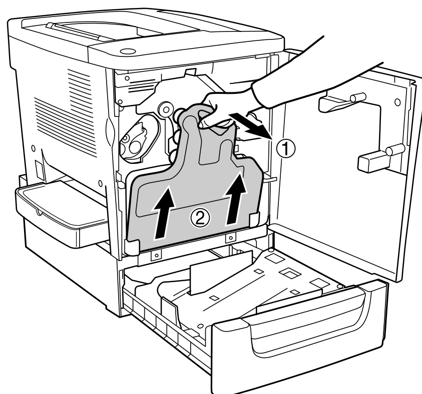
5 **増設カセットユニットの用紙カセットを引き出します。**



6 プリンタの前カバーを開けます。



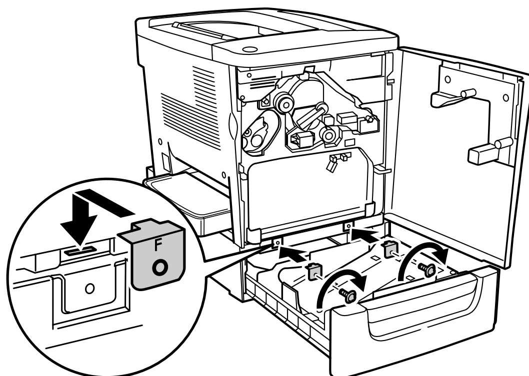
7 廃トナーボックスを取り外します。



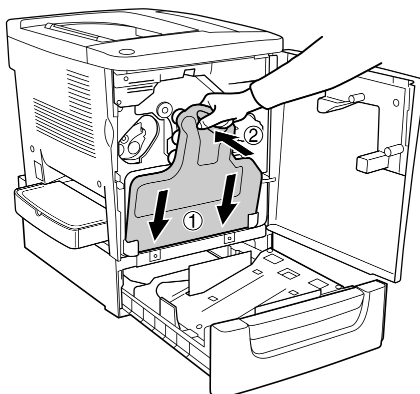
8 **プリンタの正面側を、固定金具 2 個で固定します。**

① オプションに付属の固定金具（F の刻印）2 個をプリンタと増設カセットユニットの正面側に取り付けます。

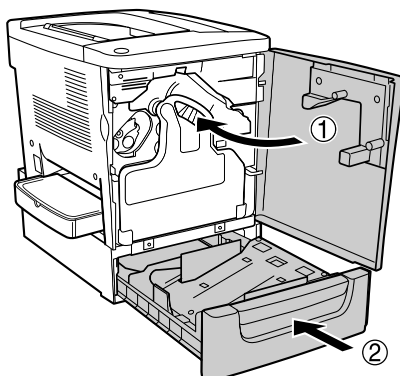
② オプションに付属のネジで固定金具を固定します。



9 **廃トナーボックスを取り付けます。**



10 プリンタの前カバーを閉じてから、増設カセットユニットのカセットを押し込んで閉じます。

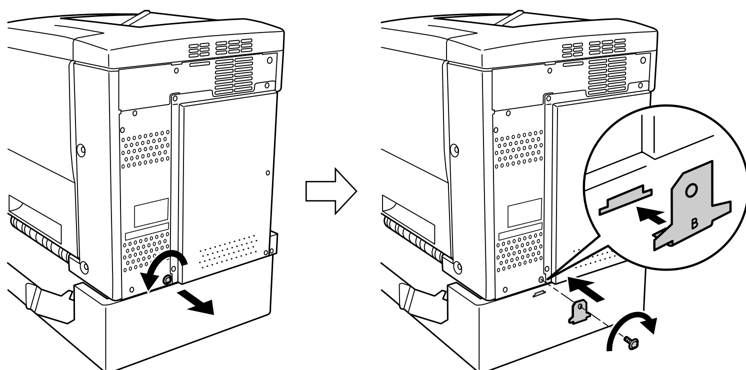


11 プリンタの背面側を、固定金具 1 個で固定します。

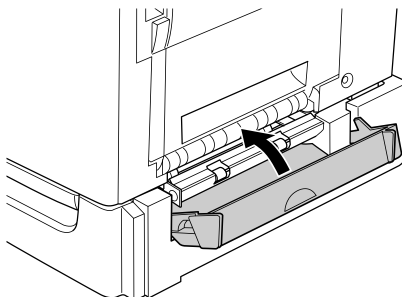
① プリンタ背面下側のネジ 1 個を取り外します。

② オプションに付属の固定金具（B の刻印）1 個をその位置に取り付けます。

③ 取り外したネジで固定します。



12 **増設カセットユニットの右カバーを閉じます。**





増設カセットユニットの右カバーは、プリンタの右カバーを開けると自動的に開きます。プリンタを使用する際には、必ず両方のカバーを閉じてください。

13 **取り外した電源ケーブルを元通りに取り付けます。**

14 **プリンタドライバのインストール後にステータスシートを印刷して、増設カセットユニットが正しく装着されていることを確認します。**

正しく装着されるとステータスシートの「給紙装置」に「カセット 1」が表示されます。

Windows：スタートアップガイド 34 ページ「ステータスシートの印刷」
Macintosh：スタートアップガイド 45 ページ「ステータスシートの印刷」



Windows 環境でお使いの場合、プリンタドライバの［環境設定］ダイアログでオプション情報が正しく表示されていることを確認できます。確認したら、［OK］ボタンをクリックしてダイアログを閉じてください。

本書 73 ページ「［環境設定］ダイアログ」

以上で増設カセットユニットの取り付けは終了です。

両面印刷ユニットの取り付け

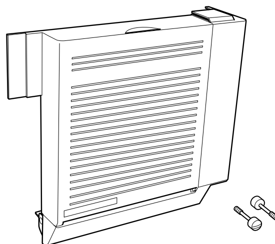
ここでは、両面印刷ユニット（型番：LPA4CRU1）を取り付ける方法について説明しています。両面印刷については以下のページを参照してください。

本書 27 ページ「両面印刷ユニット（オプション）について」



ポイント

両面印刷ユニットには、以下の同梱品が入っています。取り付けの前に同梱品の不足や損傷のないこと、保護材を取り外してあること を確認してから作業を始めてください。



取り付けは以下の手順に従って行ってください。取り付け作業にはプラスドライバが必要です。



警告

指示されている以外の分解はしないでください。けが や感電、火傷の原因となります。



注意

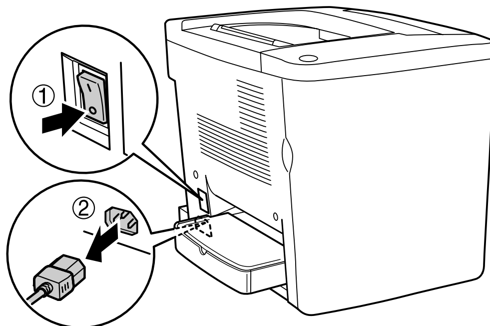
オプションの装着は電源ケーブルを抜いた状態で行ってください。感電の原因となるおそれがあります。



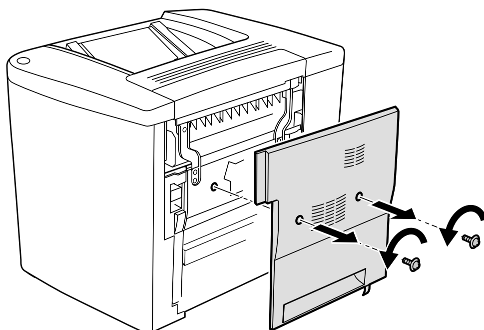
注 意

プリンタの電源がオン（I）の状態で両面印刷ユニットを取り付けると、故障の原因になる場合があります。

1. **プリンタの電源をオフにし、電源ケーブルを取り外します。**



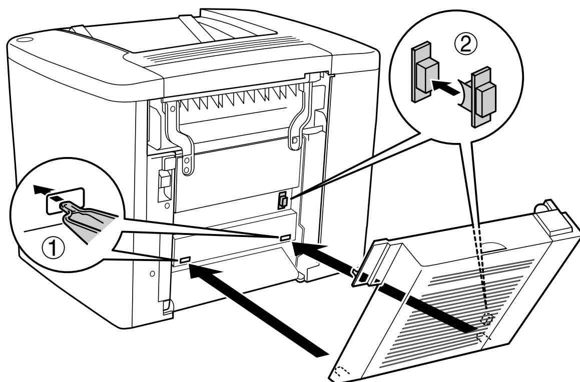
2 プリンタの右カバーを固定しているネジ（2 本）を取り外して、右カバーを外します。



3 両面印刷ユニットをプリンタの取り付け位置に合わせます。

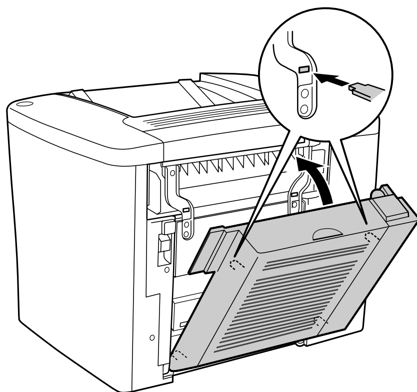
① 下側の突起部（2 箇所）をプリンタ側の穴に差し込みます。

② 両面印刷ユニットの内側にあるコネクタがプリンタ側のコネクタに合うように、位置を合わせます。

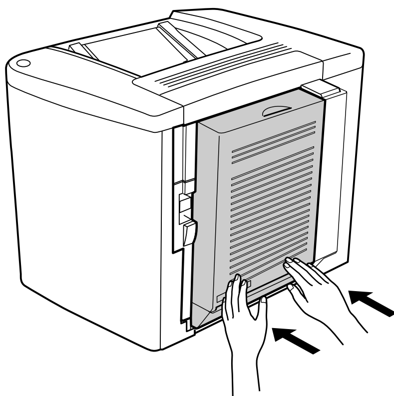


4 **両面印刷ユニットの上部をプリンタ側に押し付けます。**

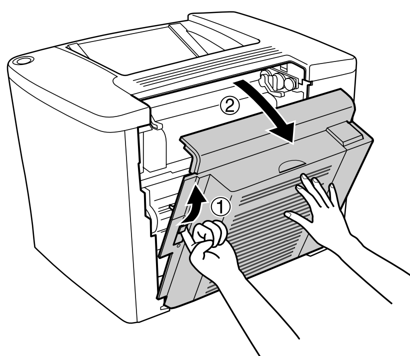
このとき、両面印刷ユニット上部の突起部（2 箇所）が、プリンタ側の取り付け穴に入るように取り付けます。



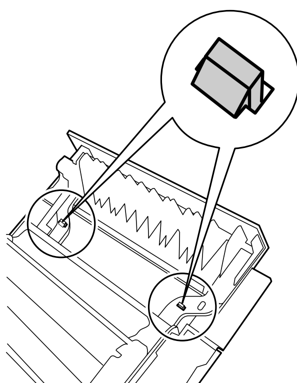
5 **矢印の部分を押して、両面印刷ユニットがしっかり固定されていることを確認します。**



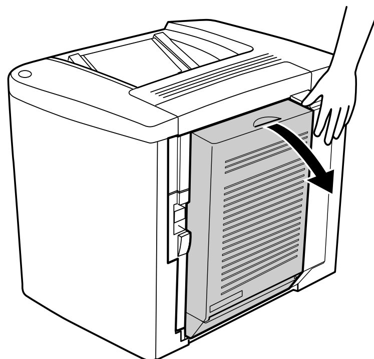
6 両面印刷ユニットを手で支えながら、プリンタの右カバーの解除レバーを持ち上げて、右カバーを開けます。



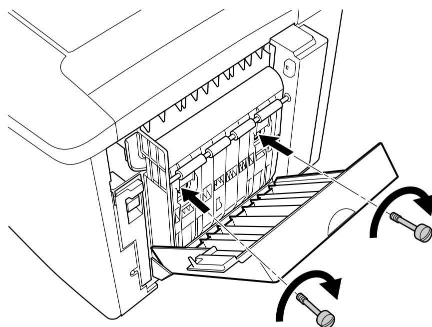
7 両面印刷ユニットの突起部がプリンタの右カバーにしっかりとかみ合っていることを確認して、プリンタの右カバーを閉じます。



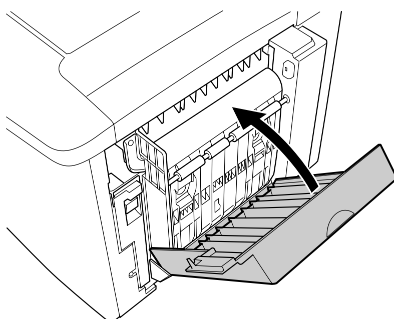
8 両面印刷ユニットの右側を手で支えながら、両面印刷ユニットのカバーを開けます。



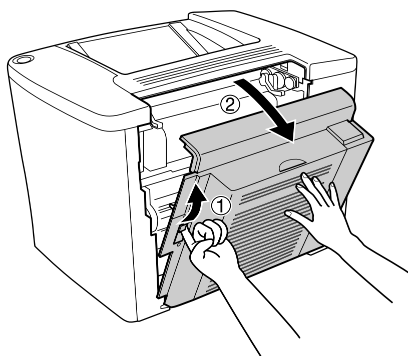
9 両面印刷ユニットに付属のネジ（2 本）で、両面印刷ユニットをプリンタに固定します。



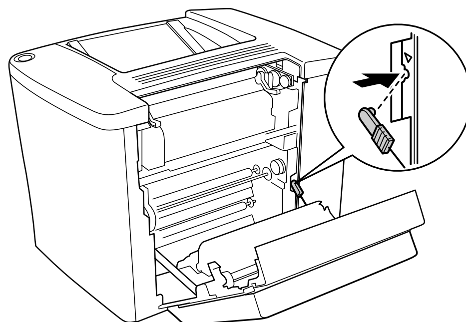
10 両面印刷ユニットのカバーを閉じます。



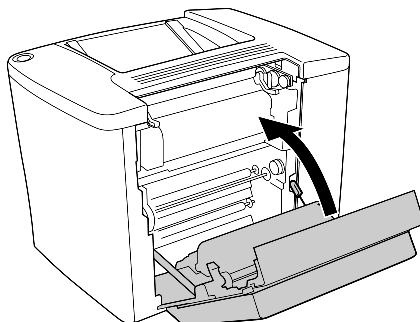
11 両面印刷ユニットのカバーを手で支えながら、プリンタの右カバーの解除レバーを持ち上げて、右カバーを開けます。



12 **両面印刷ユニットの右内側に付いているバネの先端部分をプリンタ側の取り付け穴に差し込んで固定します。**



13 **プリンタの右カバーをしっかりと閉じます。**



14 **取り外した電源ケーブルを元通りに取り付けます。**

15 **プリンタドライバのインストール後にステータスシートを印刷して、両面印刷ユニットが正しく装着されていることを確認します。**

正しく装着されるとステータスシートの「オプション」に「両面印刷ユニット」が表示されます。

Windows：スタートアップガイド 34 ページ「ステータスシートの印刷」
Macintosh：スタートアップガイド 45 ページ「ステータスシートの印刷」

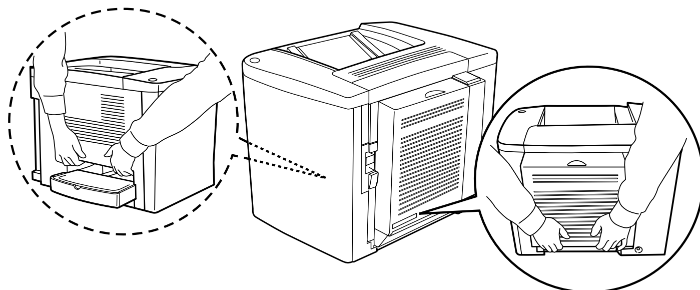

ポイント

Windows 環境でお使いの場合、プリンタドライバの［環境設定］ダイアログでオプション情報が正しく表示されていることを確認できます。確認したら、［OK］ボタンをクリックしてダイアログを閉じてください。
本書 73 ページ「［環境設定］ダイアログ」

以上で両面印刷ユニットの取り付けは終了です。

⚠注意

本製品は重いので（約 29kg）、必ず 2 人でプリンタの両側所定の場所に両手を添えて、持ち上げてください。1 人では持ち上げたり移動したりしないでください。両面印刷ユニット装着時は、以下の場所に手を添えてください。



プリンタのメンテナンス

ここでは、メンテナンス方法や輸送 / 移動時の注意事項などについて説明しています。

ET カートリッジの交換

ET カートリッジについて

ET カートリッジは印刷画像を用紙上に形成するトナーの入った装置で、シアン、マゼンタ、イエロー、ブラックの 4 色を組み合わせて印刷画像の色を再現します。本製品は純正 ET カートリッジ使用時に最高の印刷品質が得られるように設計されております。純正品以外のものをご使用になると、プリンタ本体の故障の原因となったり、印刷品質が低下するなど、プリンタ本体の性能が発揮できない場合があります。

型番	商品名
LPCA4ETC2C	ET カートリッジ（シアン）1500 枚
LPCA4ETC2M	ET カートリッジ（マゼンタ）1500 枚
LPCA4ETC2Y	ET カートリッジ（イエロー）1500 枚
LPCA4ETC3C	ET カートリッジ（シアン）4500 枚
LPCA4ETC3M	ET カートリッジ（マゼンタ）4500 枚
LPCA4ETC3Y	ET カートリッジ（イエロー）4500 枚
LPCA4ETC3K	ET カートリッジ（ブラック）4500 枚

1 つの ET カートリッジで約 1,500 ページまたは 4,500 ページ（A4 サイズの紙に面積比で約 5% の印刷を行った場合）[*1] まで印刷できます。ただし、使用状況や印刷の仕方によりトナー消費量は異なりますので、印刷結果から判断して交換することをお勧めします。

*1 最良の印刷品質を確保するために、A4 サイズの紙に面積比で 5% 未満の印刷を行った場合でも印刷可能ページ数は、それぞれ約 2,000 ページまたは約 6,000 ページとなります。



- EPSON プリンタウィンドウ!3 は、トナー残量の目安を表示することができます。ただし、あくまで目安ですので、印刷結果から判断して交換することをお勧めします。印刷がかすれている場合は、すぐに交換してください。
- トナーが残り少なくなると、EPSON プリンタウィンドウ !3 は交換を促すメッセージを表示します。すみやかに新しい ET カートリッジと交換することをお勧めします。
- トナーがなくなると、EPSON プリンタウィンドウ !3 は交換を要求するメッセージを表示します。すぐに新しい ET カートリッジと交換してください。
  Windows：本書 84 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 とは」
  Macintosh：本書 194 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 とは」
- 1,500 枚用カラーET カートリッジを取り付けた場合は、必ずプリンタドライバの［プリンタ設定］ダイアログで［トナー容量］を設定してください。
  本書 257 ページ「ET カートリッジの交換手順」

取り扱い上の注意

 警告　ETカートリッジは、絶対に火の中に入れないでください。トナーが飛び散って発火し、火傷のおそれがあります。

- ETカートリッジ装着部の色を確認して、同じ色のETカートリッジを装着してください。
- 一度プリンタに取り付けたETカートリッジは再利用しないでください。
- 寒い所から暖かい所に移動した場合は、ETカートリッジを室温に慣らすため1時間以上待ってから使用してください。
- ETカートリッジのトナーが付いているローラ部分には手を触れないでください。印刷品質が低下します。
- トナーが手や衣服に付いたときは、すぐに水で洗い流してください。
- トナーは人体に無害ですが、手や衣服に付いたまま放置すると落ちにくくなります。

保管上の注意

- ETカートリッジは、必ず専用の梱包箱に入れ、水平に置いた状態で保管してください。
- 温度範囲0～35℃、湿度範囲30～80%の環境で保管してください。
- 高温多湿になる場所には置かないでください。
- CRTディスプレイの画面、ドライブ装置、フロッピーディスクなど、磁気を帯びたものの近くに置かないでください。
- 幼児の手の届かないところに保管してください。

使用済み消耗品の回収について

資源の有効活用と地球環境保全のために、使用済みの消耗品の回収にご協力ください。使用済みETカートリッジの回収方法については、新しいETカートリッジに添付されておりますご案内シートを参照してください。やむを得ず、使用済みETカートリッジを処分される場合は、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

ET カートリッジの交換手順

トナーのなくなったET カートリッジ（色）は、EPSONプリンタウィンドウ !3 で確認できます。ET カートリッジの交換は以下の手順に従ってください。

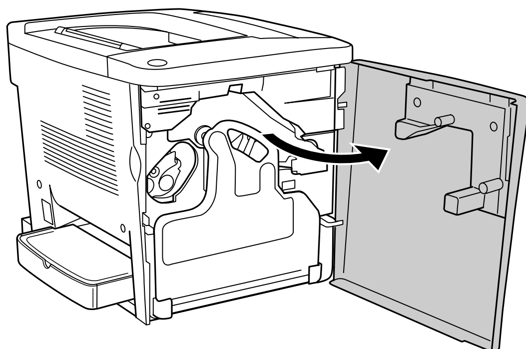


交換作業中は、指定以外のプリンタ内部に触れないようにしてください。火傷または印刷品質の劣化が起こるおそれがあります。



- 交換作業は、必ずプリンタとコンピュータの電源をオン（｜）にしたまま行ってください。
- ETカートリッジは、プリンタドライバから操作することで強制的に交換位置まで移動させることができます。
  本書 264 ページ「ET カートリッジの強制交換」

1 プリンタの前カバーを開けます。



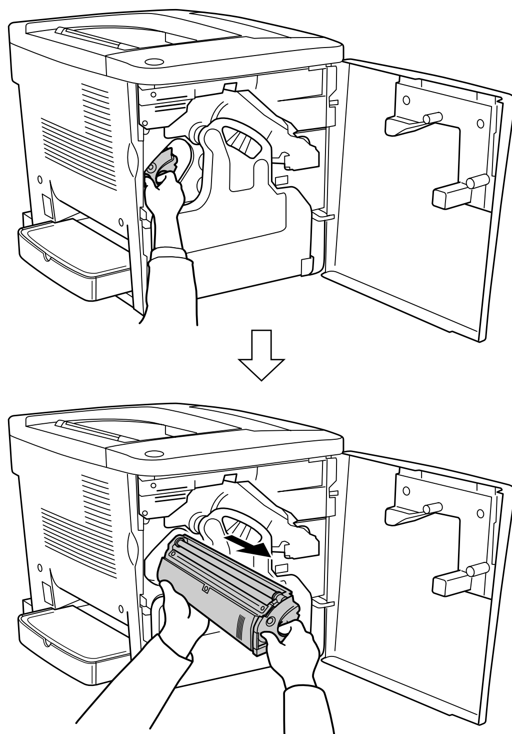
2 交換する ET カートリッジの色を確認します。

交換する ET カートリッジは、自動的に交換位置に移動しています。ET カートリッジの色を確認してください。



複数の ET カートリッジを交換する場合でも、交換位置にある ET カートリッジから交換してください。以下の手順に従っていただければ、複数の ET カートリッジを交換することができます。

3 ET カートリッジ先端のつまみ部分を持って、まっすぐ手前に引き抜きます。



使用済みのET カートリッジについては、以下のページを参照してください。

本書 256 ページ「使用済み消耗品の回収について」



ET カートリッジは火の中に入れないでください。トナーが飛び散って発火し、火傷のおそれがあります。



- トナーが手や衣服に付いたときは、すぐに水で洗い流してください。トナーは人体に無害ですが、手や衣服に付いたまま放置すると落ちにくくなります。
- 取り外した使用済みの ET カートリッジは再利用できません。

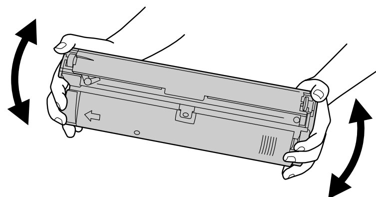
4 新しい ET カートリッジを梱包箱から取り出します。



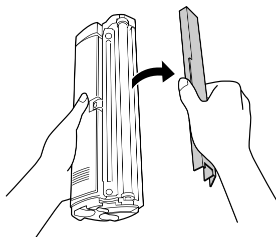
ET カートリッジの入っていた梱包箱や袋は、使用済みのカートリッジを回収する際に必要となります。梱包箱や袋は、次回の交換時まで大切に保管してください。

5 **図のように左右に傾けながら 7 ～ 8 回ゆっくり振ります。**

ET カートリッジ内部のトナーが均一な状態にします。



6 **ET カートリッジのカバー（保護材）を取り外します。**





- ET カートリッジのトナーがついているローラ部分には手を触れないでください。印刷品質が低下します。
- トナーが手や衣服に付いたときは、すぐに水で洗い流してください。トナーは人体に無害ですが、手や衣服に付いたまま放置すると落ちにくくなります。

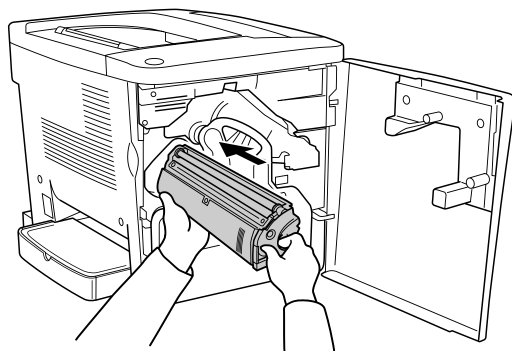


取り外したカバーは、3 で取り外した使用済み ET カートリッジに取り付けます。使用済みの ET カートリッジは、梱包袋（箱）に入れて、回収にご協力ください。

本書 256 ページ「使用済み消耗品の回収について」

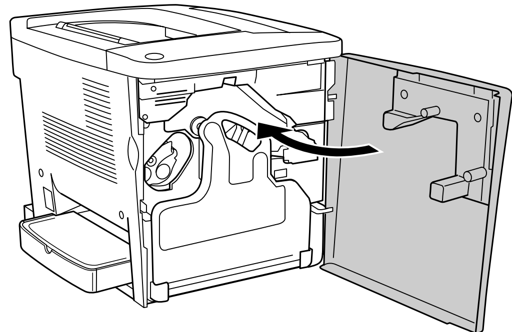
7 **ETカートリッジをプリンタに取り付けます。**

両側のガイドを合わせながら奥に突き当たるまで確実に差し込みます。



8 **プリンタの前カバーをしっかり閉じてしばらく待ち*、他の色のETカートリッジを交換する必要がないかEPSONプリンタウィンドウ!3で確認します。**

* 待機時間は交換状況によって異なります。複数のETカートリッジを交換する場合は、次のETカートリッジが装着できるようになるまで約30秒かかります。また、交換作業が終了する場合は約180秒かかります。



他の色のETカートリッジを交換する必要がある場合は、EPSONプリンタウィンドウ!3がその旨メッセージを表示します。

- 交換が必要な場合は、1に戻って指定された色のETカートリッジを交換します。
- 交換の必要がなければ、次へ進みます。
  ただし、4500枚用ETカートリッジ（全色）を取り付けた場合は、以上で交換作業は終了です（次の手順は必要ありません）。

9 1,500枚用カラーETカートリッジを取り付けた場合は、プリンタドライバの［プリンタ設定］ダイアログを開き、［トナー容量］でトナーの色とカートリッジの型番を設定します。

トナーの色	1,500枚用ETカートリッジ型番
シアン	LPCA4ETC2C
マゼンタ	LPCA4ETC2M
イエロー	LPCA4ETC2Y



- 印刷中は、絶対に設定を実行しないでください。
- 1,500枚用ETカートリッジを取り付けた場合は、必ず［トナー容量］を設定してください。設定を行わないと、プリンタやEPSONプリンタウィンドウ!3がトナー残量を正しく認識できません。実際にトナーが少なくなると印刷がかすれたり、最後はトナーがなくなって印刷できなくなります。

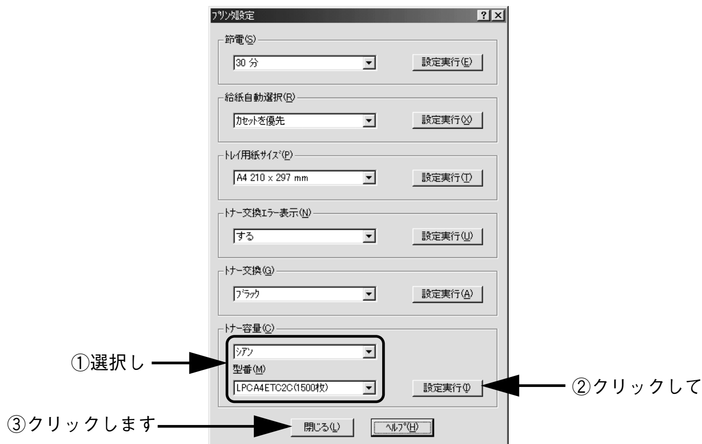


- 4,500枚用ETカートリッジを装着した場合は、［トナー容量］を設定する必要はありません（初期設定は常に4,500枚用ETカートリッジとなっています）。
- ［トナー容量］の設定は、EPSONプリンタウィンドウ!3やステータスシートで確認できます。

Windows：本書84ページ「EPSONプリンタウィンドウ!3とは」
Windows：本書73ページ「［環境設定］ダイアログ」
Macintosh：本書194ページ「EPSONプリンタウィンドウ!3とは」
Macintosh：本書182ページ「［プリンタセットアップ］ダイアログ」

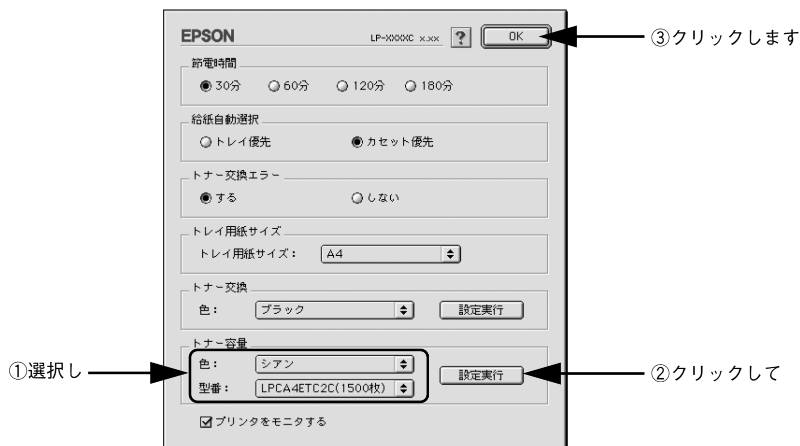
- **Windows で［トナー容量］を設定するには**

① プリンタが印刷していないことを確認します。
② プリンタドライバのプロパティを開き、［環境設定］ダイアログで［プリンタ設定］ボタンをクリックします。
③［プリンタ設定］ダイアログの［トナー容量］リストから、交換した ET カートリッジの色と型番を選択します。
④［設定実行］ボタンをクリックします。
⑤［閉じる］ボタンをクリックしてダイアログを閉じます。



- **Macintosh で［トナー容量］を設定するには**

① プリンタが印刷していないことを確認します。
② Apple メニューから［セレクタ］を開いて、［LP-1500C］アイコンを選択して［セットアップ］ボタンをクリックします。
③［プリンタセットアップ］ダイアログで［プリンタ設定］ボタンをクリックします。
④［プリンタ設定］ダイアログの［トナー容量］リストから、交換したET カートリッジの色と型番を選択します。
⑤［設定実行］ボタンをクリックします。
⑥［OK］ボタンをクリックしてダイアログを閉じます。



以上でET カートリッジの交換作業は終了です。

ET カートリッジの強制交換

トナーがなくなった場合は、交換が必要な ET カートリッジは自動的に交換位置に移動しますが、トナーが残っている状態で強制的に交換したいときは（たとえば、大量の印刷に備えて事前に新しい ET カートリッジに交換したい場合などは）、プリンタドライバを操作して ET カートリッジを交換位置まで移動させることができます。必要に応じて以下の手順で強制交換を行ってください。

Windows で ET カートリッジを強制交換するには

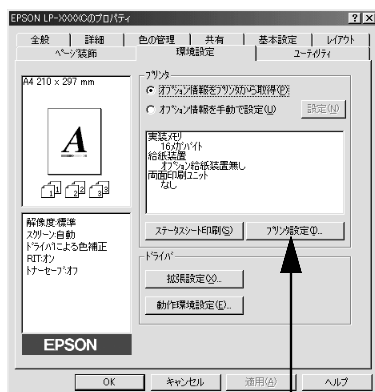


- Windwos NT4.0/2000/XP のアクセス権（ユーザーの属するグループ）が［Users/制限ユーザー］の場合は［プリンタ設定］ダイアログを開くことはできますが、カウンタのリセットはできません。カウンタをリセットする場合は、［Administrators または Power Users/ コンピュータの管理者］で行ってください。
- プリンタを共有している場合は、プリンタを直接接続しているコンピュータから強制交換を実行してください。ネットワーク経由で共有プリンタに接続しているコンピュータからは実行できません。

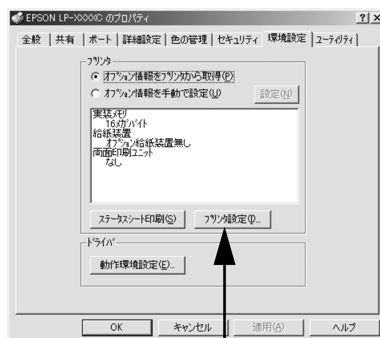
1 プリンタが印刷していないことを確認します。

2 プリンタドライバのプロパティを開き、［環境設定］タブの［プリンタ設定］ボタンをクリックします。

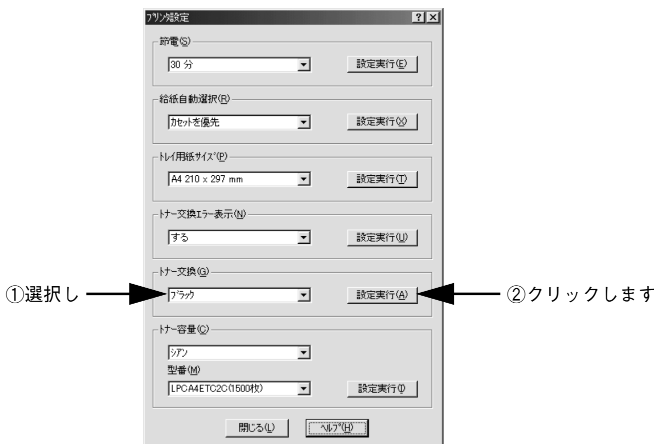
＜例＞Windows 95/98/Me



＜例＞Windows NT4.0/2000/XP



3 ［プリンタ設定］ダイアログの［トナー交換］リストから、交換するETカートリッジの色を選択して、［設定実行］ボタンをクリックします。

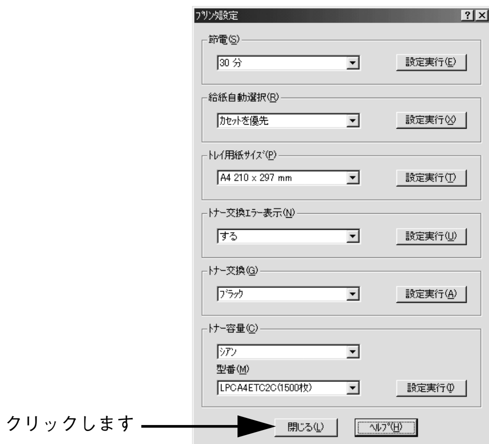


4 交換の確認ダイアログが表示されたら、［はい］をクリックして実行します。



印刷中は、絶対に強制交換を実行しないでください。

5 ［閉じる］ボタンをクリックして、ダイアログを閉じます。



続けて、通常の交換手順に従ってETカートリッジを交換してください。

☞ 本書257ページ「ETカートリッジの交換手順」

Macintosh で ET カートリッジを強制交換するには



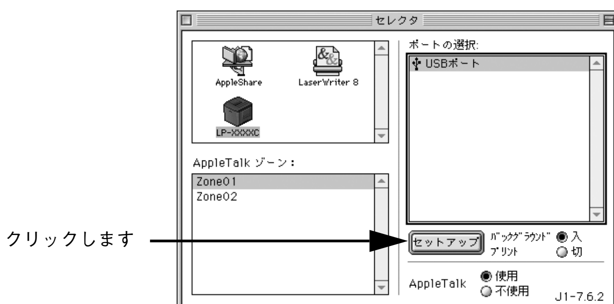
ポイント

プリンタを共有している場合は、プリンタを直接接続している Macintosh から強制交換を実行してください。ネットワーク経由で共有プリンタに接続している Macintosh からは実行できません。

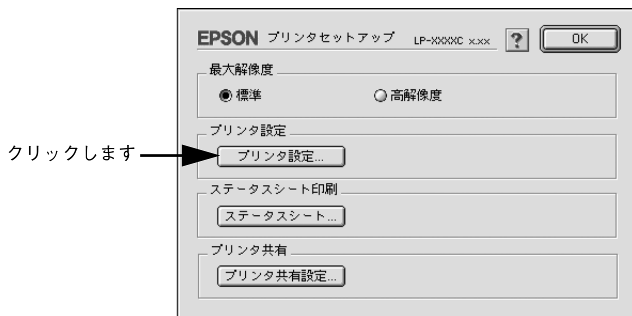
1 プリンタが印刷していないことを確認します。

2 Apple メニューから［セレクタ］を開きます。

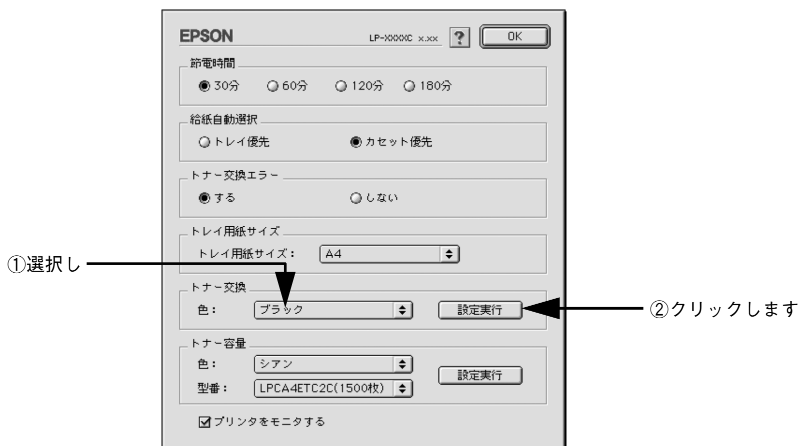
3 プリンタを選択してから［セットアップ］ボタンをクリックして［プリンタセットアップ］ダイアログを開きます。



4 ［プリンタ設定］ボタンをクリックして［プリンタ設定］ダイアログを開きます。



5 ［プリンタ設定］ダイアログの［トナー交換］リストから、交換する ET カートリッジの色を選択して、［設定実行］ボタンをクリックします。

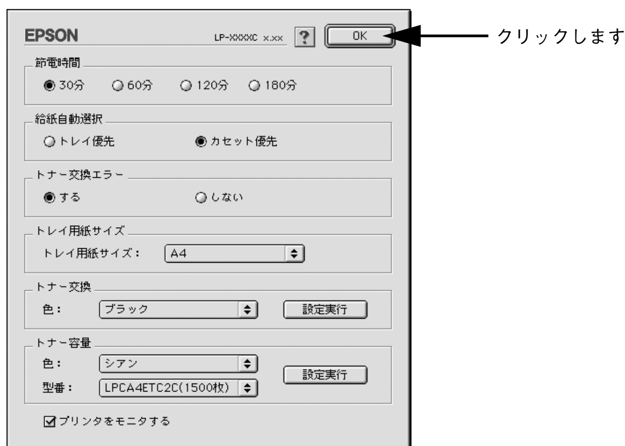


6 交換の確認ダイアログが表示されたら、［OK］をクリックして実行します。



印刷中は、絶対に強制交換を実行しないでください。

7 ［OK］ボタンをクリックして、ダイアログを閉じます。



続けて、通常の交換手順に従って ET カートリッジを交換してください。

本書 257 ページ「ET カートリッジの交換手順」

感光体ユニットの交換

感光体ユニットについて

感光体ユニットは、感光体に電荷を与えて印刷する画像を作る装置です。1 つの感光体ユニットで、通常の使用状況なら約 45,000 ページ* まで印刷できます。本機専用の純正感光体ユニット（型番：LPCA4KUT2）を使用してください。

* モノクロ連続印刷時で約 45,000 ページ（モノクロ間欠印刷時で約 10,000 ページ）、カラー連続印刷時で約 11,250 ページ（カラー間欠印刷時で約 7,500 ページ）まで印刷できます。ただし、使用状況や印刷の仕方により寿命は異なり、厚紙などの特殊紙への印刷を繰り返した場合は寿命が短くなります。


ポイント

- 寿命が残り少なくなると、EPSON プリンタウィンドウ !3 は交換を促すメッセージを表示します。すみやかに新しいユニットと交換することをお勧めします。
- 寿命が尽きると、EPSONプリンタウィンドウ !3は交換を要求するメッセージを表示します。すぐに新しいユニットと交換してください。
  Windows：本書 84 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 とは」
  Macintosh：本書 194 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 とは」

感光体ユニットを交換する前に

感光体ユニットが劣化すると印刷品質が悪くなりますが、ET カートリッジの劣化やトナーの消耗などによっても同様に印刷品質が低下し、以下のような現象が発生します。

- 印刷が薄くかすれる、不鮮明になる。
- 周期的に汚れが発生する。
- 黒点または黒線が印刷される。

そのため、感光体ユニットを交換する前にまず以下の点をチェックし、その上で感光体ユニットを交換してください。

- ETカートリッジのトナー残量をEPSONプリンタウィンドウ!3で確認します。トナーが十分残っているか確かめてください。
  Windows：本書 84 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 とは」
  Macintosh：本書 194 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 とは」

取り扱い上の注意

警告　感光体ユニットは、絶対に火の中に入れないでください。トナーが飛び散って発火し、火傷のおそれがあります。

- 感光体ユニットの感光体（緑色の部分）には絶対手を触れないでください。印刷品質が低下します。また、感光体の表面にものをぶつけたり、こすったりしないでください。感光体の表面に手の脂が付いたり、傷や汚れが付くと良好な印刷ができなくなります。
- 寒い場所から暖かい場所に感光体ユニットを移動した場合は、室温に慣らすため未開封のまま 1 時間以上待ってから作業を行ってください。
- 感光体ユニットを直射日光や強い光に当てないでください。室内の明かりの下でも、感光体ユニットを放置しないでください。印刷品質が著しく低下するおそれがあります。交換時にしばらく置く必要がある場合は、布などで覆い光が当たらないようにしてください。
- 感光体表面に傷が付かないよう、作業は平らな机の上で行ってください。

保管上の注意

- 感光体ユニットは、必ず専用の梱包袋に入れた状態で保管してください。
- 万一、感光体ユニットを使用しないのに梱包袋を開封してしまった場合、感光体ユニットを梱包袋に入れ、開封した箇所をしっかりと閉じて保管してください。
- 直射日光をさけ、以下の環境で保管してください。
  温度範囲：0 〜 35 ℃
  湿度範囲：30 〜 85%
- 高温多湿になる場所には置かないでください。
- CRT ディスプレイの画面、ドライブ装置、フロッピーディスクなど、磁気を帯びたものの近くには置かないでください。
- 幼児の手の届かないところに保管してください。

使用済み消耗品の回収について

資源の有効活用と地球環境保全のために、使用済みの消耗品の回収にご協力ください。使用済み感光体ユニットの回収方法については、新しい感光体ユニットに添付されておりますご案内シートを参照してください。やむを得ず、使用済み感光体ユニットを処分される場合は、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

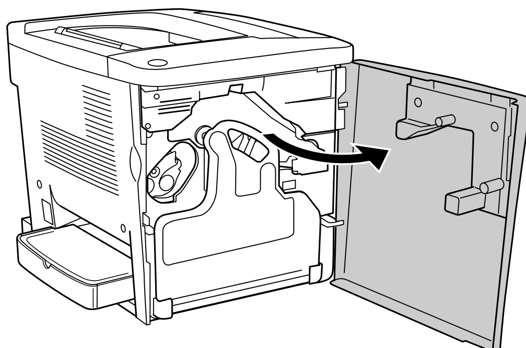
感光体ユニットの交換手順

感光体ユニットの交換は以下の手順に従ってください。

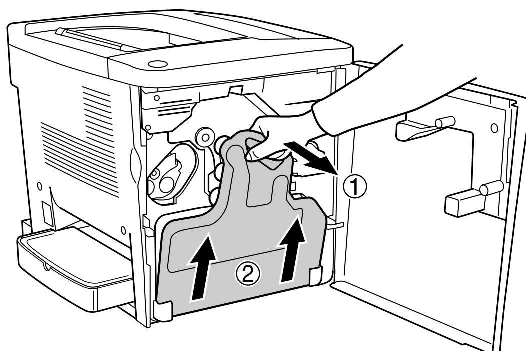


交換作業中は、指定以外のプリンタ内部に触れないようにしてください。火傷または印刷品質の劣化が起こるおそれがあります。

1 プリンタの前カバーを開けます。



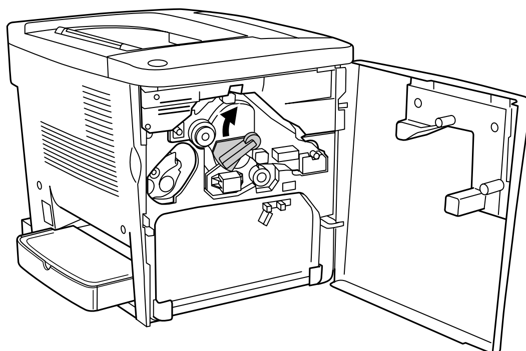
2 廃トナーボックスの上部取っ手部分を手前に倒し、引き上げて廃トナーボックスを取り外します。



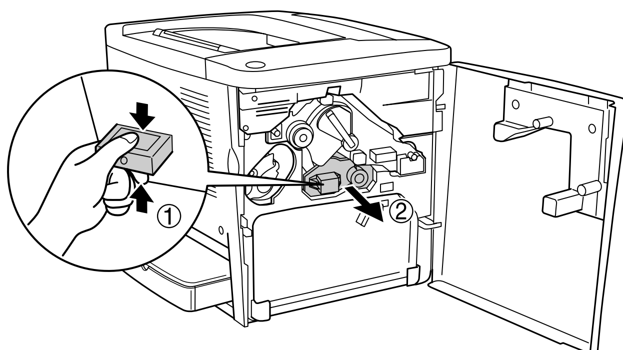


廃トナーボックスから廃トナーがこぼれないように、注意して取り扱ってください。トナーが手や衣服に付いたときは、すぐに水で洗い流してください。トナーは人体に無害ですが、手や衣服に付いたまま放置すると落ちにくくなります。

3 ロックレバーを上げて、ロックを解除します。



4 感光体ユニットの先端（緑色の部分）を下図のようにつまんでロックを解除してから引き出します。





感光体ユニットは、絶対に火の中に入れないでください。トナーが飛び散って発火し、火傷のおそれがあります。

5 新しい感光体ユニットを梱包箱から取り出します。

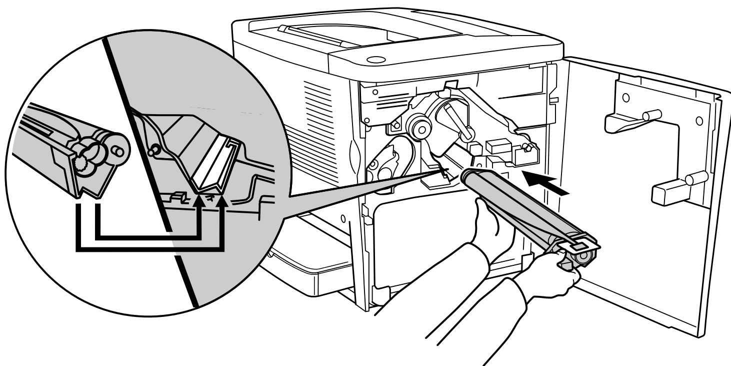


- 感光体ユニットを強い光に当てたり、日の当たる場所に放置しないでください。印刷品質が著しく低下するおそれがあります。交換時にしばらく置く必要がある場合は、布などで覆い光が当たらないようにしてください。
- 感光体ユニットの感光体（緑色の部分）には絶対手を触れないでください。印刷品質が低下します。また、感光体の表面にものをぶつけたり、こすったりしないでください。感光体の表面に手の脂が付いたり、傷や汚れが付くと良好な印刷ができなくなります。
- 感光体ユニットは、注意して取り扱ってください。感光体ユニットが劣化すると印刷品質が悪くなります
本書 269 ページ「取り扱い上の注意」

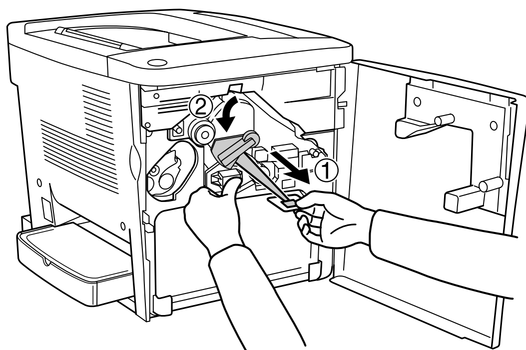


使用済みの感光体ユニットは、梱包袋（箱）に入れて、回収にご協力ください。
本書 269 ページ「使用済み消耗品の回収について」

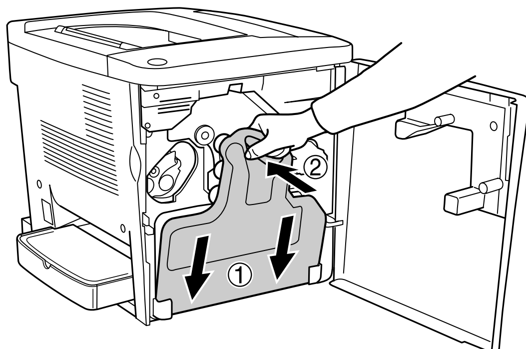
6 感光体ユニットの底部とプリンタ本体側の受け部の形状を下図のように合わせて、感光体ユニットを取り付け位置の奥までカチッと音がするまでしっかりと差し込みます。



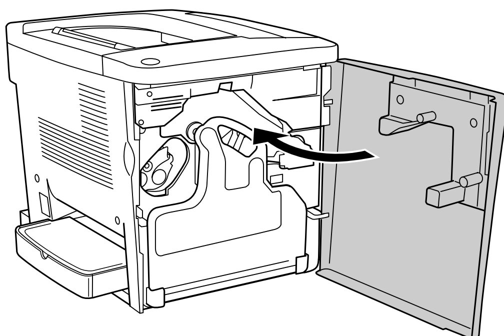
7 黄色のタグを引いてシールドテープを引き抜いてから、ロックレバーを下げて固定します。



8 廃トナーボックスの下側をプリンタに取り付け、上側を押さえて取り付けます。



9 プリンタの前カバーをしっかり閉じます。



以上で、交換作業は終了です。

廃トナーボックスの交換

廃トナーボックスについて

廃トナーボックスは、印刷時に出る余分なトナーを回収するボックスです。1 つの廃トナーボックスで、通常の使用状況なら約 25,000 ページ* まで印刷できます。本機専用の廃トナーボックス（型番：LPCA4HTB2 ）を使用してください。

* モノクロ印刷時で約 25,000 ページ、カラー印刷時で約 6,250 ページ（A4 サイズの紙に面積比で約 5% の印刷を行った場合）まで使用できます。ただし、使用状況により廃トナーの回収状況は異なります。


ポイント

- 空き容量が残り少なくなると、EPSON プリンタウィンドウ !3 は交換を促すメッセージを表示します。すみやかに新しい廃トナーボックスと交換することをお勧めします。
- 廃トナーでいっぱいになると、EPSONプリンタウィンドウ !3は交換を要求するメッセージを表示します。すぐに新しい廃トナーボックスと交換してください。

Windows：本書 84 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 とは」
Macintosh：本書 194 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 とは」

取り扱い上の注意


警告　廃トナーボックスは、絶対に火の中に入れないでください。トナーが飛び散って発火し、火傷のおそれがあります。

- 廃トナーボックスに入っているトナーは再利用しないでください。
- 廃トナーボックスに回収した廃トナーがこぼれないように、必ず付属のキャップで開いている穴を塞いでください。
- 廃トナーボックスに回収した廃トナーは再利用できません。

保管上の注意

- 直射日光をさけ、以下の環境で保管してください。
  温度範囲：0 ～ 35 ℃
  湿度範囲：30 ～ 85%
- 高温多湿になる場所には置かないでください。
- 幼児の手の届かないところに保管してください。

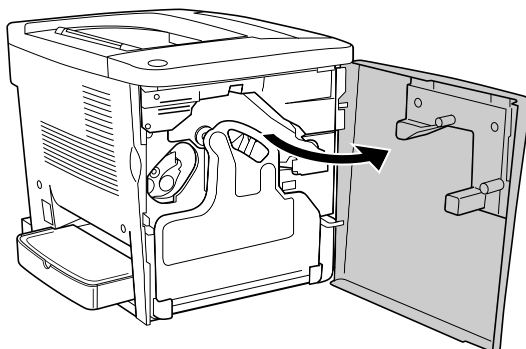
廃トナーボックスの交換手順

廃トナーボックスの交換は以下の手順に従ってください。

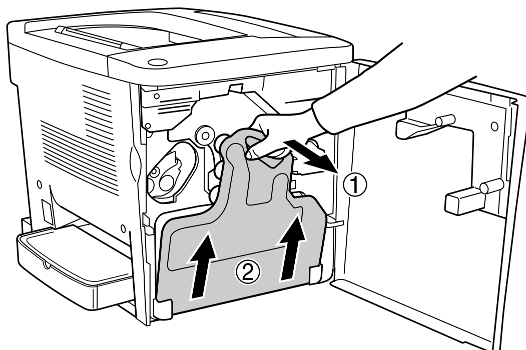


交換作業中は、指定以外のプリンタ内部に触れないようにしてください。火傷または印刷品質の劣化が起こるおそれがあります。

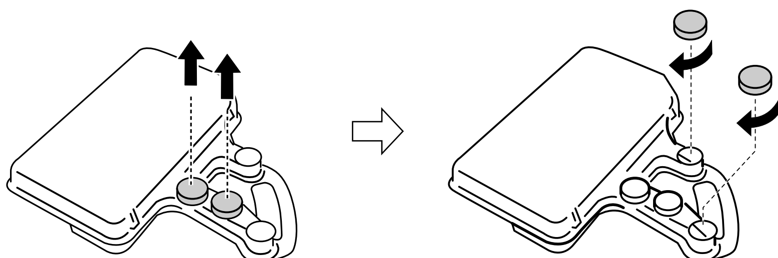
1. プリンタの前カバーを開けます。



2. 廃トナーボックスの上部取っ手部分を手前に倒し、引き上げて廃トナーボックスを取り外します。



3 廃トナーボックスのキャップ（2個）を取り外して、開いている穴（2箇所）に取り付けます。





廃トナーボックスは、絶対に火の中に入れないでください。トナーが飛び散って発火し、火傷のおそれがあります。



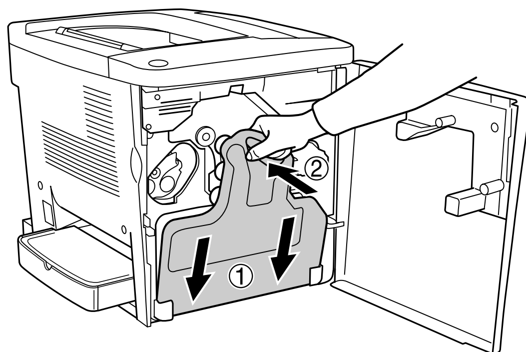
- 廃トナーボックスから廃トナーがこぼれないように、注意して取り扱ってください。トナーが手や衣服に付いたときは、すぐに水で洗い流してください。トナーは人体に無害ですが、手や衣服に付いたまま放置すると落ちにくくなります。
- 廃トナーボックスに回収した廃トナーがこぼれないように、必ず付属のキャップで開いている穴を塞いでください。
- 廃トナーボックスに回収されている廃トナーは再利用できません。



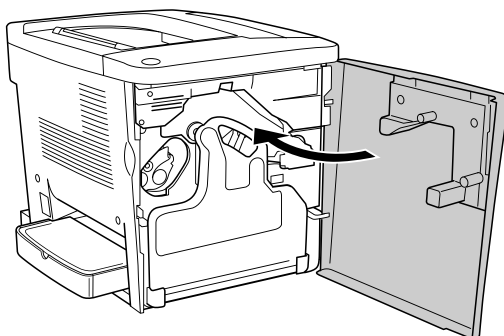
使用済み廃トナーボックスを処分される場合は、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

4 新しい廃トナーボックスを梱包箱から取り出します。

5 廃トナーボックスの下側をプリンタに取り付け、上側を押さえて取り付けます。



6 プリンタの前カバーをしっかり閉じます。



以上で、交換作業は終了です。

転写ベルトユニットの交換

転写ベルトユニットについて

転写ベルトユニットは、印刷する画像に合わせてトナーを用紙に転写する装置です。1つの転写ベルトユニットで、通常の使用状況なら約 210,000 ページ* まで印刷できます。本機専用の純正転写ベルトユニット（型番：LPCA4TBU2 ）を使用してください。

* モノクロ連続印刷時で約 210,000 ページ（モノクロ間欠印刷時で約 70,000 ページ）、カラー連続印刷時で約 52,500 ページ（カラー間欠印刷時で約 35,000 ページ）まで印刷できます。ただし、使用状況や印刷の仕方により寿命は異なり、厚紙などの特殊紙への印刷を繰り返した場合は寿命が短くなります。



ポイント

- 寿命が残り少なくなると、EPSON プリンタウィンドウ !3 は交換を促すメッセージを表示します。すみやかに新しいユニットと交換することをお勧めします。
- 寿命が切れると、EPSONプリンタウィンドウ !3は交換を要求するメッセージを表示します。すぐに新しいユニットと交換してください。
  Windows：本書 84 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 とは」
  Macintosh：本書 194 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 とは」

転写ベルトユニットは保守サービス交換部品です。交換が必要になりましたら、本機をお買いあげいただいた販売店または保守サービス実施店にご連絡ください。また、お客様による交換も可能ですので、交換方法については以降の交換手順を参照してください。

取り扱い上の注意

- 転写ベルトユニットのベルト表面には絶対手を触れないでください。印刷品質が低下します。また、表面にものをぶつけたり、こすったりしないでください。表面に手の脂が付いたり、傷や汚れが付くと良好な印刷ができなくなります。
- 寒い場所から暖かい場所に転写ベルトユニットを移動した場合は、室温に慣らすため未開封のまま 1 時間以上待ってから作業を行ってください。
- 表面に傷が付かないよう、作業は平らな机の上で行ってください。

保管上の注意

- 転写ベルトユニットは、必ず専用の梱包袋に入れた状態で保管してください。
- 直射日光をさけ、以下の環境で保管してください。
  温度範囲：0 ～ 35 ℃
  湿度範囲：30 ～ 85%
- 高温多湿になる場所には置かないでください。
- 幼児の手の届かないところに保管してください。

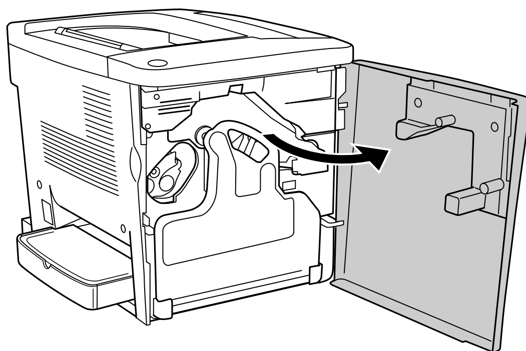
転写ベルトユニットの交換手順

転写ベルトユニットの交換は以下の手順に従ってください。交換作業にはプラスドライバまたはコインが必要です。

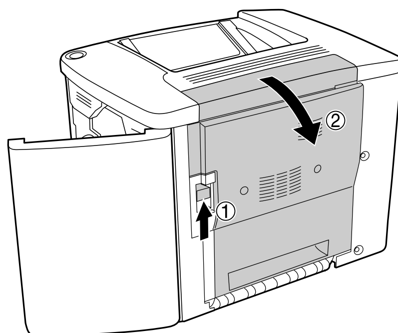


交換作業中は、指定以外のプリンタ内部に触れないようにしてください。火傷または印刷品質の劣化が起こるおそれがあります。

1 プリンタの前カバーを開けます。



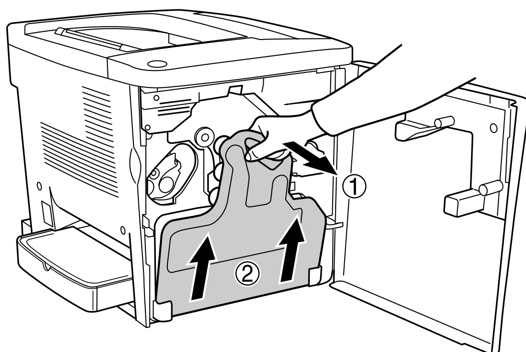
2 プリンタの右カバーを開けます。





- 転写ベルトユニットを交換するには、必ずプリンタの右カバーを開けてください。閉じたまま交換すると、転写ベルトユニットが破損するおそれがあります。
- プリンタ内部のローラやギアには手を触れないでください。故障の原因になります。

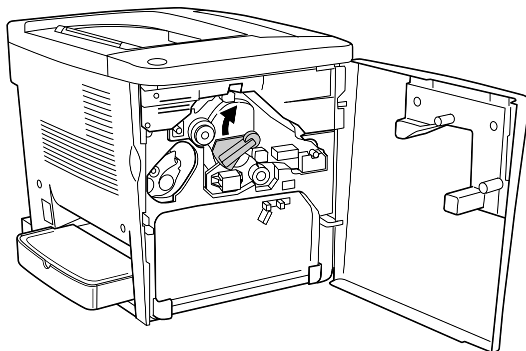
3 廃トナーボックスの上部取っ手部分を手前に倒し、引き上げて廃トナーボックスを取り外します。



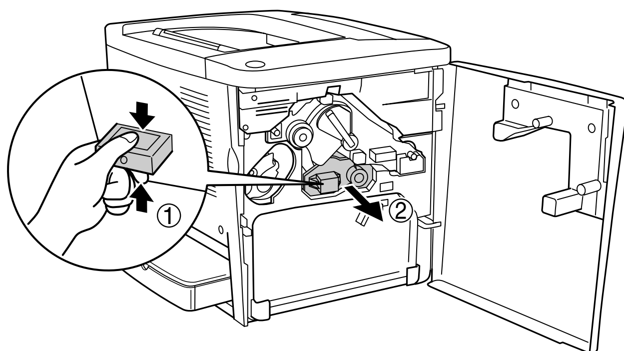


廃トナーボックスから廃トナーがこぼれないように、注意して取り扱ってください。トナーが手や衣服に付いたときは、すぐに水で洗い流してください。トナーは人体に無害ですが、手や衣服に付いたまま放置すると落ちにくくなります。

4 ロックレバーを上げて、ロックを解除します。



5 感光体ユニットの先端（緑色の部分）を下図のようにつまんでロックを解除してから引き出します。

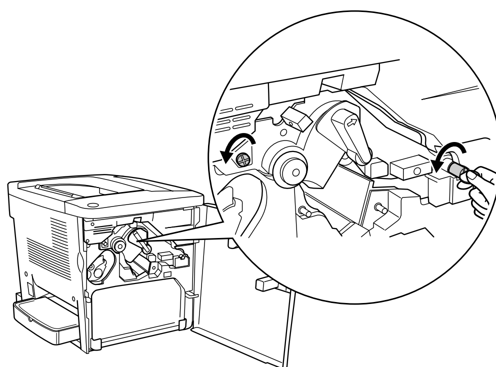




- 感光体ユニットを強い光に当てたり、日の当たる場所に放置しないでください。印刷品質が著しく低下するおそれがあります。交換時にしばらく置く必要がある場合は、布などで覆い光が当たらないようにしてください。
- 感光体ユニットの感光体（緑色の部分）には絶対手を触れないでください。印刷品質が低下します。また、感光体の表面にものをぶつけたり、こすったりしないでください。感光体の表面に手の脂が付いたり、傷や汚れが付くと良好な印刷ができなくなります。
- 感光体ユニットは、注意して取り扱ってください。感光体ユニットが劣化すると印刷品質が悪くなります

本書 269 ページ「取り扱い上の注意」

6 ドライバまたはコインなどで、転写ベルトユニットのネジ 2 個を取り外します。

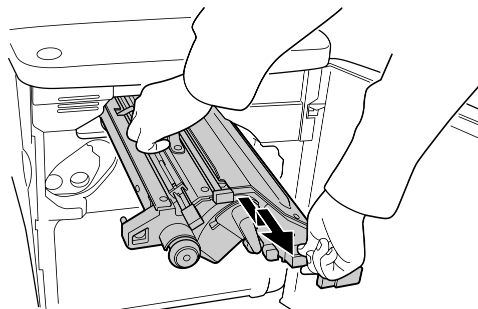




ネジをプリンタ内部へ落としたり紛失しないようにしてください。あとで転写ベルトユニットを固定する際に使用します。

7 **転写ベルトユニットを引き出して、取り外します。**

転写ベルトユニット先端のノブを右手で持って転写ベルトユニットを引き出し、上部の取っ手を左手で持って少し持ち上げるようにして引き抜きます。





使用済み転写ベルトユニットを処分される場合は、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

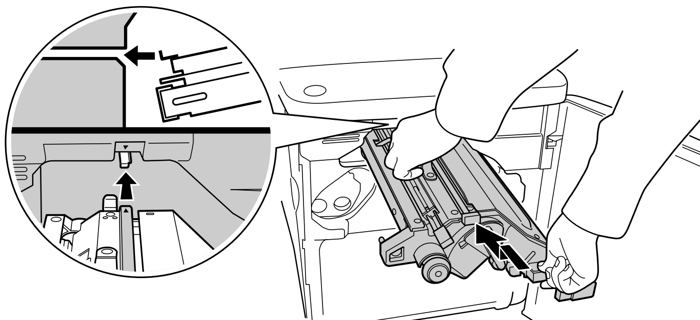
8 **新しい転写ベルトユニットを梱包箱から取り出します。**



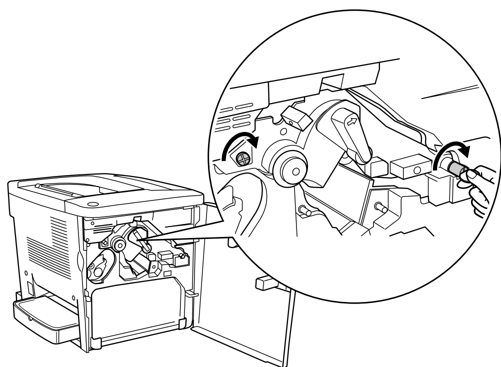
転写ベルトユニットのベルト表面には絶対手を触れないでください。印刷品質が低下します。また、表面にものをぶつけたり、こすったりしないでください。表面に手の脂が付いたり、傷や汚れが付くと良好な印刷ができなくなります。

9 **矢印を合わせて転写ベルトユニットを取り付け位置の奥までしっかりと差し込みます。**

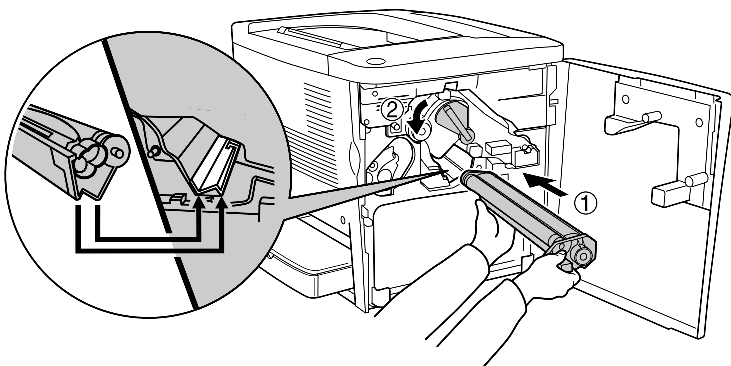
転写ベルトユニットの上部の取っ手を左手で持ち、手前側を右手で少し持ち上げるようにして取り付け位置に差し込みます。そして、手前側を少し下げるようにしながら、奥へ押し込みます。



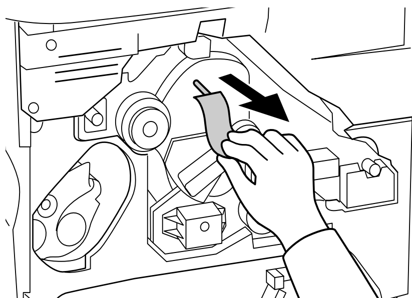
10 ドライバまたはコインなどで、6 で外した転写ベルトユニットのネジ２個を締めて固定します。



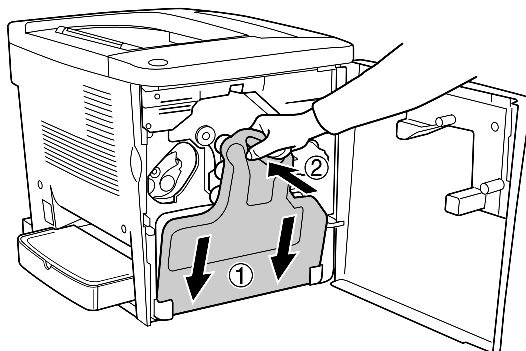
11 感光体ユニットの底部とプリンタ本体側の受け部の形状を下図のように合わせて、感光体ユニットを取り付け位置の奥までカチッと音がするまでしっかりと差し込み、ロックレバーを下げて固定します。



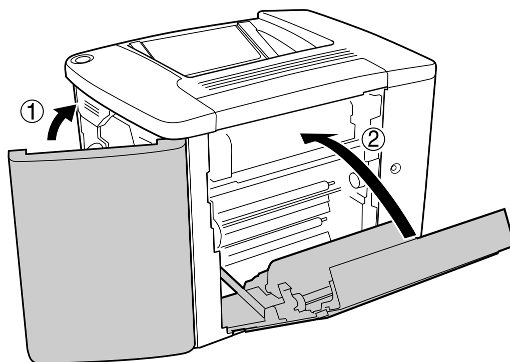
12 転写ベルトユニットの中央に出ているタグ（保護材）を引き抜きます。



13 廃トナーボックスの下側をプリンタに取り付け、上側を押さえて取り付けます。



14 プリンタの前カバーと右カバーをしっかり閉じます。



 ポイント	オプションの増設カセットユニットを装着している場合は、増設カセットユニットの右カバーも閉じてください。

以上で、交換作業は終了です。

プリンタの清掃

プリンタの清掃

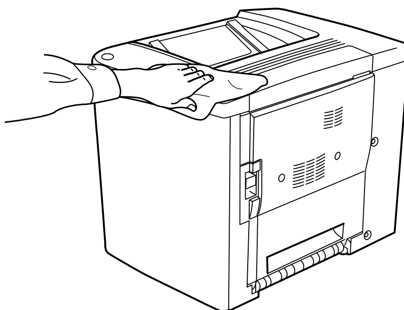
プリンタを良好な状態で使っていただくために、ときどき次のようなお手入れをしてください。

⚠注意 プリンタの清掃は、電源をオフ（〇）にしてコンセントから電源ケーブルを抜いた後で行ってください。感電の原因となるおそれがあります。



- ベンジン、シンナー、アルコールなど、揮発性の薬品を使用しないでください。プリンタのケースが変色、変形するおそれがあります。
- プリンタを水に濡らさないよう注意して清掃してください。
- 固いブラシや布などでケースを拭かないでください。ケースに傷が付くおそれがあります。

プリンタの表面が汚れたときは、水を含ませて固くしぼった布で、ていねいに拭いてください。





用紙トレイ（オプションの用紙カセット）や排紙トレイを拭いた場合、乾いたことを確認してから使用してください。

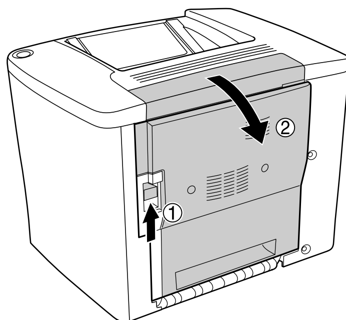
給紙ローラのクリーニング

用紙が頻繁に詰まる場合や正常に給紙できない場合は、プリンタ内部の給紙ローラをクリーニングしてください。



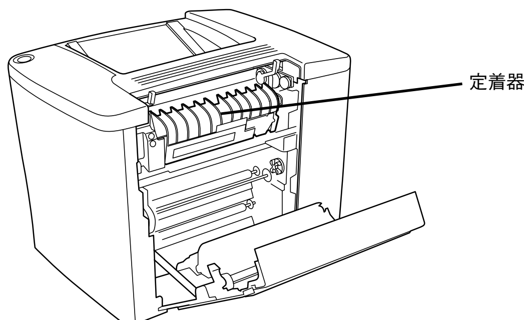
- ベンジン、シンナー、アルコールなど、揮発性の薬品を使用しないでください。変形、変色のおそれがあります。
- プリンタ内部を水で濡らさないように注意してください。
- 固いブラシや布などでは拭かないでください。傷が付くおそれがあります。

1 プリンタの右カバーの解除レバーを持ち上げて、右カバーを開けます。



⚠注意

- カバーを開けたとき、定着器部分に手を触れないようご注意ください。内部は約 180 度と高温のため火傷の原因になります。

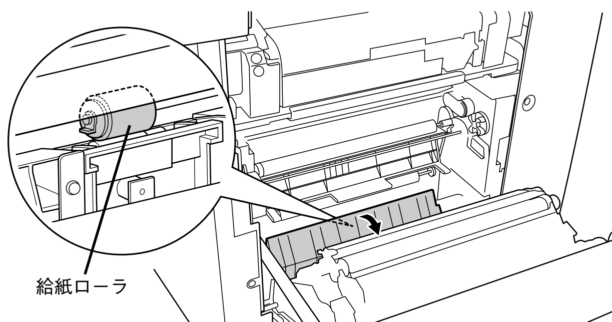


- プリンタ内部に手を入れるときは十分に注意してください。けがをするおそれがあります。

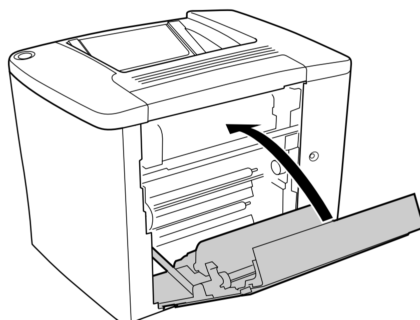


プリンタ内部のローラやギアには手を触れないでください。故障の原因になります。

2 図のカバーを開け、内部にある給紙ローラのゴム部分を乾いた布でていねいに拭きます。



3 プリンタの右カバーをしっかりと閉じます。



以上で給紙ローラのクリーニングは終了です。

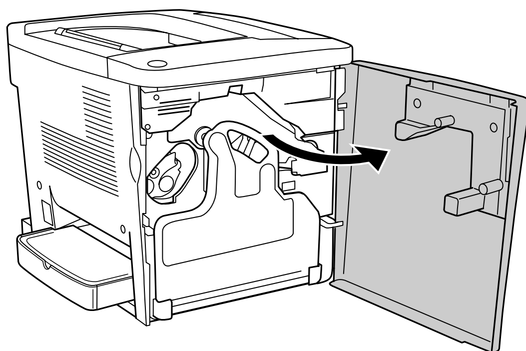
プリンタヘッドフィルタのクリーニング

プリンタ内部のプリンタヘッドフィルタのガラス面にトナーが落ちて付着していると、白く筋状に印刷が抜けてきれいに印刷できないことがあります。プリンタヘッドフィルタをクリーニングしてください。

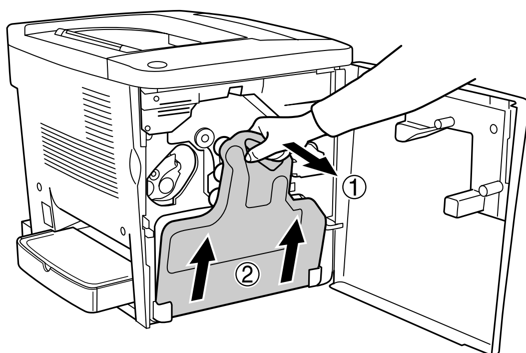


- ベンジン、シンナー、アルコールなど、揮発性の薬品を使用しないでください。変形、変色のおそれがあります。
- プリンタ内部を水で濡らさないように注意してください。
- 固いブラシや布などでは拭かないでください。傷が付くおそれがあります。

1 **プリンタの前カバーを開けます。**



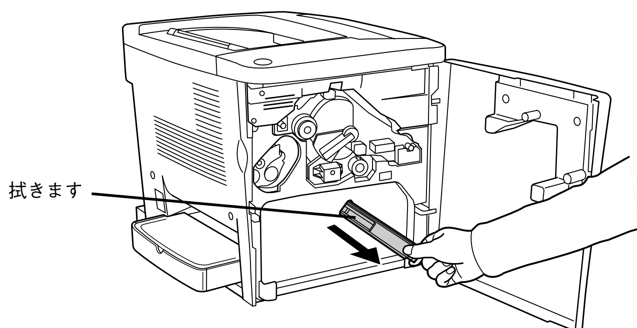
2 **廃トナーボックスの上部取っ手部分を手前に倒し、引き上げて廃トナーボックスを取り外します。**





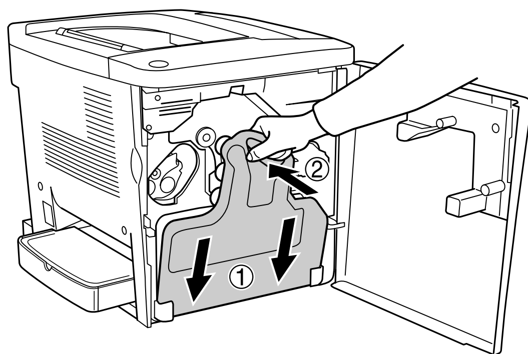
廃トナーボックスから廃トナーがこぼれないように、注意して取り扱ってください。トナーが手や衣服に付いたときは、すぐに水で洗い流してください。トナーは人体に無害ですが、手や衣服に付いたまま放置すると落ちにくくなります。

3 **プリンタヘッドフィルタを引き出して、乾いた布でていねいに拭きます。**
こぼれたトナーでガラス面が汚れている場合は、トナーを拭き取ります。

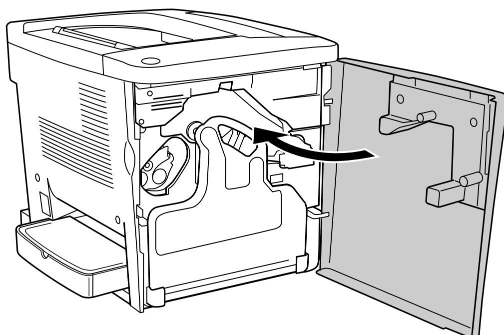


4 **プリンタヘッドフィルタをゆっくり押し込んで、元に戻します。**

5 **廃トナーボックスの下側をプリンタに取り付け、上側を押さえて取り付けます。**



6 **プリンタの前カバーをしっかり閉じます。**



以上で、プリンタヘッドフィルタのクリーニングは終了です。

プリンタの輸送と移動

プリンタを運搬したり、移動するときには、以下のように作業を行ってください。

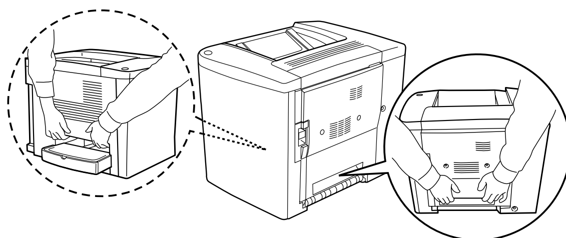
近くへの移動

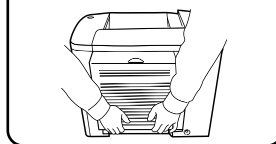
はじめに本機の電源をオフ（○）にして、以下の付属品を取り外してください。振動を与えないように水平にていねいに移動してください。

- 電源ケーブル
- インターフェイスケーブル
- オプションの増設カセットユニット（装着時のみ）
  オプションの増設カセットユニットは、プリンタから取り外して移動することをお勧めします。もしどうしても一緒に移動する場合は、増設カセットユニットの底から全体を持ち上げてください（プリンタを持ち上げてユニットをぶら下げないでください）。また、斜めに傾けないよう十分に注意して水平に運んでください。

⚠注意

- 本製品を持ち上げる際は必ず2人で作業を行ってください。
  本製品の重量は、消耗品を含め約29kgです。プリンタ本体を持ち上げる場合は、必ずプリンタ両側下のくぼみの部分に手をかけて持ち上げてください。他の部分を持って持ち上げると、プリンタの落下によるけがの原因となります。またプリンタ本体に無理な力がかかるため、プリンタの損傷の原因となります。





- プリンタ本体を持ち上げる場合、十分にひざを曲げるなどして無理のない姿勢で作業を行ってください。無理な姿勢で持ち上げると、けがやプリンタの破損の原因となります。
- プリンタ本体を移動する場合は、前後左右に10度以上傾けないでください。転倒などによる事故の原因となります。
- プリンタ本体をキャスター（車輪）付きの台などに載せる場合、必ずキャスターを固定して台が動かないようにしてから作業を行ってください。作業中に台が思わぬ方向に動くと、けがやプリンタの損傷の原因となります。

運搬するときは

本機を輸送する場合、取り付けてあるすべての付属品およびオプション品（増設メモリを除く）を外し、震動や衝撃からプリンタ本体を守るために本製品の購入時に使用されていた保護材や梱包材を使用して、購入時と同じ状態に梱包する必要があります。本プリンタを輸送する場合は、本機をお買い上げの販売店にご相談ください。



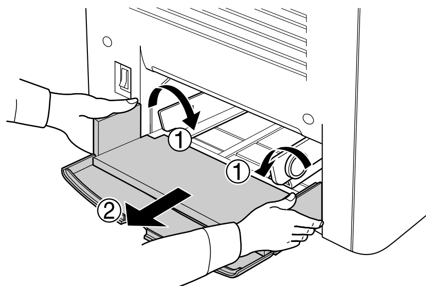
購入時にプリンタ内部に取り付けられていた保護材も必ず取り付けてください。

用紙トレイの取り外し

用紙トレイは、カバーを外してから、下図のように引き抜きます。

① 用紙トレイ側面（左右）を図のように内側に少し押さえます。

② そのまま用紙トレイを手前に引きます。



困ったときは

ここでは、困ったときの対処方法について説明しています。

印刷実行時のトラブル

プリンタの電源が入らない

電源ケーブルが抜けていたり、ゆるんでいませんか？

電源ケーブルをプリンタとコンセントに、確実に差し込んでください。

コンセントに電源は来ていますか？

コンセントがスイッチ付きの場合はスイッチをオンにします。ほかの電化製品をそのコンセントに差し込んで、動作するかどうか確かめてください。

正しい電圧（AC100V、15A）のコンセントに接続していますか？

コンセントの電圧を確かめて、正しい電圧で使用してください。
コンピュータの背面などに設けられているコンセントには接続しないでください。


ポイント

以上の3点を確認の上で［電源］スイッチをオン（I）にしても電源が入らない場合は、保守契約店（保守契約されている場合）または販売店へご相談ください。

ブレーカが動作してしまう

ブレーカの定格は十分ですか？

ブレーカの定格が十分であるにも関わらずブレーカが動作してしまう場合は、他の機器を別の配線に接続してみてください。
または本機用に専用配線を用意してください。

印刷しない

インターフェイスケーブルが外れていませんか？

プリンタ側のコネクタとコンピュータ側のコネクタにインターフェイスケーブルがしっかり接続されているか確認してください。また、ケーブルが断線していないか、変に曲がっていないかを確認してください。予備のケーブルをお持ちの方は、差し替えてご確認ください。

インターフェイスケーブルがコンピュータや本プリンタの仕様に合っていますか？

インターフェイスケーブルの型番・仕様を確認し、コンピュータの種類やプリンタの仕様に合ったケーブルか確認します。
☞ スタートアップガイド15ページ「コンピュータと接続する」

プリンタがデータを処理できません。

扱うデータ容量が大きすぎるなどの原因でプリンタ側でデータの処理ができません。プリンタにメモリを増設するか、解像度を下げて印刷してください。

プリンタが印刷できない状態です。

- 以下のページを参照して、プリンタのランプの状態を確認します。パネルのエラーランプ（赤）が点滅または点灯している場合はエラーが発生しています。エラーを解除してください。
  ☞ 本書 301 ページ「プリンタのランプが点灯または点滅していませんか？」
- または、画面上で EPSON プリンタウィンドウ!3 の状態を確認し、画面の説明に従って対処してください。
  ☞ Windows：本書 84 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 とは」
  ☞ Macintosh：本書 194 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 とは」

コンピュータが画像を処理できません。

コンピュータの CPU やメモリによっては画像データを処理できない場合があります。解像度を下げて印刷するか、メモリを増設してください。

EPSON プリンタウィンドウ !3 からプリンタの状態をモニタすることができますか？

通信機能が正常に機能していないと印刷できません。

- プリンタの状態（ステータス）が画面に表示できることを確認してください。
  ☞ Windows：本書 88 ページ「プリンタの状態を確かめるには」
  ☞ Macintosh：本書 196 ページ「プリンタの状態を確かめるには」
- ステータスが表示できない場合は、以下のページを参照してください。
  ☞ 本書 299 ページ「ステータス（状態）が画面表示できない」

ネットワーク上の設定は正しいですか？

ネットワーク上のほかのコンピュータから印刷できるか確認してください。ほかのコンピュータから印刷できる場合は、プリンタまたはコンピュータ本体に問題があると考えられます。接続状態やプリンタドライバの設定、コンピュータの設定などを確認してください。印刷できない場合は、ネットワークの設定に問題があると考えられます。ネットワーク管理者にご相談ください。オプションの I/F カードの取扱説明書を参照して、ネットワークの設定を確認してください。

プリンタドライバの［印刷品質］/［解像度］の設定が［高品質］になっていませんか？

設定が［高品質］の場合、解像度 600dpi で印刷します。この設定で印刷するとプリンタのメモリが足りなくなり、メモリ関連のエラーが発生する場合があります。設定を［標準］にすると印刷できる場合があります。

Windows：本書 43 ページ「［基本設定］ダイアログ」
Windows：本書 49 ページ「［詳細設定］ダイアログ」
Macintosh：本書 158 ページ「［プリント］ダイアログ」
Macintosh：本書 163 ページ「［詳細設定］ダイアログ」

LP-1500C 用のプリンタドライバが正しくインストールされていますか？

Windows の場合

LP-1500C のプリンタドライバが、［コントロールパネル］の［プリンタ］/［プリンタと FAX］フォルダにアイコンとして登録されていますか？ また、アプリケーションソフトによっては、印刷時に印刷するプリンタを選択できない場合もありますので、以下の手順に従って通常使うプリンタとして選ばれているか確認してください。

1. **Windows の［スタート］メニューから［プリンタ］/［プリンタと FAX］を開きます。**
   - **Windows 95/98/Me/NT4.0/2000 の場合**
     ［スタート］ボタンをクリックして［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。
   - **Windows XP の場合**

   ①［スタート］ボタンをクリックして［コントロールパネル］をクリックします。
   ［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、2 へ進みます。
   ②［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。
   ③［プリンタと FAX］をクリックします。

2 ［通常使うプリンタに設定］になっているか確認します。

- **Windows 95/98/Me/NT4.0/2000 の場合**

  使用するプリンタ名（LP-1500C）を選択し、［ファイル］メニューの［通常使うプリンタに設定］が選択されているか確認します。

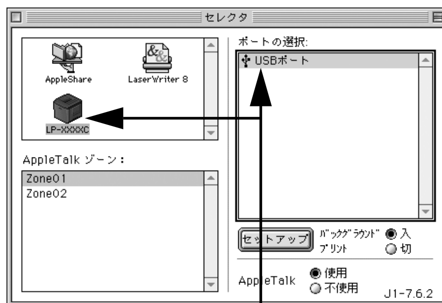


- **Windows XP の場合**

  ［プリンタと FAX］内のプリンタアイコンにチェックマークが付いていれば、［通常使うプリンタに設定］の状態になっています。プリンタアイコンにチェックマークが付いていない場合は、使用するプリンタ名（LP-1500C）を右クリックし、表示されたメニューで［通常使うプリンタに設定］を選択します。

Macintosh の場合

LP-1500C 用の Macintosh プリンタドライバがセレクタ画面で正しく選択されているか、選択したプリンタが実際に接続したプリンタと合っているか確認してください。



Windows プリントマネージャのステータスが「一時停止」になっていませんか？

印刷途中で印刷を中断したり、何らかのトラブルで印刷停止した場合、プリントマネージャのステータスが「一時停止」になります。このままの状態で印刷を実行しても印刷されません。

Windows 95/98/Me の場合

① [スタート] ボタンをクリックし、[設定] にカーソルを合わせ [プリンタ] をクリックします。
② 使用するプリンタ名をクリックして［ファイル］メニュー内の［一時停止］または [プリンタをオフラインにする] にチェックが付いている場合はクリックして外します。



Windows NT4.0/2000/XP の場合

1 Windows の［スタート］メニューから［プリンタ］/［プリンタと FAX］を開きます。

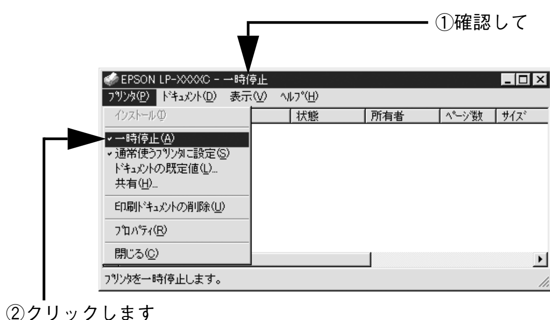
- **Windows NT4.0/2000 の場合**

  ［スタート］ボタンをクリックして［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。

- **Windows XP の場合**

① [スタート] ボタンをクリックして [コントロールパネル] をクリックします。
［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、**2** へ進みます。
② [プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。
③ [プリンタと FAX］をクリックします。

2 LP-1500C のアイコンをダブルクリックし、プリンタが一時停止状態の場合は［プリンタ］メニューの［一時停止］をクリックしてチェックを外します。



Windows プリンタドライバの［接続ポート］の設定が合っていません。

プリンタドライバの［接続ポート］の設定を実際に接続しているポートに合わせてください。

本書 124 ページ「プリンタ接続先の変更」

ステータス（状態）が画面表示できない

DMA 転送の設定になっていませんか？

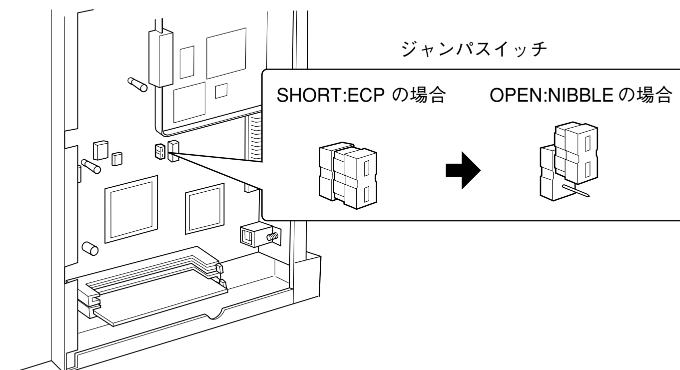
DMA 転送の設定になっているとステータスを画面表示（モニタ）することができないことがあります。この場合は、コンピュータのBIOS 設定を「ECP」（またはENHANCED）以外にして、DMA 転送の設定を解除してください。

本書 130 ページ「印刷を高速化するには」

詳細はお使いのコンピュータの取扱説明書を参照してください。

コンピュータの ECP 機能は正常に機能していますか？

ホスト側の ECP 機能に不具合があるとステータスを画面表示（モニタ）することができません。プリンタのジャンパスイッチの設定を変更することにより、ステータス情報が取得できることもありますので確認してください。プリンタ本体にあるジャンパスイッチの設定を ECP（初期設定）から NIBBLE（ニブル）の設定に変更してください。





ポイント

通常は ECP の設定でお使いください。

Windows の双方向通信機能の設定を解除しませんでしたか？

本機は双方向通信機能が有効になっていないと使用できません。

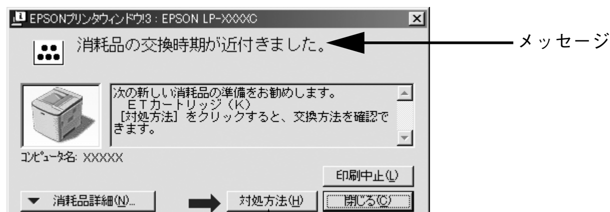
- Windows 95/98/Me をお使いの場合、プリンタドライバの［詳細］ダイアログで［スプールの設定］ボタンをクリックして［プリンタスプールの設定］ダイアログを開き、［このプリンタで双方向通信機能をサポートする］を選択してください。
- Windows NT4.0/2000/XP の場合、プリンタドライバの［ポート］ダイアログで［双方向サポートを有効にする］が選択されているか確認してください。

プリンタがエラー状態になっている

コンピュータ画面上にワーニングメッセージやエラーメッセージが表示されていませんか？

問題が発生すると、コンピュータの画面上にポップアップウィンドウが開き、ワーニングメッセージやエラーメッセージが表示されます。メッセージが表示されている場合は、その内容を一読して必要な手段を講じてください。

＜例＞ Windowsの EPSON プリンタウィンドウ !3 の場合



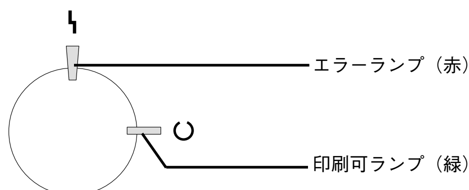
メモリが正しく装着されていますか？

メモリが正しく装着されていないと、操作パネルの印刷可ランプ（緑）とエラーランプ（赤）が同時に点滅して、印刷できません。メモリの装着状態を確認してください。

☞ 本書 236 ページ「増設メモリの取り付け」

プリンタのランプが点灯または点滅していませんか？

ランプが点灯または点滅していたら、次の説明を参照して適切な処置をしてください。



点灯　消灯　点滅　ゆっくりとした点滅

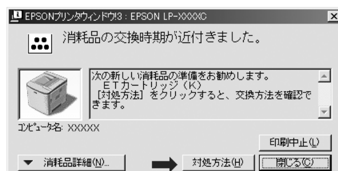
	エラーランプ：消灯 印刷可ランプ：消灯 電源オフ		エラーランプ：消灯 印刷可ランプ：点灯 印刷可能、印刷中、節電中、印刷可能なワーニング（消耗品の寿命ワーニングを除く）
	エラーランプ：消灯 印刷可ランプ：ゆっくりとした点滅 消耗品の交換時期が間近です。消耗品を準備してください。		エラーランプ：消灯 印刷可ランプ：点滅 ウォーミングアップ、データ受信中のため、しばらくお待ちください。
	エラーランプ：点滅 印刷可ランプ：点灯 消耗品交換、用紙交換、メモリ不足、EPSON プリンタウィンドウ !3 で解除可能なエラーが発生しています。必要な処置を施してください。		エラーランプ：点灯 印刷可ランプ：点灯 用紙なし、用紙詰まり、両面用紙サイズエラーが発生しているか、プリンタのカバーが開いています。必要な処置を施してください。
同時に点滅	エラーランプ：点滅（同時） 印刷可ランプ：点滅（同時） RAM チェックエラーまたは RAM 未装着です。電源をオフにして、メモリを確認してください。		エラーランプ：点灯 印刷可ランプ：点滅 プロトコルエラーです（オプションのインターフェイスカード装着時）。電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。
	エラーランプ：点灯 印刷可ランプ：消灯 サービスコールエラー 電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。	交互に点滅	エラーランプ：点滅（交互） 印刷可ランプ：点滅（交互） サービスコールエラー 電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。

エラーを解除できず、正常な状態に復帰できない場合は、保守契約店（保守契約をされている場合）または販売店、またはエプソンの修理窓口まで連絡ください。

本書 354 ページ「保守サービスのご案内」


ポイント

ランプの表示だけでは、プリンタの状態を判断することはできません。コンピュータの画面上で EPSON プリンタウィンドウ!3 を起動して確認してください。




注意

印刷中にプリンタの電源をオフにしたりインターフェイスケーブルが外れたりした場合は、通信エラーとなります。プリンタの電源をオンにしたりケーブルを接続してもその後の印刷結果は保証されなくなります。このような場合は、次の処理を順次行ってください。

- コンピュータから印刷を中止して、再度印刷を行います。
- 上記の処理で印刷が正常に行えない場合は、プリンタを再起動して印刷します。
- それでも正常に印刷が行えない場合は、コンピュータを再起動して印刷します。

Windows：本書 139 ページ「印刷の中止方法」
Macintosh：本書 203 ページ「印刷の中止方法」

「LPT1 に書き込みができませんでした」エラーが発生する


インターフェイスケーブルが外れていませんか？

プリンタ側のコネクタとコンピュータ側のコネクタにインターフェイスケーブルがしっかり接続されているか確認してください。


プリンタドライバの設定が正しくありません。

以下の項目を確認してください。

- プリンタプロパティの［詳細］タブの「印刷先のポート」が正しく設定されているかを確認して印刷を実行してください。
- プリンタプロパティの［詳細］タブの「スプールの設定」で「プリンタに直接印刷データを送る」の設定に変更して印刷を行ってみてください。
- ECP モードでご利用の場合、ECP モード対応のケーブルで接続していることを確認し、コンピュータの BIOS 設定を「ECP」（ECP がない場合は「Bi-directional」）に、ポートを「ECP プリンタポート（LPT1）」など（お使いの Windows によってポート名が異なる場合があります）に設定して印刷を行ってみてください。BIOS 設定についての詳細はお使いのコンピュータの取扱説明書を参照してください。

Macintosh のセレクタでプリンタを選択していない

正しいプリンタドライバが選択されていません。

本プリンタのプリンタドライバと正しい接続ポートを選択してください。

☞ スタートアップガイド 44 ページ「プリンタドライバの選択」

Macintosh のセレクタにプリンタドライバまたはプリンタが表示されない

QuickDraw GX を使用していませんか？

本プリンタドライバは、QuickDraw GX に対応していません。QuickDraw GX を使用停止にしてください。

☞ スタートアップガイド 42 ページ「システム条件の確認」

プリンタ名を変更していませんか？

ネットワークの管理者に確認して、変更したプリンタを選択してください。

AppleTalk ネットワークゾーンの設定が違います。

プリンタの接続されているゾーンを選択してください。

エラーが発生する

Macintosh をお使いの場合、MacOS 8.1 ～ 9.x を使用していますか？

プリンタドライバの動作可能環境は、MacOS 8.1 ～ 9.x です。

☞ スタートアップガイド 42 ページ「システム条件の確認」

印刷設定ダイアログの印刷モードの設定が［高品質］になっていませんか？

プリンタのメモリが足りないとメモリ関連のエラーが発生します。印刷ダイアログの印刷モード設定を［標準］にすると印刷できる場合があります。それでも印刷できない場合は、次項目を参照してください。

Macintosh のシステムメモリの空き容量は十分ですか？

Macintosh のプリンタドライバは、Macintosh 本体のシステムメモリの空きエリアを使用してデータを処理します。コントロールパネルの RAM キャッシュを減らしたり、使用していないアプリケーションソフトを終了して、メモリの空き容量を増やしてください。

給排紙されない

プリンタをプリンタの底面より小さな台の上に設置していませんか？

プリンタの底面より小さな台の上に設置すると正常な給排紙ができません。プリンタの設置場所を確認してください。

プリンタは水平な場所に設置されていますか？

プリンタの下にはさまれている物はありませんか？
設置場所が水平でなかったり、プリンタの下に異物がはさまれていると正常に排紙されない場合があります。プリンタの設置場所の環境を再確認してください。

本機で印刷可能な用紙を使用していますか？

印刷可能な用紙を使用してください。
本書 11 ページ「印刷できる用紙の種類」

両面印刷ユニットを使用した両面印刷時に、印刷可能な用紙を使用していますか？

両面印刷で使用できる用紙については、以下のページを参照してください。
本書 27 ページ「両面印刷ユニット（オプション）について」

セットする前に用紙をさばきましたか？

複数枚セットする際に、用紙をさばいてからセットすると給紙時の問題が発生しなくなる場合があります。

用紙カセットがプリンタに正しくセットされていますか？

オプションの増設カセットユニット装着時は、用紙カセットを正しくセットしてください。
本書 23 ページ「増設カセットユニットへの用紙のセット」

セットしている用紙とプリンタドライバの設定は一致していますか？

ステータスシートまたは EPSON プリンタウィンドウ!3 で、用紙トレイの用紙サイズを確認してください。
Windows：スタートアップガイド 34 ページ「ステータスシートの印刷」
Macintosh：スタートアップガイド 45 ページ「ステータスシートの印刷」
用紙サイズが正しく検知されていることを確認し、その用紙サイズをプリンタドライバでの設定と一致させてください。

プリンタドライバで給紙したい給紙装置を選択していますか？

プリンタドライバで使用する給紙装置を選択してください。
Windows：本書 43 ページ「[基本設定] ダイアログ」
Macintosh：本書 158 ページ「[プリント] ダイアログ」

アプリケーションソフトの給紙装置の設定は合っていますか？

給紙装置の設定は、アプリケーションソフトの設定が優先する場合があります。アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して給紙装置の設定を確認してください。

給紙ローラが汚れていませんか？

給紙ローラを拭いてください。

☞ 本書 286 ページ「給紙ローラのクリーニング」

紙詰まりエラーが解除されない

詰まった用紙をすべて取り除きましたか？

プリンタの右カバーを一旦開閉してみてください。それでもエラーが解除されない場合は用紙を取り除く際に用紙が破れてプリンタ内部に残っているかもしれません。このような場合には無理に取り除こうとせずに、保守契約店（保守契約されている場合）または販売店にご連絡ください。

用紙を二重送りしてしまう

用紙どうしがくっついていませんか？

用紙がくっついて給紙される場合は、用紙をよくさばいてください。ラベル紙の場合は、1 枚ずつセットしてください。

官製ハガキや封筒の先端が下向きに反っていませんか？

先端を数ミリ上に反らしてからセットしてください。

本機に合った用紙を使用していますか？

用紙の仕様を確認し、印刷可能な用紙をお使いください。

☞ 本書 11 ページ「印刷できる用紙の種類」

用紙がカールする

正しい印刷面へ印刷していますか？

特に印刷面の指定がない場合でも、逆の面へ印刷することによって用紙がカールしなくなることがあります。印刷面を変えて印刷してみてください。

「通信エラーが発生しました」と表示される

プリンタに電源が入っていますか？

コンセントにプラグが差し込まれているのを確認し、プリンタの電源をオン（ I ）にします。

インターフェイスケーブルが外れていませんか？

プリンタ側のコネクタとコンピュータ側のコネクタにインターフェイスケーブルがしっかり接続されているか確認してください。またケーブルが断線していないか、変に曲っていないかを確認してください。（予備のケーブルをお持ちの場合は、差し換えてご確認ください。）

インターフェイスケーブルがコンピュータや本プリンタの仕様に合っていますか？（ローカル接続時）

インターフェイスケーブルの型番・仕様を確認し、コンピュータの種類やプリンタの仕様に合ったケーブルかどうかを確認します。

本書 227 ページ「パラレルインターフェイスケーブル」
本書 227 ページ「USB インターフェイスケーブル」

ネットワークプリンタとして本機をお使いの場合に、印刷プロトコルとして IPX/SPX、Net BEUI、IPP を使用していませんか？

上記のプロトコルでは、印刷できますが、EPSON プリンタウィンドウ !3 でプリンタの監視ができません。TCP/IP または AppleTalk を使用してください。

プリンタドライバの設定で双方向通信機能を選択していますか？（ローカル接続時）

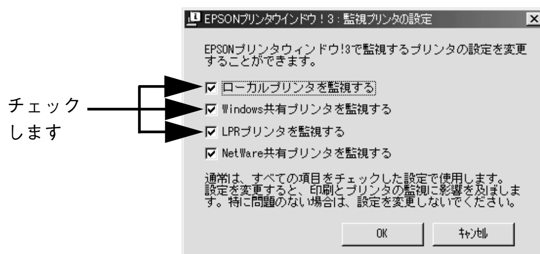
本機は双方向通信機能が有効になっていないと使用できません。

- Windows 95/98/Me の場合、プリンタドライバの［詳細］ダイアログで［スプールの設定］ボタンをクリックして［プリンタスプールの設定］ダイアログを開き、［このプリンタで双方向通信機能をサポートする］が選択されているか確認してください。
- Windows NT4.0/2000/XP の場合、プリンタドライバの［ポート］ダイアログで［双方向サポートを有効にする］が選択されているか確認してください。

Windows 用の［監視プリンタの設定］ユーティリティで、プリンタを監視しない設定にしていませんか？

［監視プリンタの設定］ユーティリティで、［ローカルプリンタを監視する］、［Windows 共有プリンタを監視する］、［LPR］をチェックしないと、本機を監視することができず、正常に印刷できません。必ずチェックしてください。

本書 91 ページ「監視プリンタの設定」



印刷が途中で中断されてしまう

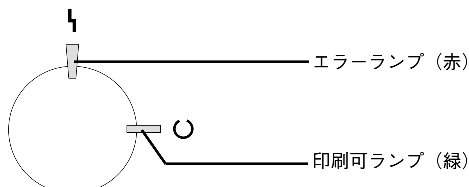
コンピュータのパラレルポートの BIOS 設定を、「ECP」または「ENHANCED」に変更していますか？

コンピュータのパラレルポートの BIOS 設定が「ECP」または「ENHANCED」以外になっていると、印刷が途中で中断されてしまうことがあります。この場合は、印刷データを効率よくプリンタに送るために、コンピュータの BIOS 設定を「ECP」または「ENHANCED」に設定してください。また、コンピュータの BIOS 設定を「ECP」または「ENHNACED」に設定できない、設定しても印刷が途中で中断されてしまう場合は、プリンタドライバで「全ページをスプールしてから印刷」を選択してください。

用紙が詰まったときは

用紙が詰まる主な原因と、詰まった用紙を取り除く方法を説明します。

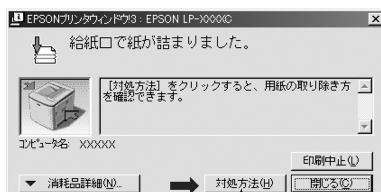
紙詰まりが発生したときは、操作パネルの印刷可ランプとエラーランプが点灯してお知らせします。本書の手順に従って用紙を取り除いてください。



また、EPSON プリンタウィンドウ !3 が紙詰まりをお知らせします。［対処方法］ボタンをクリックすると、詰まった用紙を取り除く手順を説明します。説明に従って作業してください。

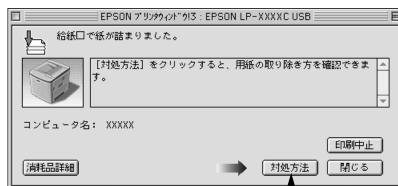
Windows：本書 84 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 とは」
Macintosh：本書 194 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 とは」

Windows：給紙口で詰まった場合



クリックします

Macintosh：給紙口で詰まった場合



クリックします



詰まった用紙を取り除く際にプリンタの電源をオフにすると、対処後にプリンタの電源を入れても印刷を継続することができません。このような場合は、次の処理を順次行ってください。

- コンピュータから印刷を中止して、再度印刷を行います。
- 上記の処理で印刷が正常に行えない場合は、プリンタを再起動して印刷します。
- それでも正常に印刷が行えない場合は、コンピュータを再起動して印刷します。

Windows：本書 139 ページ「印刷の中止方法」
Macintosh：本書 203 ページ「印刷の中止方法」

紙詰まりの原因

紙詰まりの主な原因は次のようなものです。紙詰まりが繰り返し発生するときは、以下の点を確認してください。

- プリンタが水平に設置されていない
- 用紙が正しくセットされていない
- 本機で使用できない用紙を使用している
  本書 11 ページ「印刷できる用紙の種類」
- 吸湿して波打ちしている用紙を使用している
- 給紙ローラが汚れている
  本書 286 ページ「給紙ローラのクリーニング」



印刷中に紙を継ぎ足さないでください。複数枚の紙を同時に給紙して紙詰まりの原因となる可能性があります。

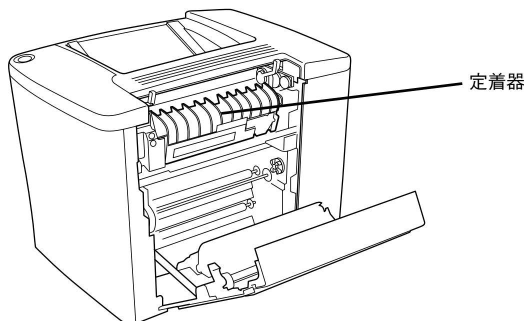
用紙取り出し時の注意

詰まった用紙を取り出すときは、次の点に注意してください。

- 詰まった用紙は、破れないように両手でゆっくり取り除いてください。無理に取り除くと、用紙がやぶれて取り除くことが困難になり、さらに別の用紙詰まりを引き起こします。
- 用紙が破れた場合は、破れた用紙が残らないようすべて取り除いてください。



- 定着器のカバーを開けたとき、定着器部分に手を触れないようご注意ください。内部は約 180 度と高温のため火傷の原因になります。



- プリンタ内部に手を入れるときは十分に注意してください。けがをするおそれがあります。

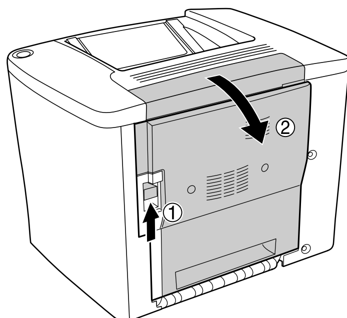


破れた用紙が取り除けない場合や、以降の説明箇所以外の場所に用紙が詰まって取り除けない場合は、保守契約店（保守契約されている場合）または販売店、またはエプソン修理窓口へご相談ください。

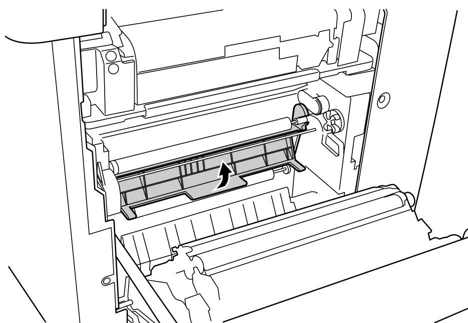
プリンタ内部（カバー AB）で用紙が詰まった場合は

プリンタ内部で用紙が詰まった場合は、以下の手順で詰まった用紙を取り除いてください。

1 **プリンタの右カバーの解除レバーを持ち上げて、右カバーを開けます。**

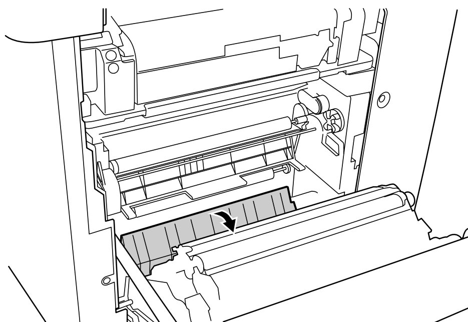


2 **給紙ローラの上側にあるカバーを「カチッ」と音がするまで開けて、詰まっている用紙をゆっくり両手で引き抜きます。用紙を取り除いたらカバーを閉じます。**



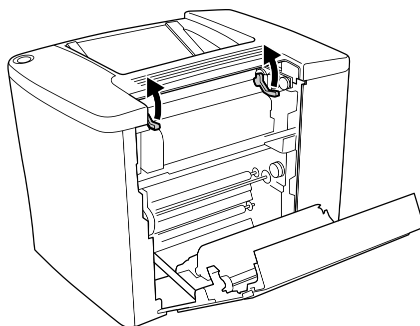
この段階で用紙が取り除けたら ⑩ へ進みます。ここで詰まった用紙を発見できなかった場合は、③ へ進みます。

3 給紙ローラの下側にあるカバーを開けて、詰まっている用紙をゆっくり両手で引き抜きます。用紙を取り除いたらカバーを閉じます。



この段階で用紙が取り除けたら ⑩ へ進みます。ここで詰まった用紙を発見できなかった場合は、④ へ進みます。

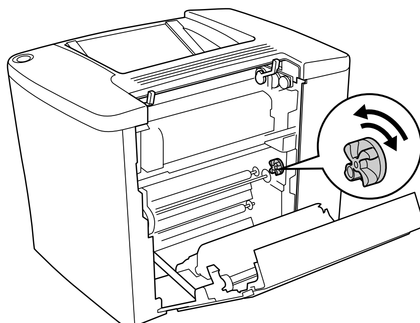
4 定着器の左右にあるレバーを持ち上げて、給紙経路を広げます。



5 下図のダイアルを回し、用紙を送り出して取り除きます。

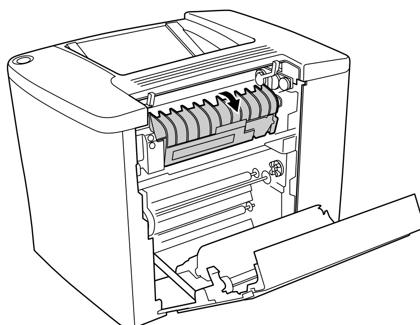
ダイアルは、用紙の詰まり具合に応じて、左右どちらかの方向に回します。

- ダイアルを右回転（手前へ回転）させると、プリンタ上部の排紙トレイ側に用紙が送り出されます。
- ダイアルを左回転（奥方向へ回転）させると、プリンタの給紙経路の下方向に用紙が送り出されます。



この段階で用紙が取り除けたら ⑩ へ進みます。ここで詰まった用紙を発見できなかった場合は、⑥ へ進みます。

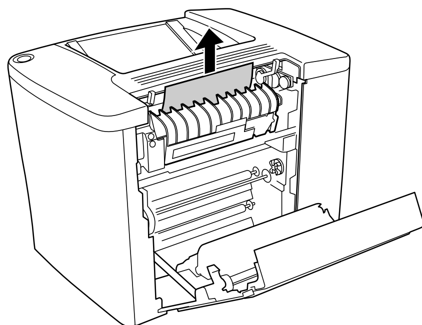
6 定着器のカバーを開けます。



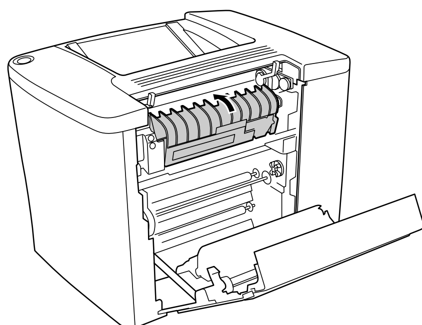


定着器のカバーを開けたとき､定着器部分に手を触れないようご注意ください。内部は約 180 度と高温のため火傷の原因になります。

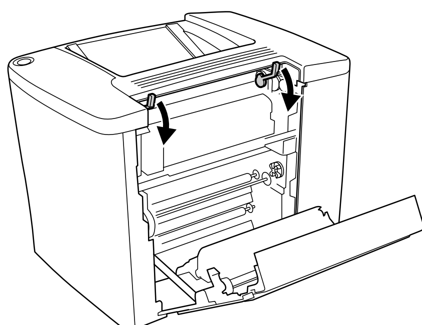
7 詰まった用紙をゆっくり引き抜きます。



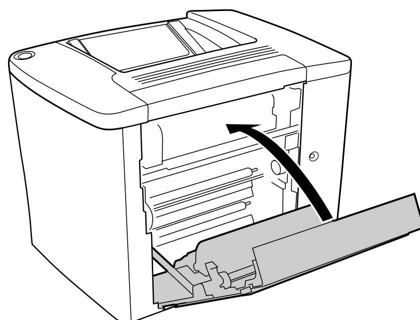
8 定着器のカバーを閉じます。



9 定着器の左右にあるレバーを下げて、給紙経路を閉じます。



10 プリンタの右カバーをしっかりと閉じます。





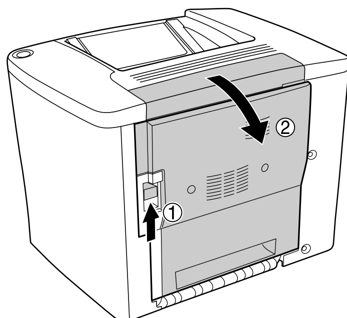
- オプションの増設カセットユニットを装着している場合は、増設カセットユニットのカバーも閉じてください。
- プリンタの内部（右カバーの内側）に詰まった用紙がない場合は、オプションの増設カセットユニットや両面印刷ユニット内部で詰まっている可能性があります。
  本書 315 ページ「給紙口で用紙が詰まった場合は」
  本書 319 ページ「オプションの両面印刷ユニット（カバー DM）で用紙が詰まった場合は」

詰まった用紙が完全に取り除かれていると、詰まったページから印刷を再開します。

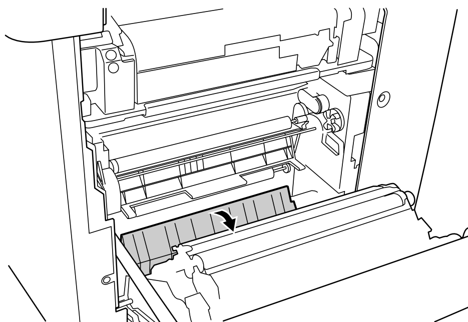
給紙口で用紙が詰まった場合は

プリンタの給紙口で用紙が詰まった場合は、以下の手順で詰まった用紙を取り除いてください。

1. **プリンタの右カバーの解除レバーを持ち上げて、右カバーを開けます。**

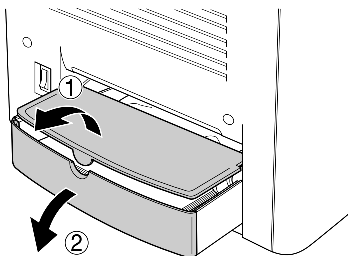


2. **給紙ローラの下側にあるカバーを開けて、詰まっている用紙をゆっくり両手で引き抜きます。用紙を取り除いたらカバーを閉じます。**

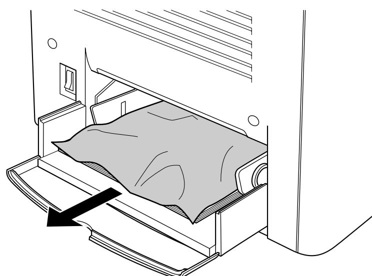


この段階で用紙が取り除けたら 6 へ進みます。ここで詰まった用紙を発見できなかった場合は、3 へ進みます。

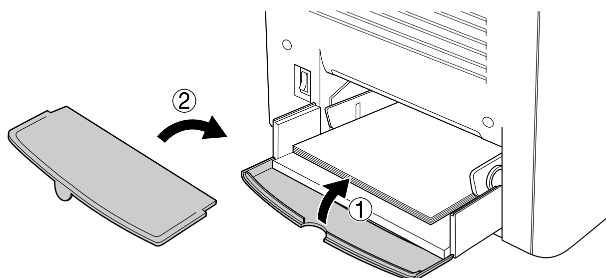
3 用紙トレイの上カバーを外してから前カバーを開けます。



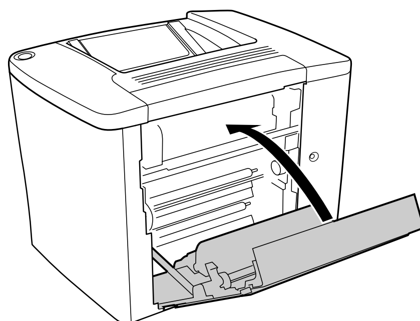
4 詰まっている用紙を取り除きます。



5 用紙を正しくセットし直してから、用紙トレイの前カバーを閉じ、上カバーを取り付けます。



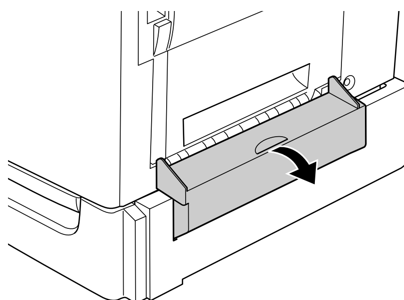
6 **プリンタの右カバーをしっかり閉じます。**



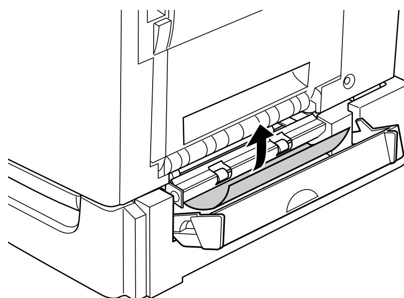
詰まった用紙が完全に取り除かれると、詰まったページから印刷を再開します。

オプションの増設カセットユニットを装着して、かつ、上記の手順で詰まった用紙を発見できなかった場合は、続けて以下の手順で詰まった用紙を探して取り除いてください。

7 **増設カセットユニットのカバー（プリンタの右下側）を開けます。**

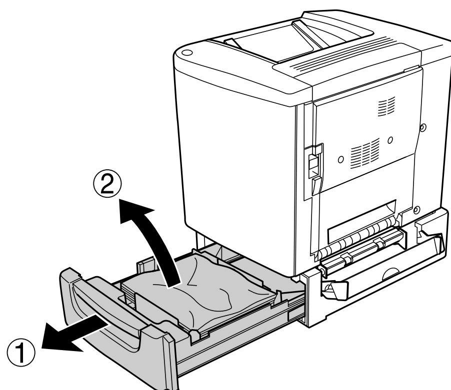


8 **詰まった用紙をゆっくり引き抜きます。**

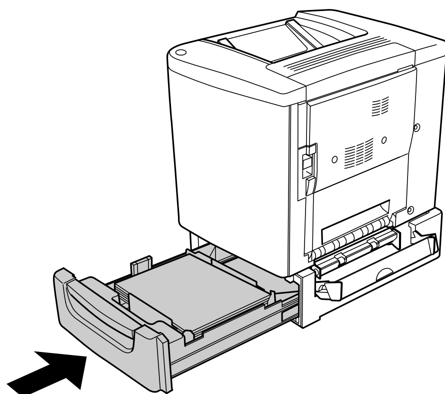


この段階で用紙が取り除けたら 11 へ進みます。ここで詰まった用紙を発見できなかった場合は、9 へ進みます。

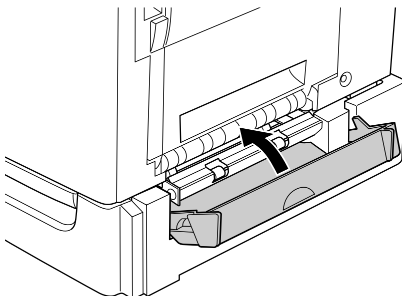
9 用紙カセットを引き出して、詰まった用紙を取り除きます。



10 用紙を正しくセットし直してから用紙カセットを元通りに閉じます。



11 増設カセットユニットのカバーを閉じます。

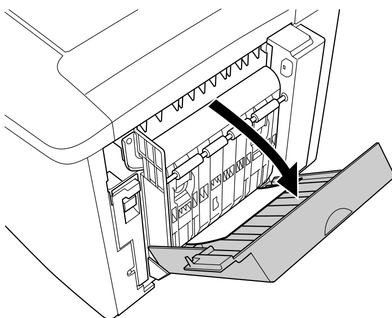


詰まった用紙が完全に取り除かれていると、詰まったページから印刷を再開します。

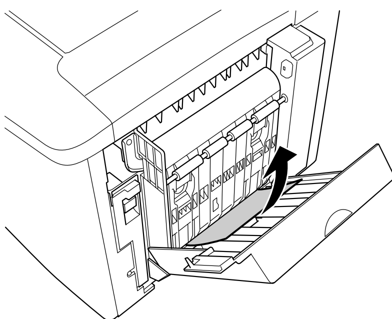
オプションの両面印刷ユニット（カバーDM）で用紙が詰まった場合は

オプションの両面印刷ユニットを装着している場合は、以下の手順に従って詰まった用紙を探して取り除いてください。

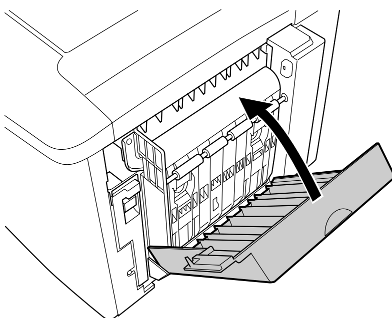
1 両面印刷ユニットのカバー（プリンタの右側）を開けます。



2 詰まった用紙をゆっくり引き抜きます。



3 両面印刷ユニットのカバーを閉じます。



詰まった用紙が完全に取り除かれていると、詰まったページから印刷を再開します。

カラー印刷に関するトラブル

カラー印刷ができない

プリンタドライバの設定が、カラー印刷になっていますか？

- Windows の場合、プリンタドライバの［基本設定］ダイアログまたは［詳細設定］ダイアログで［色］が［黒］に設定されているとカラー印刷ができません。
  本書 43 ページ「［基本設定］ダイアログ」
  本書 49 ページ「［詳細設定］ダイアログ」
- Macintosh の場合、プリンタドライバの［プリント］ダイアログまたは［詳細設定］ダイアログで［色］が［モノクロ］に設定されているとカラー印刷ができません。
  本書 158 ページ「［プリント］ダイアログ」
  本書 163 ページ「［詳細設定］ダイアログ」

ソフトウェアの設定がカラーデータになっていますか？
ソフトウェア上でカラーデータになっているか確認してください。

従来機種と色合いが異なる

プリンタドライバの初期設定値およびカラーテーブルの違いによる差です。
プリンタドライバの［詳細設定］ダイアログの［ガンマ］を［1.5］にして印刷してみてください。それでも異なる場合は、スライドバーで微調整してください。
Windows：本書 49 ページ「［詳細設定］ダイアログ」
Macintosh：本書 163 ページ「［詳細設定］ダイアログ」

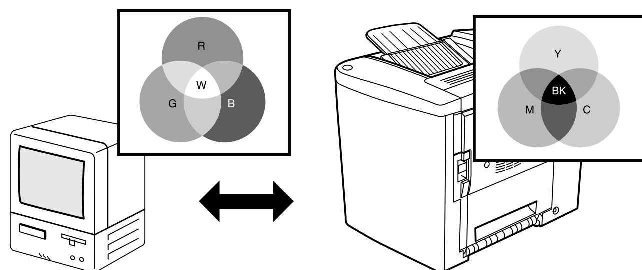
画面表示と色合いが異なる

出力装置（ディスプレイとプリンタ）の違いによる差です。

ディスプレイ表示とプリンタで印刷した時の色とでは、発色方法が違うため、色合いに差異が生じます。

テレビやディスプレイなどでは、赤（R）・緑（G）・青（B）の“光の三原色”と呼ばれる3色の組み合わせで様々な色を表現します。どの色も光っていない状態が黒、3色全てが光っている状態が白となります。

一方、カラーのグラビア印刷やカラープリンタの印刷は、シアン（C）・イエロー（Y）・マゼンタ（M）の“色の三原色”を組み合わせています。全く色を付けないのがもちろん白で、3色を均等に混ぜた状態が黒になります。



スキャナで読み込んだ画像を印刷するときは、原画（CMY）→ディスプレイ（RGB）→印刷（CMY）の変更が必要になり、完全に一致させることは難しくなります。このような場合の機器間のカラーマッチング（色の合わせ込み）を行うのが、ICM（Windows NT4.0を除く）やColorSync（Macintosh）です。

本書346ページ「より高度な色合わせについて」

Macintoshでシステム特性の設定を行いましたか？（ColorSync）

ColorSyncが正しく動作するためには、入力機器・使用アプリケーションがColorSyncに対応している必要があります。また、お使いのディスプレイのシステム特性を設定する必要があります。

本書201ページ「ColorSyncについて」

プリンタドライバのオートフォトファイン!4を有効にしていませんか？

オートフォトファイン!4は、コントラストや彩度が適切でないデータに対して最適な補正を加えて鮮明に印刷できるようにする機能です。そのためオートフォトファイン!4を有効にしてあると、表示画面と色合いが異なる場合があります。

Windows：本書49ページ「[詳細設定]ダイアログ」
Macintosh：本書163ページ「[詳細設定]ダイアログ」

普通紙を使用していませんか？

カラー印刷の場合は、使用する用紙によって仕上がりイメージがかなり異なります。最良の印刷結果を得るには、「EPSON 製カラーレーザープリンタ用上質普通紙」の使用をお勧めします。

中間調の文字や、細い線がかすれる

［階調優先］/［自動］に設定していませんか？

細い線や細かい模様などを再現する場合には、［詳細設定］ダイアログの［スクリーン］を［解像度優先］に設定してください。

☞ Windows：本書 49 ページ「［詳細設定］ダイアログ」
☞ Macintosh：本書 163 ページ「［詳細設定］ダイアログ」

色むらが生じる

［解像度優先］/［自動］に設定していませんか？

微妙な色合いを再現する場合には、［詳細設定］ダイアログの［スクリーン］を［階調優先］に設定してください。

☞ Windows：本書 49 ページ「［詳細設定］ダイアログ」
☞ Macintosh：本書 163 ページ「［詳細設定］ダイアログ」

印刷品質に関するトラブル

ETカートリッジは推奨品（当社純正品）をお使いですか？

本製品は純正ETカートリッジ使用時に最高の印刷品質が得られるように設計されております。純正品以外のものをご使用になると、プリンタ本体の故障の原因となったり、印刷品質が低下するなどプリンタ本体の性能が発揮できない場合があります。ETカートリッジは純正品のご使用をお勧めします。また、必ず本製品に合った型番のものをお使いください。本製品で使用できるETカートリッジの当社純正品については、以下のページを参照してください。

本書255ページ「ETカートリッジの交換」

きれいに印刷できない

トナーセーブ機能を使用していませんか？

トナーセーブ機能は、内容確認など印刷品質を問わない印刷時にご使用ください。

Windows：本書49ページ「[詳細設定]ダイアログ」
Macintosh：本書163ページ「[詳細設定]ダイアログ」

[RIT]機能を使用して印刷していますか？

文字をきれいに印刷したい場合は［RIT］機能を使用して印刷してください。ただし、写真など複雑なトーンがあるデータの場合は、［RIT］機能を使用しないほうがきれいに印刷できる場合があります。

Windows：本書49ページ「[詳細設定]ダイアログ」
Macintosh：本書163ページ「[詳細設定]ダイアログ」

印刷品質（解像度）が［標準］（300dpi）に設定されていませんか？

印刷品質（解像度）を［高品質］（600dpi）に設定して印刷してください。ただし、複雑な印刷データの場合、メモリ不足で印刷できない場合があります。その場合は、印刷品質（解像度）を［標準］（300dpi）に戻すか、メモリを増設してください。

Windows：本書43ページ「[基本設定]ダイアログ」
Macintosh：本書158ページ「[プリント]ダイアログ」

ETカートリッジまたは感光体ユニットが劣化または損傷している可能性があります。

新しいETカートリッジまたは感光体ユニットに交換してください。

本書255ページ「ETカートリッジの交換」
本書268ページ「感光体ユニットの交換」

EPSONプリンタウィンドウ!3が「解像度を落としました」というメッセージを表示しましたか？

印刷するのに十分なメモリをプリンタに増設してください。必要なメモリの目安は以下のページを参照してください。

本書 341 ページ「カラー印刷のポイント」

プリンタヘッドフィルタが汚れていませんか？

プリンタ内部のプリンタヘッドフィルタのガラス面にトナーが落ちて付着していると、白く筋状に印刷が抜けることがあります。プリンタヘッドフィルタをクリーニングしてください。

本書 288 ページ「プリンタヘッドフィルタのクリーニング」

印刷が薄い（うすくかすれる、不鮮明）

用紙が湿気を含んでいる可能性があります。

新しい用紙と交換してください。

感光体ユニットが劣化または損傷している可能性があります。

新しい感光体ユニットに交換してください。

本書 268 ページ「感光体ユニットの交換」

ET カートリッジにトナーが残っていますか？

トナー残量を確認して、新しい ET カートリッジに交換してください。

本書 255 ページ「ET カートリッジの交換」

トナーセーブ機能を使用していませんか？

トナーセーブ機能を解除してください。

Windows：本書 49 ページ「[詳細設定] ダイアログ」
Macintosh：本書 163 ページ「[詳細設定] ダイアログ」

汚れ (点) が印刷される

使用中の用紙は適切ですか？

以下のページを参照し印刷できる用紙を使用してください。

本書 11 ページ「印刷できる用紙の種類」

感光体ユニットが劣化または損傷している可能性があります。

何回か用紙を排紙しても改善されない場合は新しい感光体ユニットに交換してください。

本書 268 ページ「感光体ユニットの交換」

周期的に汚れがある

プリンタ内の定着器、または用紙経路が汚れていませんか？
用紙を数枚印刷してください。

感光体ユニットが劣化または損傷している可能性があります。
何回か用紙を排紙しても改善されない場合は新しい感光体ユニットに交換してください。
☞ 本書 268 ページ「感光体ユニットの交換」

指でこするとにじむ

用紙が湿気を含んでいる可能性があります。
新しい用紙と交換してください。

使用中の用紙は適切ですか？
以下のページをを参照して印刷できる用紙を使用してください。
☞ 本書 11 ページ「印刷できる用紙の種類」

プリンタドライバの［用紙種類］が正しく設定されていますか？
セットした用紙とプリンタドライバ［用紙種類］の設定が合っていないと（［普通紙］の設定で厚紙に印刷する場合など）、最適な印刷結果が得られません。使用する用紙の種類に合わせて、［用紙種類］を設定してください。
☞ Windows：本書 43 ページ「［基本設定］ダイアログ」
☞ Macintosh：本書 158 ページ「［プリント］ダイアログ」

塗りつぶし部分に白点がある

使用中の用紙は適切ですか？
「印刷できる用紙の種類」を参照して、印刷できる用紙を使用してください。
☞ 本書 11 ページ「印刷できる用紙の種類」

用紙の表裏が逆にセットされている場合があります。
表（印刷）面を上に向けてセットしてください。

ET カートリッジが劣化または損傷している可能性があります。
新しい ET カートリッジに交換してください。
☞ 本書 255 ページ「ET カートリッジの交換」

用紙が湿気を含んでいるかまたは乾燥しすぎている可能性があります。
新しい用紙と交換してください。用紙は、密閉可能な容器に入れ湿気をさけて保管してください。

用紙全体が塗りつぶされてしまう

感光体ユニットが損傷または劣化している可能性があります。
新しい感光体ユニットに交換してください。
☞ 本書 268 ページ「感光体ユニットの交換」

縦線が印刷される

感光体ユニットが損傷または劣化している可能性があります。
新しい感光体ユニットに交換してください。
☞ 本書 268 ページ「感光体ユニットの交換」

何も印刷されない

一度に複数枚の用紙が搬送されている可能性があります。
用紙をよくさばいて、セットし直してください。

ET カートリッジにトナーが残っていますか？
トナー残量を確認して、新しい ET カートリッジに交換してください。
☞ 本書 255 ページ「ET カートリッジの交換」

感光体ユニットが劣化または損傷している可能性があります。
新しい感光体ユニットに交換してください。
☞ 本書 268 ページ「感光体ユニットの交換」

裏面が汚れる

用紙経路が汚れていませんか？
数ページ印刷してください。プリンタ内部に通紙することで汚れが取れる場合があります。

画面表示と印刷結果が異なる

画面と異なるフォント / 文字 / グラフィックスで印刷される

プリンタの使用環境に問題はありませんか？

画面と異なるフォントや文字、グラフィックスで印刷される場合は、まず印刷を中止してください。

Windows：本書 139 ページ「印刷の中止方法」

Macintosh：本書 203 ページ「印刷の中止方法」

再度印刷を実行してみてください。再度同様の現象が発生する場合は、次の点を確認してください。

- 使用環境の仕様に合った推奨ケーブルが正しく接続されていますか。
- お使いのコンピュータは本機の仕様に適合していますか。
- プリンタドライバのテスト印刷やステータス印刷が正常にできますか。

ページの左右で切れて印刷される

印刷データの横幅サイズは、プリンタドライバで設定した用紙サイズに収まりますか？

たとえば、WEB ブラウザでインターネットの WEB サイトを印刷すると、ページの左右で印刷が切れてしまうことがあります。原因は、プリンタドライバの［用紙サイズ］設定が WEB サイトの横幅サイズと合っていないからです。この場合は、より大きなサイズの用紙をプリンタにセットして、それに合った［用紙サイズ］を選択して印刷してください。

Windows：本書 43 ページ「［基本設定］ダイアログ」

Macintosh：本書 154 ページ「［用紙設定］ダイアログ」



アプリケーションソフトによっては、用紙の余白を設定できる場合があります。余白が広く設定されていることが原因で、ページの左右で印刷が切れることが考えられます。たとえば、Microsoft Internet Explorer（WEB ブラウザ）の場合は、［ファイル］メニューから［ページ設定］を選択して、［余白］の値を小さく設定して印刷してみてください。なお、本機では用紙の左右上下とも最低 5mm の余白が必要です。

より大きなサイズの用紙が利用できない場合は、プリンタドライバの［フィットページ］印刷機能を使用すると、使用する用紙サイズに合わせて自動的に拡大 / 縮小して印刷できます。

Windows：本書 57 ページ「拡大 / 縮小して印刷するには」

Macintosh：本書 171 ページ「拡大 / 縮小して印刷するには」

画面と異なる位置に印刷される

アプリケーションソフトで設定した用紙サイズとプリンタドライバで設定した用紙サイズが異なっていませんか？

アプリケーションとプリンタドライバの設定を合わせてください。

Windows：本書 43 ページ「[基本設定] ダイアログ」
Macintosh：本書 154 ページ「[用紙設定] ダイアログ」

アプリケーションソフトによっては、印刷開始位置の設定が必要になる場合があります。

プリンタドライバで［オフセット］の調整をしてください。

Windows：本書 79 ページ「[拡張設定] ダイアログ」
Macintosh：本書 167 ページ「[拡張設定] ダイアログ」

罫線が切れたり文字の位置がずれる

アプリケーションソフトでお使いのプリンタの機種名を使用するプリンタに設定していますか？

各アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して、使用するプリンタをお使いのプリンタの機種名に設定してください。

設定と異なる印刷をする

アプリケーションソフトとプリンタドライバの設定が一致していますか？

印刷条件の設定は、アプリケーションソフト、プリンタドライバそれぞれで設定できます。各設定の優先順位は、ご利用の状況により異なりますので、設定と違う印刷をプリンタが行う場合は、各設定を確認してください。

USB 接続時のトラブル

インストールできない

お使いのコンピュータは Windows 98/Me/2000/XP プレインストールマシンまたは Windows 98 プレインストールされていて Windows Me/2000/XP にアップグレードしたマシンですか？

Windows 95 から Windows 98/Me/2000 へアップグレードしたコンピュータや USB ポートの動作が保証されていないコンピュータは正常に印刷できません。お使いのコンピュータについてはコンピュータメーカーへご確認ください。

☞ スタートアップガイド 29 ページ「システム条件の確認」

印刷できない（Windows）

プリンタドライバの接続先は正しいですか？

新たに USB 対応プリンタを接続し、ドライバをインストールすると、印刷先のポートの設定が変わることがあります。印刷先のポートの設定を確認してください。

1. **Windows の［スタート］メニューから［プリンタ］/［プリンタと FAX］を開きます。**
   - **Windows 98/Me/2000 の場合**

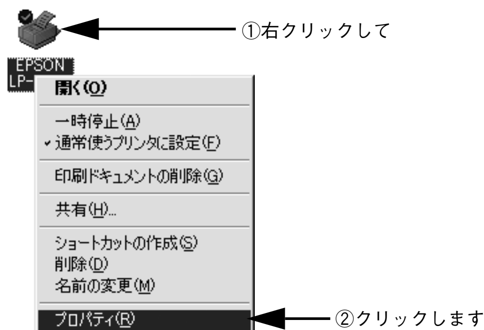
     ［スタート］ボタンをクリックして［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。
   - **Windows XP の場合**

   ①［スタート］ボタンをクリックして［コントロールパネル］をクリックします。［スタート］メニューに［プリンタと FAX］が表示されている場合は、［プリンタと FAX］をクリックして、❷へ進みます。

   ②［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。

   ③［プリンタと FAX］をクリックします。

2 LP-1500C のアイコンを右クリックして、［プロパティ］をクリックします。



3 ［詳細］/［ポート］タブをクリックして［印刷先のポート］/［印刷するポート］を確認します。

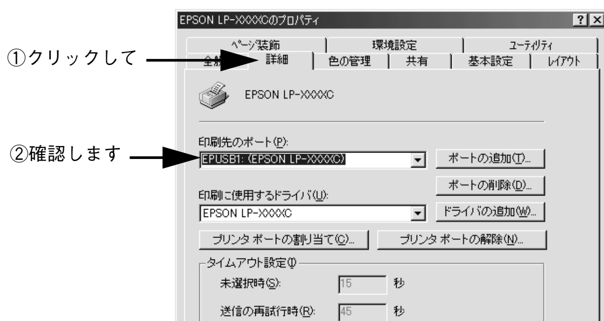
- **Windows 98/Me の場合**

① ［詳細］タブをクリックします。
② ［印刷先のポート］で［EPUSBx: (EPSON LP-1500C)］が選択されていることを確認します（x はポート番号を表す数字です）。

- **Windows 2000/XP の場合**

① ［ポート］タブをクリックします。
② ［印刷するポート］で［USBx］が選択されていることを確認します（x はポート番号を表す数字です）。

<例> Windows 98 の場合





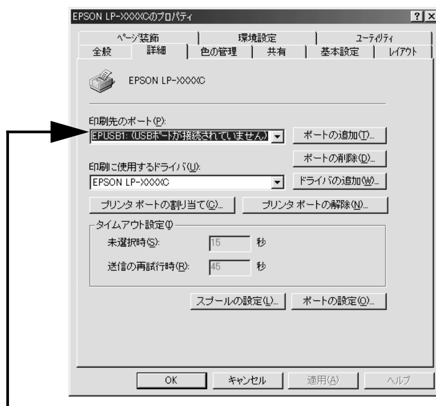
- パラレルケーブルでご利用の場合は、リストボックスから LPT1 を選択します。
- Windows 98/Me をお使いの場合で上記の表示がないときは、USB デバイスドライバがインストールされていないか、正常にインストールされていない可能性があります。プリンタソフトウェアを一旦削除してから再インストールしてください。
  本書 141 ページ「プリンタソフトウェアの削除」

印刷先のポートに、使用するプリンタ名が表示されない

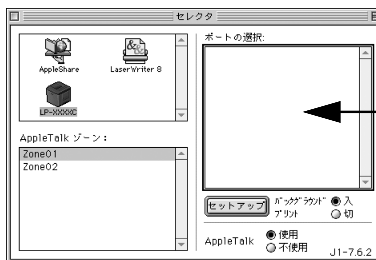
プリンタの電源がオンになっていますか?

プリンタの電源がオフの状態では、コンピュータがプリンタを認識できないため、ポートが正しく表示されません。プリンタの電源をオンにして、USB ケーブルを一度抜き差ししてください。

Windows の場合



Macintosh の場合



USB ハブに接続すると正常に動作しない



本機を USB ハブの 1 段目以外に接続していますか？

USB は仕様上、USB ハブを 5 段まで縦列接続できます。コンピュータに直接接続された 1 段目以外の USB ハブに本機を接続していて正常に動作しない場合は、USB ハブの 1 段目に接続してお使いください。また、別のハブをお持ちの場合は、ハブを替えて接続してみてください。



USB ハブが正しく認識されていますか？

Windows の [デバイスマネージャ] の＜ユニバーサルシリアルバス＞の下に、USB ハブが正しく認識されているか確認してください。



- 正しく認識されている場合は、コンピュータの USB ポートから、USB ハブをすべて外してから、本機の USB コネクタをコンピュータの USB ポートに直接接続してみてください。
- USB ハブの動作に関しては、ハブのメーカーにお問い合せください。

その他のトラブル

印刷に時間がかかる

節電モードになっていませんか？

節電状態から印刷を実行すると、印刷開始の前にウォームアップを行いますので、排紙されるまでに時間がかかる場合があります。節電機能の設定時間を使用状況に応じて設定してください。

Windows：本書 77 ページ「[プリンタ設定] ダイアログ」
Macintosh：本書 182 ページ「[プリンタセットアップ] ダイアログ」

画面上に「プリンタ調整中」と表示されていませんか？

画占率の高いデータの印刷時や連続印刷時などには、良好な印刷品質を保つために、印刷の途中でプリンタが動作を一時的に停止して内部機能の自動調整を行うことがあります。自動調整が完了すると印刷を自動的に再開しますので、そのままお待ちください。

Macintosh をお使いの場合、アプリケーションソフトへのメモリの割り当ては十分ですか？

アプリケーションソフトへのメモリの割り当て量を増やしてください。

Macintosh をお使いの場合、バックグラウンドプリントを［入］にしていませんか？

ご利用の Macintosh によっては、バックグラウンドプリントを［入］にしておくと印刷に時間がかかることがあります。バックグラウンドプリントを［切］に設定して印刷してください。

本書 199 ページ「バックグラウンドプリントを行う」

ファイルサイズの大きな画像データを印刷していませんか？

処理時間のかかる大きなサイズの画像データを印刷する場合は、プリンタのメモリの増設をお勧めします。プリンタのメモリサイズが大きい方が、より効率よく印刷できる場合があります。

割り付け / 部単位印刷を同時に行うと、部単位で用紙を分けられない

アプリケーションソフトの部単位印刷を指定していませんか？

アプリケーションソフトで部単位印刷の指定を行わないで、プリンタドライバで部単位印刷を指定してください。

Windows：本書 43 ページ「［基本設定］ダイアログ」
Windows：本書 56 ページ「［レイアウト］ダイアログ」
Macintosh：本書 158 ページ「［プリント］ダイアログ」
Macintosh：本書 169 ページ「［レイアウト］ダイアログ」

Windows 共有プリンタへ印刷すると通信エラーが発生する

プリントサーバの EPSON プリンタウィンドウ !3［モニタ設定］ダイアログで［共有プリンタをモニタさせる］にチェックが付いていますか？

プリントサーバにインストールされている本機の EPSON プリンタウィンドウ !3［モニタ設定］ダイアログで［共有プリンタをモニタさせる］にチェックが付いていないとクライアントからプリンタの状態を取得できないためエラーが発生します。

本書 86 ページ「［モニタの設定］ダイアログ」

周辺の電化製品やパソコン機器に異常が発生する

電源容量は、十分に確保されていますか？

電源容量が十分に確保されていない環境においては、本機と同一の電源ラインに接続されている蛍光灯にチラつきが発生したり、パソコンがリセットするなどの現象が発生する可能性があります。

本機と蛍光灯、パソコンなどが接続されている電源ラインを分離してください。

（分電盤から独立して引かれた電源ラインへの接続をお勧めします。）

どうしても解決しないときは

症状が改善されない場合は、まずプリンタ本体の故障か、ソフトウェアのトラブルかを判断します。

プリンタのステータス（状態）が取得されているかを画面に表示させて確認します。ステータス情報を画面表示できますか？

☞ Windows：本書88 ページ「プリンタの状態を確かめるには」
☞ Macintosh：本書 196 ページ「プリンタの状態を確かめるには」

画面表示できる　　　　画面表示できない




プリンタドライバ上からステータスシートが印刷できますか？

プリンタ本体に問題はありません。

☞ Windows：本書 73 ページ「［環境設定］ダイアログ」
☞ Macintosh：本書 182 ページ「［プリンタセットアップ］ダイアログ」

印刷できる　　　　印刷できない

以下の項目を確認してください。

- コンピュータ：双方向通信に対応していますか？
- 接続ケーブル：仕様に合ったケーブルですか？
  ☞ スタートアップガイド 15 ページ「コンピュータと接続する」
- システム条件：条件を満たしていますか？
  ☞ Windows：スタートアップガイド 29 ページ「システム条件の確認」
  ☞ Macintosh：スタートアップガイド 42 ページ「システム条件の確認」
- プリンタドライバの設定（Windows）：プリンタドライバのプロパティで双方向通信が可能な状態に設定されていますか？
  Windows 95/98/Me：プロパティの［詳細］ダイアログを開いて、［スプールの設定］ボタンをクリックします。［このプリンタで双方向通信機能をサポートする］がチェックされていることを確認します。
  Windows NT4.0/2000/XP：プロパティの［ポート］ダイアログの［双方向サポートを有効にする］がチェックされていることを確認します。

問題なし　　　　問題あり






お使いのソフトウェアのトラブルが考えられます。エプソンインフォメーションセンターにご相談ください。ご相談先はスタートアップガイドの巻末に記載されています。	ドライバの設定、接続ケーブルの仕様や状態を再確認してください。	以下のページを参照してステータス情報が取得できるか確認してください。 ☞ 本書 299 ページ「ステータス（状態）が画面表示できない」	仕様に適合した環境に設定してください。



次ページへ

前ページより



取得できる	取得できない
プリンタドライバ上からステータスシートが印刷できますか？ プリンタ本体に問題はありません。 ☞ Windows：本書 73 ページ「[環境設定] ダイアログ」 ☞ Macintosh：本書 182 ページ「[プリンタセットアップ] ダイアログ」 印刷できる　　　　印刷できない	ステータスが取得できない場合は、プリンタ本体のトラブルです。以下のページをご覧ください。 ☞ 本書 354 ページ「保守サービスのご案内」 ご相談先はスタートアップガイドの巻末に記載されています。

印刷できる	印刷できない
お使いのソフトウェアのトラブルが考えられます。エプソンインフォメーションセンターにご相談ください。ご相談先はスタートアップガイドの巻末に記載されています。	ドライバの設定、接続ケーブルの仕様や状態を再確認してください。



お問い合わせの際は、ご使用の環境（コンピュータの型番、使用アプリケーションとそのバージョン、その他の周辺機器の型番など）と、本機の名称をご確認のうえ、ご連絡ください。

付録

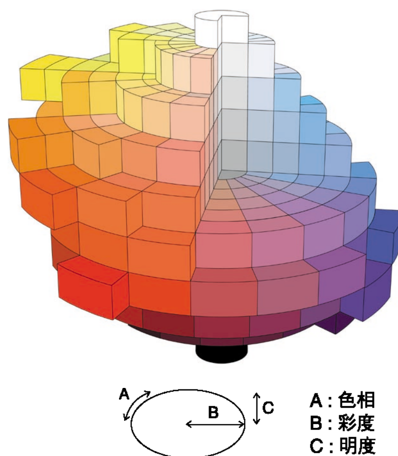
きれいなカラー印刷をするために

色の概念

普段、何気なく見ているディスプレイや紙の上で表現される“色”にも、さまざまな要素が含まれています。ここでは、カラー印刷の知識の基礎となる、「色」について説明しています。

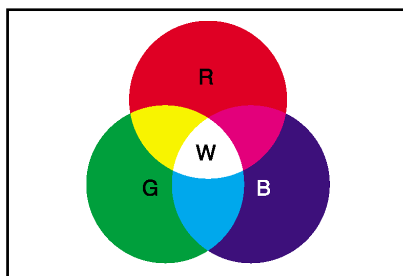
色の要素

一般に「色」というと赤や青などの色相（色合い）を指すことが多いのですが、色を表現する要素には、色相の他に彩度、明度という要素があります。
彩度は鮮やかさの変化を表す要素で、白みを帯びていない度合をいいます。例えば赤色の場合、彩度を上げるとより赤くなりますが、彩度を落とすに従って無彩色になっていき、最後はグレーになります。
明度はその字の通り、明るさ、つまり光の強弱を表す要素です。明度を上げればより白っぽく、逆に明度を落とせば暗くなります。
右の図（色立体と呼びます）は円周方向が色相変化を、半径方向が彩度変化を、高さ方向が明度変化を表します。



ディスプレイの発色プロセス＜加法混色＞

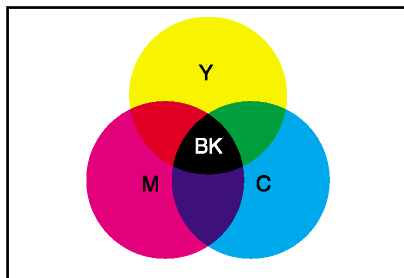
色は光によって表現されますが、ここでは、光がどのように色を表現するかを説明します。
例えば、テレビやディスプレイなどを近くで良く見ると、赤(R)、緑(G)、青(B)の３色の光が見えます。これは「光の三原色」と呼ばれるもので、光はこれら３色の組み合わせでさまざまな色を表現します。
この方法は、どの色も光っていない状態（全てが 0: 黒）を起点に、全ての色が光っている状態（全てが 100: 白）までを色を加えることで表現するため、CRT ディスプレイで表現される色は、加法混色（加色法）と呼ばれます。



R: 赤　G: 緑　B: 青　W: 白

プリンタ出力の発色プロセス<減法混色>

加法混色で色が表現できるのは、そのもの自らが光を発することができる場合です。しかし多くの場合、自ら光を出すことはないため、反射した光で色を表現することになります。
例えば「赤いインク」の場合、次のようになります。
一般的に見られる「光」の中には、さまざまな色の成分が含まれています。この光が赤いインクに当たった場合、ほとんどの色の成分がインクに吸収されてしまいますが、赤い色の成分だけは、吸収されずに反射されます。この反射した赤い光が目に入り、その物体（インク）が赤く見えるのです。
このような方法を減法混色（減色法）と呼び、プリンタのインクや絵の具などはこの減法混色によって色を表現します。このとき、基本色となる色は加法混色の RGB ではなく、混ぜると黒（光を全く反射しない色）になるシアン (C)、マゼンタ (M)、黄色 (Y) の 3 色です。この 3 色を一般に「色の三原色」と呼び、「光の三原色」と区別します。

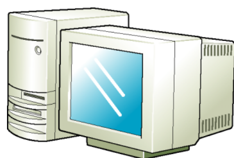


Y:黄　M:マゼンタ　C:シアン　BK:黒

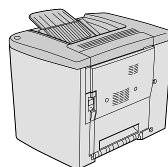
理論的にはCMY の 3 色を混ぜると黒になります。しかし一般に印刷では、より黒をくっきりと表現するために黒 (BK) インクを使用し、CMYBK の 4 色で印刷します。

出力装置による発色の違い<ディスプレイとプリンタ出力>

コンピュータで作成したグラフィックスデータをプリンタに出力するとき、この加法混色と減法混色を考え合わせる必要があります。なぜなら、CRT ディスプレイで表現される色は加法混色であるのに対して、プリンタで表現される色は減法混色であるからです。



“光”の三原色で表示



“色”の三原色で印刷

この加法混色（RGB）→減法混色（CMY）変換はプリンタドライバで行いますが、ディスプレイの表示はディスプレイの調整状態によっても変化するため、ディスプレイ表示とプリンタからの出力結果を完全に一致させることはできません。このように発色方法の違いにより、ディスプレイ表示と実際の印刷出力の色合いに差異が生じます。ただし、これらの差異をできる限り合わせこむことも可能です。
本書 346 ページ「より高度な色合わせについて」

スキャナで読み込んだ画像を印刷するときは、原画 (CMY) → ディスプレイ (RGB) → 印刷 (CMY) の変換が必要になり、さらに一致させることが難しくなります。このような場合の機器間のカラーマッチングの方法をキャリブレーションと呼び、市販のスキャナユーティリティソフトウェアの中にはこの機能があるものもあります。

印刷解像度について

ディスプレイに表示される画像やプリンタで印刷される画像は、小さなドット（点）で構成されています。印刷解像度は、1 インチ（約 2.54cm）あたりにいくつの点があるかを dpi（dots per inch）という単位で表現し、この値が大きい方がきめの細かい印刷結果を得ることができます。
本機の印刷解像度は、300dpi または 600dpi のいずれかを選択することが可能です。[詳細設定］ダイアログの解像度（Windows）/ 印刷品質（Macintosh）で「標準」（300dpi）または「高品質」（600dpi）を選択します。600dpi を選択すると、きめの細かいきれいな画像が印刷できますが、印刷時間は長くなります。また扱うデータ量が大きくなるため、メモリの増設が必要になる場合があります。
印刷の目的に合わせて印刷解像度を選択してください。

イメージ図

● 300dpi



● 600dpi

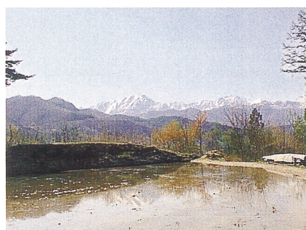


スクリーン線数について（解像度優先 / 階調優先）

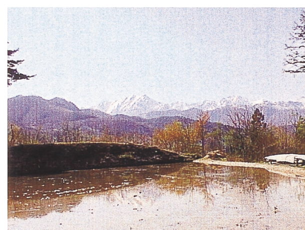
印刷される画像の色の濃淡は、用紙上のトナーの点の密度を変化させることで表現します。この点の密度をスクリーン線数と呼び、1 インチ（約 2.54cm）あたりの密度を lpi（lines per inch）という単位で表現し、この値が大きい方が精密な印刷結果を得ることができます。
プリンタドライバ上で［解像度優先］を選択すると、スクリーン線数を高めに設定して細い線や細かい模様を正確に再現した印刷結果が得られます。
［階調優先］を選択すると、スクリーン線数をやや低めに設定して細い線や細かい模様などは正確に再現できない場合がありますが、色調の変化などをよりなめらかに表現した印刷結果が得られます。
［自動］を選択すると、印刷するデータに対して適したスクリーン線数を自動的に選択して印刷します。

イメージ図

●階調優先



●解像度優先



カラー印刷のポイント

8～16色程度のイラストを印刷する場合は、プリンタドライバやアプリケーションソフトでカラー印刷を行う設定さえしておけば、特別な準備や調整は不要です。しかし、本書の出力サンプルや販売店でご覧になった写真のような印刷を行うには、印刷データの調整やパソコン環境の整備が必要です。

カラー画像の印刷と必要メモリの関係

カラー画像の印刷には多くのメモリを必要とします。
印刷に必要なメモリの量は、画像データのサイズや印刷時の設定によって変わります。
必要メモリの量に関係する印刷時の設定は、次の2つがあります。

- 印刷サイズ
- 解像度（[標準] 300dpi/［高品質］600dpi）

実際の印刷で必要となるプリンタのメモリの量は、印刷データやアプリケーションソフトにより異なりますが、通常使用における目安として下表を参考にしてください。また推奨のメモリサイズをプリンタに実装させることで、印刷速度の改善など、より効率的な印刷が可能になります。なおDTP出力などで複雑な印刷にご使用の場合は、144MB（最大時）まで増設することをお勧めします。

	解像度	文書種類	必要メモリ
片面A4	標準（300dpi）	一般文書	16MB
		写真	16＋64MB
		プレゼン資料	16MB
	高品質（600dpi）	一般文書	16MB
		写真	16＋64MB
		プレゼン資料	16＋64MB
両面A4	標準（300dpi）	一般文書	16MB
		写真	16＋64MB
		プレゼン資料	16＋64MB
	高品質（600dpi）	一般文書	16MB
		写真	16＋128MB
		プレゼン資料	16＋64MB

また、カラー画像のデータサイズは、モノクロデータに比べ大きいものになるため、ご利用のコンピュータのハードディスクの空き領域を十分に確保する必要があります。主な入力装置でのカラー画像データサイズは、下表のようになります。

入力装置／品質		原稿サイズ	画素数（ピクセル）	画像データ容量	
デジタルカメラ	350,000 画素	－	640 ×480	900	KB
	870,000 画素	－	1024 × 768	2.3	MB
	1,300,000 画素	－	1290 × 960	3.52	MB
	2,140,000 画素	－	1600 × 1200	5.5	MB
フイルムスキャナ	1200dpi	－	1700 × 1100	5.4	MB
フラットベッドスキャナ	300dpi	4' × 6'	1200 × 1800	6.2	MB
		A4	2550 ×3600	26.3	MB
	600dpi	4' × 6'	2400 ×3600	24.7	MB
		A4	5100 ×7200	105.1	MB
	1200dpi	4' × 6'	4800 ×7200	100	MB
		A4	10200 × 14000	420	MB
Photo CD	BASE	－	768 ×512	1.1	MB
	4BASE	－	1536 × 1024	4.5	MB
	16BASE	－	3072 ×2048	18.0	MB

スキャナから画像を取り込む場合のポイント

ハイライト / シャドウ / ガンマの設定に注意する

ハイライトは画像の階調を有して最も明るい部分、シャドウは階調を有して画像の最も暗い部分です。ガンマはこれらの傾きです。この3点を適切に設定して取り込むだけで、おおむねきれいな画像が得られます。
スキャナの取扱説明書を参照し、ハイライト / シャドウ / ガンマを正しく設定した上で画像を取り込んでください（画像中の暗い部分が黒くつぶれないように、明るい部分が白く飛ばないように注意してください）。詳しくは、お使いのスキャナの取扱説明書をご覧ください。




適切な設定


ハイライトが強い設定


シャドウが強い設定

Photo CD から出力する場合のポイント

Photo CD の画像を印刷で利用する場合、開いた画像をそのまま出力しても必ずしも高品位な出力結果は得られませんので、適切な処理が必要です（ハイライト / シャドウの設定、色かぶりの除去、シャープネス設定など）。
適切な処理をするためには、通常 Photoshop などのアプリケーションソフトで画像を補正しますが、本機のプリンタドライバで「オートフォトファイン !4」を使用して印刷すると、元データはそのままに、出力する画像に対して適切な処理を施し、高画質化して印刷することができます。

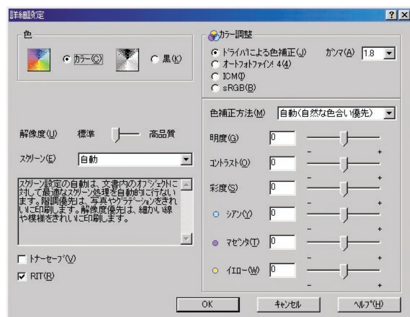

ポイント

処理すべき内容・方法については、「Photo CD プリプレスリファレンス*」などに詳しく記載されていますので、そちらを参照してください。
* Photo CD 制作サービスの窓口でお求めください。

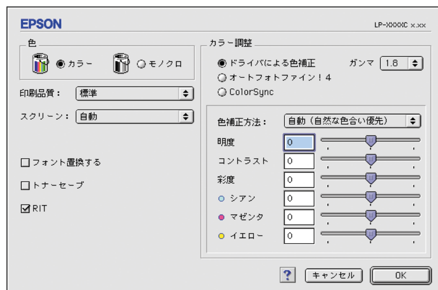
印刷時のポイント（オートフォトファイン !4）

プリンタドライバの設定モードは、通常［推奨設定］にしておけば、標準的な印刷結果が得られるように色調整されています。しかし、ここで行われる色調整は、一般的かつ一律的なレベルですので、さらに細かく調整をしたい場合には［詳細設定］で微調整（設定変更）を行ってください。

● Windows ドライバ



● Macintosh ドライバ



オートフォトファイン !4

オートフォトファイン !4 とは、エプソン独自の画像解析 / 処理技術を用いて自動的に画像を高画質化して印刷する機能です。
一般的に、市場で「きれい」と感じられるデジタル画像には、ほとんどの場合、元データに対して何らかの「補正」がかけられています。通常、このような「補正」はフォトレタッチソフトなどを使用して行いますが、この作業には「色」に関する知識と、豊富な作業経験が要求されます。また、この作業には時間もかかります。このような難しい補正作業を、人の手に代わって自動的かつ短時間に行う機能が「オートフォトファイン !4」です。（印刷時に補正するだけで、元データに補正は加えません。）
この機能は、1 ページ内に複数の画像イメージが存在する場合にも、それぞれのイメージに対して個別の解析を行い、最適な処理を実行します。


ポイント

- 画像によって補正の効果は異なります。例えば、すでに適切な補正がかけられている画像などについては効果が薄くなります。
- 256 色などの色数の少ない画像データには有効に機能しないことがあります。
- 画像を解析しながら印刷処理を行うので、処理速度の遅い CPU を搭載しているコンピュータなどでは印刷時間が長くなります。
- ディスプレイ上の表示と印刷結果を合わせたいときは「ICM」（Windows）/「ColorSync」（Macintosh）を使用して印刷してください。
- EPSON 製デジタルカメラの画像転送ソフトにおいてオートフォトファインを使用した画像データには、プリンタドライバのオートフォトファイン !4 は使用しないでください。

オートフォトファイン!4 を指定して印刷を実行すると、プリンタドライバはまず画像全体の中から主要なオブジェクトを認識します。そして、そのオブジェクトを次のように解析して処理を行います。

RGB カラーバランスの補正	色かぶりが補正されます。オブジェクトの RGB ごとのヒストグラムを分析し、RGB ごとにトーンカーブ補正を行います。
解像度の補正	低解像度の粗い画像をきめ細かく表現します。画像データの解像度が低い場合、擬似的に解像度を上げて印刷します。
明るさの補正	暗すぎる（露出不足）画像などが修正されます。オブジェクトの明るさを分析し、輝度に対して最適なトーンカーブ補正を行います。
コントラストの強調	中間調のコントラストが上がり、メリハリのある画像になります。ヒストグラムの最小値と最大値を、それぞれ最適になるようにダイナミックレンジを拡大し、さらにヒストグラムの分布から、トーンカーブを画像に応じて適切に調整します。
彩度の強調	色あせた画像が鮮やかになります。画像の彩度の程度を分析し、その程度に応じた彩度調整をかけます。

オートフォトファイン!4 OFF



オートフォトファイン!4 ON



●明るさの補正

●コントラスト・彩度の強調

●RGBカラーバランスの補正

※ 1ページの複数の画像に対して個別に適切な補正が行われます。

より高度な色合わせについて

例えばスキャナで取り込んだ画像を印刷する場合、原画・ディスプレイ表示・プリンタでの印刷結果の色合いは完全には一致しません。これは、それぞれの機器の色の表現方法の違い、階調表現力の違い、またディスプレイ表示のクセ（偏った色表示をする）などが原因です。
このような場合の原画・ディスプレイ表示・プリンタでの印刷結果の色合いをできるだけ一致（カラーマッチング）させるには、次の方法があります。

ディスプレイを調整する（モニタキャリブレーション）

ディスプレイはその機器ごとに表示特性が異なり、赤っぽく表示するディスプレイもあれば、青っぽく表示するディスプレイもあります。このように偏った表示をしている状態では、スキャナから取り込んだ画像やPhoto CDなどの画像は適切な明るさや色合いで表示されませんし、また印刷結果が予測できません。そこで、ディスプレイの調整が必要になります。
ディスプレイの調整については、以下を参照してください。

カラーマネジメントシステムを使う

原画・ディスプレイ表示・プリンタでの印刷結果の色合いを一致させるためのシステムとして、MacintoshではApple社の「ColorSync」、WindowsではMicrosoft社の「ICM」があります（Windows NT4.0を除く）。カラーマネージメントシステムについては、次ページを参照してください。

ディスプレイの調整

ディスプレイ調整（モニタキャリブレーション）は、本格的に行うと非常に手間のかかる作業で、また測定機器なども必要になります。ここでは簡易的な調整手順を紹介します。ディスプレイの調整方法については、お使いのディスプレイの取扱説明書を参照してください。


ポイント

これらの調整を行うと、一部の明るさや色合いは原稿または印刷結果に近付けることができますが、すべてを近付けることはできません。最も気になる部分（肌色など）を重点的に調整してください。

1 **ディスプレイの電源をオンにし、30分以上おいてディスプレイの表示を安定させます。**

2 **室内の照明環境を一定にします。**
自然光は避けて、なるべく一定の照明条件になるようにし、さらにフードを装着すると良いでしょう。

3 **ディスプレイのカラーバランス（色温度）を調整できる場合は、6500°Kに調整します。**

4 **ディスプレイのブライトネス調整を行います。**
ディスプレイで表示される「黒」が、「真っ黒」に近くなるように調整します。

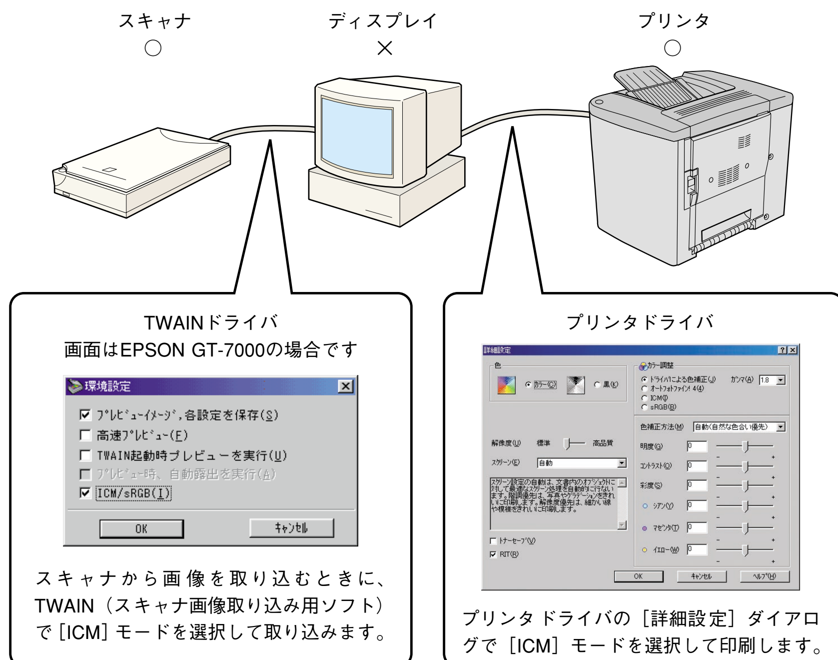
5 **Macintoshをお使いで、コントロールパネルに「ガンマ」が登録されている（Adobe Photoshopがインストールされている）場合は、ディスプレイのガンマ（グレー）調整を行います。**
ガンマ補正の値は、一般的な1.8に設定するのが良いでしょう。

6 **ディスプレイでコントラスト調整ができる場合は、スキャナで取り込んだ画像の色が原稿またはプリンタの出力結果に近くなるように調整を行います。**

7 **調整が終了したら、ディスプレイのダイヤルなどが動かないように固定します。**

カラーマネージメントシステム「ICM」

スキャナから取り込んだ画像とプリンタでの印刷結果の色合いを近付けるために、Windows では、Microsoft 社の「ICM」というカラーマネージメントシステムがあります（Windows NT4.0 を除く）。



ICM を使用した場合でも、通常、ディスプレイ表示だけは色合いを近付けることはできません。
ただし、次の場合に、ディスプレイ表示の色合いを近付けることができます。

- ディスプレイ調整機能によって、ディスプレイをガンマ特性 2.2、色温度 6500°K に調整した場合。（前ページを参照してください。）
- Windows 98 をご利用で､ディスプレイメーカーから ICC プロファイル（色特性データファイル）が提供されており、なおかつアプリケーションソフトが対応している場合。（詳細は、ディスプレイおよびアプリケーションソフトの取扱説明書をご覧ください。）


ポイント

- 「ICM」は、Windows 95/98/Me/2000/XP 用のプリンタドライバでのみご利用になれます。
- TWAIN ドライバなどスキャナについての詳細は、スキャナの取扱説明書をご覧ください。
- Windows 98/Me/2000/XP の ICM は Windows95 の ICM よりも高い精度で色合いを近付けることができます。

カラーマネージメントシステム「ColorSync」

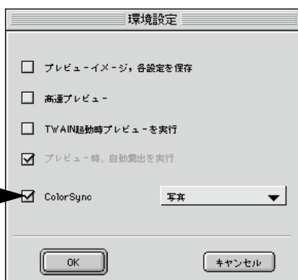
「ColorSync」は、原画（印刷データ）、ディスプレイの表示、印刷結果の色の合わせ込みを行う Apple 社のカラーマネージメント機能です。
以下に、「ColorSync」を使用しての、画像の取り込みから印刷までの流れを示します。


ポイント

「ColorSync」を利用するには、Macintosh に「ColorSync」がインストールされている必要があります。

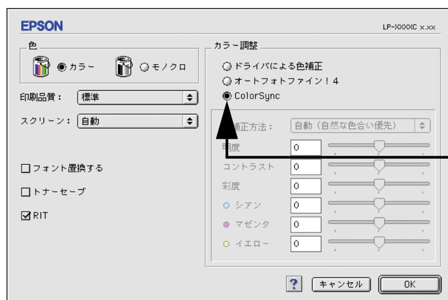
1. **まず始めに、お使いのディスプレイの特性を設定します。**
   本書 201 ページ「ColorSync について」

2. **スキャナから画像を取り込む場合は、TWAIN（スキャナの画像取り込み用ソフト）で、「ColorSync」を使用して画像を取り込みます。**



画面は EPSON GT-7000（スキャナ）の場合です。

3. **プリンタドライバで「ColorSync」を選択して、印刷します。**




ポイント

- 「ColorSync」を選択して色合わせを行う場合は、RGB の画像データを使用してください。CMYK、Lab などのデータでは、正しく色合わせができません。
- 一部のアプリケーションソフトでは、ソフトウェア上で ColorSync の設定が行えます（AdobePageMaker6.5J、Photoshop4.0J 以降、Illustrator7.0J 以降など）。ソフトウェア上で ColorSync の設定を行う場合は、プリンタドライバでは「ColorSync」を選択せず、［ドライバによる色補正］－［色補正方法：色補正なし］を指定してください。

サービス・サポートのご案内

弊社が行っている各種サービス・サポートは次の通りです。

インターネットサービス

EPSON 製品に関する最新情報などをできるだけ早くお知らせするために、インターネットによる情報の提供を行っています。

アドレス	http://www.i-love-epson.co.jp

「MyEPSON」

「MyEPSON」とは、EPSON の会員制情報提供サービスです。「MyEPSON」にご登録いただくと、お客様の登録内容に合わせた専用ホームページを開設 *1 してお役に立つ情報をどこよりも早く、また、さまざまなサービスを提供いたします。

*1 「MyEPSON」へのユーザー登録には、インターネット接続環境（プロバイダ契約が済んでおり、かつメールアドレスを保有）が必要となります。

例えば、ご登録いただいたお客様にはこのようなサービスを提供しています。

- お客様にピッタリのおすすめ最新情報のお届け
- ご愛用の製品をもっと活用していただくためのお手伝い
- お客様の「困った！」に安心＆充実のサポートでお応え
- 会員限定のお得なキャンペーンが盛りだくさん
- 他にもいろいろ便利な情報が満載

すでに「MyEPSON」に登録されているお客様へ

「MyEPSON」登録がお済みで、「MyEPSON」ID とパスワードをお持ちのお客様は、本製品の「MyEPSON」への機種追加登録をお願いいたします。追加登録していただくことで、よりお客様の環境に合ったホームページとサービスの提供が可能となります。

「MyEPSON」への新規登録、「MyEPSON」への機種追加登録は、どちらも同梱の『プリンタソフトウェア CD-ROM』から簡単にご登録いただけます。*2

*2 インターネット接続環境をお持ちでない場合には、同梱のお客様情報カード（ハガキ）にてユーザー登録をお願いいたします。ハガキでの登録情報は弊社および関連会社からお客様へのご連絡、ご案内を差し上げる際の資料とさせていただきます。（上記「専用ホームページ」の特典は反映されません。）今回ハガキにてご登録いただき、将来インターネット接続環境を備えられた場合には、インターネット上から再登録していただくことで上記「専用ホームページ」の特典が提供可能となります。

エプソンインフォメーションセンター

EPSON プリンタに関するご質問やご相談に電話でお答えします。

受付時間	スタートアップガイド巻末の一覧表をご覧ください。
電話番号	スタートアップガイド巻末の一覧表をご覧ください。

ショールーム

EPSON 製品を見て、触れて、操作できるショールームです。（東京・大阪）

受付時間	スタートアップガイド巻末の一覧表をご覧ください。
所在地	スタートアップガイド巻末の一覧表をご覧ください。

パソコンスクール

エプソン製品の使い方、活用の仕方を講習会形式で説明する初心者向けのスクールです。カラリオユーザーには“より楽しく”、ビジネスユーザーには“経費削減”を目的に趣味にも仕事にもエプソン製品を活かしていただけるようにお手伝いします。お問い合わせはスタートアップガイド巻末の一覧をご覧ください。

エプソンサービスパック

エプソンサービスパックは、ハードウェア保守パックです。
エプソンサービスパック対象製品と同時にご購入の上、登録していただきますと、対象製品購入時から所定の期間（3 年、4 年、5 年）、安心の出張修理サービスと対象製品の取り扱いなどのお問い合わせにお答えする専用ダイヤルをご提供いたします。

- スピーディな対応：スポット出張修理依頼に比べて優先的に迅速にサービスエンジニアを派遣いたします。
- もしものときの安心：万一トラブルが発生した場合は何回でもサービスエンジニアを派遣し対応いたします。
- 手続きが簡単：エプソンサービスパック登録書を FAX するだけで契約手続きなどの面倒な事務処理は一切不要です。
- 維持費の予算化：エプソンサービスパック規約内・期間内であれば、都度修理費用がかからず維持費の予算化が可能です。

エプソンサービスパックは、エプソン製品ご購入販売店にてお買い求めください。

最新プリンタドライバの入手方法とインストール方法

弊社プリンタドライバは、アプリケーションソフトのバージョンアップなどに伴い、バージョンアップを行うことがあります。必要に応じて新しいプリンタドライバをご使用ください。プリンタドライバのバージョンは数字が大きいものほど新しいバージョンとなります。

最新のプリンタドライバ入手方法

最新のプリンタドライバは、下記の方法で入手してください。

- インターネットの場合は、次のホームページの［ダウンロード］から入手できます。

アドレス	http://www.i-love-epson.co.jp
サービス名	ダウンロードサービス

- CD-ROM での郵送をご希望の場合は、「エプソンディスクサービス」で実費にて承っております。


ポイント

各種ドライバの最新バージョンについては、エプソン販売（株）のホームページにてご確認ください。ホームページの詳細については、スタートアップガイドの巻末にてご案内しております。

ダウンロード・インストール手順

ホームページに掲載されているプリンタドライバは圧縮[*1] ファイルとなっていますので、次の手順でファイルをダウンロードし、解凍[*2]してからインストールしてください。

*1 圧縮：1つ、または複数のデータをまとめて、データ容量を小さくすること。

*2 解凍：圧縮されたデータを展開して、元のファイルに復元すること。


ポイント

インストールを実行する前に、旧バージョンのプリンタドライバを削除（アンインストール）する必要があります。

Windows：本書 141 ページ「プリンタソフトウェアの削除」
Macintosh：本書 204 ページ「プリンタソフトウェアの削除」

1 **ホームページ上のダウンロードサービスから対象の機種を選択します。**

2 **プリンタドライバをハードディスク内の任意のディレクトリへダウンロードし、解凍してからインストールを実行します。**

手順については、ホームページ上の［ダウンロード方法・インストール方法はこちら］をクリックしてください。



画面はインターネットエクスプローラを使用してエプソン販売のホームページへ接続した場合です。

保守サービスのご案内

「故障かな？」と思ったときは、あわてずに、まず本書「困ったときは」をお読みください。そして、接続や設定に間違いがないことを必ず確認してください。

保証書について

保証期間中に、万一故障した場合には、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入もれがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても、保証期間内と認められないことがございます。記載もれがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。保証書は大切に保管してください。保証期間、保証事項については、保証書をご覧ください。

保守サービスの受け付け窓口

エプソン製品を快適にご使用いただくために、年間保守契約をお勧めします。保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。

- お買い求めいただいた販売店
- エプソンサービスコールセンター（本書裏表紙の一覧表をご覧ください）
  受付日時 ：月曜日～金曜日（土日祝祭日・弊社指定の休日を除く）
  受付時間 ：9：00 ～ 17：30

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。詳細については、お買い求めの販売店または最寄りのエプソンサービスコールセンターまでお問い合わせください。

種類		概要	修理代金と支払方法	
			保証期間内	保証期間外
年間保守契約	出張保守	● 製品が故障した場合、最優先で技術者が製品の設置場所に出向き、現地で修理を行います。 ● 修理のつど発生する修理代・部品代＊は無償になるため予算化ができて便利です。 ● 定期点検（別途料金）で、故障を未然に防ぐことができます。 ＊ 消耗品（トナー、用紙など）は保守対象外となります。	無償	年間一定の保守料金
スポット出張修理		● お客様からご連絡いただいて数日以内に製品の設置場所に技術者が出向き、現地で修理を行います。 ● 故障した製品をお持ち込みできない場合に、ご利用ください。	無償	出張料＋技術料＋部品代 修理完了後 そのつどお支払いください

- 交換寿命による定期交換部品の交換は、保証内外をとわず、出張基本料・技術料・部品代が有償となります。（年間保守契約の場合は、定期交換部品代のみ、有償となります。）
- 当機種は、輸送の際に専門業者が必要となりますので、持込保守および持込修理はご遠慮願います

プリンタの仕様

基本仕様

プリント方式	半導体レーザービーム走査＋乾式一成分電子写真方式	
解像度	300/600dpi[*1]	
プリントモード	モノクロモード	：黒のトナーのみを使用するモノクロ印刷モード 最高の速度で印刷を行う
	カラーモード	：4 色（イエロー、マゼンタ、シアン、ブラック）のトナーを使用するカラー印刷モード
ウォームアップ時間	180 秒以内（23℃、定格電圧にて）	
稼働音 （本体のみ）	稼働時	：約 54dB（A）以下（モノクロ / カラーモード共通）
	待機時	：約 39dB（A）以下（モノクロ / カラーモード共通）

*1　dpi：25.4mm｛1 インチ｝あたりのドット数　（Dots Per Inch）

プリント速度

プリントモード	用紙種類	片面印刷	両面印刷 *1
モノクロモード	普通紙	16.0PPM[*2]（A4、A5、B5、Letter）	10.0PPM（A4）
	官製ハガキ	3.6PPM	ー
	官製往復ハガキ	3.5PPM	
	封筒	4.0PPM（洋形 0/4） 4.1PPM（洋形 6）	
	厚紙	3.3PPM（A4、Letter） 3.5PPM（A5） 3.4PPM（B5）	
	OHP シート	2.5PPM（A4）	
カラーモード	普通紙	4.0PPM（A4、A5、B5、Letter）	4.0PPM（A4）
	官製ハガキ	2.1PPM	ー
	官製往復ハガキ	2.0PPM	
	封筒	2.2PPM（洋形 0/4/6）	
	厚紙	2.0PPM（A4、A5、B5、Letter）	
	OHP シート	1.6PPM（A4）	

*1　印刷の速度は、ページ（面）/ 分を表しています。
*2　PPM ＝枚 / 分（Pages Per Minute）

ファーストプリント

プリントモード	用紙種類	片面印刷	両面印刷
モノクロモード	普通紙	14 秒（A4、B5、Letter、A5）	25秒（A4）
	官製ハガキ	22 秒	ー
	官製往復ハガキ	23 秒	
	厚紙	23 秒（A4、B5、Letter、A5）	
	OHP シート	28 秒（A4）	
カラーモード	普通紙	25 秒（A4、B5、Letter、A5）	39秒（A4）
	官製ハガキ	33 秒	ー
	官製往復ハガキ	34 秒	
	厚紙	34 秒（A4、B5、Letter、A5）	
	OHP シート	40 秒（A4）	

用紙関係

給紙方法	用紙トレイ（標準）または増設カセットユニット（オプション）による自動給紙
排紙方法	フェイスダウン
排紙容量	200 枚（普通紙64g/m^2）

給紙装置	用紙種類	容量[*1]	用紙サイズ （　）内はプリンタドライバでの表記
用紙トレイ（標準）	普通紙[*2]	200 枚	A4、A5、B5、Letter（LT）、Half-Letter（HLT）、Executive（EXE）、Government Letter（GLT）、不定形紙
	厚紙[*3]	50 枚	
	ラベル紙	50 枚	A4、Letter（LT）
	EPSON 製カラーレーザープリンタ用OHP シート		
	封筒	10 枚	洋形 0 号、洋形 4 号、洋形 6 号
	官製ハガキ	50 枚[*4]	100mm × 148mm
	官製往復ハガキ		148mm × 200mm
	EPSON 製カラーレーザープリンタ用上質普通紙	200 枚	A4
	EPSON 製カラーレーザープリンタ用コート紙	50 枚	
増設カセットユニット（オプション）	普通紙[*2]、EPSON 製カラーレーザープリンタ用上質普通紙	500 枚	A4

*1 用紙トレイ / カセットにセットできる用紙の高さは用紙ガイドの最大枚数（三角マーク表示）までです。三角マークを超えてセットした場合は、給紙不良などの原因となります。
*2 64g/m^2 の場合です。
*3 91 ～ 163g/m^2 の場合です。
*4 190g/m^2 の場合です。四面連刷ハガキは使用できません。

用紙種類

用紙を大量に購入する場合、購入前に通紙・印字品質をチェックしてください。

普通紙	• 64～90g/m² • 一般に適用しているコピー用紙、再生紙 • EPSON製カラーレーザープリンタ用上質普通紙
特殊紙 （用紙トレイからのみ給紙できます）	• ラベル紙 • 官製ハガキ、官製往復ハガキ *1 • 封筒（洋形0、4、6号） • EPSON製カラーレーザープリンタ用OHPシート *2 • EPSON製カラーレーザープリンタ用コート紙 *2 • 厚紙（91～163g/m²） • 不定形紙

*1 折り跡のないこと。
*2 OHPシートおよびコート紙は、EPSON製専用紙のみ使用可能です。

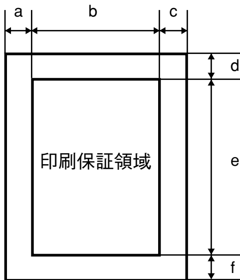
用紙サイズと給紙装置、両面印刷

用紙サイズ			用紙トレイ	増設カセットユニット *1	両面印刷 *2
A4		210×297mm	○	○	○
A5		148×210mm	○	×	×
B5		182×257mm	○	×	×
Letter（LT）		8.5×11インチ（215.9×279.4mm）	○	×	○
Half-Letter（HLT）		5.5×8.5インチ（139.7×215.9mm）	○	×	×
Executive（EXE）		7.25×10.5インチ（184.15×266.7mm）	○	×	×
Government Letter（GLT）		8×10.5インチ（203.2×266.7mm）	○	×	×
不定形紙		用紙幅92～216mm 用紙長148～297mm	○ *3	×	×
官製ハガキ		100×148mm	○	×	×
官製往復ハガキ		148×200mm	○	×	×
封筒	洋形0号	120×235mm	○	×	×
	洋形4号	105×235mm	○	×	×
	洋形6号	98×190mm	○	×	×

○：使用可能
×：使用不可
*1 オプションの増設カセットユニット（型番：LPA4CZ1CU1）から給紙できるかどうかを表します。
用紙厚60～90g/m²の用紙が使用できます。
*2 オプションの両面印刷ユニット（型番：LPA4CRU1）を使用できるかどうかを表します。
用紙厚60～90g/m²の用紙が使用できます。
*3 アプリケーションソフトで任意の用紙サイズを指定できない場合は印刷できません。

印刷保証領域

印刷保証領域は、印刷の実行と印刷結果の画質を保証する領域です。用紙の各端面から5mm を除く領域の印刷を保証します。



定形紙 （単位：ドット、600dpi）

名 称		a	b	c	d	e	f
A4		120	4720	120	120	6776	120
A5		120	3256	120	120	4720	120
B5		120	4060	120	120	5832	120
Letter（LT）		120	4860	120	120	6360	120
Half Letter（HLT）		120	3060	120	120	4860	120
Executive（EXE）		120	4110	120	120	6060	120
Government Letter（GLT）		120	4560	120	120	6060	120
官製ハガキ		120	2122	120	120	3256	120
官製往復ハガキ		120	3256	120	120	4484	120
封筒	洋形０号	120	2594	120	120	5310	120
	洋形４号	120	2240	120	120	5310	120
	洋形６号	120	2074	120	120	4248	120

不定形紙

名称	a	b	c	d	e	f
最小サイズ	120	1932	120	120	3256	120
最大サイズ	120	4860	120	120	6776	120



アプリケーションソフトで任意の用紙長を指定できない場合は、不定形紙への印刷はできません。

電気関係

定格電圧	AC100V ± 10%	
定格最大電流	13A 以下	
周波数	50/60Hz ± 3Hz	
消費電力	最大	： 1,100W
	モノクロ連続印刷平均	： 352Wh
	カラー連続印刷平均	： 253Wh
	待機時平均	： 108Wh（ヒーターオン時）
	低電力モード時平均	： 10W 以下（ヒーターオフ時）

環境使用条件

動作時	温度	： 10 ～ 35 ℃
	湿度	： 15 ～ 85%（ただし結露しないこと）
	気圧（高度）	： 741hPa 以上（2500m 以下）
	水平度	： 傾き 1 度以下
	照度	： 3000lx 以下（ただし直射日光を照射させないこと）
	周囲スペース	： 上方 200mm、左側方 300mm、右側方 500mm、 前方 700mm、後方 150mm
保存・輸送時	温度	： 0 ～ 35 ℃
	湿度	： 30 ～ 85%（ただし結露しないこと）

コントローラ基本仕様

RAM	標準	： 16MB
	オプション増設時	： 最大 144MB
インターフェイス	標準	： パラレル IEEE1284 準拠双方向 （ECP モード、ニブルモード） ： USB（Rev. 1.1）
	オプション	： Type B I/F（1 スロット）

外観仕様

外形寸法 （小数点以下四捨五入）	本体のみ	： 幅 429mm ×奥行き 521mm ×高さ 406mm
	増設カセットユニット（オプション）装着時	： 幅 469mm ×奥行き 521mm ×高さ 526mm
	両面印刷ユニット（オプション）装着時	： 幅 473mm ×奥行き 521mm ×高さ 406mm
重量	本体のみ	： 約 29.0kg （オプション類は含まない）
	増設カセットユニット（オプション）装着時	： 約 34.3kg
	両面印刷ユニット（オプション）装着時	： 約 31.0kg

索引

数字

C

D

E

I

J

N

O

R

S

T

U

あ

い

う

え

お

か

き

く

こ

さ

し

す

せ

そ

た

ち

つ

て

と

に

ね

は

ふ

へ

ほ

め

も

ゆ

よ

ら

り

れ

わ

版	改版月	改版ページ	改版内容
00	2002/08	－	新版